

静岡県立こども病院本館リニューアル工事

■ 建 築 工 事

2019 年 3月

株式会社 日立建設設計



図面リスト

共通仕様書（建築・構造・外構・電気・機械）		建築意匠設計図			建築構造設計図					
A - 01	図面リスト	D - 01	特記仕様書（１）	- 55	改修2階天井伏図	S - 01	構造設計標準仕様（改修工事）			
- 02	設計仕様概要表・案内図	- 02	特記仕様書（２）	- 56	改修1階建具キープランー1	- 02	スラブ配筋標準図（改修工事）			
- 03	工事区分表	- 03	特記仕様書（３）	- 57	改修1階建具キープランー2	- 03	壁配筋詳細図（改修工事）			
- 04	工事区分図（１）	- 04	特記仕様書（４）	- 58	改修2階建具キープラン					
- 05	工事区分図（２）	- 05	仕上特記仕様書	- 59	建具特記仕様書					
- 06	機器取付標準図	- 06	内部仕上表ー1	- 60	改修建具表ー1					
- 07	内装軽量鉄骨下地標準図	- 07	内部仕上表ー2	- 61	改修建具表ー2					
- 08	天井下地標準図	- 08	内部仕上表ー3	- 62	雑詳細図ー1					
- 09	天井吊設備機器耐震固定標準仕様	- 09	内部仕上表ー4	- 63	雑詳細図ー2					
- 10	メーカーリスト	- 10	内部仕上表ー5	- 64	雑詳細図ー3					
		- 11	内部仕上表ー6	- 65	無菌室詳細図					
		- 12	全体配置図	- 66	サイン詳細図					
		- 13	既存1階平面図ー1	- 67	工事工程ー1（工事工程表）					
		- 14	既存1階平面図ー2	- 68	工事工程ー2（1階）					
		- 15	既存2階平面図	- 69	工事工程ー3（2階）					
		- 16	改修1階平面図ー1	- 70	仮設計画図ー1 ーリネン部門ー					
		- 17	改修1階平面図ー2	- 71	仮設計画図ー2 ー製剤部門ー					
		- 18	改修2階平面図	- 72	仮設計画図ー3 ー薬剤部門（１）ー					
		- 19	改修屋上平面図ー1	- 73	仮設計画図ー4 ー薬剤部門（２）ー					
		- 20	改修屋上平面図ー2	- 74	仮設計画図ー5 ー薬剤部門（３）ー					
		- 21	矩計図ー1	- 75	仮設計画図ー6 ー薬剤部門（４）ー					
		- 22	矩計図ー2	- 76	仮設計画図ー7 ー臨床検査部門（１）ー					
		- 23	矩計図ー3	- 77	仮設計画図ー8 ー臨床検査部門（２）ー					
		- 24	既存1階平面詳細図ー1	- 78	仮設計画図ー9 ー臨床検査部門（３）ー					
		- 25	既存1階平面詳細図ー2	- 79	仮設計画図ー10 ー臨床検査部門（４）ー					
		- 26	既存1階平面詳細図ー3	- 80	仮設計画図ー11 ー臨床検査部門（５）ー					
共通詳細図（建築・構造・外構・電気・機械）		- 27	既存1階平面詳細図ー4	- 81	仮設計画図ー12 ー臨床検査部門（６）ー					
		- 28	既存1階平面詳細図ー5	- 82	仮設計画図ー13 ー臨床検査部門（７）ー					
		- 29	既存2階平面詳細図ー1	- 83	仮設計画図ー14 ー臨床検査部門（８）ー					
		- 30	既存2階平面詳細図ー2	- 84	仮設計画図ー15 ー臨床検査部門（９）ー					
		- 31	改修1階平面詳細図ー1	- 85	仮設計画図ー16 ー臨床検査部門（10）ー					
		- 32	改修1階平面詳細図ー2	- 86	仮設計画図ー17 ー生理機能・病理検査部門（１）ー					
		- 33	改修1階平面詳細図ー3	- 87	仮設計画図ー18 ー生理機能・病理検査部門（２）ー					
		- 34	改修1階平面詳細図ー4	- 88	仮設計画図ー19 ー生理機能・病理検査部門（３）ー					
		- 35	改修1階平面詳細図ー5	- 89	仮設計画図ー20 ー生理機能・病理検査部門（４）ー					
		- 36	改修2階平面詳細図ー1	- 90	仮設計画図ー21 ー生理機能・病理検査部門（５）ー					
		- 37	改修2階平面詳細図ー2	- 91	仮設計画図ー22 ー生理機能・病理検査部門（６）ー					
		- 38	改修壁リストー1	- 92	仮設計画図ー23 ー放射線部門（１）ー					
		- 39	改修壁リストー2	- 93	仮設計画図ー24 ー放射線部門（２）ー					
		- 40	改修展開図ー1	- 94	2階 梁・床 伏図（既存図）					
		- 41	改修展開図ー2	- 95	R階 梁・床 伏図（既存図）					
		- 42	改修展開図ー3	- 96	大梁リスト（既存図）					
		- 43	改修展開図ー4							
		- 44	改修展開図ー5							
		- 45	改修展開図ー6							
		- 46	改修展開図ー7							
		- 47	改修展開図ー8							
		- 48	改修展開図ー9							
		- 49	改修展開図ー10							
		- 50	改修展開図ー11							
		- 51	改修展開図ー12							
		- 52	改修展開図ー13							
		- 53	改修1階天井伏図ー1							
		- 54	改修1階天井伏図ー2							

表紙 1 枚 A 共通設計図 10 枚 D 建築意匠設計図 96 枚 C 外構設計図 ー 枚 M 機械設備設計図 ー 枚
B 共通詳細図 ー 枚 S 建築構造設計図 3 枚 E 電気設備設計図 ー 枚 計 110 枚

静岡県立こども病院本館リニューアル工事（建築工事）

株式会社 日立建設設計 Copyright Hitachi Architects & Engineers Co., Ltd. All rights reserved.	禁複製 無断転載禁止	制定日	2001.09.01	REVISION ▲:		竣 工 図（責任者）			APPD.	CHKD.	DWN.	DATE	2019.03.29	JOB.NAME	静岡県立こども病院本館リニューアル工事	DWG.NO. A - 01
		改訂日	2017.04.01			作製日付	年 月 日		田中	磯目	望月	SCALE	ー (A3)	TITLE	図面リスト	

設 計 仕 様 概 要 表

工 事 名

平成28年度静岡県立こども病院本館リニューアル工事

建 築 主

住 所

〒420ー8660 静岡県静岡市葵区湊山860

氏 名

地方独立行政法人 静岡県立病院機構 静岡県立こども病院長 坂本 喜三郎

電話

054ー247ー6251

工 事 場 所

〒420ー8660 静岡県静岡市葵区湊山860ー1外12番
静岡県静岡市葵区湊山3ー7地先水路の一部

敷 地 条 件

1）用途地域☐低住専（☐種）☐中高住専（☐種）☐住居（☐種）
☐近隣商業☐商業☐準工☐工業☐工専☒指定なし市街化調整区域都市計画区域内

2）地域地区（法22条地域）☐指定なし、防火地域（☒指定なし☐防火地域☐準防火地域）

3）容積率（基準200％≧58.57％）、建ぺい率（基準60+10％≧24.52％）

4）日影規制（4時間、2.5時間）、受影面高（平均地盤面＋4m）（時間、時間）、受影面高（平均地盤面＋m）

5）高さ規制（☐有（m）☒無）、道路斜線制限（☒有（1：1.5）☐無）、隣地斜線制限（☒有31m＋（1：2.5）☐無）、高度地区：（第種高度地区）

6）前面道路（名称：こども病院前線（4号指定道路）幅：7.29～17.12m、名称：幅：m、名称：幅：m）

7）駐車場（台）

8）自然環境、特殊条件☒堰害☐地盤沈下☐寒冷地☐接地難（アース）☐その他（）

建物概要

主要用途

■（08260 病院）■避難拠点に使用する 救護病院

工事種別

☐新築☐増築☐改築☒模様替☐用途変更

規模

1）面積（敷地面積92,028.85㎡）（建築面積22,561.73㎡）（延べ面積54,528.21㎡）
2）階数地上6階地下階塔屋2階
3）1階床高（設計GL＋0.2m）軒高（設計GL＋35.80m）最高部高（設計GL＋37.90m）設計GL（TP+11.14）
1階床高（平均地盤＋m）軒高（平均地盤＋m）最高部高（平均地盤＋m）平均地盤（）

構造

☐S造☐SRC造☒RC造☐W造☐CB造

杭

☐有☒無

増築予定

☐有☒無

工期

2017年月日より2019年月日迄とする。

全体工事範囲

☒建築本体工事☐昇降機設備工事☐その他工事☐別途工事下記建築概要による

☐空調換気設備工事☐電気設備工事

☐給排水衛生設備工事☐既存昇降機遮断改修工事

その他

■改修工事概要

・設備の改修工事に伴う天井等の内装の改修工事。

・各部門の機能強化のためのレイアウト変更による間仕切、内装の改修工事。

建 築 概 要

1.設計主旨

1）計画利用者にも、スタッフにも利用しやすい施設

2）構造

3）電気環境に配慮した照明器具等の選定を積極的に行う。

4）機械省エネルギーに主眼を置き、高効率な機器を積極的に採用する。

5）環境配慮設計×ISO14000、HAEEMSによる、「環境配慮設計チェックシート」参照

5.別途工事等

■家具、什器備品■消火器（ABC粉末10型：本）■カーテン■ブラインド
■撤去■引越等の家具・什器・備品の移転、移設■電話工事□確認申請手数料（設計料、申請料）
■設計変更手数料（設計料、申請料）□中間検査（回数回、有料）□完了検査（有料）
■その他（AV機器（配管は電気工事））□サイン工事
■電話機器■セキュリティ
■電気設備工事■空調換気設備工事■給排水衛生設備工事

6.施工条件

☒既存建物使用継続☐夜間工事の禁止☐休日工事の禁止■近隣（静岡神経医療センター）
■既存改修工事□その他（）
×既存改修工事がある場合には標準仕様書（■建築改修工事標準仕様書（平成28年版）に準ずる。
（■電気設備改修工事標準仕様書（平成28年版）
（■機械設備改修工事標準仕様書（平成28年版）
×増築工事や既存改修工事等の施工計画書を、監督職員に提出・承諾を得る。
×特に既存建物の営業、活動を継続しながらの工事は、下記内容を含め施主・監督職員と協議すること。
■騒音、臭気（防水、塗装等）の発生する工事の時期・期間■避難経路の変更（工事中及び完成後）
■既存改修工事範囲の特定、養生方法、仮囲い設置時期・期間
□既存との段差の解消方法、ケーブル等の配管量、配管・配線の繋ぎ方法
□水の侵入防止処置（雨水及び必要な場合は建物内消火設備水等）
□火気使用時期・期間、消火対策、責任者■埋設配管類の調査、掘削方法、交通の遮断時期・期間
■防火区画等の変更がある場合、その対策、責任者、係員の配置等
■停電、防災機器の停止などの期間、その間の災害発生時の対策、責任者、係員の配置等（その期間必要な仮置き消火器等必要な設備を含む）
□その他（）

7.適用法規

×各法規にはその法規の施工令、施行規則、関連告示・通達等を含む
■環境関連法規は、HAE「環境法規制チェックシート」参照
■建築基準法□工場立地法■都道府県条例■医療法□自然公園法□駐車場法□学校教育法□都市計画法□騒音規制法□養護老人ホーム及び特別養護老人ホームの設備及び運営に関する基準
■消防法□旅館業法、ホテル業法□水質汚濁防止法□大気汚染防止法
□景観条例■バリアフリー法又は福祉の町づくり条例■建築物における衛生的環境の確保に関する法律
□急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律■エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）
■計量法□危険物の規制に関する政令
□その他（）

8.適用規準規格他

■基本建築関係法令■建築工事標準仕様書■建築工事監理指針■建築物の構造規定
■建築基礎構造設計規準同解説■鉄筋コンクリート構造計算規準同解説■鋼構造設計基準
■建築工事標準仕様書同解説（JASS5鉄筋コンクリート工事）■機械設備工事標準仕様書
■空調調和衛生設備工事標準仕様書■機械設備工事監理指針■電気設備工事標準仕様書
■国土交通省建築工事積算基準■電気設備工事監理指針□開発指導要綱
□本件で必要な外部文書□□□□□□
■ISO9000S適用建築工事施工管理要領

2.避難・防災

防災計画書

☐有☒無防火対象物：消防法施行令別表第16項イ

耐火建築物【☐該当なし】【■耐火建築物□準耐火建築物】【■義務□自主】

防火区画☐該当なし□用途区分□階別区分（1500㎡区分）■壁穴区分■防火戸

防煙区分■500㎡区分■防煙垂壁■自然排煙設備□機械排煙設備

内装制限■要□否×詳細は内装仕上表による

避難経路□避難階（1階）■2方向避難□避難バルコニー、避難ハッチ□避難滑り台□避難器具
■屋内階段（壁穴区分）■屋外階段■避難階段□特別避難階段■敷地内通路

非常用進入口□避難バルコニー■代用進入口

防災設備■中央監視盤■自動火災報知設備■非常放送■非常照明■避難誘導灯■避雷針□連結送水管
■屋内消火栓■スプリンクラー■消火器□消火用水槽■非常電源■非常用エレベータ

構造性能■耐震構造□制震構造□免震構造■床荷重条件（3900N/㎡）詳細は構造図による

安全係数（□1.0■1.5）■設備機器耐震措置（建築設備耐震設計施工指針最新版による）

無窓階☐有☒無「消防法施行令第10条第1項第5号による」

その他☐（）

3.設備概要

1）電気設備概要

■構内配電線路設備■構内弱電線路設備■屋外灯設備■受変電設備■自家発電設備
■直流電源設備■幹線動力設備■電灯コンセント設備■電話配管設備■構内交換設備
□電気時計設備■放送設備■テレビ共聴設備■表示設備■インターホン設備
■自動火災報知■避難針設備■機械警備設備■監視制御設備
□その他（）

2）空調設備概要

■熱源設備（）■空調設備（）■換気設備■自動制御
■排煙設備（）□床暖房設備□その他（）

3）給排水衛生設備概要

■給水設備■給湯設備■排水設備■衛生器具設備■ガス設備■消火設備
■厨房機器設備■浄化槽設備■その他（医療ガス）

4.その他設備概要

☐AV機器設備☐舞台設備☐昇降機設備☐機械警備■イントラ
□その他（）

面 積 表

敷地面積

㎡

敷地面積との比率

申請部分

申請以外の部分

合 計

既存部分

除却部分

小 計

敷地面積

㎡

92,028.85

㎡

建築面積

㎡

㎡

22,561.73

㎡

建ぺい率

24.52

%

延床面積

㎡

㎡

㎡

54,528.21

㎡

延床面積（容積対象）

㎡

㎡

㎡

㎡

（53,901.15）

㎡

容積率

58.57

%

建ぺい率計算式

22,561.73

㎡

/

92,028.85

㎡

=

24.52

%

容積率計算式

（53,901.15）

㎡

/

92,028.85

㎡

=

58.57

%

階 別 / 工 事 別

※改修面積を示す

A棟

D棟

E棟

F棟

I棟

K棟

廊下

合計

2階

約510.00㎡

約269.00㎡

約779.00㎡

1階

約416.00㎡

約218.00㎡

約128.00㎡

約485.00㎡

約114.00㎡

約198.00㎡

約403.00㎡

約1,962.00㎡

床面積

約416.00㎡

約218.00㎡

約128.00㎡

約995.00㎡

約114.00㎡

約198.00㎡

約672.00㎡

約2,741.00㎡

延べ面積（容積対象）

建築面積

昇降機設備仕様書

種別 / 仕様

定員・積載量

速度

特記事項

人乗 /

kg

m / min

案 内 図

工事場所

株式会社 日立建設設計

禁 複 写 無 断 転 載 禁 止
Copyright Hitachi Architects & Engineers Co., Ltd. All rights reserved.

新製日2001.09.01
改訂日2017.04.01
文書番号F02-004-1704

REVISION ▲:
2019.03.29

竣 工 図（責任者）

作製日付年月日

作製者

APPO. 田中

CHKD. 磯目

DWN. 望月

DATE 2019.03.29

JOB.NAME 静岡県立こども病院本館リニューアル工事

SCALE -

TITLE 設計仕様概要表・案内図

DWG.NO. A - 02

一級建築士 第283810号 田中 裕和

工 事 区 分 表

■は本工事該当項目
○は本工事該当区分
* 取合詳細区分は工事区分図（１）（２）による

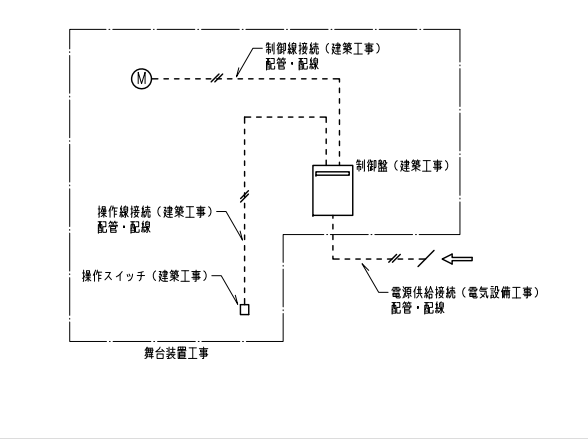
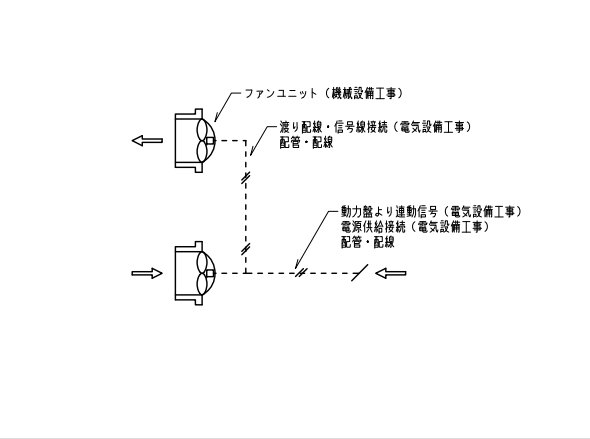
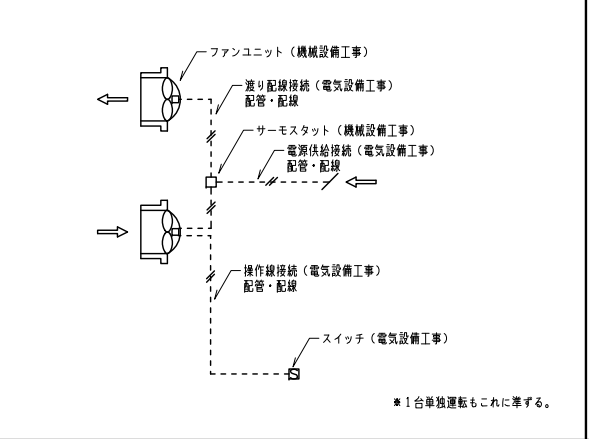
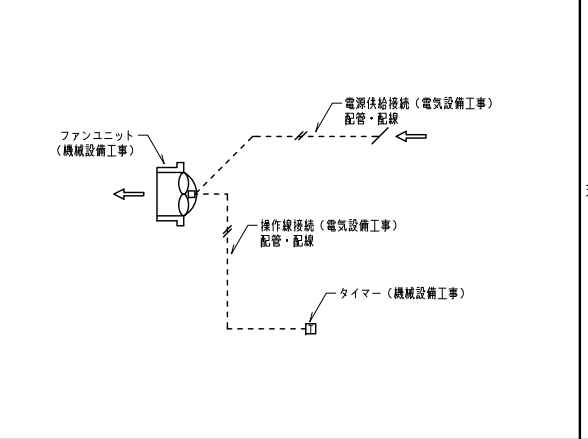
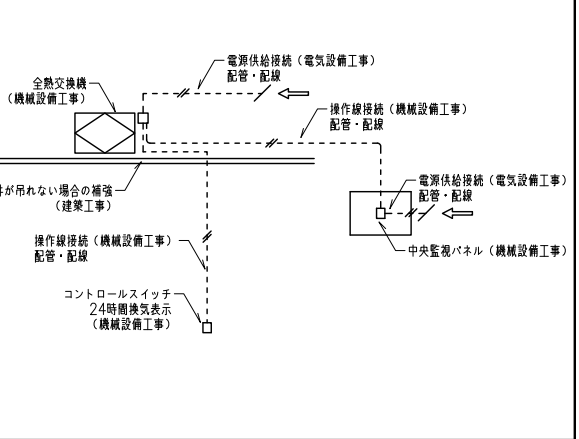
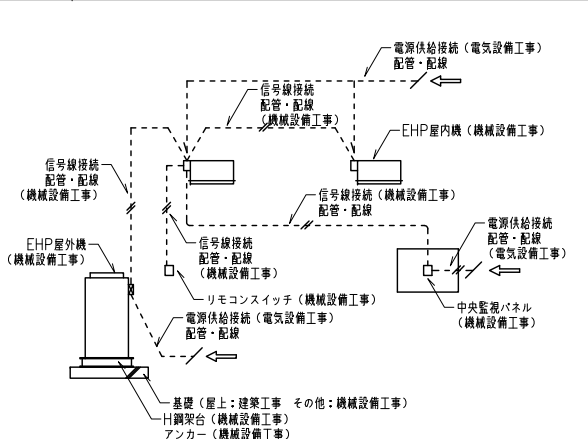
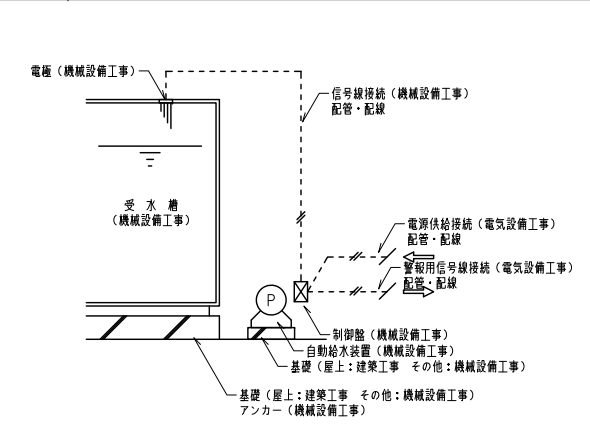
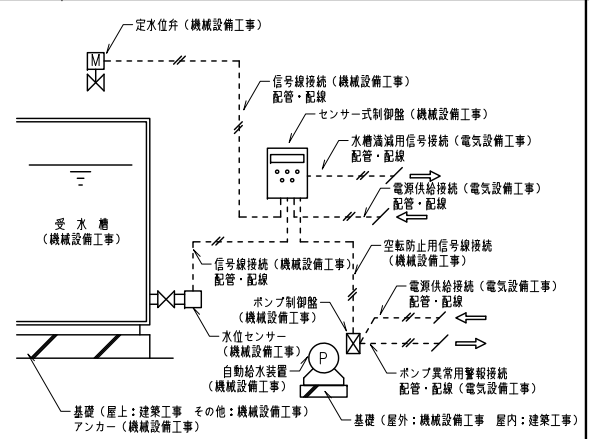
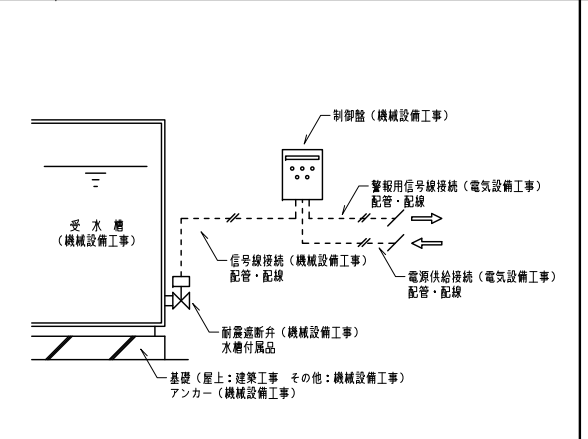
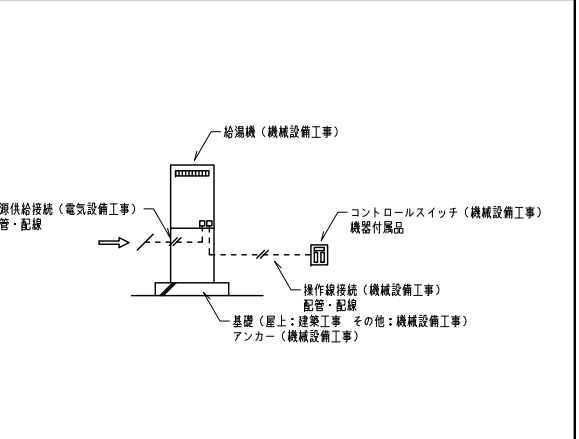
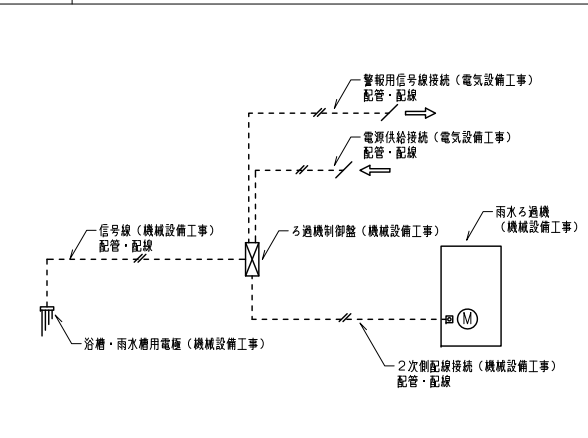
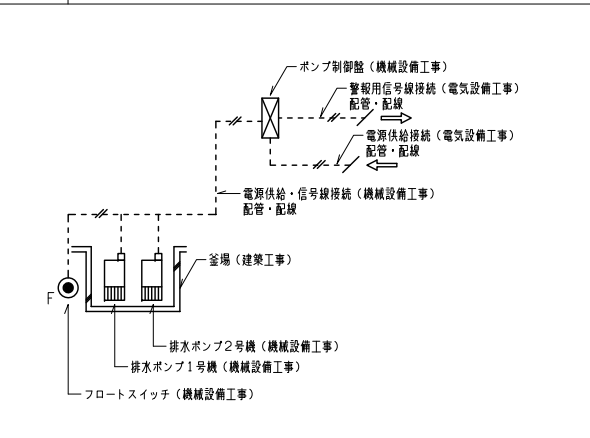
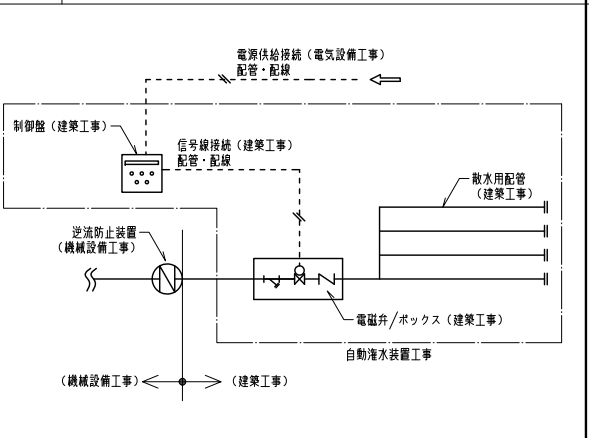
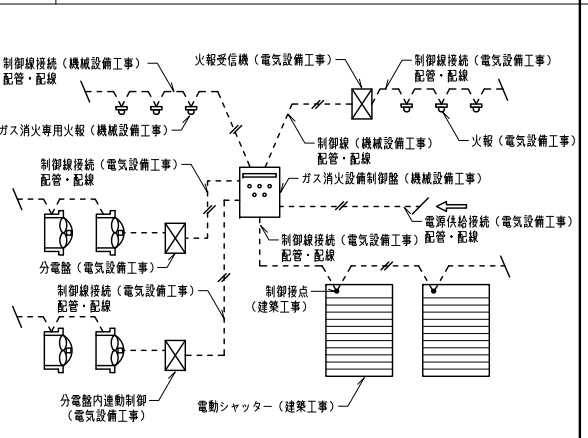
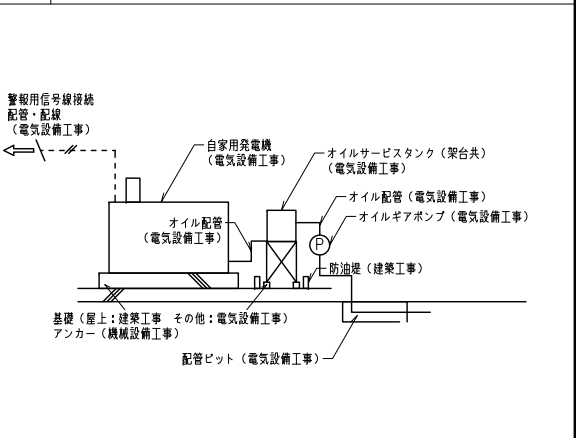
項 目	建	築	電	機	械	施	備 考
	D 建 築	C 外 構	E 昇 降 機	V 電 気	P 衛 生	A 空 調	
A 躯体及び付属							
<input type="checkbox"/> 高架水槽用コンクリート基礎	○						鉄骨架台は衛生工事
<input type="checkbox"/> 屋上設置の冷凍機、冷却塔、排煙機のコンクリート基礎	○						鉄骨架台は空調工事
<input type="checkbox"/> 屋上設置の変電キュービクル、発電機のコンクリート基礎	○						鉄骨架台は電気工事
<input type="checkbox"/> 広告塔、ネオン、看板の基礎及びアンカー	○						
<input type="checkbox"/> 上記以外の機器の基礎及び仕上げ				○	○	○	図示以外は 必要部所が担当
<input type="checkbox"/> 屋上機械基礎の防水及びシーリング	○						防水にからむ基礎のみ
<input type="checkbox"/> 機械室、電気室等の床軽量コンクリート	○						
<input type="checkbox"/> 配線配管ビットのフタ、縁金物及び仕上げ	○						
<input type="checkbox"/> 防油堤	○						
<input type="checkbox"/> 埋設オイルタンクの基礎、隔壁及び充填砂					○		
<input type="checkbox"/> 煙突（煙道を除く）のライニング及び掃除口	○						
<input type="checkbox"/> 重量機器の搬入・搬出用フック	○						
<input type="checkbox"/> 重量機器の床等の補強	○						
<input type="checkbox"/> 発電機点検用！ビーム及びチェーンブロック					○		
<input type="checkbox"/> 屋外設置の受水槽基礎						○	
<input type="checkbox"/> 屋外設置のキュービクル基礎						○	
<input type="checkbox"/> 屋外設置のキュービクル基礎廻りネットフェンス	○						
<input type="checkbox"/> 屋上設備架台床組み（メンテナンスデッキ）	○						
<input type="checkbox"/> 屋上設置のソーラーパネル用基礎	○						
<input type="checkbox"/> ソーラーパネル設置架台・機器取付調整・ ソーラーパネル本体・制御装置・盤本体					○		
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							
B 穴明け及び補強							
<input type="checkbox"/> 鉄骨梁の貫通スリーブ及び同補強	○						
<input type="checkbox"/> R〇梁の貫通スリーブ及び取付	○			○	○	○	人通口は建築工事
■ R〇床、壁の設備関係穴明け、穴埋め及び仕上げ	○			○	○	○	（必要部所が担当、仕上げは 建築へ依頼すること）
<input type="checkbox"/> 同上の防水層を貫通する場合の防水処理	○						
■ 同上の外壁等を貫通する場合の開口部枠外側シーリング処理	○				○	○	（必要部所が担当、仕上げは 建築へ依頼すること）
■ R〇床梁、壁の開口補強	○						
<input type="checkbox"/> 金属板、ALC、ボード、P〇板等の 設備関係切り込み穴明け及び補強					○	○	（必要部所が担当、仕上げは 建築へ依頼すること）
■ 天井の埋込設備器具用の穴明け、天井下地枠及び下地補強				○		○	（必要部所が担当） 下地補強は建築
■ 空調ダクト下の天井吊り金具同補強	○						
<input type="checkbox"/> 防火区画上の未使用スリーブ塞ぎ	○						
<input type="checkbox"/> 〇Aフロアの空調吹き出し穴明け加工	○						タイルカーベット穴明け共
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							
C 化粧仕上げ							
<input type="checkbox"/> 光天井等建築化照明の枠組、内部反射板及び仕上げ	○						
<input type="checkbox"/> システム天井、複合天井等の関係 下地枠組、T・Yバー、見切板、天井板	○						
<input type="checkbox"/> システム天井、複合天井、及び 複合照明器具のアネモ・エアコネクター						○	
<input type="checkbox"/> システム天井、複合天井の照明器具設備プレート	○						
<input type="checkbox"/> 電話交換室のフローリング・ビット	○						
<input type="checkbox"/> フロアダクト用ジャンクションプレートのタイル貼り	○						
<input type="checkbox"/> 排水廚、ハンドホール等化粧フタの仕上りタイル貼り	○	○					
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							

項 目	建	築	電	機	械	施	備 考
	D 建 築	C 外 構	E 昇 降 機	V 電 気	P 衛 生	A 空 調	
D 断熱・防音							
<input type="checkbox"/> 耐火被覆の加工箇所の補強工事	○	○	○	○	○	○	（各加工業者が担当）
<input type="checkbox"/> 機械室等の遮音、吸音工事（扉、吸音壁共）	○						宿泊室含む
<input type="checkbox"/> 地下水槽、蓄熱槽関係断熱工事	○						
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							
E 点検口							
<input type="checkbox"/> ビット関係マンホールフタ、タラップ	○						
■ 床、壁及び天井の点検口	○						
<input type="checkbox"/> トレンチ、シャフトの点検口及び扉	○						
<input type="checkbox"/> EVシャフト感知器の点検口及び扉	○						
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							
F 出入口							
<input type="checkbox"/> 防火扉のレリーズ、煙感知器、制御盤及びその配線			○				
<input type="checkbox"/> 防煙垂壁及びシャッターの開閉装置	○						
<input type="checkbox"/> 電動シャッターの駆動スイッチ、制御盤 押しボタン及びその二次側配管、配線	○						
■ オートドア-電源ボックス以後の二次側配管、配線 （センサーも含む）	○						一次配線は電気工事
<input type="checkbox"/> 電気錠システムの錠、制御盤及び相互配線	○						制御システムは別途工事
<input type="checkbox"/> 入退室、管理システムのセンサー-錠、制御盤及び相互配線			○				制御盤、管理システムは 別途工事
<input type="checkbox"/> 防犯センサー						○	器具に組込むものの取付は 建築工事
<input type="checkbox"/> エアカーテン、吹出口及び運転スイッチ					○		
<input type="checkbox"/> シャッター 水圧開放装置	○						
■ セキュリティーシステム電気錠、電源	○		○				制御システムは別途工事
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							
G 水槽							
<input type="checkbox"/> 湧水、排水、消火、冷却水槽等地下水槽の躯体、 及び内外仕上げ	○						
<input type="checkbox"/> 地下水槽の連通管	○						
<input type="checkbox"/> 各種水槽内点検用タラップ（SUS）	○						
<input type="checkbox"/> 各種水槽の通気管	○						
<input type="checkbox"/> 防火水槽		○					
<input type="checkbox"/> 雨水貯留槽・浸透槽	○						
<input type="checkbox"/>							
H 水廻り							
■ 造付け流し台、既製品の流し台、防水パン、ガス台、 バスユニット、洗面ユニット	○						暮付、化粧カバーも建築工事
■ 既製品の鏡及び既製品の化粧棚	○						
<input type="checkbox"/> 既製品以外の鏡及び化粧棚	○						
<input type="checkbox"/> 衛生設備付属品（ペーパーホルダー、石鹸入れ）					○		
<input type="checkbox"/> 便所手すり、ストレッチャーガード	○						補強共 建築工事
<input type="checkbox"/> 身障者便所の鏡	○						既製品以外は建築工事
■ ステンレス流し台取付のトラップ	○						オーバーフロー共設置のこと
■ 衛生設備取付壁下地	○						
<input type="checkbox"/> ハンドドライヤー					○		
<input type="checkbox"/> 洗濯防水パン	○						排水トラップ付
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							

項 目	建	築	電	機	械	施	備 考
	D 建 築	C 外 構	E 昇 降 機	V 電 気	P 衛 生	A 空 調	
I 排水							
<input type="checkbox"/> 軒樋、壁樋、屋内雨水管（防露共）、ルーフドレイン	○						樋受桁・U字溝等接続迄 建築工事
<input type="checkbox"/> 壁樋受桁		○					
<input type="checkbox"/> 屋外雨水排水溝（フタ共、流末接続迄）		○					
<input type="checkbox"/> 屋外排水廚（フタ共）及び排水管				○			雨水以外
<input type="checkbox"/> 屋内排水溝の縁金物、内部仕上げ及びフタ	○						
<input type="checkbox"/> 樋の電気ヒーター				○			
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							
J 換気							
<input type="checkbox"/> 吸排気用外部ガラリ（壁付）	○						
<input type="checkbox"/> ダクト接続型外部ガラリ（フランジ共）（壁付）	○						
<input type="checkbox"/> 給排気用内部ガラリ、ドアガラリ（防火シャッター付）	○						ドアガラリのみ建築工事
<input type="checkbox"/> 換気扇等の取付枠	○						
<input type="checkbox"/> 換気扇等のウェザーカバー						○	
<input type="checkbox"/> SFD本体の取付及び閉鎖装置						○	
<input type="checkbox"/> 同上煙感連動制御及び配線				○			
<input type="checkbox"/> ダクト接続型外部換気孔						○	
<input type="checkbox"/> 排気用ファン						○	
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							
K 排煙							
<input type="checkbox"/> 排煙トップライト、防煙垂壁の開放装置	○						
<input type="checkbox"/> 排煙口連動用制御盤、煙感知器及び相互配線				○			
<input type="checkbox"/> ダクト内、防煙、防火ダンパー 及び閉鎖装置				○			
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							
L 昇降機・クレーン等							
<input type="checkbox"/> 中間ビームの設置工事	○						
<input type="checkbox"/> レールブラケット固定用ファスナー設置工事			○				
<input type="checkbox"/> 機械室の軽量コンクリート打設、穴明け及び仕上げ	○						
<input type="checkbox"/> 敷居コンクリート持出し及び乗場、 機器取付後の出入口廻り仕上げ	○						
<input type="checkbox"/> 三方枠、敷居取付用下地及び三方枠取付後の裏埋め	○						
<input type="checkbox"/> 各階押ボタン及び乗場表示灯の取付用穴開け、 下地及び穴埋め	○						
<input type="checkbox"/> 機械室内の手元スイッチ及び エレベーター制御盤一次端子迄の電源配線				○			
<input type="checkbox"/> エレベーター機械室の機械換気						○	
<input type="checkbox"/> エレベーター機械の基礎	○						
<input type="checkbox"/> エレベーター機械室の断熱	○						
<input type="checkbox"/> インターホンの昇降路外の配線				○			建家外は別途電気工事 （本館事務室まで）
<input type="checkbox"/> クレーン用トローリー・安全カバー							クレーン工事
<input type="checkbox"/> クレーン用レール・ストッパー	○						
<input type="checkbox"/> クレーン用レールガード	○						ウレタン車輪用精度確保、 繋ぎ目溶接
<input type="checkbox"/> クレーン用点検台・点検階段・観綱	○						
<input type="checkbox"/> クレーン用一次側電源				○			
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							

項 目	建	築	電	機	械	施	備 考
	D 建 築	C 外 構	E 昇 降 機	V 電 気	P 衛 生	A 空 調	
M 監視・制御							
<input type="checkbox"/> 合併浄化槽の制御盤及び二次側の電動機端子迄の配線					○		
<input type="checkbox"/> 消火ポンプユニット、給水ユニット等の 制御盤及び二次側配線					○		
<input type="checkbox"/> 監視盤に組込む空調用の計測記録、機器類						○	
<input type="checkbox"/> 電気計測用検出器具、その変換器				○			
<input type="checkbox"/> 同上変換器（盤）より監視盤迄の配線				○			
<input type="checkbox"/> 冷凍機、冷水ポンプ、冷却水ポンプ、冷却塔 循環ポンプ等のインターロック連動系統配線				○			
<input type="checkbox"/> 空調動力制御盤より空調自動制御盤への電源供給						○	
<input type="checkbox"/> ボイラーの感震装置、緊急遮断及びその配線					○	○	
<input type="checkbox"/> オイルサーピスタンク及び液面感知器					○	○	
<input type="checkbox"/> 煙導の煙濃度監視装置の表示盤 （遠方表示接点付）感知器及びその記録					○	○	
<input type="checkbox"/> 各種水槽の液面感知器及び配線				○			
<input type="checkbox"/> 火災発信機併設型の消火栓（架台、穴空け、加工共）					○		
<input type="checkbox"/> 屋根、樋、床の凍結防止ヒーター-制御盤及び二次側配線				○			
<input type="checkbox"/> 配管類の凍結防止ヒーター、制御盤及び二次側配線				○			（必要部所が担当）
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							
N 撤去							
<input type="checkbox"/> 既存樹木の伐採		○					
<input type="checkbox"/> 既存樹木の伐根		○					
<input type="checkbox"/> 既存建築物・工作物の解体処分	○	○					外構図記載の範囲
<input type="checkbox"/> 舗装、給排水等インフラ関連の撤去・処分		○		○	○		
<input type="checkbox"/> 上記に対する切り直し工事							○
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							
O その他							
■ 正規メーター取付後の電気・水の基本料金							○ 施主負担
■ 正規メーター取付後の電気・水の使用料金	○		○	○	○	○	関係業者の共同負担
■ 消火器ボックス（埋込型）	○						
■ 消火器ボックス（スタンド型）							○
<input type="checkbox"/> 消火器本体							○
<input type="checkbox"/> 各種負担金							○
<input type="checkbox"/> 地中障害対策							○
<input type="checkbox"/> セキュリティ設備				○			○ 配管は本工事 （その他は別途工事）
■ サイン	○						
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							
<input type="checkbox"/>							

<p>■01 天井開口設置機器（空調機器・制気口・照明他）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 ハット（機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>空調機器・制気口設置 （機械設備工事）</p> <p>開口補強（建築工事）</p> <p>照明（電気設備工事）</p> <p>吊ボルト・振止め補強 ハット（電気設備工事）</p> <p>スミ出し 天井開口（機械設備工事）</p> <p>スミ出し 天井開口（機械設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>点検口裏面表示（建築・電気・機械設備工事）</p> <p>※振止め補強は「天井吊り設備機器耐震固定標準仕様」を参照のこと。</p>	<p>□02 外壁ガラリ</p> <p>屋外</p> <p>屋内</p> <p>外壁ガラリ（建築工事）</p> <p>防鳥網（建築工事）</p> <p>ダクト（機械設備工事）</p> <p>F.D（必要な場合、機械設備工事）</p> <p>点検口（機械設備工事）</p> <p>チャンバーBOX（機械設備工事） 延焼範囲はメッキ鋼板 t=1.6</p> <p>チャンバーBOX取付用フランジ（建築工事）</p>	<p>□03 ミニキッチン</p> <p>排気ダクト接続（機械設備工事）</p> <p>レンジフード （機械設備工事）</p> <p>各種水栓（建築工事）</p> <p>オーバーフロー（建築工事）</p> <p>排水トラップ（建築工事）</p> <p>排水管接続（機械設備工事）</p> <p>ミニキッチン本体（建築工事）</p> <p>コンロ・照明電源接続（建築工事） 配管・配線</p> <p>コンセント（電気設備工事） 電源供給（電気設備工事）</p> <p>電気温水機（機械設備工事）</p> <p>床補強（建築工事）</p> <p>給水・給湯管接続（機械設備工事）</p>	<p>■04 流し台（造作）</p> <p>水せっけん入（機械設備工事）</p> <p>流し台本体（建築工事）</p> <p>オーバーフロー（建築工事）</p> <p>排水トラップ（建築工事）</p> <p>給水・給湯管接続（機械設備工事）</p> <p>床補強（建築工事）</p> <p>ライニング（建築工事）</p> <p>水栓（機械設備工事）</p> <p>電気温水機（機械設備工事）</p> <p>コンセント（電気設備工事）</p> <p>電源供給接続（電気設備工事） 配管・配線</p> <p>排水管接続（機械設備工事）</p>	<p>■05 カウンター式洗面器</p> <p>化粧箱（既製品含め建築工事）</p> <p>電源供給接続（電気設備工事） 配管・配線</p> <p>手すり（建築工事）</p> <p>壁下地補強（建築工事）</p> <p>自動水栓（機械設備工事）</p> <p>カウンター（建築工事）</p> <p>壁下地補強（建築工事）</p> <p>電気温水機（機械設備工事）</p> <p>コンセント（電気設備工事）</p> <p>電源供給（電気設備工事）</p> <p>洗面器（機械設備工事）</p> <p>壁下地補強（建築工事）</p> <p>排水管接続（機械設備工事）</p> <p>給水・給湯管接続（機械設備工事）</p>
<p>□06 洋風・和風大便器（自動フラッシュバルブ）</p> <p>自動フラッシュバルブ制御盤（機械設備工事） （大便器コントローラー） 同上点検口（建築工事）</p> <p>電源供給接続（電気設備工事） 配管・配線</p> <p>ケーブル接続（機械設備工事） 配管・配線</p> <p>タッチスイッチ（機械設備工事）</p> <p>紙巻器（機械設備工事）</p> <p>壁下地補強（建築工事）</p> <p>L形手すり（建築工事）</p> <p>便器（機械設備工事）</p> <p>跳上げ手すり（建築工事）</p> <p>壁下地補強（建築工事）</p> <p>※壁掛大便器取付スタンド（機械設備工事）</p>	<p>□07 小便器</p> <p>電源供給接続（電気設備工事） 配管・配線</p> <p>ライニング（建築工事）</p> <p>手すり（建築工事）</p> <p>壁下地補強（建築工事）</p> <p>感知フラッシュバルブ（機械設備工事）</p> <p>ストール小便器（機械設備工事）</p> <p>壁下地補強（建築工事）</p>	<p>□08 ユニットバス・シャワー</p> <p>排気ファン・ダクト（機械設備工事）</p> <p>排気ダクト接続（機械設備工事）</p> <p>電源供給接続（電気設備工事） 配管・配線</p> <p>照明（ユニット付属建築工事）</p> <p>手すり（ユニット付属建築工事）</p> <p>ユニット本体（建築工事）</p> <p>サーモスタットシャワー水栓 （ユニット付属建築工事）</p> <p>給水・給湯管接続（機械設備工事）</p> <p>排水管接続（機械設備工事）</p> <p>排水トラップ（ユニット付属建築工事）</p>	<p>□09 自動ドア</p> <p>操作線接続（建築工事） 配管・配線</p> <p>人感センサー（建築工事）</p> <p>電源供給接続（電気設備工事） 配管・配線</p> <p>火報信号線接続（電気設備工事） 配管・配線</p> <p>電源接続（電気設備工事） 配管・配線</p> <p>電源スイッチ（電気設備工事）</p> <p>タッチスイッチ（建築工事）</p> <p>自動ドア（建築工事）</p>	<p>■10 電気錠</p> <p>電源供給接続（電気設備工事） 配管・配線</p> <p>火報信号線接続（電気設備工事） 配管・配線</p> <p>制御盤（セキュリティ工事）</p> <p>制御線接続（電気設備工事） 配線（セキュリティ工事）</p> <p>制御線接続（電気設備工事） 配線（セキュリティ工事）</p> <p>電気錠ドア（建築工事）</p>
<p>■11 ファン関係（有圧換気扇・天井扇・全熱交換機他）</p> <p>ウェザーカバー（機械設備工事）</p> <p>電源供給接続（電気設備工事） 配管・配線</p> <p>ファン（機械設備工事）</p> <p>有圧換気扇（機械設備工事）</p> <p>取付枠（建築工事）</p> <p>操作線接続（電気設備工事） 配管・配線</p> <p>スイッチ（電気設備工事） ただし強制分は機械設備工事支給 24時間換気表示（機械設備工事）</p>	<p>□12 エレベーター</p> <p>点検口付火災報知器（電気設備工事）</p> <p>制御盤以降配管・配線（ELV工事）</p> <p>ELV本体（ELV工事）</p> <p>1φ電源供給接続（電気設備工事） 配管・配線</p> <p>インターホン通線（電気設備工事） 配管・配線</p> <p>放送通線（電気設備工事） 配管・配線</p> <p>監視通線（電気設備工事） 配管・配線</p> <p>ELV制御盤（ELV工事）</p> <p>1φ電源供給接続（電気設備工事） 配管・配線</p> <p>3φ電源供給接続（電気設備工事） 配管・配線</p> <p>メンテナンス用コンセント（電気設備工事）</p>	<p>□13 電動シャッター</p> <p>操作線接続（建築工事） 配管・配線</p> <p>電源供給接続（電気設備工事） 配管・配線</p> <p>火報信号線接続（電気設備工事） 配管・配線</p> <p>操作線接続（建築工事） 配管・配線</p> <p>操作スイッチ（建築工事）</p> <p>シャッター本体（建築工事）</p> <p>水圧解放装置（建築工事）</p> <p>人感センサー（建築工事）</p> <p>制御装置（建築工事）</p>	<p>■14 消火器</p> <p>壁埋込BOX（建築工事）</p> <p>スタンド型（※2）</p> <p>消火器本体（※1）</p> <p>消火器本体（※1）</p> <p>※1：消火器本体の区分は、工事区分表による。 ※2：スタンド型置台の区分は、工事区分表による。</p>	<p>□15 屋内消火栓</p> <p>火報信号線接続（電気設備工事） 配管・配線</p> <p>火報信号線接続（電気設備工事） 配管・配線</p> <p>表示灯・発信機（電気設備工事）</p> <p>消火栓</p> <p>消火栓</p> <p>壁開口・補強（建築工事）</p> <p>保護ボール（建築工事）</p> <p>露出形屋内消火栓（機械設備工事）</p> <p>架台（機械設備工事）</p> <p>壁埋込形屋内消火栓（機械設備工事）</p> <p>消火管接続（機械設備工事）</p> <p>消火管接続（機械設備工事）</p>
<p>□16 消火ポンプユニット（屋内外消火栓・スプリンクラー）</p> <p>警報用信号線接続（電気設備工事） 配管・配線</p> <p>電極（電気設備工事）</p> <p>消火用充電機（機械設備工事）</p> <p>信号線接続（電気設備工事） 配管・配線</p> <p>消火水適用電極（電気設備工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>信号線接続（電気設備工事） 配管・配線</p> <p>制御盤（機械設備工事）機器付属品</p> <p>電源供給接続（電気設備工事） 配管・配線</p> <p>警報用信号線接続（電気設備工事） 配管・配線</p> <p>消火ポンプユニット（機械設備工事）</p> <p>基礎（屋上：建築工事 その他：機械設備工事）</p> <p>消火水櫃（建築工事）躯体利用</p>	<p>□17 防火水櫃</p> <p>設置機庫（外構工事）</p> <p>マンホール（外構工事）</p> <p>補給水配管（機械設備工事）</p> <p>自動補給装置（機械設備工事）</p> <p>防火水櫃本体：コンクリート製品（外構工事）</p> <p>地面設置表示（外構工事）</p>	<p>□18 天井クレーン</p> <p>クレーン本体（クレーン工事）</p> <p>給電ローリー（クレーン工事）</p> <p>クレーン本体への電源供給接続（電気設備工事） 配管・配線</p> <p>電源供給接続（電気設備工事） 配管・配線</p> <p>手元開閉器（電気設備工事）</p>	<p>□19 電動スクリーン</p> <p>スクリーンBOX（建築工事）</p> <p>制御装置（建築工事）</p> <p>電動スクリーン（建築工事）</p> <p>電源供給接続（電気設備工事） 配管・配線</p> <p>操作線接続（電気設備工事） 配管・配線</p> <p>操作スイッチ（建築工事）</p>	<p>□20 大型モニター（天井吊・壁掛）</p> <p>吊材7ホト（建築工事）</p> <p>天井吊金具（建築工事）</p> <p>点検口（建築工事）</p> <p>モニター（AV工事）</p> <p>モニター（電気設備工事）</p> <p>取付金具（電気設備工事）</p> <p>下地補強（建築工事）</p> <p>（天井吊の場合）</p> <p>（壁掛の場合）</p> <p>※ 本工事においてはプロジェクター用吊架台に適用</p>

□21	どん帳・舞台吊物・電動欄間・バスケット板 等	■22	ファン関係（連動運転）	□23	ファン関係（サーモ運転）	□24	ファン関係（タイマー運転）	■25	全熱交換機
									
■26	EHP空調機	□27	自動給水装置	□28	水位センサーシステム（自動給水装置）	□29	受水槽耐震遮断弁	□30	屋外壁掛・自立型給湯機
									
□31	浴槽・雨水ろ過装置	□32	汚水・地下ピット排水ポンプ	□33	屋上・壁面緑化工事	□34	ガス系消火設備	□35	自家用発電設備
									
□		□		□		□		□	

01 器具取付高さ（事務所）	02 器具取付高さ（共同住宅）	03 器具取付高さ（工場）※天井高さ10m程度
04 器具取付高さ（高齢者対応）	05 機器取付高さ	06 扉廻り配線器具取付（片開き扉）
07 扉廻り配線器具取付（両開き扉）	08 扉廻り配線器具取付（親子扉1）	09 扉廻り配線器具取付（親子扉2）
10 トイレ1	11 トイレ2	12 トイレ3
13 洗面	14 キッチン	15 配線器具
16 注記	04 器具取付高さ（事務所）	
<p>配線器具</p> <ol style="list-style-type: none">最終的な取付位置は監督員と協議する。同一壁面に各種の機器を取り付ける場合は、扉からの離れを考慮する。建具の勝手（割削に取付）との取り扱いに注意すること。横に並ぶ配線器具は上端合せとする。事務室等広い部屋は、室内の独立柱に1スパンごとに分散し、また将来の備仕切増設等を考慮して、柱芯に設置しない。共同住宅の場合BOXを背中合わせにしない事。（住宅性能評価）タイル仕上げ面の配線器具の取付位置は、タイル目地を考慮のうえ決める。 <p>機器類</p> <ol style="list-style-type: none">最終的な取付位置は監督員と協議する。天井と機器の距離はその部屋の天井高さによりバランスを考慮する。分電・雑音・警報器、受信機等が集約される場合は最高高さの壁の上端合せとする。ロータンク付洋風便器を使用の場合は寸法を検討する。	05 機器取付高さ	
06 扉廻り配線器具取付（片開き扉）		07 扉廻り配線器具取付（両開き扉）
08 扉廻り配線器具取付（親子扉1）		09 扉廻り配線器具取付（親子扉2）
10 トイレ1		11 トイレ2
12 トイレ3		13 洗面
14 キッチン		15 配線器具
16 注記		04 器具取付高さ（事務所）
<p>配線器具</p> <ol style="list-style-type: none">最終的な取付位置は監督員と協議する。同一壁面に各種の機器を取り付ける場合は、扉からの離れを考慮する。建具の勝手（割削に取付）との取り扱いに注意すること。横に並ぶ配線器具は上端合せとする。事務室等広い部屋は、室内の独立柱に1スパンごとに分散し、また将来の備仕切増設等を考慮して、柱芯に設置しない。共同住宅の場合BOXを背中合わせにしない事。（住宅性能評価）タイル仕上げ面の配線器具の取付位置は、タイル目地を考慮のうえ決める。 <p>機器類</p> <ol style="list-style-type: none">最終的な取付位置は監督員と協議する。天井と機器の距離はその部屋の天井高さによりバランスを考慮する。分電・雑音・警報器、受信機等が集約される場合は最高高さの壁の上端合せとする。ロータンク付洋風便器を使用の場合は寸法を検討する。		05 機器取付高さ
06 扉廻り配線器具取付（片開き扉）		07 扉廻り配線器具取付（両開き扉）
08 扉廻り配線器具取付（親子扉1）		09 扉廻り配線器具取付（親子扉2）
10 トイレ1		11 トイレ2
12 トイレ3		13 洗面
14 キッチン		15 配線器具
16 注記		04 器具取付高さ（事務所）
<p>配線器具</p> <ol style="list-style-type: none">最終的な取付位置は監督員と協議する。同一壁面に各種の機器を取り付ける場合は、扉からの離れを考慮する。建具の勝手（割削に取付）との取り扱いに注意すること。横に並ぶ配線器具は上端合せとする。事務室等広い部屋は、室内の独立柱に1スパンごとに分散し、また将来の備仕切増設等を考慮して、柱芯に設置しない。共同住宅の場合BOXを背中合わせにしない事。（住宅性能評価）タイル仕上げ面の配線器具の取付位置は、タイル目地を考慮のうえ決める。 <p>機器類</p> <ol style="list-style-type: none">最終的な取付位置は監督員と協議する。天井と機器の距離はその部屋の天井高さによりバランスを考慮する。分電・雑音・警報器、受信機等が集約される場合は最高高さの壁の上端合せとする。ロータンク付洋風便器を使用の場合は寸法を検討する。		05 機器取付高さ
06 扉廻り配線器具取付（片開き扉）		07 扉廻り配線器具取付（両開き扉）
08 扉廻り配線器具取付（親子扉1）		09 扉廻り配線器具取付（親子扉2）
10 トイレ1		11 トイレ2
12 トイレ3		13 洗面
14 キッチン		15 配線器具
16 注記		04 器具取付高さ（事務所）
<p>配線器具</p> <ol style="list-style-type: none">最終的な取付位置は監督員と協議する。同一壁面に各種の機器を取り付ける場合は、扉からの離れを考慮する。建具の勝手（割削に取付）との取り扱いに注意すること。横に並ぶ配線器具は上端合せとする。事務室等広い部屋は、室内の独立柱に1スパンごとに分散し、また将来の備仕切増設等を考慮して、柱芯に設置しない。共同住宅の場合BOXを背中合わせにしない事。（住宅性能評価）タイル仕上げ面の配線器具の取付位置は、タイル目地を考慮のうえ決める。 <p>機器類</p> <ol style="list-style-type: none">最終的な取付位置は監督員と協議する。天井と機器の距離はその部屋の天井高さによりバランスを考慮する。分電・雑音・警報器、受信機等が集約される場合は最高高さの壁の上端合せとする。ロータンク付洋風便器を使用の場合は寸法を検討する。		05 機器取付高さ
06 扉廻り配線器具取付（片開き扉）		07 扉廻り配線器具取付（両開き扉）
08 扉廻り配線器具取付（親子扉1）		09 扉廻り配線器具取付（親子扉2）
10 トイレ1		11 トイレ2
12 トイレ3		13 洗面
14 キッチン		15 配線器具
16 注記		04 器具取付高さ（事務所）
<p>配線器具</p> <ol style="list-style-type: none">最終的な取付位置は監督員と協議する。同一壁面に各種の機器を取り付ける場合は、扉からの離れを考慮する。建具の勝手（割削に取付）との取り扱いに注意すること。横に並ぶ配線器具は上端合せとする。事務室等広い部屋は、室内の独立柱に1スパンごとに分散し、また将来の備仕切増設等を考慮して、柱芯に設置しない。共同住宅の場合BOXを背中合わせにしない事。（住宅性能評価）タイル仕上げ面の配線器具の取付位置は、タイル目地を考慮のうえ決める。 <p>機器類</p> <ol style="list-style-type: none">最終的な取付位置は監督員と協議する。天井と機器の距離はその部屋の天井高さによりバランスを考慮する。分電・雑音・警報器、受信機等が集約される場合は最高高さの壁の上端合せとする。ロータンク付洋風便器を使用の場合は寸法を検討する。		05 機器取付高さ
06 扉廻り配線器具取付（片開き扉）		07 扉廻り配線器具取付（両開き扉）
08 扉廻り配線器具取付（親子扉1）		09 扉廻り配線器具取付（親子扉2）
10 トイレ1		11 トイレ2
12 トイレ3		13 洗面
14 キッチン		15 配線器具
16 注記		04 器具取付高さ（事務所）
<p>配線器具</p> <ol style="list-style-type: none">最終的な取付位置は監督員と協議する。同一壁面に各種の機器を取り付ける場合は、扉からの離れを考慮する。建具の勝手（割削に取付）との取り扱いに注意すること。横に並ぶ配線器具は上端合せとする。事務室等広い部屋は、室内の独立柱に1スパンごとに分散し、また将来の備仕切増設等を考慮して、柱芯に設置しない。共同住宅の場合BOXを背中合わせにしない事。（住宅性能評価）タイル仕上げ面の配線器具の取付位置は、タイル目地を考慮のうえ決める。 <p>機器類</p> <ol style="list-style-type: none">最終的な取付位置は監督員と協議する。天井と機器の距離はその部屋の天井高さによりバランスを考慮する。分電・雑音・警報器、受信機等が集約される場合は最高高さの壁の上端合せとする。ロータンク付洋風便器を使用の場合は寸法を検討する。		05 機器取付高さ
06 扉廻り配線器具取付（片開き扉）		07 扉廻り配線器具取付（両開き扉）
08 扉廻り配線器具取付（親子扉1）		09 扉廻り配線器具取付（親子扉2）
10 トイレ1		11 トイレ2
12 トイレ3		13 洗面
14 キッチン		15 配線器具
16 注記		04 器具取付高さ（事務所）
<p>配線器具</p> <ol style="list-style-type: none">最終的な取付位置は監督員と協議する。同一壁面に各種の機器を取り付ける場合は、扉からの離れを考慮する。建具の勝手（割削に取付）との取り扱いに注意すること。横に並ぶ配線器具は上端合せとする。事務室等広い部屋は、室内の独立柱に1スパンごとに分散し、また将来の備仕切増設等を考慮して、柱芯に設置しない。共同住宅の場合BOXを背中合わせにしない事。（住宅性能評価）タイル仕上げ面の配線器具の取付位置は、タイル目地を考慮のうえ決める。 <p>機器類</p> <ol style="list-style-type: none">最終的な取付位置は監督員と協議する。天井と機器の距離はその部屋の天井高さによりバランスを考慮する。分電・雑音・警報器、受信機等が集約される場合は最高高さの壁の上端合せとする。ロータンク付洋風便器を使用の場合は寸法を検討する。		05 機器取付高さ
06 扉廻り配線器具取付（片開き扉）		07 扉廻り配線器具取付（両開き扉）
08 扉廻り配線器具取付（親子扉1）		09 扉廻り配線器具取付（親子扉2）
10 トイレ1		11 トイレ2
12 トイレ3		13 洗面
14 キッチン		15 配線器具
16 注記		04 器具取付高さ（事務所）
<p>配線器具</p> <ol style="list-style-type: none">最終的な取付位置は監督員と協議する。同一壁面に各種の機器を取り付ける場合は、扉からの離れを考慮する。建具の勝手（割削に取付）との取り扱いに注意すること。横に並ぶ配線器具は上端合せとする。事務室等広い部屋は、室内の独立柱に1スパンごとに分散し、また将来の備仕切増設等を考慮して、柱芯に設置しない。共同住宅の場合BOXを背中合わせにしない事。（住宅性能評価）タイル仕上げ面の配線器具の取付位置は、タイル目地を考慮のうえ決める。 <p>機器類</p> <ol style="list-style-type: none">最終的な取付位置は監督員と協議する。天井と機器の距離はその部屋の天井高さによりバランスを考慮する。分電・雑音・警報器、受信機等が集約される場合は最高高さの壁の上端合せとする。ロータンク付洋風便器を使用の場合は寸法を検討する。		05 機器取付高さ
06 扉廻り配線器具取付（片開き扉）		07 扉廻り配線器具取付（両開き扉）
08 扉廻り配線器具取付（親子扉1）		09 扉廻り配線器具取付（親子扉2）
10 トイレ1		11 トイレ2
12 トイレ3		13 洗面
14 キッチン		15 配線器具
16 注記		04 器具取付高さ（事務所）
<p>配線器具</p> <ol style="list-style-type: none">最終的な取付位置は監督員と協議する。同一壁面に各種の機器を取り付ける場合は、扉からの離れを考慮する。建具の勝手（割削に取付）との取り扱いに注意すること。横に並ぶ配線器具は上端合せとする。事務室等広い部屋は、室内の独立柱に1スパンごとに分散し、また将来の備仕切増設等を考慮して、柱芯に設置しない。共同住宅の場合BOXを背中合わせにしない事。（住宅性能評価）タイル仕上げ面の配線器具の取付位置は、タイル目地を考慮のうえ決める。 <p>機器類</p> <ol style="list-style-type: none">最終的な取付位置は監督員と協議する。天井と機器の距離はその部屋の天井高さによりバランスを考慮する。分電・雑音・警報器、受信機等が集約される場合は最高高さの壁の上端合せとする。ロータンク付洋風便器を使用の場合は寸法を検討する。		05 機器取付高さ
06 扉廻り配線器具取付（片開き扉）		07 扉廻り配線器具取付（両開き扉）
08 扉廻り配線器具取付（親子扉1）		09 扉廻り配線器具取付（親子扉2）
10 トイレ1		11 トイレ2
12 トイレ3		13 洗面
14 キッチン		15 配線器具
16 注記		04 器具取付高さ（事務所）
<p>配線器具</p> <ol style="list-style-type: none">最終的な取付位置は監督員と協議する。同一壁面に各種の機器を取り付ける場合は、扉からの離れを考慮する。建具の勝手（割削に取付）との取り扱いに注意すること。横に並ぶ配線器具は上端合せとする。事務室等広い部屋は、室内の独立柱に1スパンごとに分散し、また将来の備仕切増設等を考慮して、柱芯に設置しない。共同住宅の場合BOXを背中合わせにしない事。（住宅性能評価）タイル仕上げ面の配線器具の取付位置は、タイル目地を考慮のうえ決める。 <p>機器類</p> <ol style="list-style-type: none">最終的な取付位置は監督員と協議する。天井と機器の距離はその部屋の天井高さによりバランスを考慮する。分電・雑音・警報器、受信機等が集約される場合は最高高さの壁の上端合せとする。ロータンク付洋風便器を使用の場合は寸法を検討する。		05 機器取付高さ
06 扉廻り配線器具取付（片開き扉）		07 扉廻り配線器具取付（両開き扉）
08 扉廻り配線器具取付（親子扉1）		09 扉廻り配線器具取付（親子扉2）
10 トイレ1		11 トイレ2
12 トイレ3		13 洗面
14 キッチン		15 配線器具
16 注記		04 器具取付高さ（事務所）
<p>配線器具</p> <ol style="list-style-type: none">最終的な取付位置は監督員と協議する。同一壁面に各種の機器を取り付ける場合は、扉からの離れを考慮する。建具の勝手（割削に取付）との取り扱いに注意すること。横に並ぶ配線器具は上端合せとする。事務室等広い部屋は、室内の独立柱に1スパンごとに分散し、また将来の備仕切増設等を考慮して、柱芯に設置しない。共同住宅の場合BOXを背中合わせにしない事。（住宅性能評価）タイル仕上げ面の配線器具の取付位置は、タイル目地を考慮のうえ決める。 <p>機器類</p> <ol style="list-style-type: none">最終的な取付位置は監督員と協議する。天井と機器の距離はその部屋の天井高さによりバランスを考慮する。分電・雑音・警報器、受信機等が集約される場合は最高高さの壁の上端合せとする。ロータンク付洋風便器を使用の場合は寸法を検討する。		05 機器取付高さ
06 扉廻り配線器具取付（片開き扉）		07 扉廻り配線器具取付（両開き扉）
08 扉廻り配線器具取付（親子扉1）		09 扉廻り配線器具取付（親子扉2）
10 トイレ1		11 トイレ2
12 トイレ3		13 洗面
14 キッチン		15 配線器具
16 注記		04 器具取付高さ（事務所）
<p>配線器具</p> <ol style="list-style-type: none">最終的な取付位置は監督員と協議する。同一壁面に各種の機器を取り付ける場合は、扉からの離れを考慮する。建具の勝手（割削に取付）との取り扱いに注意すること。横に並ぶ配線器具は上端合せとする。事務室等広い部屋は、室内の独立柱に1スパンごとに分散し、また将来の備仕切増設等を考慮して、柱芯に設置しない。共同住宅の場合BOXを背中合わせにしない事。（住宅性能評価）タイル仕上げ面の配線器具の取付位置は、タイル目地を考慮のうえ決める。 <p>機器類</p> <ol style="list-style-type: none">最終的な取付位置は監督員と協議する。天井と機器の距離はその部屋の天井高さによりバランスを考慮する。分電・雑音・警報器、受信機等が集約される場合は最高高さの壁の上端合せとする。ロータンク付洋風便器を使用の場合は寸法を検討する。		05 機器取付高さ
06 扉廻り配線器具取付（片開き扉）		07 扉廻り配線器具取付（両開き扉）
08 扉廻り配線器具取付（親子扉1）		09 扉廻り配線器具取付（親子扉2）
10 トイレ1		11 トイレ2
12 トイレ3		13 洗面
14 キッチン		15 配線器具
16 注記		04 器具取付高さ（事務所）
<p>配線器具</p> <ol style="list-style-type: none">最終的な取付位置は監督員と協議する。同一壁面に各種の機器を取り付ける場合は、扉からの離れを考慮する。建具の勝手（割削に取付）との取り扱いに注意すること。横に並ぶ配線器具は上端合せとする。事務室等広い部屋は、室内の独立柱に1スパンごとに分散し、また将来の備仕切増設等を考慮して、柱芯に設置しない。共同住宅の場合BOXを背中合わせにしない事。（住宅性能評価）タイル仕上げ面の配線器具の取付位置は、タイル目地を考慮のうえ決める。 <p>機器類</p> <ol style="list-style-type: none">最終的な取付位置は監督員と協議する。天井と機器の距離はその部屋の天井高さによりバランスを考慮する。分電・雑音・警報器、受信機等が集約される場合は最高高さの壁の上端合せとする。ロータンク付洋風便器を使用の場合は寸法を検討する。		05 機器取付高さ
06 扉廻り配線器具取付（片開き扉）		07 扉廻り配線器具取付（両開き扉）
08 扉廻り配線器具取付（親子扉1）		09 扉廻り配線器具取付（親子扉2）
10 トイレ1		11 トイレ2
12 トイレ3		13 洗面
14 キッチン		15 配線器具
16 注記		04 器具取付高さ（事務所）
<p>配線器具</p> <ol style="list-style-type: none">最終的な取付位置は監督員と協議する。同一壁面に各種の機器を取り付ける場合は、扉からの離れを考慮する。建具の勝手（割削に取付）との取り扱いに注意すること。横に並ぶ配線器具は上端合せとする。事務室等広い部屋は、室内の独立柱に1スパンごとに分散し、また将来の備仕切増設等を考慮して、柱芯に設置しない。共同住宅の場合BOXを背中合わせにしない事。（住宅性能評価）タイル仕上げ面の配線器具の取付位置は、タイル目地を考慮のうえ決める。 <p>機器類</p> <ol style="list-style-type: none">最終的な取付位置は監督員と協議する。天井と機器の距離はその部屋の天井高さによりバランスを考慮する。分電・雑音・警報器、受信機等が集約される場合は最高高さの壁の上端合せとする。ロータンク付洋風便器を使用の場合は寸法を検討する。		05 機器取付高さ
06 扉廻り配線器具取付（片開き扉）		07 扉廻り配線器具取付（両開き扉）
08 扉廻り配線器具取付（親子扉1）		09 扉廻り配線器具取付（親子扉2）
10 トイレ1		11 トイレ2
12 トイレ3		13 洗面
14 キッチン		15 配線器具
16 注記		04 器具取付高さ（事務所）
<p>配線器具</p> <ol style="list-style-type: none">最終的な取付位置は監督員と協議する。同一壁面に各種の機器を取り付ける場合は、扉からの離れを考慮する。建具の勝手（割削に取付）との取り扱いに注意すること。横に並ぶ配線器具は上端合せとする。事務室等広い部屋は、室内の独立柱に1スパンごとに分散し、また将来の備仕切増設等を考慮して、柱芯に設置しない。共同住宅の場合BOXを背中合わせにしない事。（住宅性能評価）タイル仕上げ面の配線器具の取付位置は、タイル目地を考慮のうえ決める。 <p>機器類</p> <ol style="list-style-type: none">最終的な取付位置は監督員と協議する。天井と機器の距離はその部屋の天井高さによりバランスを考慮する。分電・雑音・警報器、受信機等が集約される場合は最高高さの壁の上端合せとする。ロータンク付洋風便器を使用の場合は寸法を検討する。		05 機器取付高さ
06 扉廻り配線器具取付（片開き扉）		07 扉廻り配線器具取付（両開き扉）
08 扉廻り配線器具取付（親子扉1）		09 扉廻り配線器具取付（親子扉2）
10 トイレ1		11 トイレ2
12 トイレ3		13 洗面
14 キッチン		15 配線器具
16 注記		04 器具取付高さ（事務所）
<p>配線器具</p> <ol style="list-style-type: none">最終的な取付位置は監督員と協議する。同一壁面に各種の機器を取り付ける場合は、扉からの離れを考慮する。建具の勝手（割削に取付）との取り扱いに注意すること。横に並ぶ配線器具は上端合せとする。事務室等広い部屋は、室内の独立柱に1スパンごとに分散し、また将来の備仕切増設等を考慮して、柱芯に設置しない。共同住宅の場合BOXを背中合わせにしない事。（住宅性能評価）タイル仕上げ面の配線器具の		

鋼製壁下地 乾式ボード壁 開口補強

■天井内高さが小さい場合

■天井内高さが大きい場合

鋼製壁下地 乾式ボード壁 (遮音壁)

ランナーが野縁と直角の場合 (断熱材打込取合い)

側部 天井高の異なる場合

鋼製壁下地 乾式ボード壁 (遮音壁)

ボード継目をかくす場合の目地の設け方

部位	目地種類	壁のボード張り仕様
たて継目	伸縮目地	5~9m程度に設ける
よこ継目	継目処理目地	簡易工法 (天井内目地は除く)
その他 (天井内の継目)	突付け無処理	-

1.耐火性能壁の伸縮目地は不燃GB+9.5増貼りの上設置する

鋼製壁下地 乾式ボード壁 石こうボード壁 継目処理目地

継目処理目地の種類

1.基本的にボードの横ジョイントは設けず、長尺の物を使用すること。
やむを得ず設ける場合は千鳥配置とし横ジョイントは連続させない。

鋼製壁下地 乾式ボード壁 石こうボード壁 亀裂防止 特殊部位の目地

異種下地にまたがる場合 (ボードはまたがって張らない)

隙を上下にまたがる場合

1.充填材を使用する場合は明記する (ロックウール、グラスウール等)
※防火区画となる場合には、所定の仕様に適合する壁種を選定すると共に、RC部との隙間にはロックウールを充填すること。

鋼製壁下地 乾式ボード壁 金属製天井下地の野縁簡隔

1.下地張りのある場合

2.下地張りのない場合

3.下地張りのない場合

4.下地張りのない場合

5.金属成形板の場合

1.Wはダブル野縁 Sはシングル野縁を示す
2.「2.下地張りのない場合」目透し張りの場合に野縁と直角方向の目地当たり部分に目地板を取付ける

鋼製壁下地材・開口補強材 (JIS規格品)

■鋼製壁下地材および開口補強材の種類

部材種類	スタッド D×W×t	ランナー D×W×t	取付け金物	補強材取付け金物	スタッドの適用高さ
50形	50x45x0.8	52x40x0.8	25x10x1.2	-	高さ2.7m以下
65形	65x45x0.8	67x40x0.8		-	高さ4.0m以下
75形	75x45x0.8	77x40x0.8		-	高さ4.5m以下
90形	90x45x0.8	92x40x0.8		-	高さ5.0m以下
100形	100x45x0.8	102x40x0.8	-	-	高さ5.0m以下

1.設備の開口補強についても、上表に準ずる
2.スタッドの高さに高低差がある場合は、高い方を用いる
3.スタッドピッチは、一枚張りの場合303、二枚張りの場合455とする
4.スタッドの高さが5.0mを超える場合は、たわみ計算を行い、開口補強材・開口 強度値を決定する
5.50形の場合は取付け金物は19x10x1.2とすることができる
6.開口部補強材及び補強材取付け金物は、防錆処理されたものとする
7.高さ5.0mを超える場合は、建築工事特記仕様書による

埋込型照明器具取付開口 (野縁を切断する場合)

1.補強野縁受け材は野縁受け材と同材とする
2.野縁を切断しない場合も、必要に応じて補強野縁を取付ける
3.野縁受けの突出しが300mm以上の場合は増し吊りを行う

天井吹出口

1.補強野縁受け材は野縁受け材と同材とする
2.野縁を切断しない場合も、必要に応じて補強野縁を取付ける
3.野縁受けの突出しが300mm以上の場合は増し吊りを行う

天井点検口下地 (標準タイプ)

1.取付用チャンネルは野縁 (Mバー) に取付ける。材は野縁受け材と同材とする
2.野縁を切断しない場合も、必要に応じて補強野縁を取付ける
3.野縁受けの突出しが300mm以上の場合は増し吊りを行う
4.国土交通省の仕様には適用しない

株式会社 日立建設設計

Copyright Hitachi Architects & Engineers Co., Ltd. All rights reserved.

製図日 2021.09.01
改訂日 2017.04.01
文書番号 F02-G04-1704

REVISION

竣工図 (責任者)

APPD.

CHKD.

DWN.

DATE 2019.03.29

SCALE (A3)

JOB.NAME 静岡県立こども病院本館リニューアル工事

TITLE 内装軽量鉄骨下地標準図

DWG.NO. A-07

一級建築士 第283810号 田中 裕和

■設備機器耐震仕様		特記事項		3)仕様B	
1)設備機器耐震仕様適合フロー図		<div><div>設備機器耐震仕様</div><div><div>標準的な対策</div><div>機器タイプ</div><div>天井カセット型</div><div>仕様 A-1</div></div><div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ</div><div>1.0m未満</div><div>仕様 B</div></div><div><div>1.0m以上</div><div>機器重量</div><div>10~30kg未満</div><div>仕様 C</div></div><div><div>30~100kg</div><div>仕様 A-1</div></div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>機器タイプ</div><div>天井カセット型</div><div>仕様 A-2</div></div> <div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ</div><div>1.5m未満</div><div>仕様 D</div></div> <div><div>1.5m以上</div><div>仕様 E</div></div> <div>X状斜材で一段を超える場合</div> <div>X状斜材で一段を超える場合</div>		<div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m未満</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>標準的な対策</div><div>天井埋め込み型</div><div>吊り長さ1.0m以上</div><div>機器重量30~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井カセット型</div><div>吊り長さ1.5m以上</div><div>機器重量10~100kg</div></div> <div><div>機能確保を図る対策</div><div>天井埋め込み型</div><</div>	

X状斜材で一段を超える場合

X状斜材で一段を超える場合

※下記指定メーカー・製品は特記のもの、又は同等品以上とする。											
メーカーリスト											
	製 品	メ ー カ ー 名	備 考		製 品	メ ー カ ー 名	備 考		製 品	メ ー カ ー 名	備 考
土 工 事				カ ー テ ン	アルミニウム製カーテンウォール	LIXIL、YKKap、三協立山、不二サッシ		電 気 設 備 工 事	受変電設備	日立パワーソリューションズ、日立産機システム、正興電機製作所、かわでん、	
									変圧器	共立電機製作所、国分電機、宇賀神電機、中立電機、別川製作所、古川電気工業	
									コンデンサー	日立産機システム、東芝産業機器製造、明電舎、富士電機	
地 業 工 事	既製コンクリート杭	前田製管、トーヨーアサノ		内 外 装 工 事	断熱・防露	旭化成建材、大建工業、旭ファイバーグラス、ダウ化工			リアクトル	指月電機製作所、ニチコン、日新電機	
	鋼管杭	ジャパンパイル、日本ヒューム			OAフロア	センクシア、内田洋行、ナカ工業、イトーキ、コクヨ			発電機	指月電機製作所、ニチコン、日新電機	
	場所打杭	旭化成建材、SMD、三誠			フローリング	北海道バークett、関木材工業、大建工業、エービーシー商会			直流電源設備	日立パワーソリューションズ、三菱重工業、東京電機、ヤンマーエネルギーシステム、	
型 枠 工 事					石膏ボード、化粧石膏ボード	吉野石膏、チヨダウーテ			配線用（箱電）遮断機	日立製作所、三菱電機、富士電機システムズ、日立化成	
					繊維強化石膏ボード	吉野石膏、エーアンドマテリアル、ノザワ			電線管類	日立産機システム、三菱電機、富士電機機器制御、パナソニック、寺崎電気	
					ケイカル板	日本インシュレーション、エーアンドエーマテリアル、ニチアス、東レACE				住友鋼管、摂陽工業、ネグロス電工、東祐工業、丸一鋼管、古河電気工業	
鉄 骨 工 事					塩ビ系タイル	東リ、ロンシール工業、田島ルーフィング、エービーシー商会		電 気 設 備 工 事	配線器具、端子類	パナソニック、未来工業	
	露出型柱脚（ハイベース関連）	センクシア、日鐵住金建材			長尺塩ビシート	東リ、エービーシー商会、ロンシール工業、田島ルーフィング			照明器具類	神保電器、寺田電機製作所、明工社、アメリカン電機、パナソニック、泰和電機	
	制振システム	日立オートモティブシステムズ、センクシア			カーベット、ニードルパンチ	東リ、川島織物セルコン、サンガツ、住江織物、ロンシール工業、田島ルーフィング				日立アプライアンス、パナソニック、山田照明、達藤照明、大光電機、ヤマギワ	
型 枠 工 事	デッキプレート	植木鋼管、JFE建材、伊藤忠丸証住商テクノスチール、日鐵住金建材、富士昭サンマテック			クロス、ビニルクロス	サンガツ、リリカラ、川島織物セルコン、住江織物				東芝ライテック、明和電機、三菱電機照明、NECライティング、岩崎電気、	
	耐候性鋼	JFEスチール、日鐵住金建材			化粧フィルム	住友スリーエム、シーアイ化成			放送設備	オーディック、森川製作所、星和電機、積水化成成品工業	
	耐火被覆、ロックウール	ノザワ、エスケー化研、日本インシュレーション、ニチアス、ナイガイ			天然木縁付ボード	朝日ウッドテック、イビデン、宮崎木材工業、北三				JVCケンウッド・公共産業システム、TOA、	
既 成 コ ン ク リ ー ト 工 事					ポリ・メラミン化粧合板	アイカ工業、住友ベークライト、イビデン		電 気 設 備 工 事	テレビ共聴設備	日立国際ハルソリューションズ、日本アンテナ、DXアンテナ、マスプロ電工	
	ALCパネル	旭化成建材、クリオン、住友金属釜山シロレックス			若綿吸音板	大建工業、吉野石膏			インターホン	パナソニックシステムソリューションズジャパン	
	押出成形セメント板	ノザワ、アイカテック建材			LGS	大建工業、マンテン、三洋工業、オクジュー、頼井製作所、双日建材			電気時計	リズム時計工業、セイコータイムシステム、シチズンTIC、パナソニック	
防 水 工 事					グラスウール、グラスウールパネル	マグ・イゾベル、旭ファイバーグラス、日本無機			自動火災報知設備	ホーチキ、ニッタン、能美防災、日信防災、パナソニックES防災システムズ、	
	シート防水	三晃金属工業、元旦ビューティ工業、ロンシール工業			吸音パネル（有孔ボード）	ニチベイ、イトーキ		電 気 設 備 工 事		ヒューセック	
	アスファルト防水	田島ルーフィング、三星産業、日新工業、宇部興産			コルク床材	千代田商会、東亜コルク			雷保護	東京避雷針工業、大阪避雷針工業、音羽電機工業、村田電機製作所、	
石 工 事	塗膜防水	保土谷パンテックス建材、大岡化学工業、エービーシー商会、ウォータイト		建 工 事	ゴム床材	東リ、田島ルーフィング、住友ゴム工業			情報設備機器（LAN）	エースライオン、日本避雷針工業、コスモシステム、ワールド避雷針工業	
	シーリング	日立化成、横浜ゴム、サンスター技研、信越化学工業、エービーシー商会			パンチングメタル、エキスパンドメタル	メタルテック、新陽メタルビー、日鐵住金建材、佐渡島金属			監視カメラ設備	日立金属、パナソニック、河村電器産業、日東工業	
									監視制御設備	日立国際電気、日立システムズ、JVCケンウッド、TOA、	
タ イ ル 工 事								空 調 設 備 工 事		パナソニックシステムソリューションズジャパン、日立ビルシステム	
	内装タイル、外装タイル	TOTO、LIXIL、エービーシーセラミックス、								日立製作所、日立産機システム、日立ソリューションズ、日立ビルシステム、	
		アドヴァン、ダントー、国代耐火工業所								日立ブランドサービス、アズビル、ジョンソンコントロールズ、三菱電機、	
屋 根 工 事								空 調 設 備 工 事		富士電機、パナソニック	
屋 根 工 事	金属板葺	三晃金属、ヤマキ工業、元旦ビューティ工業、淀川製鋼所、		建 工 事	パーティション、間仕切	イトーキ、文化シャッター、コマニー、日本ファイリング、小松ウオール、		空 調 設 備 工 事	冷凍機	日立ジョンソンコントロールズ空調、荏原冷熱システム	
		オリエンタルメタル、日鉄住金鋼板、JFE日建板			スライディングウオール	日本スピンドル製造、オカムラ、ニチベイ			冷却塔	日立アプライアンス、空研工業、荏原冷熱システム	
	アスファルトシングル	田島ルーフィング、三星産業、日新工業			点検口	イトーキ、ニチベイ、オカムラ、文化シャッター、コマニー、			貫流蒸気ボイラ	日本サーモエナー、三浦工業、サムソン、ヒラカワ	
金 属 工 事	スレート葺き	ノザワ、ケイミー			トイレブース	三和シャッター、小松ウオール		空 調 設 備 工 事	無気式ボイラ	日本サーモエナー、昭和鉄工、前田鉄工所	
	膜、テント構法	太陽工業			バルコニー、手摺	ナカ工業、杉田エース、ダイケン、オクジュー			ポンプ	日立産機システム、テラル、荏原製作所、川本製作所	
					屋内手摺	東レACE、コマニー、文化シャッター、信越ファインテック		空 調 設 備 工 事	製缶類	ホーコス、ベルテクノ、島倉鉄工所	
左 回 工 事				昇 降 機 工 事	パルクニー、手摺	ナカ工業、アトラスark、ニュースト			プレート形熱交換器	アルファ・ラバル、島倉鉄工所、日販製作所	
					避難ハッチ	ナカ工業、能美防災、松本機工			密閉式脚張タンク	日立金属、ホーコス、ベルテクノ	
					ブラインド、アコーディオンカーテン	立川ブラインド、ニチベイ		空 調 設 備 工 事	ユニット形空気調和機	新見工業、木村工機、クボタ空調	
塗 装 工 事	耐候性塗料、塩害対策・フッ素樹脂塗装	日本ペイント、神東塗料、大日技研工業、大日本塗料、セイエン商事			ロールスクリーン	立川ブラインド、ニチベイ、トーソー			パッケージ形空気調和機	日立ジョンソンコントロールズ空調、ダイキン工業	
	コンクリート保護塗装（打放し仕上）	ニチエー吉田、大日技研工業、エービーシー商会、エスケー化研			カーテン	川島織物セルコン、東リ、サンガツ、リリカラ		空 調 設 備 工 事	ファンコイルユニット	新見工業、ダイキン工業、暖冷工業、木村工機	
	結露防止塗装	ダイフレックス、スズカファイン、日進産業			カーテンレール	立川ブラインド、トーソー、ダイケン		空 調 設 備 工 事	エアフィルター	日本無機、日本バイリーン、日本エアフィルター	
硝 子 工 事					オフィス家具、教育家具、既成家具	イトーキ、プラス、ウチダ、コクヨ、オカムラ、日本ファイリング			グラスウール	旭ファイバーグラス、ニチアス、マグ・イゾベル	
	ガラス全体	日本板硝子、セントラル硝子、旭硝子、日本電気硝子			吊りレール、見切り縁	リンデン産業		空 調 設 備 工 事	加湿器	ウエットマスター、ピーエス工業、日本シーズ線	
	ガラスブロック、結晶化ガラス	日本電気硝子、電気硝子建材			サイン	コトブキ、ウチダ、イトーキ、エービーシー商会		空 調 設 備 工 事	全熱交換器	日立ジョンソンコントロールズ空調、三菱電機	
建 具 工 事	硝子保護、塗装 フィルム	スリーエム、シーアイ化成			造作家具	ウチダ、イトーキ、コクヨ、プラス			VAV	エアコンスター、新見工業、東プレ	
					EXP、J	バラキャップ、エービーシー商会		空 調 設 備 工 事	送排風機	テラル、三菱電機、ミツヤ送風機製作所	
					立体駐車場	日精、新明和工業、立川ブラインド工業		空 調 設 備 工 事	吹出・吸込口類	空研工業、新見工業、協立エアテック、丸光産業	
建 具 工 事	アルミニウム製建具	LIXIL、三協立山、YKKap、不二サッシ		外 構 工 事	避難すり台	富士産業、山陽建工		空 調 設 備 工 事	排煙口	協立エアテック、空研工業、クリフ	
	鋼製建具、鋼製軽量建具、SUS製建具	LIXIL、YKKap、文化シャッター、			グレーチング	富士産業、山陽建工		空 調 設 備 工 事	自動制御設備	アズビル、ジョンソンコントロールズ、パナソニックESエンジニアリング	
	トップライト	LIXIL、三協立山、日昌ガラス、菱晃、鎌倉製作所			ウッドデッキ	LIXIL、エービーシー商会、中川木材産業		空 調 設 備 工 事			
建 具 工 事	ハンガードア、自動閉鎖装置付引戸	LIXIL、文化シャッター、東洋シャッター、三和シャッター		そ の 他				給 排 水 衛 生 設 備 工 事	FRP製水槽（パネル形）	ハウステック、三菱樹脂インフラテック、積水アクアシステム	
	自動ドア	寺岡オートドア、ナブコドア						給 排 水 衛 生 設 備 工 事	ステンレス製水槽（パネル形）	積水アクアシステム、ベルテクノ、ホーコス、森松工業	
	シャッター、オーバーヘッドドア	LIXIL、文化シャッター、三和シャッター、金剛産業		そ の 他				給 排 水 衛 生 設 備 工 事	鋼板製水槽（パネル形）	エヌ・ワイ・ケー、ホーコス、島津製作所	
建 具 工 事	付属金属、電気錠	美和ロック、ゴール、ユニオン、カワジュン、スガツネ工業、リョービ						給 排 水 衛 生 設 備 工 事	電気湯沸器（貯湯式）	TOTO、LIXIL、日本イトミック、細山熱器	
	排煙オペレーター	オイレス工業、豊和、マドコン						給 排 水 衛 生 設 備 工 事	消火栓機器	建設工業社、消火栓機工、横井製作所	
				そ の 他				給 排 水 衛 生 設 備 工 事	衛生陶器	TOTO、LIXIL	
建 具 工 事								給 排 水 衛 生 設 備 工 事	量水器	愛知時計電機、金門製作所、リコーエレメックス	
建 具 工 事								給 排 水 衛 生 設 備 工 事	排水金具	伊藤鉄工、福西鍾物、長谷川鋳工所	
				そ の 他				給 排 水 衛 生 設 備 工 事	弁類	日立バルブ、キッツ、大和バルブ	
建 具 工 事								給 排 水 衛 生 設 備 工 事	鋼管	JFEスチール、新日鐵住金	
				そ の 他				給 排 水 衛 生 設 備 工 事	鋼管継手（溶接式）	住金機工、ベネックス	
				そ の 他				給 排 水 衛 生 設 備 工 事	ライニング鋼管	JFEスチール、新日鐵住金、積水化学工業	
建 具 工 事				そ の 他				給 排 水 衛 生 設 備 工 事	ライニング鋼管継手	日立金属、JFEスチール、積水化学工業	
				そ の 他				給 排 水 衛 生 設 備 工 事	樹脂管、同継手	クボタシーアイ、積水化学工業、三菱樹脂、旭有機材工業	
				そ の 他				給 排 水 衛 生 設 備 工 事	鋼管、同継手	日立金属、因幡電機産業、UACJ	
建 具 工 事				そ の 他				給 排 水 衛 生 設 備 工 事	ドレナージ継手	日立金属、長谷川鋳工所	
				そ の 他				給 排 水 衛 生 設 備 工 事	排水用破管塩化ビニルライニング鋼管	積水化学工業、三菱樹脂	
				そ の 他				給 排 水 衛 生 設 備 工 事	耐火被覆塩ビ管	昭和電工建材、エーアンドエーマテリアル	
建 具 工 事				そ の 他				給 排 水 衛 生 設 備 工 事			
				そ の 他				給 排 水 衛 生 設 備 工 事			
				そ の 他				給 排 水 衛 生 設 備 工 事			
建 具 工 事				そ の 他				給 排 水 衛 生 設 備 工 事			
				そ の 他				給 排 水 衛 生 設 備 工 事			
				そ の 他				給 排 水 衛 生 設 備 工 事			
建 具 工 事				そ の 他				給 排 水 衛 生 設 備 工 事			
				そ の 他				給 排 水 衛 生 設 備 工 事			
				そ の 他				給 排 水 衛 生 設 備 工 事			
建 具 工 事				そ の 他				給 排 水 衛 生 設 備 工 事			
				そ の 他				給 排 水 衛 生 設 備 工 事			
				そ の 他				給 排 水 衛 生 設 備 工 事			
建 具 工 事				そ の 他				給 排 水 衛 生 設 備 工 事			
				そ の 他				給 排 水 衛 生 設 備 工 事			
				そ の 他				給 排 水 衛 生 設 備 工 事			
建 具 工 事				そ の 他				給 排 水 衛 生 設 備 工 事			
				そ の 他				給 排 水 衛 生 設 備 工 事			
				そ の 他				給 排 水 衛 生 設 備 工 事			
建 具 工 事				そ の 他				給 排 水 衛 生 設 備 工 事			
				そ の 他				給 排 水 衛 生 設 備 工 事			
				そ の 他				給 排 水 衛 生 設 備 工 事			
建 具 工 事				そ の 他				給 排 水 衛 生 設 備 工 事			
				そ の 他				給 排 水 衛 生 設 備 工 事			
				そ の 他				給 排 水 衛 生 設 備 工 事			
建 具 工 事				そ の 他				給 排 水 衛 生 設 備 工 事			
				そ の 他				給 排 水 衛 生 設 備 工 事			
				そ の 他				給 排 水 衛 生 設 備 工 事			
建 具 工 事				そ の 他				給 排 水 衛 生 設 備 工 事			
				そ の 他				給 排 水 衛 生 設 備 工 事			
				そ の 他				給 排 水 衛 生 設 備 工 事			
建 具 工 事				そ の 他				給 排 水 衛 生 設 備 工 事			
				そ の							

建築改修工事特記仕様書		<1.3.5> 施工条件																					
工事概要																							
工事名称	平成28年度静岡県立こども病院本館リニューアル工事																						
工事場所	静岡県葵区漆山860-1外12筆 静岡県葵区漆山3-7地先水路の一部																						
完成期限	平成 31年 3月 31日（日）																						
工事の種類 規模等	棟名称	既存A棟	既存D棟	既存E棟	既存F棟	既存K棟	既存I棟																
	工種	改修	改修	改修	改修	改修	改修																
	構造・階数	RC3	RC2	RC1	RC2	RC3	RC5																
	建築面積	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡																
	延べ面積	(3,437.94) ㎡	㎡	㎡	㎡	㎡	㎡																
	改修延べ面積	概要表参照㎡	概要表参照㎡	概要表参照㎡	概要表参照㎡	概要表参照㎡	概要表参照㎡																
	延べ面積計	㎡																					
	改修延べ面積計	㎡																					
()の数値は、当該既建物の面積とする。																							
工作物等	基礎 ――― R ――― 新 設 ――― 式 ――― 囲壁 ――― B ――― 新 設 ――― 式 ――― 屋外掲示板 ――― S ――― とりこみなし ――― 式 ――― 構内舗装 ――― 改 修 ――― 式 ―――																						
一般特記事項																							
総則	1. この工事の請負者は、現場説明書、特記仕様書、図面、公共建築工事標準仕様書（統一基準）公共建築工事標準仕様書（統一基準）（建築工事編）（平成28年版）、公共建築改修工事標準仕様書（統一基準）（建築工事編）（平成28年版）、工事写真撮影要領に基づき工事を施工する。 2. 特記仕様書の適用方法 (1) ―――で抹消した章及び項目の当該特記事項は、すべて適用しない。 (2) 印で始まる事項の及び表中の・印の事項は、○印の付した事項のみ適用する。 (3) 表中の数字、文字又は記号を記入する事項は、記入してある事項のみ適用する。 (4) 特記された材料、製造所、製品名、施工業者等の取扱いは、特記されたもの又は同等以上のものとする。ただし、同等以上のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。 (5) 左欄の< >内の数値は、下記の各該当番号を示す。 () - 公共建築工事標準仕様書(統一基準)(建築工事編)(平成28年版) < > - 公共建築改修工事標準仕様書(統一基準)(建築工事編)(平成28年版)																						
建築基準法に基づき、定められた区分等	建築基準法に基づき定められた区分等 風速 V0 = 32m/s 地表面粗度区分 ・Ⅰ ・Ⅱ Ⅲ ・Ⅳ 積雪区分 建造物第1455号 別表24																						
1章 一般共通事項																							
<1.3.3> 電気保安技術者	この工事現場に下記のいずれかの資格を有する電気保安技術者を選任する。 <table><tr><th>項 目 名</th><th>電気保安 技術者</th></tr><tr><td>1 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者</td><td>○</td></tr><tr><td>2 1級電気工事施工管理技士の資格を有する者</td><td>○</td></tr><tr><td>3 第1種電気工事士の資格を有する者</td><td>○</td></tr><tr><td>4 高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者</td><td>○</td></tr><tr><td>5 旧電気工事技術者検定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者</td><td>○</td></tr><tr><td>6 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者</td><td>○</td></tr><tr><td>7 2級電気工事施工管理技士の資格を有する者</td><td>○</td></tr><tr><td>8 第2種電気工事士（旧電気工事士）以上の資格を有する者</td><td>○</td></tr><tr><td>9 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者</td><td>○</td></tr></table>		項 目 名	電気保安 技術者	1 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者	○	2 1級電気工事施工管理技士の資格を有する者	○	3 第1種電気工事士の資格を有する者	○	4 高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者	○	5 旧電気工事技術者検定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	○	6 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者	○	7 2級電気工事施工管理技士の資格を有する者	○	8 第2種電気工事士（旧電気工事士）以上の資格を有する者	○	9 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者	○	排出ガス対策型建設機械
項 目 名	電気保安 技術者																						
1 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者	○																						
2 1級電気工事施工管理技士の資格を有する者	○																						
3 第1種電気工事士の資格を有する者	○																						
4 高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に関する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者	○																						
5 旧電気工事技術者検定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	○																						
6 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者	○																						
7 2級電気工事施工管理技士の資格を有する者	○																						
8 第2種電気工事士（旧電気工事士）以上の資格を有する者	○																						
9 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に関する科目を修めて卒業した者	○																						
<1.3.4> 工事用電力設備の保安責任者	この工事現場には、下記の資格を有する工事用電力設備の保安責任者を選任する。 第2種電気工事士（旧電気工事士）以上の資格を有する者																						

本改修工事は下記日程にて行うものとする。 ＊ 仮設計画図 参照	
ステップ1： ステップ2： ステップ3：	
引渡しを要するもの―― 1）品名 () 2）引渡し先 () 3）集積場所 () 特別管理産業廃棄物―― 1）品名 () 2）引渡し先 () 3）集積場所 () 4）集積方法 () 現場において再利用を図るもの―― 1）品名 () 2）使用箇所 () 再生資源化を図るもの―― 1）品名 (発生土)―― 2）受入場所 (静岡県静岡市葵区東1034-1 (株)三和建商リサイクルセンター) 3）搬出に先立ち搬出計画書を作成し、監督職員に提出する。 4）日々の搬出量等を取りまとめた土砂等運搬調書を作成し、監督職員に提出する。 5）工事発注後に明らかになった事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督職員と協議する。 1）品名 (コンクリートがら) 2）受入場所 (静岡県焼津市野秋376番地の1 中部砕石(株)) 3）搬出に先立ち搬出計画書を作成し、監督職員に提出する。 4）日々の搬出量等を取りまとめた土砂等運搬調書を作成し、監督職員に提出する。 5）工事発注後に明らかになった事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督職員と協議する。 関係法令に従い適切に処理するもの 1）品名 (アスファルトがら、ガラス・陶器類、プラスチック類、ボード類、アスファルト防水類) 2）受入場所 (静岡県焼津市野秋376番地の1 中部砕石(株)) 3）搬出に先立ち搬出計画書を作成し、監督職員に提出する。 4）日々の搬出量等を取りまとめた土砂等搬出調書を作成し、監督職員に提出する。 5）工事発注後に明らかになった事情により上記の指定によりがたい場合は、監督職員と協議する。	
本工事においては「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関わる規定」(平成9年7月31日建設省告示第1536号 最終改正 平成13年4月9日 国土交通省告示第487号)に基づき国土交通大臣が型式指定を行った低騒音型・低振動型建設機械を使用するものとする。ただしこれにより難い場合は、監督職員と協議の上、必要書類を提出するものとする。 低騒音型建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。	
本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律」(平成17年法律第51号)に基づく技術基準に適合する機械、または「排出ガス対策型建設機械指定要領(平成3年10月8日付け建設省架設機発第249号 最終改正平成14年4月1日付け国総施第225号)」、「排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程」(平成18年3月17日付け国土交通省告示第348号)もしくは「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領」(平成18年3月17日付け国総施第215号)に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。 排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術の審査・証明事業、もしくは建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着することで、排出ガス対策型機械と同等と見なす。ただし、これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。 排出ガス対策型建設機械、又は排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は、施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督職員に提出するものとする。	
ディーゼル車排出ガス規制に適合した車両	
<1.4.2> 材料の品質等	
<1.4.4> 材料の検査等	
<1.6.2> 技能士	
<1.6.4> 一工程の施工の確認及び報告	
<1.6.5> 施工の検査等	
<1.6.7> 施工の立会い等	
<1.6.9> 化学物質の濃度測定	

種類	備考
バックホウ トラクター・ショベル(車輪式) ブルドーザー 発動電動機(可搬式、溶接管用機を含む) 空気圧縮機(可搬式) 油圧ユニット(基礎工用機械で独立したもの) ローラ類(ロッド・ロウ、タイロウ、振動ロウ) ホイールクレーン	ディーゼルエンジン(エンジン出力7.5kw以上、260kw以下)を搭載したものに限る。
① 請負者は本工事現場で使用し、又は使用される関係車両(以下本工事関係車両という)が、当該工事場所のディーゼル車排出ガス規制条例(以下「排出ガス規制条例」という。)の適用を受ける場合は、これに適合した車両を使用しなければならない。 ② 請負者は、本工事の施工に先立ち、本工事関係車両の「ディーゼル車排出ガス規制に適合する車両の使用」について、排出ガス規制条例の遵守を施工計画書に記載しなければならない。 ③ 請負者は、本工事関係車両にディーゼル車を使用する場合には、車検証のコピーを保管し、本工事関係車両を把握しなければならない。 ④ 請負者は、取締りにより本工事関係車両に違法行為等があった場合には、直ちに監督職員に報告しなければならない。 ⑤ 請負者は、資機材の搬出入等において、資材納入業者に排出ガス規制条例を遵守させるものとする。	
再利用を図るものは、次による。 _____	
材 料 名	備 考

工種	技能検定の職種
鉄筋工事	○鉄筋施工
コンクリート工事	○左官 ・型枠施工
鉄骨工事	・とび
ブロック・ALC・木工事 PC・カープ・木工事	・ブロック建築 ・ALC・木施工 ・カープ・木施工
防水工事	○防水施工
石工事	・石材施工
タイル工事	・タイル張り
木工事	○建築大工
屋根、とい工事	・建築板金 ・スルト施工
金属工事	○内装仕上げ施工(鋼製下地)
左官工事	○左官
建具工事	○サッシ施工 ○カー施工
塗装工事	○塗装
内装工事	○内装仕上げ施工(床、天井仕上げ等) ・表装
植栽工事	・造園

施工の確認及び報告を行う行程	備 考
外壁関係の施工	外部足場等を取り外す前の段階
軽量鉄骨天井下地及び軽量鉄骨壁下地	完了した段階
外壁のひび割れ、浮き、欠損等	補強部マーキング等が完了した段階
既存撤去・はつり等の施工	完了した段階
屋根防水関係の施工	完了した段階
各仕上	完了した段階

次について検査を行う。 ○基準仕様書に定められた項目 ○揮発性有機化合物等の室内濃度の測定 ○その他監督職員が必要と認めた段階 ○<1.6.4>で定めた項目	
標準仕様書に定めがあるもの以外で、次に示す工事段階及び事項については、監督職員の立会いを受ける。 ⇒基礎位置及び基準地盤高きの設定時 ⇒躯体コンクリートの試料採取時及び各種試験時 ⇒鉄筋の圧接試験片採取時、超音波探傷試験及び簡易引張試験時 ⇒鉄骨製品検査 ⇒鉄骨建方受け入れ検査及び高力ボルト締付け検査時	
ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン等の揮発性有機化合物の室内濃度の測定 工事の施工完了後、引き渡しをするまでの間に、下表の測定室等の揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、指針値以下であることを確認し、報告する。	

種名称 A, D, E, F, K, I 棟	階数 1 階	室 名 11室長室、8当直室、13放射線事務室、21放射線管理室、34管理室、40b会議室、43a清潔リネン室	採取本数 1 棟体/室
	2 階	45検査事務室、51当直室、52部長室、50a輸血検査室	
		外気	

＊上記の室について、それぞれ1棟体につき2回採取を行い測定する。

測定物質、測定方法	
種類・・ ホルムアルデヒド	指針値5＊ 100μg/m53 (0.08ppm)以下 ○次のうちのいずれかの測定方法とする。 ・その他()
トルエン	260μg/m53 (0.07ppm)以下 ○次のうちのいずれかの測定方法とする。 ・その他()
キシレン	870μg/m53 (0.20ppm)以下 固相吸着/溶媒抽出法で採取し、ガスクロマトグラフ-質量分析法によって行う。
エチル・ベンゼン	3800μg/m53 (0.88ppm)以下 固相吸着/加熱脱着法で採取し、ガスクロマトグラフ-質量分析法によって行う。
スチレン	220μg/m53 (0.05ppm)以下 容器採取法で採取し、ガスクロマトグラフ-質量分析法によって行う。
ナフタレン アントレン	240μg/m53 (0.04ppm)以下 ・その他()

＊両単位の換算は、25℃の場合による。

試料採取方法
試料採取は室内及び外気の各1箇所を2回ずつとし、対象室内を30分換気後に5時間以上密閉し、その後概ね30分間採取の濃度(μg/m3)で表示。採取の時刻は揮発性有機化合物濃度の日変動で最大となることが予想される午後2時～3時頃に設定する。室外についても室内と同様の条件で平行して採取する。試料採取は室の中央付近の少なくとも壁から1m以上離れた高さ1.2～1.5mの位置を試料採取位置として設定する。外気の試料採取は外壁及び空調吸排気口から2～5m離れた、室内の測定高さと同等の高さの所を試料採取位置として設定する。

測定結果が上回った場合の措置
測定結果が指針値を上回った場合は、監督職員と協議する。

<1.7.2>
技術検査

<1.8.2>
完成図

種 類	記入内容・・・	部数・・
完成図	設計図面を実施図に訂正	1
完成図	原図(A1・A3)	各1
完成図	製本(A1・A3)	各2
機器完成図	製本	2
各種試験成績書	製本	2
諸手続書類(写)	製本	2

完成図の様式等は次による。
作成方法
原図サイズ
工事写真帳は(○紙媒体 ○電子媒体)で各1部提出する。
完成写真はキャビネ版とし黒表紙、工事名称等は金文字入りとする。
なお、完成写真には撮影方向等を明示した配置図、平面図を添付する。
本工事は、次の書類について電子納品の対象とする。
貸与する設計図のCADデータ著作権者名：静岡県立こども病院
ファイル形式：JWW又はDWG
貸与条件：貸与するCADデータを本工事における施工図又は完成図の作成のため以外に使用しないこと。
提出方法：CAD-RによりDXF及びJWW形式として1部提出する。

<1.8.3>
保全に関する資料

保全に関する資料 提出部数 3部のほかに
建築台帳(床、壁、建具、ガラス、外構等面積表)をEXCELファイル形式にて作成し、データを提出する。

<3.1.4>
改修工法の
種類及び工法

<3.2.5>
ルー・ドレン
の処理

<3.2.6>
既存下地の
補修及び処置

<3.3.2>
材料=

<3.5.3>
種別及び工程

<3.6.3>
種別及び工程

<3.8.2>
材料

防水改修工法の種類 M4S工法

シーリング改修工法の種類 再充填工法

二重ドレン ・設ける

既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 ・行う

アスファルトの種類
・3種 ・4種
押え金物の材質、形状寸法
・アルミニウム製、L＝30x15x2.0程度
・

断熱材
材質 ・JIS A 9511の押出法ポリスチレンフォーム3種bスキン層付
(特定フロンを含まないもの)
厚さ ・25 ・50 ・

合成高分子系ルーフィングシート防水層の種類

塗膜防水の防水層の種類

ウレタン系塗膜防水(X－1)の脱気装置
・設ける

ゴムアスファルト系塗膜防水(Y－2)の保護層
・設ける

との材種
・配管用銅管 ・硬質塩化ビニル管 ・ステンレス
(カラー)

ルー・ドレン

耐酸被覆鋼板、ガルバリウム鋼板の製造所
銅管製といの防露
＝施主箇所
落し目＝ステンレス製100φ用ストレートナ＝

<4.2.2>
工法別
使用材料

ひび割れ部充てん材

ひび割れ部の製造所、製品名

<4.2.2>
工法別
使用材料

ひび割れ部充てん材

種類・・

寸法・・

施工箇所・

・シーリング材

ひび割れ部

・可とう性エポキシ樹脂

ひび割れ部

可とう性エポキシ樹脂の製造所、製品名

<4.2.2>
工法別
使用材料

欠損部充てん材

種類・・

製造所、製品名

施工箇所・

・エポキシ樹脂モルタル

欠損部

・ポリマーセメントモルタル

欠損部

注入併用工法の注入材料

種類・・

製造所、製品名

施工箇所・

・エポキシ樹脂

・

・ポリマーセメントスラリー

・

タイルの形状、寸法、きじの質及び工法等

施工箇所

形状・寸法(mm)

きじ磁器

うわぐすり陶器

役物施釉無釉ありなし

色標準特注

工法工法名

製造所・製品名

試験張り ・行う ・行わない
見本焼き ・行う ・行わない

塗膜はく離材 製造所、製品名

仕上塗材

種 類

呼び名

仕上げの形状

工法

備 考

薄付け仕上塗材

外装薄塗材Si

砂壁状
ゆず肌状
ゆず肌状
ざざ波状

吹付け
ローラー

可とう形外装薄塗材Si

砂壁状
ゆず肌状
ゆず肌状
ざざ波状

吹付け
ローラー

外装薄塗材E

砂壁状

吹付け

内装薄塗材E

ゆず肌状
平たん状
凹凸状
ゆず肌状
ざざ波状

こて塗り
ローラー

可とう形外装薄塗材E

砂壁状
ゆず肌状
平たん状
凹凸状
ゆず肌状
ざざ波状

吹付け
こて塗り
ローラー

防水形外装薄塗材E

ゆず肌状
ざざ波状
凹凸状

ローラー
吹付け

外装薄塗材S

砂壁状

吹付け

厚付け仕上塗材

外装厚塗材C

吹放し
凸凹処理
平たん状
凹凸状
ひき起し
かき落とす

吹付け
こて塗り
ローラー

復層仕上塗材

復層塗材CE
復層塗材SI
復層塗材E
復層塗材RE

ゆず肌状
凸凹処理
凹凸模様
ゆず肌状

ローラー
吹付け

可とう形復層塗材CE

ゆず肌状

ローラー

上塗材種類
・水系アクリルのつやあり
・

復層塗材RS

ゆず肌状
凸凹処理
凹凸模様

ローラー
吹付け

防水形復層塗材CE

ゆず肌状

ローラー

増塗材
・適用する

防水形復層塗材E

凸凹処理

吹付け

防水形復層塗材RS

凹凸模様

吹付け

防水形復層塗材RE

小粒仕上

吹付け

可とう形改修用仕上塗材

可とう形改修塗材E
可とう形改修塗材RE
可とう形改修塗材CE

平たん状
凹凸状
ひき起し

ローラー
ローラー
吹付け

高耐候性アクリルシリコン樹脂系塗材

製造所（製品名）
合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗料
菊水化学工業(株) アクリルソフト＋キクスイ プライマースーパード
エスケー化研(株) レナコート＋プリーズコート

<4.3.4>
樹脂注入工法

<4.4.4>
浮き部改修一般事項

その他

<5.1.3>
改修方法

<5.2.2>
性能及び構造<5.2.4>
形状及び仕上げ

<5.2.3>
材料

<5.3.2>
性能及び構造

<5.5.3>
材料

<5.5.4>
形状及び仕上げ

<5.5.5>
工法

<5.6.2>
材質、形状及び寸法

<5.6.4>
鍵

ひび割れ部の注入状況の検査方法
・コア抜き取り（抜き取り個数 個 コア抜き取り部補修方法 エポキシ樹脂モルタル）

アンカーピンニングの工法種類
・単独工法 ・注入併用工法 ・単独工法（注入口付）・注入併用工法（注入口付）

玄関庇改修
○アルミ型材製大型庇
製造所（製品名）
㈱エービーシー商会 CAN 1601 ABW 同等

ルーバー庇
○アルミ型材製ルーバー庇
製造所（製品名）
㈱エービーシー商会 SUN 900k 同等

外断熱
○湿式外断熱
製造所（製品名）
東邦レオ(株) ピンネット工法＋エコサーム 同等

5章 建具改修工事

<5.1.3>
改修方法

<5.2.2>
性能及び構造<5.2.4>
形状及び仕上げ

外部に面するアルミニウム製建具の性能等級

性能等級
・A種
耐久圧性
◎S－4
気密性
◎A－3
水密性
◎W－4
枠の見込み寸法 (mm)
◎70 ・100

B種
・S－5

C種
・S－6
・A－4
・W－5
・100

表面処理

建 具

種 別

外部に面する建具

・B－1種
・B－2種(・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)
・

室内の建具

・C－1種
◎C－2種(・ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー)
・

防虫網
・合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製
線径 (mm) ・0.25以上
編目 (メッシュ) ・16～18 ・

外部に面する鋼製建具の耐久圧性 S－4以上

ステンレス鋼板
◎SUS304 ・SUS430J1L ・SUS430

表面仕上げ
◎H.L仕上げ ・

曲げ加工
◎普通曲げ ・角出し曲げ (補強あり)

建具用金物

スリット、スリット、金の種類

ハ、ハ、ハ (mm)

製 作 所

・モノロック

美和ロック、ゴール(株)

・本締りモノロック

ステンレス製

○シリンダ箱締錠 (レバーハンドルを含む)

○シリンダー本締り錠

・窓錠

○押棒、押板

ステンレス製

市販品

○丁番、フランズ落し

アルミニウム

美和ロック、リョウビ(株)、
鶴ニッカナ

○ドアクロージャー

マスターキー
○作製する ・作製しない
グラッドマスター
○作製する ・作製しない

<5.1.3>
改修方法

<5.2.2>
性能及び構造<5.2.4>
形状及び仕上げ

<5.2.3>
材料

<5.3.2>
性能及び構造

<5.5.3>
材料

<5.5.4>
形状及び仕上げ

<5.5.5>
工法

<5.6.2>
材質、形状及び寸法

<5.6.4>
鍵

<5.1.3>
改修方法

<5.2.2>
性能及び構造<5.2.4>
形状及び仕上げ

<5.2.3>
材料

<5.3.2>
性能及び構造

<5.5.3>
材料

<5.5.4>
形状及び仕上げ

<5.5.5>
工法

<5.6.2>
材質、形状及び寸法

<5.6.4>
鍵

<5.1.3>
改修方法

<5.2.2>
性能及び構造<5.2.4>
形状及び仕上げ

<5.2.3>
材料

<5.3.2>
性能及び構造

<5.5.3>
材料

<5.5.4>
形状及び仕上げ

<5.5.5>
工法

<5.6.2>
材質、形状及び寸法

<5.6.4>
鍵

<5.1.3>
改修方法

<5.2.2>
性能及び構造<5.2.4>
形状及び仕上げ

<5.2.3>
材料

<5.3.2>
性能及び構造

<5.5.3>
材料

<5.5.4>
形状及び仕上げ

<5.5.5>
工法

<5.6.2>
材質、形状及び寸法

<5.6.4>
鍵

<5.1.3>
改修方法

<5.2.2>
性能及び構造<5.2.4>
形状及び仕上げ

<5.2.3>
材料

<5.3.2>
性能及び構造

<5.5.3>
材料

<5.5.4>
形状及び仕上げ

<5.5.5>
工法

<5.6.2>
材質、形状及び寸法

<5.6.4>
鍵

<5.1.3>
改修方法

<5.2.2>
性能及び構造<5.2.4>
形状及び仕上げ

<5.2.3>
材料

<5.3.2>
性能及び構造

<5.5.3>
材料

<

<6.9.2>
材料

下記以外のビニル床タイルは、半硬質コンポジションセニル床タイル、厚さ2.0mmとする。

種 類	厚さ（mm）	寸法（mm）	施工箇所
・ホモジニアスピル床タイル ・コバシツボニ床タイル（軟質）			

製造所（製品名）

誘導用、注意喚起用床材——視覚障害者用タイル等

種 類	寸法（mm）	厚さ（mm）
・塩化ビニル系	・300×300	・20
・レジンコンクリート系	・300×300	・30
・ホモジニアスピル床タイル	・300×300	・7
・ステンレス紙 （タイル面、フローリング面）	・290×27、22φ	・20

製造所（製品名）

タイルカーペット

種 別	パイル形状	寸法 （mm）	総厚さ（mm）	電気抵抗(Ω)	製造所・製品名
・第1種 ・ 種	・カットパイル ○ループパイル	・500×500	・6.5mm	・適用しない	

義毛ランダム

種 別	パイル形状	帯電性	製造所・製品名
・A種 ・B種 ・C種	・カットパイル ・ループパイル ・カット、ループ併用	・人体帯電圧 3KV以下	・

タフテッドカーペット

パイル形状	パイル長さ(mm)	帯電性	工 法	製造所・製品名
・カットパイル ・ループパイル ・レベルループパイル ・カット、ループ併用	・	・人体帯電圧 3KV以下	・全面接着 工法 ・ケミカル 工法	

抗菌加工の有無

有

無

トルバンチカベット

厚さ（mm）	帯電性	製造所・製品名
・	・人体帯電圧3KV以下	

抗菌加工の有無

有

無

<6.10.2>
工法

弾性ウレタン樹脂系塗床

仕上げの種類

平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ

製造所（製品名）

韓ABC商会 タフクリートMH 同等

エポキシ樹脂系塗床

仕上げの種類

清膜流し鼠べ仕上げ ・厚膜流し鼠べ仕上げ ・樹脂モルタル仕上げ ○防滑仕上げ

製造所（製品名）

韓ABC商会 ケミクリートE 同等

<6.11.2>
材料

フローリングの種類

単層フローリング、複合フローリング

○単層フローリング

樹種・寸法・仕上等

15×75×乱尺、韓国産木材

捨て板（耐水合板t=15mm）

製造所 矢島木材乾燥㈱ パーシャルフローリング、ベルmontフローリング同等

<6.11.7>
仕上

(a) 下地調整

(1) フローリング表面の塗装下地調整は、張込み完了後、傷、汚れを取り除き研磨を行う。

(2) 研磨は、目違い払いをし、研磨を掛けて平滑に仕上げる。

(b) 塗装

UVセラミック塗装

<6.12.2>
材料

量敷き

種別

A種 B種 C種 D種

D種の場合の量床

KT-I KT-II KT-III KT-K KT-N

<6.13.2>
材料

せっこうボード、その他ボード及び合板張り

名称	種 類	規格、区分等	厚さ(mm)
せ っ こ う ボ ー ド 製 品	○せっこうボード（GB-R）		・9.5（不燃） ・9.5（準不燃） ○12.5（不燃） ・ ・15.0（不燃） ・
			・ 9.5（準不燃） ・ ○12.5（不燃） ・12.5（準不燃） ・15.0（準不燃） ・
			○12.5（不燃） ・ ・15.0（不燃） ・ ・21.0（不燃） ・
	○強化せっこうボード（GB-F）		○12.5（不燃） ・ ・15.0（不燃） ・ ・21.0（不燃） ・
			○9.5（不燃） ・9.5（準不燃） ・12.5（不燃） ・
			・9.5（不燃） ・9.5（準不燃） ・9.5（不燃） ・ ・12.5（不燃） ・
	○化粧せっこうボード（GB-D）	普通	○9.5（不燃） ・9.5（準不燃） ・12.5（不燃） ・
		特殊 有孔	・9.5（不燃） ・9.5（準不燃） ・9.5（不燃） ・ ・12.5（不燃） ・
吸 音 材 料	○吸音ボード（RW-B）	1号	25
		2号32K	25(カラマツ包)
			・9.0(不燃) ○12.0(不燃) 立体的様 ・12.0(不燃) ・
	○強化化粧吸音板（DR）	内部用 普通	・9.0(不燃) ・ 立体的様 ・12.0(不燃) ・
		軒天用 普通	・9.0(不燃) ・ 立体的様 ・12.0(不燃) ・
			・
	繊維強化セメント	○0.8けい酸カルシウム版(0.8FK)	○6.0 ・ 有孔 ・6.0
合 板	特 殊 合 板	・天然木化粧合板	・なら しおじ 化粧単板 ・0.3未満 ・ 板 ・4.2
		・特殊加工化粧合板	・メラミン化粧合板 ・メラミン化粧合板
		難燃合板	・有孔合板 ・しな ・5.5 ・化粧板 ・さくら ・5.5
	木質系セメント板	・木毛セメント板	・15 20 ・普通木毛セメント板
		・破損木片セメント板	・12 15 18 21 ・普通木片セメント板
		・ハードボード（破損繊維板）	・未研磨板 ・2.5 3.5 ・研磨板 ・5 7 ・未研磨板 ・2.5 3.5 ・研磨板 ・5 7
	ハードボード（破損繊維板）	・スワグボード	・未研磨板 ・2.5 3.5 ・研磨板 ・5 7 ・未研磨板 ・2.5 3.5 ・研磨板 ・5 7
		・内装用化粧ハードボード	・2.5 3.5 5 7 ・5 7
		・外装用化粧ハードボード	・5 7
	化粧板	・天然木化粧合板	・なら しおじ 化粧単板 ・0.3未満 ・ 板 ・4.2
		・特殊加工化粧合板	・メラミン化粧合板 ・メラミン化粧合板
		難燃合板	・有孔合板 ・しな ・5.5 ・化粧板 ・さくら ・5.5
化粧板	木質系セメント板	・木毛セメント板	・15 20 ・普通木毛セメント板
		・破損木片セメント板	・12 15 18 21 ・普通木片セメント板
		・ハードボード（破損繊維板）	・未研磨板 ・2.5 3.5 ・研磨板 ・5 7 ・未研磨板 ・2.5 3.5 ・研磨板 ・5 7
	ハードボード（破損繊維板）	・スワグボード	・未研磨板 ・2.5 3.5 ・研磨板 ・5 7 ・未研磨板 ・2.5 3.5 ・研磨板 ・5 7
		・内装用化粧ハードボード	・2.5 3.5 5 7 ・5 7
		・外装用化粧ハードボード	・5 7
	化粧板	・天然木化粧合板	・なら しおじ 化粧単板 ・0.3未満 ・ 板 ・4.2
		・特殊加工化粧合板	・メラミン化粧合板 ・メラミン化粧合板
		難燃合板	・有孔合板 ・しな ・5.5 ・化粧板 ・さくら ・5.5
	木質系セメント板	・木毛セメント板	・15 20 ・普通木毛セメント板
		・破損木片セメント板	・12 15 18 21 ・普通木片セメント板
		・ハードボード（破損繊維板）	・

<9.1.2>
除去工事
共通事項

12) 囲い込み材料の使用量等
13) その他必要な事項

工事管理者

1. 処理工事に係る総合的技術管理と工事管理者を選任する。
なお、工事管理者は、アスベスト含有建材飛散防止処理施工等にかかわる指導、及び管理を行う能力を有し、建設業法で規定する主任技術者又は監理技術者の資格を有する者とする。

2. 工事管理者と現場代理人及び石綿作業主任者はこれを兼ねることができる。

<9.1.3>
アスベスト含有吹付け材の除去

アスベスト含有吹付け材の処理を行う範囲は図示による。

室名	処理を行うアスベスト含有吹付け材の仕様

アスベスト含有吹付け材の処理

- ・密封処理（二重袋梱包）
- ・セメント固化

<9.1.4>
アスベスト含有保温材等の除去

アスベスト含有保温材等の処理を行う範囲は図示による。

室名	処理を行うアスベスト保温材等の仕様

<9.1.5>
アスベスト含有成形板の除去

アスベスト含有成形板の処理を行う範囲は図示による。
ただし、調査の結果、アスベスト含有が確認されない場合は、監督職員と協議する。

室名	処理を行うアスベスト含有成形板の仕様
内部仕上げ表による	・<9.1.1>に記載する調査対象建材

アスベスト含有成形板の集積・運搬等

アスベスト含有成形板の集積・運搬等は、<9.1.5>によるほか、「技術指針」の「第4章 収集運搬」及び次の事項に基づき実施する。

アスベスト含有成形板の処分等

アスベスト含有整形板の処分等は、<9.1.5>によるほか、「技術指針」の「第5章 中間処理」、「第6章 最終処分」及び次の事項に基づき実施する。

<9.3.2>
材料

種 類	種 別	厚さ(mm)	施工箇所・・
・ビニール法※リフレフォーム保温材	・	・	
・押出法※リフレフォーム保温材	・保温板2種 b	・25	・
	・保温板3種 b	・25	・
	・	・	
・硬質ウレタンフォーム保温材	・	・	

<9.5.2>
断熱材打込工事法

断熱材現場発泡工法

種 類	種 別	厚さ(mm)	施工箇所・・
・ビニール法※リフレフォーム保温材	・	・	
・押出法※リフレフォーム保温材	・保温板2種 b	・25	・土間下
	・保温板3種 b	・25	・
	・	・	
・硬質ウレタンフォーム保温材	・	・	

<9.5.3>
断熱材現場発泡工法

断熱材現場発泡工法

種 類	厚さ(mm)	施工箇所・・	
・A種1	・25	外部に面するコンクリート壁、屋上スラブ下、1Fスラブ下 ※柱・梁型は除く	
・A種2	・20		
・A種3			

20章 ユニット及びその他工事

<20.2.2>
材料

フリーアクセスフロア

施工箇所				
構成材	スチール	スチール		
表面床仕上材	一般床部	・帯電防止 タイプカーペット		
	スロープ	・図示		
形状寸法（mm）	・600×600	・500×500		
高さ（mm）	・29	・図示		
耐荷重（N）	・3000・5000	・3000・5000		
許容水平力（G）	・0.6 ・1.0	・0.6 ・1.0		
製造所（製品名）	共同カイテック㈱ ネットワークフロア同等			

<20.2.4>
移動間仕切り

<20.2.5>
トリアージブース

<20.2.8>
黒板及びホワイトボード

パネル圧接装置の操作方法	遮音性能	表面仕上げ
・ブッシュ式 ・ハンドル回転式 ・ワンタッチ+回転ハンドル式	・一般タイプ（36dB未満） ・遮音タイプ（36dB以上）	・焼付け塗装 ・壁紙張り

製造所（製品名）

表面材の材質

- ・高圧メラミン樹脂化粧板
- ・ポリエステル樹脂化粧板

製造所（製品名）

- ・黒板
- 種類 ・ホーロー ※図示による。
- ホワイトボード
- 種類 ○ホーロー ※図示による。

製造所（製品名）

21章 排水工事

<21.2.2>
創境、排水斜め

種類	形式	適用荷重（安全荷重（kgf））	鍵の有無	施工箇所

グレーチング

種類	形式	用途	適用荷重	メーカ・ベンダー		備考
				普通	細目	
鋼製	・受枠付	・溝ふた（横断面用） ・溝ふた（側溝用） ・ますふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・	
ステンレス製	・受枠付	・溝ふた（横断面用） ・溝ふた（側溝用） ・ますふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用			

22章 舗装工事

<22.2.3>
材料

路床

盛土工用材料

- ・A種 ・B種 ・C種 ・D種

<22.2.5>
試験

路床土の支持力比（CBR）試験

- ・行う

路床締固め度の試験

- ・行う

<22.4.2>
舗装の構成及び仕上り

カラー舗装の種類

- ・表層に着色した加熱アスファルト混合物
- ・表層の上に着色舗装又は樹脂系混合物
- ・表層の上に常温塗布式舗装又はノーマル工法による樹脂系舗装

<22.4.4>
配合その他

加熱アスファルト混合物の種類

表層	・密粒度アスファルト混合物 ・（13） ・（13F） ・細粒度アスファルト混合物 ・（13） ・（13F）
基層	粗粒度アスファルト混合物（20）

<22.4.5>
工法

シールコート ・行う

<22.4.6>
試験

アスファルト混合物の抽出試験 ・行う

<22.5.3>
材料

早強セメント ・使用する

<22.5.6>
試験

コンクリート版厚さ試験 ・行う

<22.7.6>
試験

透水性アスファルト混合物の抽出試験 →行う←

<22.8.3>
材料

タックコート用ゴム入りアスファルト乳剤の種類

- ・PKR-T1 ・PKR-T2

<22.9.3>
材料

インターロッキングブロック舗装

材質、種類	形状、寸法	表面加工

23章 植栽及び屋上緑化工事

<23.4.3>
芝張りの工法

工法

- ・目地張り ・べた張り ・筋張り

<23.5.2>
植栽基盤

土壌層の厚さ _____ mm
（黒ボク土）

24章 病院改修の留意点

<24.1>
騒音・振動対策

医療を行っている箇所に隣接している工事範囲では十分な騒音対応を行う。（ ）
※工事範囲全域で行う。
※全棟で騒音発生工事は土日工事とする。
※工事範囲では不要な音を立てない。特に下階への振動発生に留意する。
※金属の切断などは改修工事範囲では行わない。外部の指定された場所で行う。
※解体時など床に解体材を投げない。すべて手渡しとする。
※ﾌｧｶｰ等の施工は事前に設備と調整し施工計画を作成する。その後病院の了承を得、施工する。
※ﾌｧｶｰはすべてﾀｲﾔﾓﾄｺﾞﾛ無振動工法とする。

<24.2>
臭気対策

騒音と同じく十分な臭気対策を行う。
※現場塗装は原則行わない。
※木口は原則工場塗装とする。

<24.3>
工事中の環境汚染管理

粉塵の拡散防止を考慮した工事中の環境汚染管理を行う。
１）工事区域外への塵あいの侵入の防止、２）患者区域への塵あいの拡散の防止、３）工事エリア内の空気管理を主要な項目とする。

1 防護壁の設置

※適合範囲：工事範囲全域
工事区域から患者ケア区域への塵あいの進入を防止するため防護壁設ける。

床～天井面：

- ・LGS65下地石膏ボード二重貼り（片面）
- ・LGS下地は床・天井面に両面テープ貼り
- ・床・壁・天井との取り合い部はテープ貼り（塵あいの拡散防止）

天井内：

- ・工事用ビニールシート二重貼り
- ・床・壁・天井との取り合い部はテープ貼り（塵あいの拡散防止）

扉：

- ・原則設けない。設ける場合は鋼製W800×H2,000程度。

2工事区域内の空気管理

※適合範囲：工事エリア全域

a. 工事区域内は常に陰圧を保つ。工事区域内の窓は原則密閉とし、工事区域内の排気ダクトを患者ケア区域から離れた場所で開放する。

b. ダクト解放場所を決定するために患者ケア区域の空気取り入れ口が近辺にないか確認する。

c. 工事区域内のダクト解放口には必要に応じHEPAフィルターを設置する。

d. 工事区域内に外部から入室する場合、患者ケア区域の窓が開放され塵あいが流入しないようにする。

7月中旬～8月末（夏休み期間中）は、外来患者数が増加するため、原則平日昼間の作業を禁止する。

共通特記事項 (特記無き限り、下記による)		外部・内部仕上特記事項 (各項目の適用は(適用:■、不適用:□)とする。)		内部・外部仕上凡例・不燃認定番号		凡例・使用材料リスト (各項目の適用は(適用:■、不適用:□)とする。)	
1. 外部仕上	1. 各種設置機器他の基礎廻りは雨水排水ルートを確認するよう勾配を設けること。 2. コンクリート壁の埋打は外壁:20mm、軒天:10mm、内壁:10mmとする。 屋上露出防水の場合、スラブ面+10mmとする。 3. コンクリート壁面にはφ2,000mm程度に誘発目地を設ける。 また外壁はシーリングを行なう、内部は無し仕上の場合、シーリングを行なう。 4. 外部に面する鉄骨は溶融亜鉛メッキとする。 5. 縦筋は8m毎にスライド継手を設ける。 また、地盤面(舗装・土間等)との埋設配管との取り合い部もスライド対応とする。(地盤の沈下に対する対応) 6. 金属屋根の破風・クラバの納まりは、標準図により強風対策を行うこと。	1. 外部仕上	<input type="checkbox"/> 屋上防水の保護コンクリートは溶接金網(6φ100x100)敷きのうえ、普通コンクリートFc=18N/mm ² 、S=15cmとする。 伸縮目地W=25φ@3000以内毎に設ける。立上り部分はW=30φ@600以内に設ける。 <input type="checkbox"/> 外部軒天のボード貼はSUS製ビスとする。 <input type="checkbox"/> ピロティ上など、下部が外気に面するスラブ下(軒天がある場合共)には断熱を施すこと。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	1. 排煙面積	ー …… 対象外 自然 …… 自然排煙 機械 …… 機械排煙 令三 …… 建令第126条の2-1-三 令四 …… 建令第126条の2-1-四 告(1) …… 告示第1436号四-ニ(1) 告(2) …… 告示第1436号四-ニ(2) 告(3) …… 告示第1436号四-ニ(3) 告(4) …… 告示第1436号四-ニ(4)	1. 耐火認定番号	1) 屋根 <input type="checkbox"/> 折板屋根 <input type="checkbox"/> 高充填フォームプラスチック裏貼 …… 耐火30分 F P030RF-9325 <input type="checkbox"/> ダブルバック(グラスウール充填) …… 耐火30分 F P030RF-0414 <input type="checkbox"/> シート防水(デッキプレート下地) <input type="checkbox"/> デッキプレート単体認定 …… 耐火30分 F P030RF-0019 <input type="checkbox"/> デッキプレート単体認定 …… 耐火30分 F P030RF-0114 <input type="checkbox"/> シート+断熱材+木毛板+デッキ F P030RF-0772 <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート …… 耐火30分 告示第1399号第5-一(H12.05.30)
	2. 床工事	2. 床工事	<input type="checkbox"/> 床下ピット、床下水槽の防水はケイ酸質系塗布防水とし、上部床裏は現場発泡ウレタン吹付t=25打込みとする。 <input type="checkbox"/> OA床下の仕上は防塵塗装とする。 <input type="checkbox"/> 垂直搬送機のピット床は防塵塗装とする。 <input type="checkbox"/> 床、巾木、水廻りに使用する石材の小口、裏面には吸込み防止処理を施すこと。 ■ 巾木が床材着上げの場合は、床ノ壁取り合い入隅部に塩ビ製R面木を設置すること。 <input type="checkbox"/> 床仕上げ面にはセルフレベリング材を使用すること。 <input type="checkbox"/> 地盤改良部分の土間コンクリート下部には捨てコンクリート不要とする。 <input type="checkbox"/> 床暖房使用部分のフローリング・コルクタイル類は、床暖房対応品とする。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	2. 塗装記号	SOP …… 合成樹脂調合ペイント FE …… フタル酸樹脂エナメル VP …… 塩化ビニル樹脂エナメル AE …… アクリル樹脂エナメル EP-1 …… 合成樹脂エマルションペイント(1種) EP-2 …… 合成樹脂エマルションペイント(2種) EP-G …… 合成樹脂エマルションペイント(艶有) EP-S1 …… シリコン樹脂エマルションペイント NAD …… アクリル樹脂系非水分散形塗料 DP …… 耐候性塗料 2-UE …… 2液形ポリウレタンエナメル UC …… ウレタン樹脂ウニス OS …… オイルステイン OSCL …… オイルステインクリアラッカー ST …… ステイン ST …… ステインウニス CL …… クリアラッカー W …… ワックス WP …… 木材保護塗料		2) 外壁(耐力壁) <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート …… 不燃材料 告示第1400号 (H12.05.30) <input type="checkbox"/> (t=100mm以上) …… 耐火120分 告示第1399号第1-一(H12.05.30) <input type="checkbox"/> (t=70mm以上) …… 耐火60分 告示第1399号第1-二(H12.05.30)
	3. 壁工事	3. 壁工事	<input type="checkbox"/> 外壁コンクリートの室内側には断熱ボード裏打ち、または断熱材吹付けとする。 <input type="checkbox"/> 外部空間に面する壁・梁・柱の各内面より1000mmの範囲にある壁、天井スラブ下面には断熱ボード裏打ち又は断熱材吹付とする。 <input type="checkbox"/> 床地仕上げPBはベベルエッジ品とし、コーナ部にボード切断面が露出する場合はコーナビートを取付けること。 <input type="checkbox"/> コンクリートに石膏ボード直貼りの場合は、特記なき限りLGS下地の上各ボード貼とする。 ■ タイルカーペット仕上げ部のソフト巾木は先付けハカマ無しタイプとする。 ■ 水廻りの化粧ケイカル板は目隠し貼(■3mm、□5mm)とする。 <input type="checkbox"/> 地中梁外周部及びピット部は、梁打継部W=200のみケイ酸質系塗布防水とする。 <input type="checkbox"/> 地中梁外周部側面にはH=300のみスタイロフォーム後貼とする。 <input type="checkbox"/> 火気使用室のコンロ台周りの壁は、化粧ケイカル板(不燃)とする。 ■ 水廻りは防汚性・抗菌性のある無機質壁紙とする。 <input type="checkbox"/>	3. 構造記号	SRC …… 鉄骨鉄筋コンクリート造 RC …… 鉄筋コンクリート造 S …… 鉄骨造 CFT …… 鉄管コンクリート造 W …… 木造 CB …… コンクリートブロック造		3) 外壁(非耐力壁) <input type="checkbox"/> 角波サイディング <input type="checkbox"/> (高圧木毛板t=20+7mm+7mm-t=25裏貼) …… 耐火30分 F P030NE-0073 …… 不燃材料 NM-8697 <input type="checkbox"/> (高圧木毛板t=25+7mm+7mm-t=21裏貼) …… 耐火60分 F P060NE-0074 <input type="checkbox"/> 断熱サンドイッチパネル <input type="checkbox"/> (φ47×φ70×t=15、端部断折、横張、強化PBt=15下貼) …… 防火構造 PC030BE-0126 …… 準不燃材料 QM-0765 <input type="checkbox"/> (φ47×t=135、端部断折、横張) …… 防火構造 PC030NE-9047 <input type="checkbox"/> (φ47×t=150、端部断折、横張) …… 耐火60分 F P060NE-9218 <input type="checkbox"/> ALC版 <input type="checkbox"/> (t=75mm以上) …… 耐火60分 告示第1399号第1-六 <input type="checkbox"/> 面積区画スパンデレル …… 準耐火45分 告示第1358号 屋外側:厚さ12mm以上の石膏ボード+亜鉛鉄板 屋内側:厚さ12mm以上の石膏ボードの上に厚さ9mm以上の石膏ボード又は難燃合板を張ったもの <input type="checkbox"/> 延焼のおそれのある範囲 …… 防火30分 告示第1359号 屋外側:厚さ12mm以上の石膏ボード+亜鉛鉄板 屋内側:厚さ9.5mm以上の石膏ボード <input type="checkbox"/> ローニ 準耐火 …… 不燃材料 NM-8697 <input type="checkbox"/> 開口塞ぎ …… 不燃材料 F P060NE-9305
4. 天井工事	1. 廻り縁は塩ビ製目隠しタイプとする。 2. ケイカル板はSUS製ビス止とする。 3. 特記なき限りライニングの下地はLGS-W=90とし、耐水PBは12.5下地のうえ各仕上とする。 4. 石膏ボード壁の開口部上下には塩ビ化粧細目地切を設け、各横仕上とする。 5. PB層仕切の柱、壁の出隅部はコーナビート補強とし、面取りを行うこと。 6. 水廻りに使用するPBは耐水PBとする。 7. 内装材の下地が異なる部分・建具廻りにはクラック防止対策を行うこと。 8. 準不燃、不燃仕上の場合、各認定シールを貼ること。	4. 天井工事	<input type="checkbox"/> 壁と天井が双方ペイント仕上げの場合は、取合い部をコーキングとする。 ■ 天井下地は、軽量鉄骨製とする。 <input type="checkbox"/> 折板屋根の下に天井を設ける場合は、天井下地受け(C=100×50×20×2.3@900)を設置すること。 ■ 塩ビ廻り縁は十手タイプとする。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	4. 下地及び一般材料略号	S …… 鉄骨 RC …… 鉄筋コンクリート W …… 木造 D-PL …… デッキプレート LGS …… 軽量形鋼 PC …… プレキャストコンクリート ALC …… 軽量気泡コンクリート PB …… 石コウボード(GB-R) 強化PB …… 無機系繊維強化石コウボード(GB-F) 硬質PB …… 硬質石コウボード(GB-R-H) 耐水PB …… シージング石コウボード(GB-S) 化粧PB …… 化粧石コウボード(GB-D) FB …… フレキシブルボード ケイカル板 …… ケイ酸カルシウム板	5) 梁	4) 柱 <input type="checkbox"/> 鉄骨 …… 不燃材料 告示第1400号 (H12.05.30) <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート …… 不燃材料 告示第1400号 (H12.05.30) <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート …… 耐火60分 告示第1399号第2-三(H12.05.30) <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート …… 耐火120分 告示第1399号第2-二(H12.05.30) (かぶり50mm以上、φ250以上) <input type="checkbox"/> 巻き付け耐火被覆材 t=20 …… 耐火60分 F P060CN-0081 <input type="checkbox"/> 巻き付け耐火被覆材 t=40 …… 耐火120分 F P120CN-0157 <input type="checkbox"/> ロックウール吹付 t=25 …… 耐火60分 F P060CN-9460 <input type="checkbox"/> 同上 (ALC合成被覆) …… 耐火60分 F P060CN-9458 <input type="checkbox"/> ロックウール吹付 t=45 …… 耐火120分 F P120CN-9463 <input type="checkbox"/> 同上 (ALC合成被覆) …… 耐火120分 F P120CN-9461 <input type="checkbox"/> セラミック系耐火被覆 t=20 …… 耐火60分 F P060CN-9001 <input type="checkbox"/> 同上 (ALC合成被覆) …… 耐火60分 F P060CN-9002 <input type="checkbox"/> セラミック系耐火被覆 t=30 …… 耐火120分 F P120CN-9013 <input type="checkbox"/> 同上 (ALC合成被覆) …… 耐火120分 F P120CN-9016 <input type="checkbox"/> ケイカル板 t=15 …… 耐火60分 F P060CN-0054 <input type="checkbox"/> ケイカル板 t=25 …… 耐火120分 F P120CN-0071 <input type="checkbox"/> 耐火塗料 …… 耐火60分 - <input type="checkbox"/> 耐火塗料 …… 耐火120分 - <input type="checkbox"/> ALC板 t=50 …… 耐火60分 F P060CN-9405 <input type="checkbox"/> ALC板 t=50 …… 耐火120分 F P120CN-9406
	1. 床下点検口はSUS枠化粧(断熱・断水付)600角モルタル充填床同仕上とし、タラップ(SUS製t6φW400@350)及び金網600角×600H程度を設ける。大通路を設ける場合で地中梁で囲われてしまう範囲の排水路として金網までの連通管(W100×H50程度)と、通気管VPφ50(外部に設置する場合はSUS全鋼付)を設置すること。 大通路上部にはSUS手すり及びSUS足掛かり(各SUS製t6φW400タラップ)を設置すること。	5. 雑工事	<input type="checkbox"/> 特記なき限り塗装を要する鉄骨は溶融亜鉛メッキとぶ漆とする。 <input type="checkbox"/> 屋上外断熱の場合、躯体から立上る基礎のスラブ下には断熱材を設置すること。 <input type="checkbox"/> 人入口を設ける場合で地中梁で囲われてしまう範囲の排水路として金網までの連通管(W100×H50程度)と、通気管VPφ50(外部に設置する場合はSUS全鋼付)を設置すること。 ■ 特記なき限り三方枠、壁見切は、スチールt=1、6曲加工SOPとする。 <input type="checkbox"/> 特記なき限りサッシュ鋼線は、木製下地塩ビ化粧シート仕上とする。 <input type="checkbox"/> 特記なき限りサッシュ鋼線は、アルミ製 既製品シルバーとする。 <input type="checkbox"/> 固定式の防塵壁はファイバーグラス製(透明)とする。 <input type="checkbox"/> 機械室等に使用するグラスウールボードは32K、t=50(グラスクロス包み品)とする。 <input type="checkbox"/> 特記なき限りブラインド(カーテン)ボックスは、木製下地塩ビ化粧シート仕上とする。 <input type="checkbox"/> カーテンボックスにはSUS製カーテンレール(ダブル)取付けとする。 <input type="checkbox"/> 便所SK室内には継(0300)及び掃除用フック(SUS 3ヶ所以上)を設けること。 <input type="checkbox"/> 屋上設備立上り(ハト小屋)の内部には、断熱ボード裏打ち、または断熱材吹付けとする。 <input type="checkbox"/> S造の場合、外壁材と金物・建具材との空隙部分には断熱材を充填とする。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	5. 認定番号	PB(GB-R)t=9、5 …… 準不燃 QM-9828 PB(GB-R)t=12、5 …… 不燃 NM-8619 不燃耐水PB(GB-S)t=12、5 …… 不燃 NM-9639 耐水PB(GB-S)t=12、5 …… 準不燃 QM-9826 硬質PB(GB-R-H)t=9、5/t=12、5/t=15 …… 不燃 NM-9645 強化PB(GB-F)t=12、5/15/t=21 …… 不燃 NM-8615 不燃化粧PB(GB-NC)t=9、5 …… 不燃 NM-1864 化粧PB(GB-D)t=9、5 …… 準不燃 QM-0524 FB t=6 …… 不燃 NM-9028 ケイカル板 t=5~20 …… 不燃 NM-8578 化粧ケイカル板 t=5~ …… 不燃 NM-8577 各種塗装(PB t=12、5下地) …… 不燃 NM-8585 無機質壁紙(PB t=12、5下地) …… 不燃 NM-9889 グラスウールボード t=25/t=50 …… 不燃 NM-8607 ビニルクロス(不燃下地) …… 不燃 NM-0849 ビニルクロス(準不燃下地) …… 準不燃 QM-9406 岩綿吸音板 t=12/t=15 …… 不燃 NM-8599 アルポリック t=4 …… 不燃 NM-1916 高圧木毛セメント板 t=25+フェノールフォーム t=21 …… 準不燃 QM-0649 内装塗料E …… 不燃 NM-8572 紗板(不燃処理) …… 不燃 NM-1703		5) 梁 <input type="checkbox"/> 鉄骨 …… 不燃材料 告示第1400号(H12.05.30) <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート …… 不燃材料 告示第1400号(H12.05.30) <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート …… 耐火60分 告示第1399号(H12.05.30) <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート …… 耐火120分 告示第1399号(H12.05.30) (かぶり50mm以上、φ250以上) <input type="checkbox"/> 巻き付け耐火被覆材 t=20 …… 耐火60分 F P060BM-0009 <input type="checkbox"/> 巻き付け耐火被覆材 t=40 …… 耐火120分 F P120BM-0010 <input type="checkbox"/> ロックウール吹付 t=25 …… 耐火60分 F P060BM-9408 <input type="checkbox"/> 同上 (ALC合成被覆) …… 耐火60分 F P060BM-9406 <input type="checkbox"/> ロックウール吹付 t=45 …… 耐火120分 F P120BM-9411 <input type="checkbox"/> 同上 (ALC合成被覆) …… 耐火120分 F P120BM-9409 <input type="checkbox"/> セラミック系耐火被覆 t=20 …… 耐火60分 F P060BM-0020 <input type="checkbox"/> 同上 (ALC合成被覆) …… 耐火60分 F P060BM-9002 <input type="checkbox"/> セラミック系耐火被覆 t=30 …… 耐火120分 F P120BM-0037 <input type="checkbox"/> 同上 (ALC合成被覆) …… 耐火120分 F P120BM-9011 <input type="checkbox"/> ケイカル板 t=15 …… 耐火60分 F P060BM-0061 <input type="checkbox"/> ケイカル板 t=25 …… 耐火120分 F P120BM-0068 <input type="checkbox"/> 耐火塗料 …… 耐火60分 F P060BM-9419 <input type="checkbox"/> 耐火塗料 …… 耐火120分 F P120BM-0180 <input type="checkbox"/> 鉄骨現し(梁下4m以上の小屋組) …… 耐火60分 告示第1399号第4-三・二(H12.05.30)
	1. 床下点検口はSUS枠化粧(断熱・断水付)600角モルタル充填床同仕上とし、タラップ(SUS製t6φW400@350)及び金網600角×600H程度を設ける。大通路を設ける場合で地中梁で囲われてしまう範囲の排水路として金網までの連通管(W100×H50程度)と、通気管VPφ50(外部に設置する場合はSUS全鋼付)を設置すること。 大通路上部にはSUS手すり及びSUS足掛かり(各SUS製t6φW400タラップ)を設置すること。 2. 防火区画を貫通する梁と区画壁の隙間はロックウールまたは認定品を隙間なく充填すること。 3. 全ての内装材(下地・仕上・接着剤・塗料)は、F☆☆☆☆認定品とすること。 4. カーペット、ブラインド、カーテン等は防火認定品とする。 5. 屋上・軒縁等にはオーバーフロー管を適宜設けること。(該当範囲にドレン等が1ヶ所の場合は必ず設ける) 6. RC造の場合、外壁躯体と金物・建具材との空隙部分には断熱材(発泡ウレタン)を充填とする。	5. 雑工事	<input type="checkbox"/> 特記なき限りサッシュ鋼線は、アルミ製 既製品シルバーとする。 <input type="checkbox"/> 固定式の防塵壁はファイバーグラス製(透明)とする。 <input type="checkbox"/> 機械室等に使用するグラスウールボードは32K、t=50(グラスクロス包み品)とする。 <input type="checkbox"/> 特記なき限りブラインド(カーテン)ボックスは、木製下地塩ビ化粧シート仕上とする。 <input type="checkbox"/> カーテンボックスにはSUS製カーテンレール(ダブル)取付けとする。 <input type="checkbox"/> 便所SK室内には継(0300)及び掃除用フック(SUS 3ヶ所以上)を設けること。 <input type="checkbox"/> 屋上設備立上り(ハト小屋)の内部には、断熱ボード裏打ち、または断熱材吹付けとする。 <input type="checkbox"/> S造の場合、外壁材と金物・建具材との空隙部分には断熱材を充填とする。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	5. 認定番号	PB(GB-R)t=9、5 …… 準不燃 QM-9828 PB(GB-R)t=12、5 …… 不燃 NM-8619 不燃耐水PB(GB-S)t=12、5 …… 不燃 NM-9639 耐水PB(GB-S)t=12、5 …… 準不燃 QM-9826 硬質PB(GB-R-H)t=9、5/t=12、5/t=15 …… 不燃 NM-9645 強化PB(GB-F)t=12、5/15/t=21 …… 不燃 NM-8615 不燃化粧PB(GB-NC)t=9、5 …… 不燃 NM-1864 化粧PB(GB-D)t=9、5 …… 準不燃 QM-0524 FB t=6 …… 不燃 NM-9028 ケイカル板 t=5~20 …… 不燃 NM-8578 化粧ケイカル板 t=5~ …… 不燃 NM-8577 各種塗装(PB t=12、5下地) …… 不燃 NM-8585 無機質壁紙(PB t=12、5下地) …… 不燃 NM-9889 グラスウールボード t=25/t=50 …… 不燃 NM-8607 ビニルクロス(不燃下地) …… 不燃 NM-0849 ビニルクロス(準不燃下地) …… 準不燃 QM-9406 岩綿吸音板 t=12/t=15 …… 不燃 NM-8599 アルポリック t=4 …… 不燃 NM-1916 高圧木毛セメント板 t=25+フェノールフォーム t=21 …… 準不燃 QM-0649 内装塗料E …… 不燃 NM-8572 紗板(不燃処理) …… 不燃 NM-1703		6) 床 <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート …… 耐火60分 告示第1399号第3-二(H12.05.30) …… 不燃材料 告示第1400号 (H12.05.30) <input type="checkbox"/> トラス筋付デッキ(7mm+H890-120同等) …… 耐火60分 告示第1399号第3-二(H12.05.30) …… 耐火60分 告示第1399号第3-二(H12.05.30) <input type="checkbox"/> デッキプレート合成床版 …… 耐火60分 F P060FL-9095 <input type="checkbox"/> デッキプレート合成床版 …… 不燃材料 告示第1400号 (H12.05.30)
5. 雑工事	1. 床下点検口はSUS枠化粧(断熱・断水付)600角モルタル充填床同仕上とし、タラップ(SUS製t6φW400@350)及び金網600角×600H程度を設ける。大通路を設ける場合で地中梁で囲われてしまう範囲の排水路として金網までの連通管(W100×H50程度)と、通気管VPφ50(外部に設置する場合はSUS全鋼付)を設置すること。 大通路上部にはSUS手すり及びSUS足掛かり(各SUS製t6φW400タラップ)を設置すること。 2. 防火区画を貫通する梁と区画壁の隙間はロックウールまたは認定品を隙間なく充填すること。 3. 全ての内装材(下地・仕上・接着剤・塗料)は、F☆☆☆☆認定品とすること。 4. カーペット、ブラインド、カーテン等は防火認定品とする。 5. 屋上・軒縁等にはオーバーフロー管を適宜設けること。(該当範囲にドレン等が1ヶ所の場合は必ず設ける) 6. RC造の場合、外壁躯体と金物・建具材との空隙部分には断熱材(発泡ウレタン)を充填とする。	5. 雑工事	<input type="checkbox"/> 特記なき限りサッシュ鋼線は、アルミ製 既製品シルバーとする。 <input type="checkbox"/> 固定式の防塵壁はファイバーグラス製(透明)とする。 <input type="checkbox"/> 機械室等に使用するグラスウールボードは32K、t=50(グラスクロス包み品)とする。 <input type="checkbox"/> 特記なき限りブラインド(カーテン)ボックスは、木製下地塩ビ化粧シート仕上とする。 <input type="checkbox"/> カーテンボックスにはSUS製カーテンレール(ダブル)取付けとする。 <input type="checkbox"/> 便所SK室内には継(0300)及び掃除用フック(SUS 3ヶ所以上)を設けること。 <input type="checkbox"/> 屋上設備立上り(ハト小屋)の内部には、断熱ボード裏打ち、または断熱材吹付けとする。 <input type="checkbox"/> S造の場合、外壁材と金物・建具材との空隙部分には断熱材を充填とする。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	5. 認定番号	PB(GB-R)t=9、5 …… 準不燃 QM-9828 PB(GB-R)t=12、5 …… 不燃 NM-8619 不燃耐水PB(GB-S)t=12、5 …… 不燃 NM-9639 耐水PB(GB-S)t=12、5 …… 準不燃 QM-9826 硬質PB(GB-R-H)t=9、5/t=12、5/t=15 …… 不燃 NM-9645 強化PB(GB-F)t=12、5/15/t=21 …… 不燃 NM-8615 不燃化粧PB(GB-NC)t=9、5 …… 不燃 NM-1864 化粧PB(GB-D)t=9、5 …… 準不燃 QM-0524 FB t=6 …… 不燃 NM-9028 ケイカル板 t=5~20 …… 不燃 NM-8578 化粧ケイカル板 t=5~ …… 不燃 NM-8577 各種塗装(PB t=12、5下地) …… 不燃 NM-8585 無機質壁紙(PB t=12、5下地) …… 不燃 NM-9889 グラスウールボード t=25/t=50 …… 不燃 NM-8607 ビニルクロス(不燃下地) …… 不燃 NM-0849 ビニルクロス(準不燃下地) …… 準不燃 QM-9406 岩綿吸音板 t=12/t=15 …… 不燃 NM-8599 アルポリック t=4 …… 不燃 NM-1916 高圧木毛セメント板 t=25+フェノールフォーム t=21 …… 準不燃 QM-0649 内装塗料E …… 不燃 NM-8572 紗板(不燃処理) …… 不燃 NM-1703		7) 階段 <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート …… 耐火30分 告示第1399号第6-一(H12.05.30) <input type="checkbox"/> 鉄骨造 …… 耐火30分 告示第1399号第6-四(H12.05.30) …… 不燃材料 告示第1400号 (H12.05.30)
	1. 床下点検口はSUS枠化粧(断熱・断水付)600角モルタル充填床同仕上とし、タラップ(SUS製t6φW400@350)及び金網600角×600H程度を設ける。大通路を設ける場合で地中梁で囲われてしまう範囲の排水路として金網までの連通管(W100×H50程度)と、通気管VPφ50(外部に設置する場合はSUS全鋼付)を設置すること。 大通路上部にはSUS手すり及びSUS足掛かり(各SUS製t6φW400タラップ)を設置すること。 2. 防火区画を貫通する梁と区画壁の隙間はロックウールまたは認定品を隙間なく充填すること。 3. 全ての内装材(下地・仕上・接着剤・塗料)は、F☆☆☆☆認定品とすること。 4. カーペット、ブラインド、カーテン等は防火認定品とする。 5. 屋上・軒縁等にはオーバーフロー管を適宜設けること。(該当範囲にドレン等が1ヶ所の場合は必ず設ける) 6. RC造の場合、外壁躯体と金物・建具材との空隙部分には断熱材(発泡ウレタン)を充填とする。	5. 雑工事	<input type="checkbox"/> 特記なき限りサッシュ鋼線は、アルミ製 既製品シルバーとする。 <input type="checkbox"/> 固定式の防塵壁はファイバーグラス製(透明)とする。 <input type="checkbox"/> 機械室等に使用するグラスウールボードは32K、t=50(グラスクロス包み品)とする。 <input type="checkbox"/> 特記なき限りブラインド(カーテン)ボックスは、木製下地塩ビ化粧シート仕上とする。 <input type="checkbox"/> カーテンボックスにはSUS製カーテンレール(ダブル)取付けとする。 <input type="checkbox"/> 便所SK室内には継(0300)及び掃除用フック(SUS 3ヶ所以上)を設けること。 <input type="checkbox"/> 屋上設備立上り(ハト小屋)の内部には、断熱ボード裏打ち、または断熱材吹付けとする。 <input type="checkbox"/> S造の場合、外壁材と金物・建具材との空隙部分には断熱材を充填とする。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	5. 認定番号	PB(GB-R)t=9、5 …… 準不燃 QM-9828 PB(GB-R)t=12、5 …… 不燃 NM-8619 不燃耐水PB(GB-S)t=12、5 …… 不燃 NM-9639 耐水PB(GB-S)t=12、5 …… 準不燃 QM-9826 硬質PB(GB-R-H)t=9、5/t=12、5/t=15 …… 不燃 NM-9645 強化PB(GB-F)t=12、5/15/t=21 …… 不燃 NM-8615 不燃化粧PB(GB-NC)t=9、5 …… 不燃 NM-1864 化粧PB(GB-D)t=9、5 …… 準不燃 QM-0524 FB t=6 …… 不燃 NM-9028 ケイカル板 t=5~20 …… 不燃 NM-8578 化粧ケイカル板 t=5~ …… 不燃 NM-8577 各種塗装(PB t=12、5下地) …… 不燃 NM-8585 無機質壁紙(PB t=12、5下地) …… 不燃 NM-9889 グラスウールボード t=25/t=50 …… 不燃 NM-8607 ビニルクロス(不燃下地) …… 不燃 NM-0849 ビニルクロス(準不燃下地) …… 準不燃 QM-9406 岩綿吸音板 t=12/t=15 …… 不燃 NM-8599 アルポリック t=4 …… 不燃 NM-1916 高圧木毛セメント板 t=25+フェノールフォーム t=21 …… 準不燃 QM-0649 内装塗料E …… 不燃 NM-8572 紗板(不燃処理) …… 不燃 NM-1703		8) 開口切 <input type="checkbox"/> 強化PBt=12、5+PBt=9、5 …… 準耐火60分 告示第1358号第1-二(H12.05.24) (LGS下地・片面貼) <input type="checkbox"/> 強化PBt=12、5+12、5(LGS下地・片面貼) …… 耐火60分 F P060NP-0174 <input type="checkbox"/> 強化PBt=15+15(LGS下地・片面貼) …… 耐火60分 F P060NP-0174 <input type="checkbox"/> 強化PBt=21+21(LGS下地・片面貼) …… 耐火60分 F P060NP-0049 <input type="checkbox"/> 強化PBt=21+21(LGS下地・片面貼) …… 耐火60分 F P060NP-0071 (片面PBt=12、5貼) <input type="checkbox"/> ALC板t=75以上 …… 耐火60分 告示第1399号第1-三(H12.05.30) <input type="checkbox"/> 耐火断熱パネルt=80 …… 耐火60分 F P060NP-0040
	1. 床下点検口はSUS枠化粧(断熱・断水付)600角モルタル充填床同仕上とし、タラップ(SUS製t6φW400@350)及び金網600角×600H程度を設ける。大通路を設ける場合で地中梁で囲われてしまう範囲の排水路として金網までの連通管(W100×H50程度)と、通気管VPφ50(外部に設置する場合はSUS全鋼付)を設置すること。 大通路上部にはSUS手すり及びSUS足掛かり(各SUS製t6φW400タラップ)を設置すること。 2. 防火区画を貫通する梁と区画壁の隙間はロックウールまたは認定品を隙間なく充填すること。 3. 全ての内装材(下地・仕上・接着剤・塗料)は、F☆☆☆☆認定品とすること。 4. カーペット、ブラインド、カーテン等は防火認定品とする。 5. 屋上・軒縁等にはオーバーフロー管を適宜設けること。(該当範囲にドレン等が1ヶ所の場合は必ず設ける) 6. RC造の場合、外壁躯体と金物・建具材との空隙部分には断熱材(発泡ウレタン)を充填とする。	5. 雑工事	<input type="checkbox"/> 特記なき限りサッシュ鋼線は、アルミ製 既製品シルバーとする。 <input type="checkbox"/> 固定式の防塵壁はファイバーグラス製(透明)とする。 <input type="checkbox"/> 機械室等に使用するグラスウールボードは32K、t=50(グラスクロス包み品)とする。 <input type="checkbox"/> 特記なき限りブラインド(カーテン)ボックスは、木製下地塩ビ化粧シート仕上とする。 <input type="checkbox"/> カーテンボックスにはSUS製カーテンレール(ダブル)取付けとする。 <input type="checkbox"/> 便所SK室内には継(0300)及び掃除用フック(SUS 3ヶ所以上)を設けること。 <input type="checkbox"/> 屋上設備立上り(ハト小屋)の内部には、断熱ボード裏打ち、または断熱材吹付けとする。 <input type="checkbox"/> S造の場合、外壁材と金物・建具材との空隙部分には断熱材を充填とする。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	5. 認定番号	PB(GB-R)t=9、5 …… 準不燃 QM-9828 PB(GB-R)t=12、5 …… 不燃 NM-8619 不燃耐水PB(GB-S)t=12、5 …… 不燃 NM-9639 耐水PB(GB-S)t=12、5 …… 準不燃 QM-9826 硬質PB(GB-R-H)t=9、5/t=12、5/t=15 …… 不燃 NM-9645 強化PB(GB-F)t=12、5/15/t=21 …… 不燃 NM-8615 不燃化粧PB(GB-NC)t=9、5 …… 不燃 NM-1864 化粧PB(GB-D)t=9、5 …… 準不燃 QM-0524 FB t=6 …… 不燃 NM-9028 ケイカル板 t=5~20 …… 不燃 NM-8578 化粧ケイカル板 t=5~ …… 不燃 NM-8577 各種塗装(PB t=12、5下地) …… 不燃 NM-8585 無機質壁紙(PB t=12、5下地) …… 不燃 NM-9889 グラスウールボード t=25/t=50 …… 不燃 NM-8607 ビニルクロス(不燃下地) …… 不燃 NM-0849 ビニルクロス(準不燃下地) …… 準不燃 QM-9406 岩綿吸音板 t=12/t=15 …… 不燃 NM-8599 アルポリック t=4 …… 不燃 NM-1916 高圧木毛セメント板 t=25+フェノールフォーム t=21 …… 準不燃 QM-0649 内装塗料E …… 不燃 NM-8572 紗板(不燃処理) …… 不燃 NM-1703		9) 特定防火設備 <input type="checkbox"/> 鋼製片開戸、両開戸、親子開戸 …… 告示第1369号 <input type="checkbox"/> 断熱板ガラス入鋼製片開戸 …… E A-9263 <input type="checkbox"/> 断熱板ガラス入鋼製両開戸 …… E A-9266 <input type="checkbox"/> 断熱板ガラス入鋼製親子開戸 …… E A-9312
	1. 床下点検口はSUS枠化粧(断熱・断水付)600角モルタル充填床同仕上とし、タラップ(SUS製t6φW400@350)及び金網600角×600H程度を設ける。大通路を設ける場合で地中梁で囲われてしまう範囲の排水路として金網までの連通管(W100×H50程度)と、通気管VPφ50(外部に設置する場合はSUS全鋼付)を設置すること。 大通路上部にはSUS手すり及びSUS足掛かり(各SUS製t6φW400タラップ)を設置すること。 2. 防火区画を貫通する梁と区画壁の隙間はロックウールまたは認定品を隙間なく充填すること。 3. 全ての内装材(下地・仕上・接着剤・塗料)は、F☆☆☆☆認定品とすること。 4. カーペット、ブラインド、カーテン等は防火認定品とする。 5. 屋上・軒縁等にはオーバーフロー管を適宜設けること。(該当範囲にドレン等が1ヶ所の場合は必ず設ける) 6. RC造の場合、外壁躯体と金物・建具材との空隙部分には断熱材(発泡ウレタン)を充填とする。	5. 雑工事	<input type="checkbox"/> 特記なき限りサッシュ鋼線は、アルミ製 既製品シルバーとする。 <input type="checkbox"/> 固定式の防塵壁はファイバーグラス製(透明)とする。 <input type="checkbox"/> 機械室等に使用するグラスウールボードは32K、t=50(グラスクロス包み品)とする。 <input type="checkbox"/> 特記なき限りブラインド(カーテン)ボックスは、木製下地塩ビ化粧シート仕上とする。 <input type="checkbox"/> カーテンボックスにはSUS製カーテンレール(ダブル)取付けとする。 <input type="checkbox"/> 便所SK室内には継(0300)及び掃除用フック(SUS 3ヶ所以上)を設けること。 <input type="checkbox"/> 屋上設備立上り(ハト小屋)の内部には、断熱ボード裏打ち、または断熱材吹付けとする。 <input type="checkbox"/> S造の場合、外壁材と金物・建具材との空隙部分には断熱材を充填とする。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	5. 認定番号	PB(GB-R)t=9、5 …… 準不燃 QM-9828 PB(GB-R)t=12、5 …… 不燃 NM-8619 不燃耐水PB(GB-S)t=12、5 …… 不燃 NM-9639 耐水PB(GB-S)t=12、5 …… 準不燃 QM-9826 硬質PB(GB-R-H)t=9、5/t=12、5/t=15 …… 不燃 NM-9645 強化PB(GB-F)t=12、5/15/t=21 …… 不燃 NM-8615 不燃化粧PB(GB-NC)t=9、5 …… 不燃 NM-1864 化粧PB(GB-D)t=9、5 …… 準不燃 QM-0524 FB t=6 …… 不燃 NM-9028 ケイカル板 t=5~20 …… 不燃 NM-8578 化粧ケイカル板 t=5~ …… 不燃 NM-8577 各種塗装(PB t=12、5下地) …… 不燃 NM-8585 無機質壁紙(PB t		

外 部 仕 上 表													
改 修 前					改 修 後					《 特記共通事項 》		《 認定番号 》	
屋 根	一般部	コンクリート金ゴテ アスファルト防水の上、押えコンクリート（新築時）			外 壁	塞ぎ	接着系あと施工アンカー、充填用無収縮モルタルにて成形			外壁面の断熱は現場発泡ウレタンフォーム t＝25吹付とする。			
		上記の上、ウレタン防水仕上にて改修：既存のまま					（既存コンクリート躯体との接着面については仕上げ、モルタル除去の上成形すること）						
	笠木	アルミ笠木（自然発色） W＝410：既存のまま				仕上げ	防水型複層塗材E						
	丸環	ステンレス製 19φ（内径 100φ）：既存のまま											
外 壁	一般部	二丁掛けレンガタイル貼り：既存のまま 打継目地、誘発目地及び化粧目地：シーリング（PS－2）：既存のまま											
	巾木	二丁掛けレンガタイル貼り：既存のまま											

内 部 仕 上 表 (2)

階		室 名		排煙設備 内装制限	床			壁		天井		天井高	検査項目							備 考							
					下地	材料	厚	下地	材料	高	下地		材料	防火性能	遮音性能	防湿性能	耐火性能	防虫性能	防臭性能		防カビ性能						
1階	放射線部門	改修前	待合廊下		RC	長尺電ビシート【既存のまま】	2.5	木製巾木 SOP【既存のまま】	85			R/C	モルタル金ゴテ EP【既存のまま】	LGS	PBt9+若緑吸音板t12【既存のまま】	2510	○				○				化粧簾 手洗い SUSコーナーガード（柱型）		
				LGS								PBt=12.5+12.5 EP【既存のまま】	【既存のまま】														
		改修後	12 待合廊下	自然																							
				準不燃以上																							
		改修前	放射線事務		RC	長尺電ビシート【既存のまま】	2.5	木製巾木 SOP【既存のまま】	85			R/C	モルタル金ゴテ EP【既存のまま】	LGS	PBt9+若緑吸音板t12【既存のまま】	2510			○	○		○	【撤去】		受付カウンター【既存のまま】 化粧簾（500x600）【既存のまま】 手洗い【既存のまま】		
				LGS								PBt=12.5+12.5 EP【既存のまま】	【既存のまま】														
		改修後	13 放射線事務	告（4）																		○					
				難燃以上																							
		改修前	前室		RC	長尺電ビシート【既存のまま】	2.5	木製巾木 SOP【既存のまま】	85			R/C	モルタル金ゴテ EP【既存のまま】	LGS	PBt9+若緑吸音板t12【撤去】	2510						○		○	【撤去】		
				LGS								PBt=12.5+12.5 EP【既存のまま】	【既存のまま】														
		改修後	14 前室	告（2）												LGS	不燃化被PBt=9.5	2510							○		
				準不燃以上																							
		改修前	操作廊下		RC	長尺電ビシート【既存のまま】	2.5	木製巾木 SOP【既存のまま】	85			R/C	モルタル金ゴテ EP【既存のまま】	LGS	PBt9+若緑吸音板t12【既存のまま】	2510			○			○		○			
				LGS								PBt=12.5+12.5 EP【既存のまま】	【既存のまま】														
		改修後	15 操作廊下	自然												LGS	PBt9+若緑吸音板t12【設備改修部撤去】	2510							○		
				準不燃以上												LGS	設備改修部：不燃化被PBt=9.5								○		
		改修前	資料フィルム室		RC	長尺電ビシート【既存のまま】	2.5	木製巾木 SOP【撤去】	85			R/C	モルタル金ゴテ EP	LGS	PBt9+若緑吸音板t12【既存のまま】	2510			○			○		○	【撤去】		流し台L=900【撤去】
				LGS								PBt=12.5+12.5 ビニルクロス貼り【既存のまま】	【既存のまま】														
		改修後	16 Dr読影室-1	告（4）												LGS	PBt9+若緑吸音板t12【設備改修部撤去】	2510							○	【設備改修部撤去】	
				難燃以上																							
		改修後	17 Dr読影室-2	告（4）											スチールパーティション	LGS	不燃化被PBt=9.5（設備改修部）	2510						○		○	
				難燃以上																							
		改修後	18 画像処理室	自然																							
				準不燃以上																							
		改修後	19 給湯室	告（2）											スチールパーティション											流し台 L=1800	
				*																							
		改修前	資料室		RC	長尺電ビシート【既存のまま】	2.5	木製巾木 SOP【既存のまま】	85			R/C	モルタル金ゴテ EP【既存のまま】	LGS	PBt9+若緑吸音板t12【既存のまま】	2510			○			○		○	【撤去】		スチールパーティション【既存のまま】
				LGS								PBt=12.5+12.5 ビニルクロス貼り【既存のまま】	【既存のまま】														
		改修後	20 準備作業室	告（4）																							
				難燃以上																							
		改修前	管理室		RC	長尺電ビシート【既存のまま】	2.5	木製巾木 SOP【既存のまま】	85			R/C	モルタル金ゴテ EP【既存のまま】	LGS	PBt9+若緑吸音板t12【既存のまま】	2510			○	○		○		○	【撤去】		化粧簾（500×600）【既存のまま】 換気扇、手洗い【既存のまま】
				LGS								PBt=12.5+12.5 ビニルクロス貼り【既存のまま】	【既存のまま】														
		改修後	21 放射線管理室	告（4）																							
				難燃以上																							
		生理機能 病理検査部門	改修前	心電図測定室		RC	長尺電ビシート【撤去】	2.5	木製巾木 SOP【撤去】	85			R/C	モルタル金ゴテ EP	LGS	PBt9+若緑吸音板t12【撤去】	2510				○	○	○		○	【撤去】	流し台L=2000【撤去】
					LGS								PBt=12.5+12.5 ビニルクロス貼り【撤去】	【撤去】													
改修前	心音室			RC	カーペット敷き【撤去】		木製巾木 SOP【撤去】	85			LGS	PBt=12.5+12.5 ビニルクロス貼り【撤去】 電磁波シールド仕様	LGS	PBt9+若緑吸音板t12【撤去】 電磁波シールド仕様	2510				○	○	○		○	【撤去】			
			【撤去】																								
改修後	23 心電室		告（4）	RC	下地ケレン 長尺電ビシート	2.0	ビニル	100			R/C	PBt=12.5（GL工法）の上 無機質壁紙 柱型：既存モルタル金ゴテ下地 ケレンの上 EP-C塗装	LGS	不燃化被PBt=9.5	2510				○	○		○	スチールパーティション（観音開口） フライング：メウミソストフォーム 流し台 L=2000 サイド手摺、カウンター				
			LGS								強化PBt=12.5+12.5（GWt=50 24K充蔵）の上 無機質壁紙 PBt=12.5+12.5の上 無機質壁紙																

内 部 仕 上 表 (3)																						
階	室 名			排煙設備	下地	床		巾木		腰壁		壁		天井		天井高	天井	天井	天井	天井	天井	備 考
				内装制限		材料	厚	材料	高	下地	材料	高	下地	材料	下地							
1階	生理機能 病理検査部門	改修前	検査事務		RC	長尺塩ビシート【撤去】	2.5	木製巾木 S・O・P【撤去】	85			RC	モルタル金ゴテ EP	LGS【撤去】	PBt9+岩綿吸音板t12【撤去】	2510						受付カウンター【撤去】 化粧廻(500×600)【撤去】 手洗い【撤去】(設備工事)
		改修後	22 負荷心電室	告(4) 難燃以上	RC	下地ケレン 長尺塩ビシート	2.0	ビニル	100			RC LGS	PBt=12.5(GLI法)の上 無機質壁紙 強化PBt=12.5+12.5(GWt=50 24K充塞)の上 無機質壁紙	LGS	不燃化粧PBt=9.5	2510						ライニング：メフミンボストフォーム 手洗い(設備工事) 化粧廻(450×600)
		改修前	操作室		RC	長尺塩ビシート【撤去】	2.5	木製巾木 S・O・P【撤去】	85			RC LGS【撤去】	モルタル金ゴテ EP PBt=12.5+12.5 EP【撤去】	LGS【撤去】	PBt9+岩綿吸音板t12【撤去】	2510						流し台L=2000【撤去】
		改修後	24a 操作室	告(4) 難燃以上	RC	下地ケレン 長尺塩ビシート	2.0	ビニル	100			RC LGS	PBt=12.5(GLI法)の上 無機質壁紙 柱型：既存モルタル金ゴテ下地 ケレンの上 EP-C塗装 強化PBt=12.5+12.5(GWt=50 24K充塞)の上 無機質壁紙	LGS	不燃化粧PBt=9.5	2510						流し台 L=2000 ライニング：メフミンボストフォーム
			24b 書庫	告(2) *	RC	下地ケレン 長尺塩ビシート	2.0	ビニル	100			LGS	強化PBt=12.5+12.5(GWt=50 24K充塞)の上 無機質壁紙 PBt=12.5+12.5の上 無機質壁紙	LGS	不燃化粧PBt=9.5	2510						
		改修前	脳波室(1)～(3)		RC	カーペット敷き【既存のまま】		木製巾木 S・O・P【既存のまま】	85			LGS【既存のまま】	PBt=12.5+12.5 ビニルクロス貼り【既存のまま】 電線差ツールド仕様	LGS【既存のまま】	PBt9+岩綿吸音板t12【既存のまま】 電線差ツールド仕様	2510						
		改修後	脳波(1)～(3)	告(4) 難燃以上																		出入口戸のみ更新
		改修前	カンファレンス		RC	長尺塩ビシート【撤去】	2.5	木製巾木 S・O・P【撤去】	85			RC LGS【撤去】	モルタル金ゴテ EP PBt=12.5+12.5 EP【撤去】	LGS【撤去】	PBt9+岩綿吸音板t12【撤去】	2510						流し台L=2000(2台)【撤去】
			管理室		RC	長尺塩ビシート【撤去】	2.5	木製巾木 S・O・P【撤去】	85			RC LGS【撤去】	モルタル金ゴテ EP PBt=12.5+12.5 EP【撤去】	LGS【撤去】	PBt9+岩綿吸音板t12【撤去】	2510						
		改修後	25 脳波(4)	告(4) 難燃以上	RC	合板t=15 鋼板t=0.07 合板t=15 タイルカーペット	6.5	ビニル	100			LGS	強化PBt=12.5+12.5+鋼板t=0.07(GWt=50 32K充塞) +LGS 65+PBt=12.5+12.5(GWt=50 32K充塞)の上 無機質壁紙	LGS	鋼板t=0.07+PBt=12.5+岩綿吸音板t=12 (GWt=50 32K敷込み)	2510						
		改修後	26 カンファレンス	告(4) 難燃以上	RC	下地ケレン 長尺塩ビシート	2.0	ビニル	100			RC LGS	PBt=12.5(GLI法)の上 無機質壁紙 柱型：既存モルタル金ゴテ下地 ケレンの上 EP-C塗装 強化PBt=12.5+12.5(GWt=50 24K充塞)の上 無機質壁紙 PBt=12.5+12.5の上 無機質壁紙	LGS	不燃化粧PBt=9.5	2510						
		改修前	待合廊下		RC	長尺塩ビシート【撤去】	2.5	木製巾木 S・O・P【撤去】	85			RC LGS【撤去】	モルタル金ゴテ EP PBt=12.5+12.5 EP【撤去】	LGS【撤去】	PBt9+岩綿吸音板t12【撤去】	2510						
		改修後	27 待合廊下	告(2) 準不燃以上	RC	下地ケレン 長尺塩ビシート	2.0	ビニル	100			RC LGS	PBt=12.5(GLI法)の上 無機質壁紙 強化PBt=12.5+12.5(GWt=50 24K充塞)の上 無機質壁紙 PBt=12.5+12.5の上 無機質壁紙	LGS	不燃化粧PBt=9.5	2510						ライニング：メフミンボストフォーム 洗髪台(設備工事) 化粧廻(450×600) 埋込型消火器ボックス
		改修前	病理		RC	長尺塩ビシート【撤去】	2.5	木製巾木 S・O・P【撤去】	85			RC LGS【撤去】	モルタル金ゴテ EP PBt=12.5+12.5 EP【撤去】	LGS【撤去】	PBt9+岩綿吸音板t12【撤去】	2510						窓下カウンター・流し【撤去】
		改修後	28 病理	告(4) 難燃以上	RC	下地ケレン 長尺塩ビシート	2.0	ビニル	100			RC LGS	PBt=12.5(GLI法)の上 無機質壁紙 柱型：既存モルタル金ゴテ下地 ケレンの上 EP-C塗装 PBt=12.5+12.5の上 無機質壁紙	LGS	不燃化粧PBt=9.5	2510						カウンター・流し D600 ライニング：メフミンボストフォーム 手洗い(設備工事) 化粧廻(450×600)
			29 病理	告(4) 難燃以上	RC	下地ケレン 長尺塩ビシート	2.0	ビニル	100			RC LGS	PBt=12.5(GLI法)の上 無機質壁紙 柱型：既存モルタル金ゴテ下地 ケレンの上 EP-C塗装 PBt=12.5+12.5の上 無機質壁紙	LGS	不燃化粧PBt=9.5	2510						
		改修前	洗髪室 病理Dr		RC	長尺塩ビシート【撤去】	2.5	床材立上げ	100			LGS【撤去】	断水PBt12.5+磁器質100角タイル貼り【撤去】	LGS【撤去】	珪酸カルシウム板t6 EP【撤去】	2510						化粧廻(500×600)・カウンター【撤去】 洗髪流し【撤去】(設備工事)
			心エコー		RC	長尺塩ビシート【撤去】	2.5	木製巾木 S・O・P【撤去】	85			RC LGS【撤去】	モルタル金ゴテ EP PBt=12.5+12.5 EP【撤去】	LGS【撤去】	PBt9+岩綿吸音板t12【撤去】	2510						窓下カウンター・流し【撤去】 スチールパーテーション【撤去】
		改修後	30 染色係	告(4) 難燃以上	RC	下地ケレン 長尺塩ビシート	2.0	ビニル	100			RC LGS	PBt=12.5(GLI法)の上 無機質壁紙 柱型：既存モルタル金ゴテ下地 ケレンの上 EP-C塗装 PBt=12.5+12.5の上 無機質壁紙	LGS	不燃化粧PBt=9.5	2510						カウンター・流し D600
		改修前	準備室		RC	長尺塩ビシート【撤去】	2.5	木製巾木 S・O・P【撤去】	85			RC LGS【撤去】	モルタル金ゴテ EP PBt=12.5+12.5 EP【撤去】	LGS【撤去】	PBt9+岩綿吸音板t12【撤去】	2510						窓下カウンター【撤去】
		改修後	31 病理Dr	告(4) 難燃以上	RC	下地ケレン 長尺塩ビシート	2.0	ビニル	100			RC LGS	PBt=12.5(GLI法)の上 無機質壁紙 柱型：既存モルタル金ゴテ下地 ケレンの上 EP-C塗装 PBt=12.5+12.5の上 無機質壁紙	LGS	不燃化粧PBt=9.5	2510						ライニング：メフミンボストフォーム 手洗い(設備工事) 化粧廻(450×600) カウンター D600

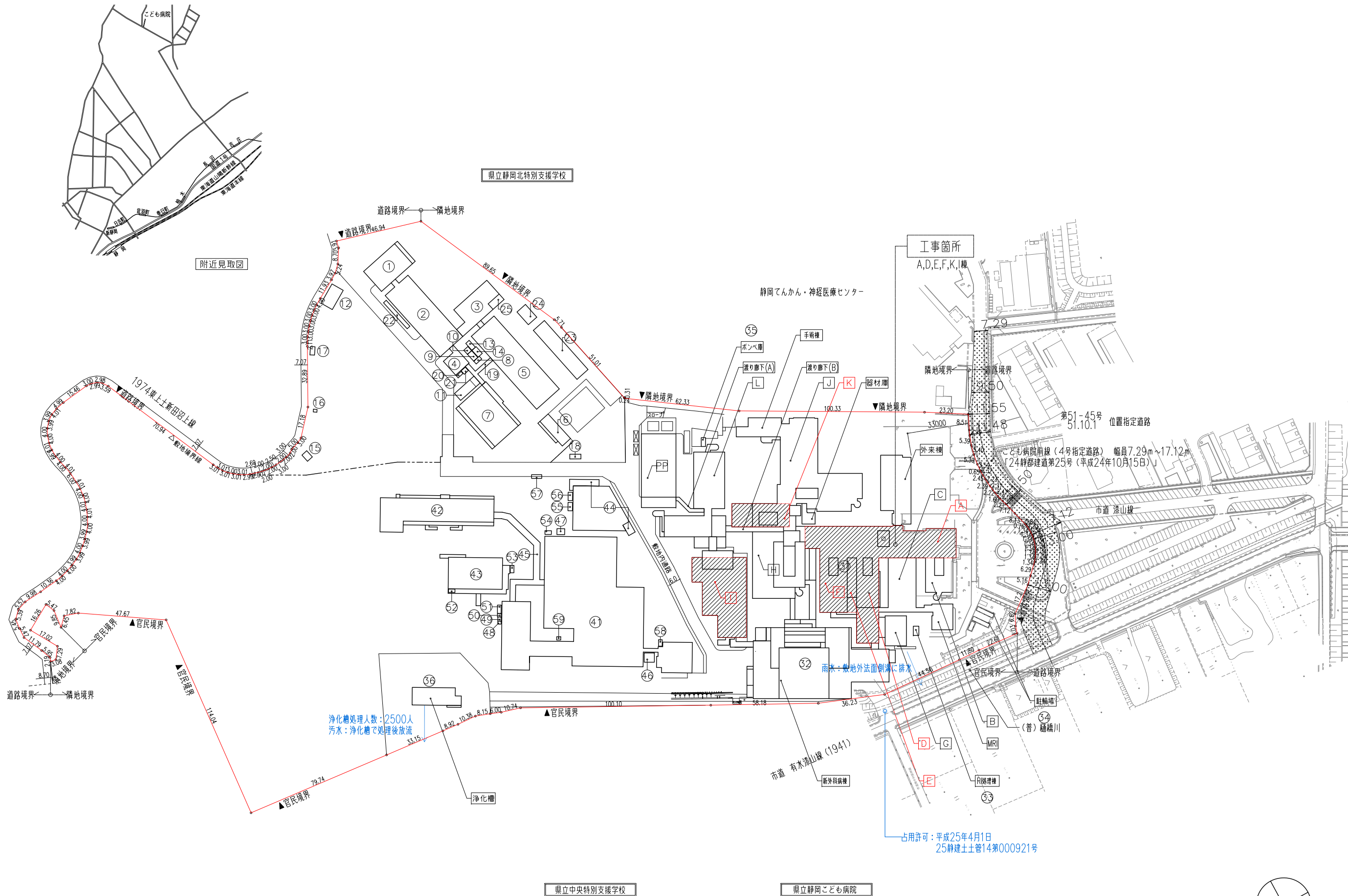
内 部 仕 上 表 (4)

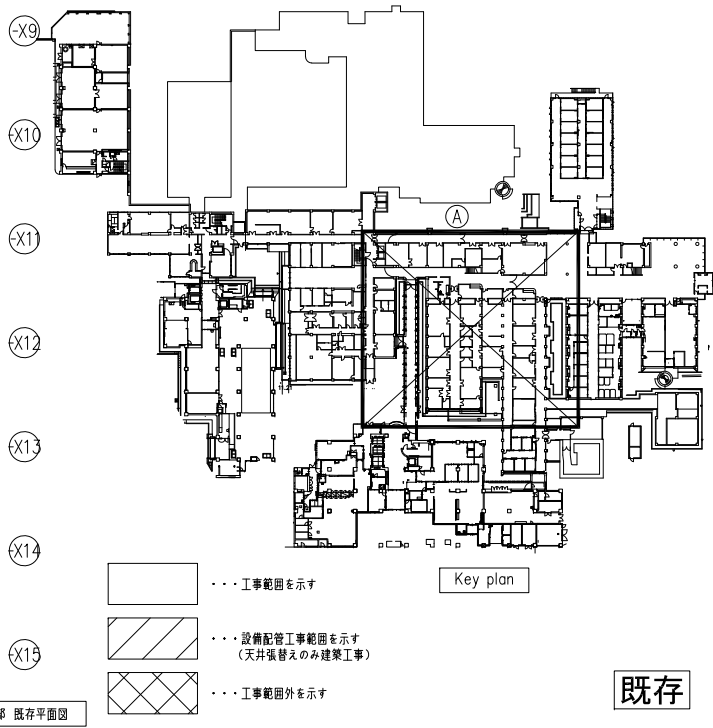
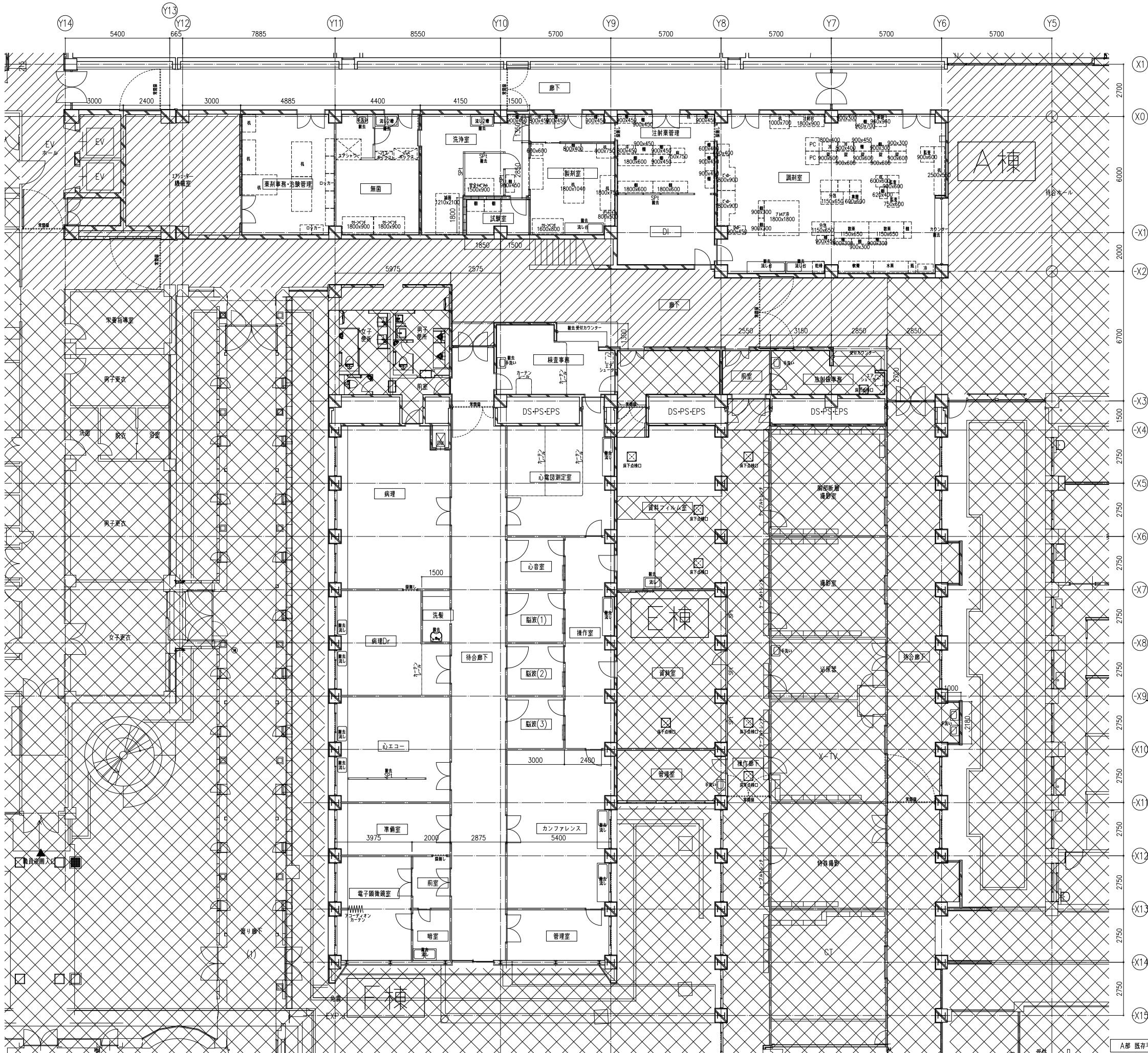
階	室 名			排煙設備	床		市木		隔壁		壁		天井		付帯設備							備 考
	内装制限	下地	材料	厚	材料	高	下地	材料	高	下地	材料	下地	材料	天井高	天井	照明	空調	給排水	電気	その他		
1階	生理機能 病理検査部門	改修前	前室・暗室		RC	長尺塩ビシート【撤去】	2.5	木製巾木 S O P【撤去】	85			LGS 【撤去】	P B t=12.5+12.5 EP【撤去】	LGS 【撤去】	P B t 9+若緑吸音板 t12【撤去】	2510				○ 【撤去】	○ 【撤去】	流し台 L=2000【撤去】
		改修後	電子顕微鏡室		RC	長尺塩ビシート【既存のまま】	2.5	木製巾木 S O P【撤去】	85			RC モルタル金ゴテ EP LGS P B t=12.5+12.5 EP【撤去】 【既存のまま】	LGS 【既存のまま】	P B t 9+若緑吸音板 t12【既存のまま】	2510 →2750	○ 【撤去】			○ 【撤去】	○ 【撤去】	窓下カウンター	
					告（4）	RC	下地ケレン 長尺塩ビシート	2.0	ビニル	100			RC P B t=12.5（GL工法）の上 無機質壁紙 LGS P B t=12.5+12.5の上 無機質壁紙	LGS	不燃化粧 P B t=9.5	2510				○	○	SUS製 流し台 L=700
					難燃以上																	
		改修後	33 電子顕微鏡室		告（4）										チャッパ―蓋ぎ（750×1500）： P B t=12.5 EP-G	2510	既存 ○ S O P			○	既存 窓下カウンター（クリーニング）	
					難燃以上																	
					告（4）	RC	下地ケレン 長尺塩ビシート	2.0	ビニル	100			RC P B t=12.5（GL工法）の上 無機質壁紙 LGS P B t=12.5+12.5の上 無機質壁紙	LGS	不燃化粧 P B t=9.5	2510				○	○	
					準不燃以上																	
	製剤部門	改修前	既消毒室 未消毒室		RC	長尺塩ビシート【撤去】	2.5	木製巾木 S O P【撤去】	85			RC CB 【撤去】 PS壁を貼く	モルタル金ゴテ EP	LGS 【撤去】	P B t 9+若緑吸音板 t12【撤去】	2700				○ 【撤去】	○ 【撤去】	
		改修後	35 洗浄室		RC	下地ケレン 長尺塩ビシート	2.0	床材立上げ	100			LGS	不燃耐水 P B t=12.5の上 化粧ケイカル t=6.0（自地ソール）	LGS	ケイカル板 t=6.0（自地ソール）の上 EP-G	2510				○	○	SUS製 流し台 L=1400
					告（4）																	
					難燃以上																	
					36 製剤室		RC	下地ケレン 長尺塩ビシート	2.0	床材立上げ	100			LGS	P B t=12.5の上 化粧ケイカル t=6.0（自地ソール）	LGS	ケイカル板 t=6.0（自地ソール）の上 EP-G	2510				○
		改修後	37a 無菌室前室-1 37b 無菌室前室-2		RC	下地ケレン 長尺塩ビシート	2.0	床材立上げ	100			LGS	P B t=12.5の上 化粧ケイカル t=6.0（自地ソール）	LGS	ケイカル板 t=6.0（自地ソール）の上 EP-G	2510				○	○	バスボックス（900×440×1400）【既存移設】 ライニング：メウミンボストフォーム 手洗い（設備工事）
					告（4）																	
				難燃以上																		
				38 無菌室		RC	下地ケレン 長尺塩ビシート	2.0	—				—		—	2500				○		無菌室ユニット工事（本体工事別途） バスボックス（1700×590×1140）（本体工事別途） エアシャワー（1305×1240×2205）（本体工事別途）
改修後	39 店舗倉庫他		RC	下地ケレン 長尺塩ビシート	2.0	ビニル	100			RC P B t=12.5（GL工法）の上 無機質壁紙 柱型：既存モルタル金ゴテ下地 ケレンの上 EP-G塗装 LGS P B t=12.5+12.5の上 無機質壁紙	LGS	不燃化粧 P B t=9.5	2700				○	○				
			*																			
改修前	リネン 洗濯室		RC	長尺塩ビシート【撤去】 モザイクタイル【撤去】	2.5	木製巾木 S O P【撤去】 磁器質100角タイル貼リ【撤去】	85 100			RC モルタル金ゴテ EP 磁器質100角タイル貼リ【撤去】	LGS 【撤去】	珪酸カルシウム板 t6 EP【撤去】	2700				○ 【撤去】			排水溝蓋 SUSW200【撤去】		
	改修後	仕分室		RC	長尺塩ビシート【撤去】	2.5	木製巾木 S O P【撤去】	85			RC モルタル金ゴテ EP	LGS 【撤去】	珪酸カルシウム板 t6 EP【撤去】	2700				○ 【撤去】				
	改修後	40a 売店		RC	排水溝跡コンクリート埋め 下地ケレン 長尺塩ビシート	2.0	ビニル	100			RC P B t=12.5（GL工法）の上 無機質壁紙 柱型：既存モルタル金ゴテ下地 ケレンの上 EP-G塗装 LGS P B t=12.5+12.5の上 無機質壁紙	LGS	不燃化粧 P B t=9.5	2700				○	○	ライニング：メウミンボストフォーム 手洗い（設備工事） 化粧板（450×600）		
				告（4）																		
改修後	40b 会議室		RC	排水溝跡コンクリート埋め 下地ケレン 長尺塩ビシート	2.0	ビニル	100			RC P B t=12.5（GL工法）の上 無機質壁紙 柱型：既存モルタル金ゴテ下地 ケレンの上 EP-G塗装 LGS P B t=12.5+12.5の上 無機質壁紙	LGS	不燃化粧 P B t=9.5	2700				○	○				
			告（4）																			
改修後	40c 売店前室		RC	排水溝跡コンクリート埋め 下地ケレン 長尺塩ビシート	2.0	ビニル	100			RC P B t=12.5（GL工法）の上 無機質壁紙 柱型：既存モルタル金ゴテ下地 ケレンの上 EP-G塗装 LGS P B t=12.5+12.5の上 無機質壁紙	LGS	不燃化粧 P B t=9.5	2510				○	○				
			告（4）																			

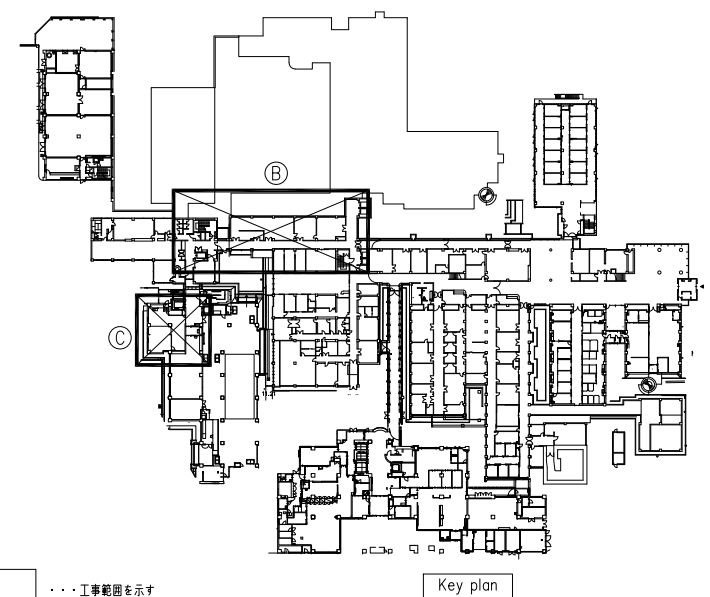
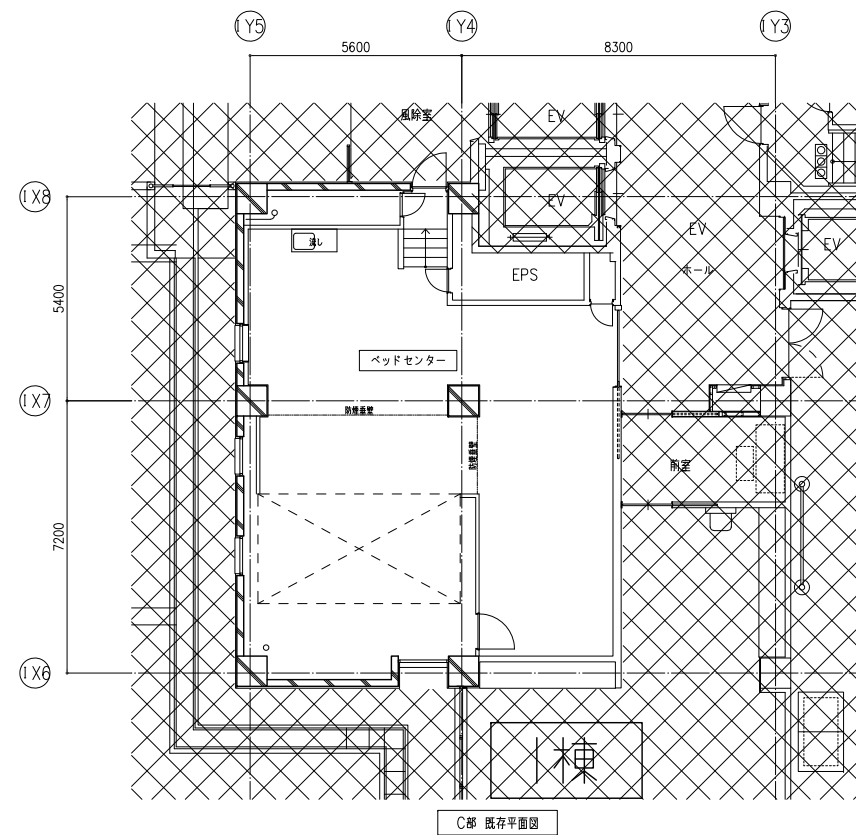
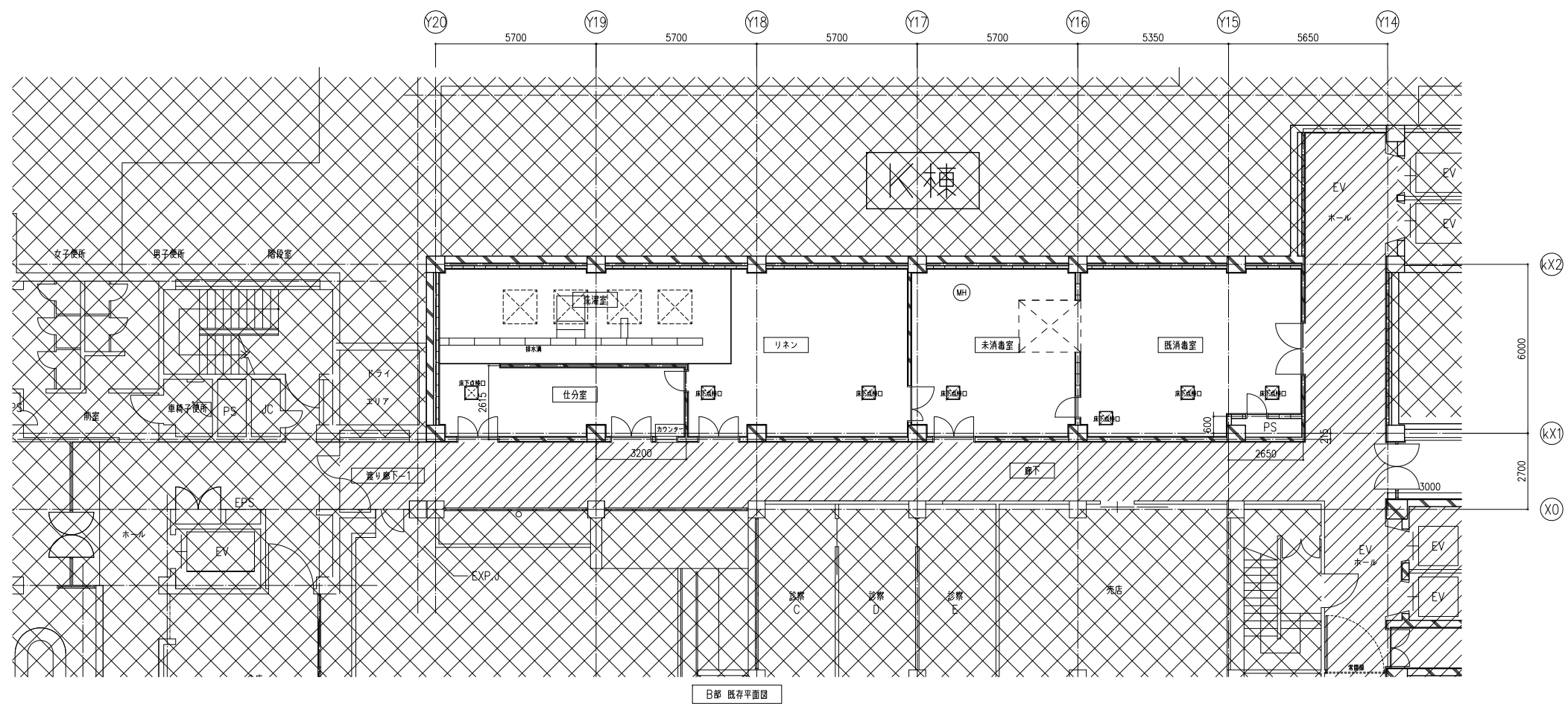
内 部 仕 上 表 (5)																									
階	室 名				排煙設備	下地	床		巾木		腰壁		壁		天井			天井高	天井材	天井工種	天井形状	天井寸法	天井色	天井施工	天井備考
					内装制限		材料	厚	材料	高	材料	高	材料	高	材料	高	材料								
1階	リネン部門	改修前	ベットのセンター		RC	長尺電ビシート【撤去】	2.5	ソフト巾木【撤去】	100			LGS 【撤去】	PBt=12.5+12.5 EP【撤去】	LGS 【撤去】	珪酸カルシウム板 t=6 EP【撤去】	2700							○ 【撤去】		樹脂製コーナーガードL=1200【撤去】6ヶ所 段鼻ノンスリップ【撤去】 流し台
		改修後	41 前室	告 (4)	RC	下地ケレン 長尺電ビシート	2.0	ビニル	100			RC LGS	不燃耐水PBt=12.5 (GL工法) の上 化粧ケイカルt=6.0 (目地ツール) 不燃耐水PBt=12.5の上 化粧ケイカルt=6.0 (目地ツール)	LGS	ケイカル板t=6.0 (目地ツール) の上 EP-G	2700						○	○		
				難燃以上																					
		改修後	42 使用済リネン室	告 (4)	RC	機械設置跡：ソッダーコン打ち (H=150) 金ゴテ押え長尺電ビシート 階段部下地：既存モルタル面ケレンRB種 長尺電ビシート 下地ケレン 長尺電ビシート	2.0	ビニル	100			RC LGS	不燃耐水PBt=12.5 (GL工法) の上 化粧ケイカルt=6.0 (目地ツール) 不燃耐水PBt=12.5の上 化粧ケイカルt=6.0 (目地ツール)	LGS	ケイカル板t=6.0 (目地ツール) の上 EP-G	2700						○	○	段鼻：SUSノンスリップ (ゴム入り) 洗濯機【既存移設】 蒸気乾燥機【既存移設】 既存 流し台 (クリーニング)	
				難燃以上																					
		改修後	43a 清潔リネン室	告 (4)	RC	機械設置跡：ソッダーコン打ち (H=150) 金ゴテ押え 長尺電ビシート 下地ケレン 長尺電ビシート	2.0	ビニル	100			RC LGS	不燃耐水PBt=12.5 (GL工法) の上 化粧ケイカルt=6.0 (目地ツール) 不燃耐水PBt=12.5の上 化粧ケイカルt=6.0 (目地ツール)	LGS	ケイカル板t=6.0 (目地ツール) の上 EP-G	2700						○	○		
				難燃以上																					
		改修後	43b 洗濯室	告 (2)	RC	機械設置跡：ソッダーコン打ち (H=150) 金ゴテ押え FRP防水 (露出仕様)	2.0	FRP防水立上げ	100			RC LGS	不燃耐水PBt=12.5 (GL工法) の上 化粧ケイカルt=6.0 (目地ツール) 不燃耐水PBt=12.5の上 化粧ケイカルt=6.0 (目地ツール)	LGS	ケイカル板t=6.0 (目地ツール) の上 EP-G	2700						○	○		
				難燃以上																					
		改修後	43c 洗濯室前室	告 (2)	RC	機械設置跡：ソッダーコン打ち (H=150) 金ゴテ押え 長尺電ビシート	2.0	ビニル	100			RC LGS	不燃耐水PBt=12.5 (GL工法) の上 化粧ケイカルt=6.0 (目地ツール) 不燃耐水PBt=12.5の上 化粧ケイカルt=6.0 (目地ツール)	LGS	ケイカル板t=6.0 (目地ツール) の上 EP-G	2700						○	○		
				※																					
2階	臨床検査部門	改修前	当直休憩室		RC	長尺電ビシート【撤去】	2.5	木製巾木 SOP【撤去】	85			RC	モルタル金ゴテ EP	LGS 【撤去】	PB t=9+岩綿吸音板 t=12【既存のまま】	2510		○	○ 【撤去】			○ 【撤去】		○	手洗い
		改修後	44 採血室	告 (4)	RC	下地ケレン 長尺電ビシート	2.0	ビニル	100			RC LGS	PBt=12.5 (GL工法) の上 無機質壁紙 強化PBt=12.5+12.5 (GWt=50 24K充塞) の上 無機質壁紙 PBt=12.5+12.5の上 無機質壁紙					既存 ○ SOP				○		既存 手洗い・化粧鏡 (クリーニング)	
				難燃以上																					
		改修前	検査事務・採血		RC	長尺電ビシート【撤去】	2.5	木製巾木 SOP【撤去】	85			RC	モルタル金ゴテ EP	LGS 【撤去】	PB t=9+岩綿吸音板 t=12【撤去】	2510				○	○ 【撤去】	○ 【撤去】	○ 【撤去】	○	受付カウンター【撤去】 手洗い・化粧鏡
		改修後	45 検査事務室	告 (4)	RC	下地ケレン 長尺電ビシート	2.0	ビニル	100			RC LGS	PBt=12.5 (GL工法) の上 無機質壁紙 柱型：既存モルタル金ゴテ下地 ケレンの上 EP-G塗装 強化PBt=12.5+12.5 (GWt=50 24K充塞) の上 無機質壁紙 PBt=12.5+12.5の上 無機質壁紙		不燃化粧PB t=9.5	2510					○		○	バスボックス 既存 手洗い・化粧鏡 (クリーニング)	
				難燃以上																					
		改修前	検査		RC	長尺電ビシート【撤去】	2.5	木製巾木 SOP【撤去】	85			RC LGS 【撤去】	モルタル金ゴテ EP PBt=12.5+12.5 EP【撤去】	LGS 【撤去】	PB t=9+岩綿吸音板 t=12【撤去】	2510		○	○ 【撤去】			○ 【撤去】	○ 【撤去】		窓下カウンター・流し【撤去】 スチールパーティション【撤去】
		改修後	50a 輸血検査室	告 (4)	RC	下地ケレン 長尺電ビシート	2.0	ビニル	100			RC LGS	PBt=12.5 (GL工法) の上 無機質壁紙 柱型：既存モルタル金ゴテ下地 ケレンの上 EP-G塗装 PBt=12.5+12.5の上 無機質壁紙		不燃化粧PB t=9.5	2510		既存 ○ SOP				○	○		カウンター (収納棚付) D600 SUS製 2槽流し台L=1200 実験台
				難燃以上																					
		改修後	50b 輸血照射室	告 (4)	RC	下地ケレン 長尺電ビシート	2.0	ビニル	100			RC LGS	PBt=12.5 (GL工法) の上 無機質壁紙 柱型：既存モルタル金ゴテ下地 ケレンの上 EP-G塗装 PBt=12.5+12.5の上 無機質壁紙		不燃化粧PB t=9.5	2510					○	○			
				難燃以上																					
		改修後	49 倉庫	告 (4)	RC	下地ケレン 長尺電ビシート	2.0	ビニル	100			RC LGS	PBt=12.5 (GL工法) の上 無機質壁紙 柱型：既存モルタル金ゴテ下地 ケレンの上 EP-G塗装 PBt=12.5+12.5の上 無機質壁紙		不燃化粧PB t=9.5	2510		既存 ○ SOP				○	○		
				難燃以上																					
		改修後	47 廊下	自然	RC	下地ケレン 長尺電ビシート	2.0	ビニル	100			RC LGS	PBt=12.5 (GL工法) の上 無機質壁紙 柱型：既存モルタル金ゴテ下地 ケレンの上 EP-G塗装 PBt=12.5+12.5の上 無機質壁紙		不燃化粧PB t=9.5	2510		既存 ○ SOP				○	○		ライニング：メフミンボストフォーム 手洗い (設備工事)
				準不燃以上																					
		改修後	51 当直室	告 (4)	RC	下地ケレン 長尺電ビシート	2.0	ビニル	100			RC LGS	PBt=12.5 (GL工法) の上 無機質壁紙 柱型：既存モルタル金ゴテ下地 ケレンの上 EP-G塗装 PBt=12.5+12.5の上 無機質壁紙		不燃化粧PB t=9.5	2510		既存 ○ SOP				○	○		カウンター (収納棚付) D600 ライニング：メフミンボストフォーム SUS製 流し台L=700、サイドパネル：メフミン化粧板 化粧鏡 (450×600)
				難燃以上																					
		改修後	52 部長室	告 (4)	RC	下地ケレン 長尺電ビシート	2.0	ビニル	100			LGS	PBt=12.5+12.5の上 無機質壁紙	LGS	不燃化粧PB t=9.5	2510						○	○		




内部仕上表(6)

階	室 名	改修前	改修後	内装制限	排煙設備		床		巾木		腰壁		壁		天井		防火	防音	防湿	防臭	防カビ	防虫	防鼠	備 考
					内装制限	下地	材料	厚	材料	高	下地	材料	高	下地	材料	下地								
2階	臨床検査部門	改修前	細菌検査室		RC	長尺塩ビシート【撤去】	2.5	木製巾木 SOP【撤去】	85			RC	モルタル全ゴテ EP	LGS	PB t=9+若緑吸音板 t12【撤去】	2510	○	○					窓下カウンター【撤去】 プレハブ冷蔵庫【撤去】（設備工事）	
					RC	長尺塩ビシート【撤去】	2.5	床材立上げ	100			LGS	新木PB t12.5+調整費100角タイル貼り【撤去】	LGS	珪藻カルクウム板 t6 EP【撤去】	2510	○	タテ型○				窓下カウンター・流し【撤去】 掃除流し【撤去】（設備工事） プレハブ冷蔵庫【撤去】（設備工事）		
					RC	長尺塩ビシート【撤去】	2.5	木製巾木 SOP【撤去】	85			RC	モルタル全ゴテ EP	LGS	PB t=9+若緑吸音板 t12【撤去】	2510	○	○				窓下カウンター【撤去】 スチールパーティション【撤去】		
		改修後	46 核種検査室 機械検討スペース	自然	RC	下地ケレン 長尺塩ビシート	2.0	ビニル	100			RC	PB t=12.5 (GLI法) の上 無機質壁紙 柱型：既存モルタル全ゴテ下地 ケレンの上 EP-C塗装	LGS	不硬化粒PB t=9.5	2510	既存○ SOP				○	SUS流し=900 ライニング：メウミノボストフォーム カウンター・流し D600 カウンター（下部収納）・吊戸棚 置型消火器ボックス		
				準不燃以上		LGS	PB t=12.5+12.5の上 無機質壁紙																	
		改修前	生化学		RC	長尺塩ビシート【撤去】	2.5	木製巾木 SOP【撤去】	85			RC	モルタル全ゴテ EP	LGS	PB t=9+若緑吸音板 t12【撤去】	2510	○	○					窓下カウンター・流し【撤去】 アコーディオンカーテン【撤去】	
					RC	長尺塩ビシート【撤去】	2.5	木製巾木 SOP【撤去】	85			RC	モルタル全ゴテ EP	LGS	PB t=9+若緑吸音板 t12【撤去】	2510	○	○					窓下カウンター・流し【撤去】	
		改修後	53 細菌検査室	告 (4)	RC	下地ケレン 長尺塩ビシート	2.0	ビニル	100			RC	PB t=12.5 (GLI法) の上 無機質壁紙 柱型：既存モルタル全ゴテ下地 ケレンの上 EP-C塗装	LGS	不硬化粒PB t=9.5	2510	既存○ SOP				○	カウンター・流し D600		
				難燃以上		LGS	PB t=12.5+12.5の上 無機質壁紙																	
		改修前	洗浄室 前室 クリーンベンチ		RC	長尺塩ビシート【撤去】	2.5	木製巾木 SOP【撤去】	85			RC	モルタル全ゴテ EP	LGS	PB t=9+若緑吸音板 t12【撤去】	2510	○	タテ型○					窓下カウンター・流し【撤去】 カウンター【撤去】	
					RC	長尺塩ビシート【撤去】	2.5	木製巾木 SOP【撤去】	85			RC	PB t=12.5+12.5 EP【撤去】	LGS	PB t=9+若緑吸音板 t12【撤去】	2510	○	○					カウンター・流し D600 SUS製 流し台=1500	
		改修後	48 洗浄室	自然	RC	下地ケレン 長尺塩ビシート	2.0	ビニル	100			RC	PB t=12.5 (GLI法) の上 無機質壁紙 柱型：既存モルタル全ゴテ下地 ケレンの上 EP-C塗装	LGS	不硬化粒PB t=9.5	2510	既存○ SOP				○	カウンター・流し D600 SUS製 流し台=1500		
				準不燃以上		LGS	PB t=12.5+12.5の上 無機質壁紙																	
		改修後	54 前室	告 (4)	RC	下地ケレン 長尺塩ビシート	2.0	ビニル	100			LGS	PB t=12.5+12.5の上 無機質壁紙	LGS	不硬化粒PB t=9.5	2510					○	ライニング：メウミノボストフォーム 手洗い (設備工事) 化粧鏡 (450×600)		
				難燃以上																				
		改修後	55 PCR室	告 (4)	RC	下地ケレン 長尺塩ビシート	2.0	ビニル	100			RC	PB t=12.5 (GLI法) の上 無機質壁紙 柱型：既存モルタル全ゴテ下地 ケレンの上 EP-C塗装	LGS	不硬化粒PB t=9.5	2510	既存○ SOP				○	カウンター・流し D600		
				難燃以上		LGS	PB t=12.5+12.5の上 無機質壁紙																	
		改修前	蛍光顕微鏡 暗室		RC	長尺塩ビシート【撤去】	2.5	木製巾木 SOP【撤去】	85			RC	モルタル全ゴテ EP	LGS	PB t=9+若緑吸音板 t12【撤去】	2510					○	窓下カウンター・流し【撤去】 カウンター【撤去】		
					RC	長尺塩ビシート【撤去】	2.5	木製巾木 SOP【撤去】	85			RC	PB t=12.5+12.5 EP【撤去】	LGS	PB t=9+若緑吸音板 t12【撤去】	2510					○	カウンター【撤去】		
		改修後	56 DNA増殖室	告 (4)	RC	下地ケレン 長尺塩ビシート	2.0	ビニル	100			RC	PB t=12.5 (GLI法) の上 無機質壁紙 柱型：既存モルタル全ゴテ下地 ケレンの上 EP-C塗装	LGS	不硬化粒PB t=9.5	2510					○			
				難燃以上		LGS	PB t=12.5+12.5の上 無機質壁紙																	
		改修後	57 試薬準備室	告 (4)	RC	下地ケレン 長尺塩ビシート	2.0	ビニル	100			RC	PB t=12.5 (GLI法) の上 無機質壁紙 柱型：既存モルタル全ゴテ下地 ケレンの上 EP-C塗装	LGS	不硬化粒PB t=9.5	2510					○	カウンター D600		
				難燃以上		LGS	PB t=12.5+12.5の上 無機質壁紙																	
		1階 と 2階	共通	改修前	廊下 （設備配管工事範囲）	自然									LGS	PB t=9+若緑吸音板 t12【撤去】	2510					○		
準不燃以上																								
改修後	廊下 （設備配管工事範囲）			自然										LGS	不硬化粒PB t=9.5	2510					○			
				準不燃以上																				
改修前	男子・女子便所・多目的トイレ （設備配管工事範囲）			告 (2)										LGS	不燃耐水PB t12.5+若緑吸音板 t12【撤去】	2510					○			
				※																				
改修後	男子・女子便所・多目的トイレ （設備配管工事範囲）	告 (2)											LGS	不硬化粒PB t=9.5	2510					○				
		※																						
改修前	前室・倉庫 （設備配管工事範囲）	告 (2)											LGS	不硬化粒PB t=9.5【撤去】	2510					○				
		※																						
改修後	前室・倉庫 （設備配管工事範囲）	告 (2)											LGS	不硬化粒PB t=9.5	2510					○				
		※																						

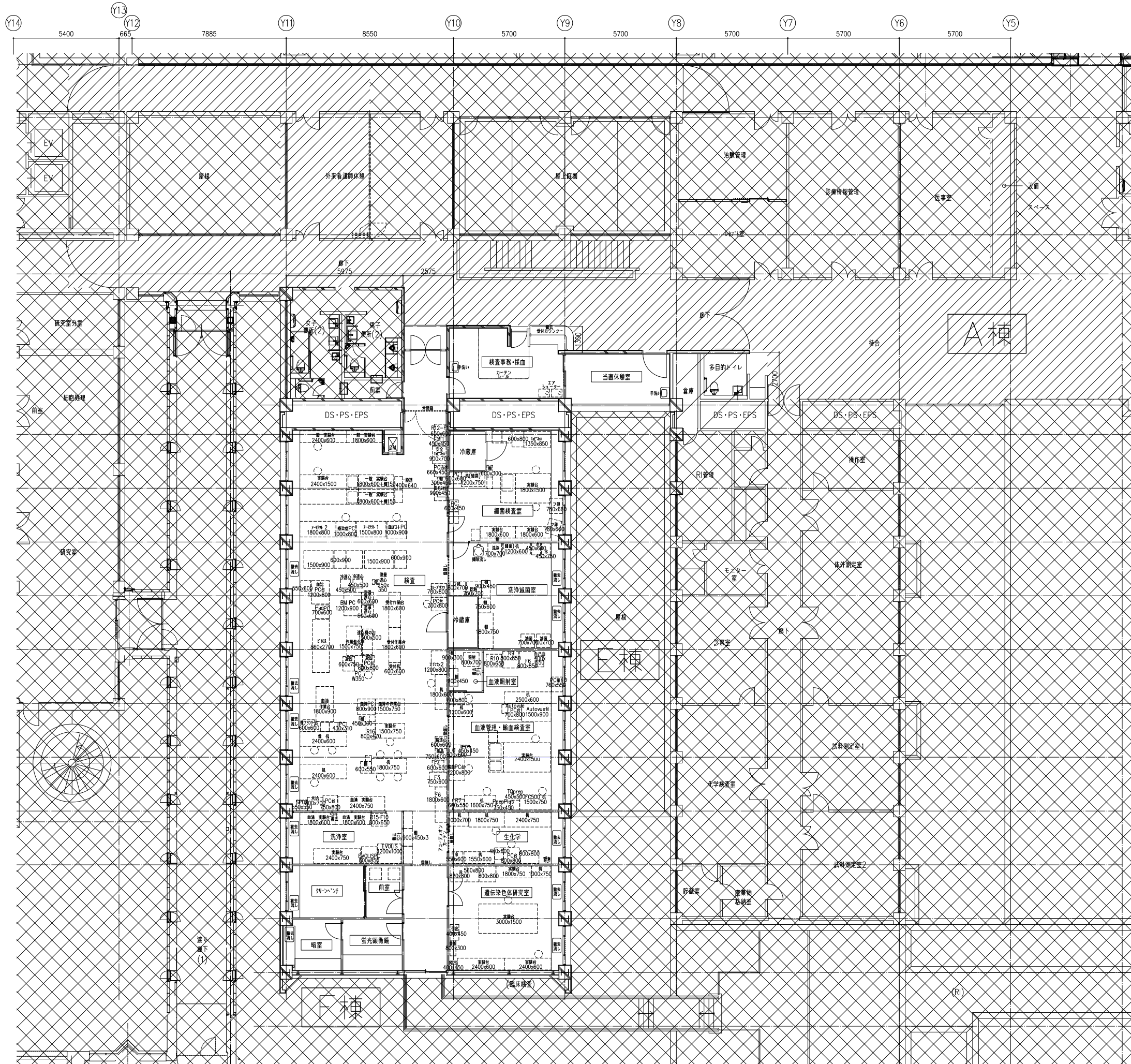






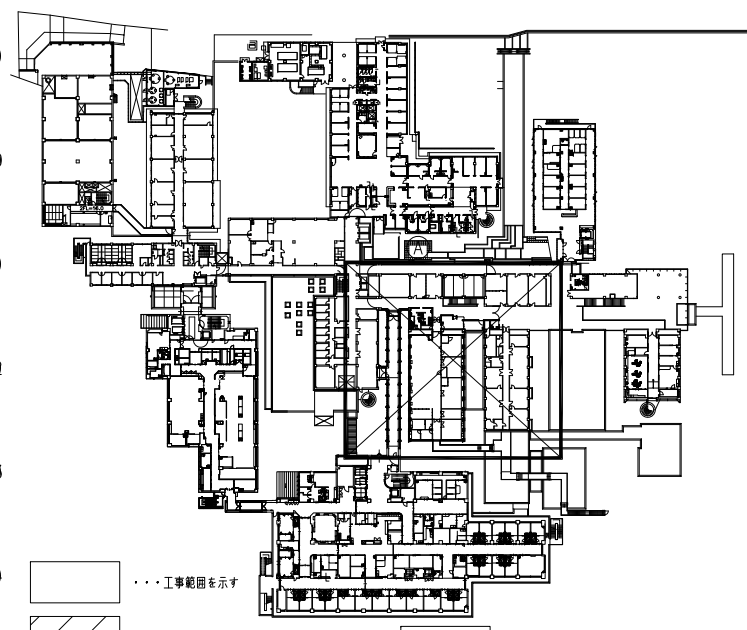
- 
 ・ ・ ・ 工事範囲を示す

 ・ ・ ・ 設備配管工事範囲を示す
 (天井張替えのみ建築工事)

 ・ ・ ・ 工事範囲外を示す

既存



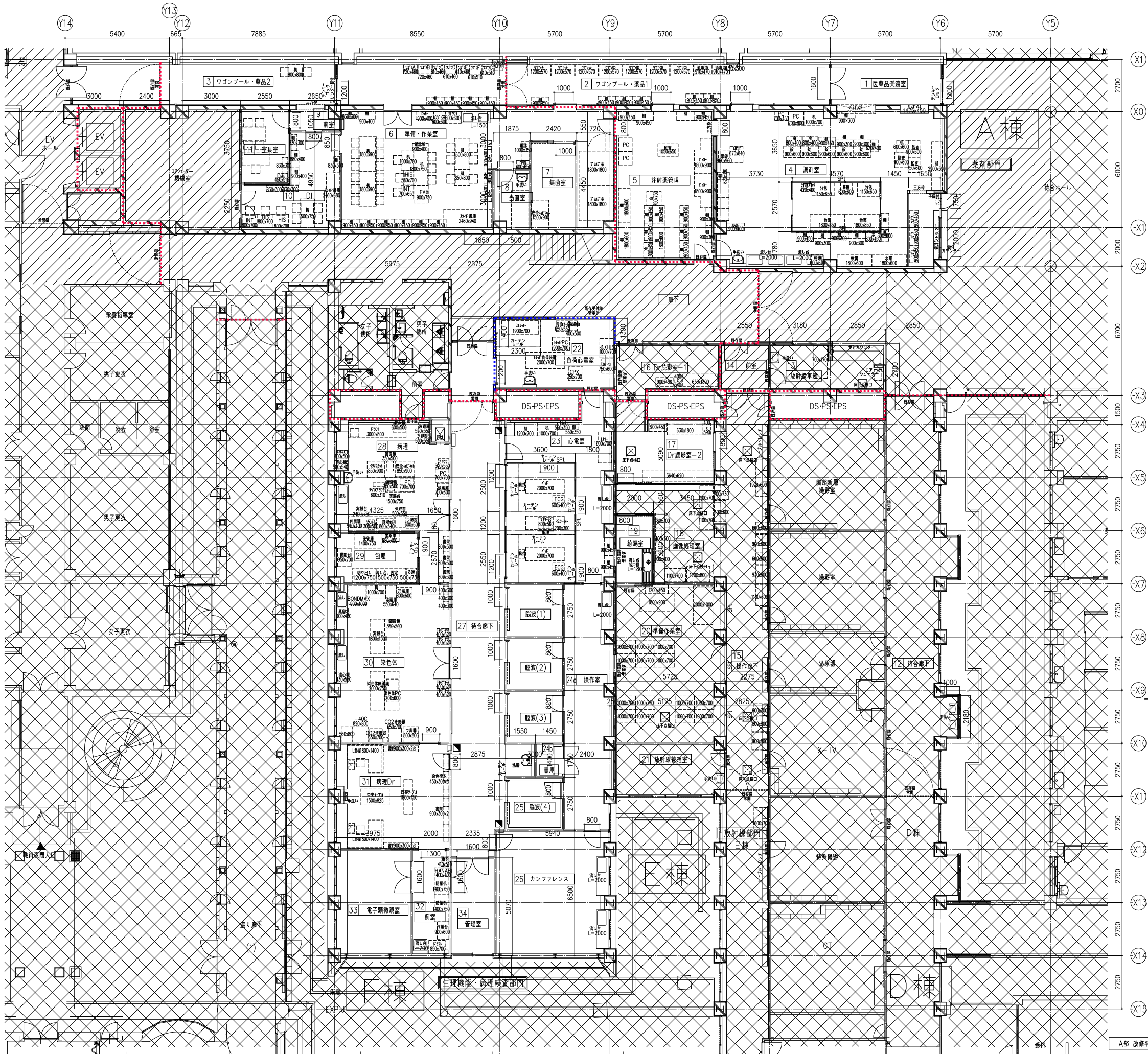
Y14
Y13
Y12
Y11
Y10
Y9
Y8
Y7
Y6
Y5

X1
X0
-X1
-X2
-X3
X4
X5
X6
X7
X8
X9
X10
X11
X12
X13
X14
X15

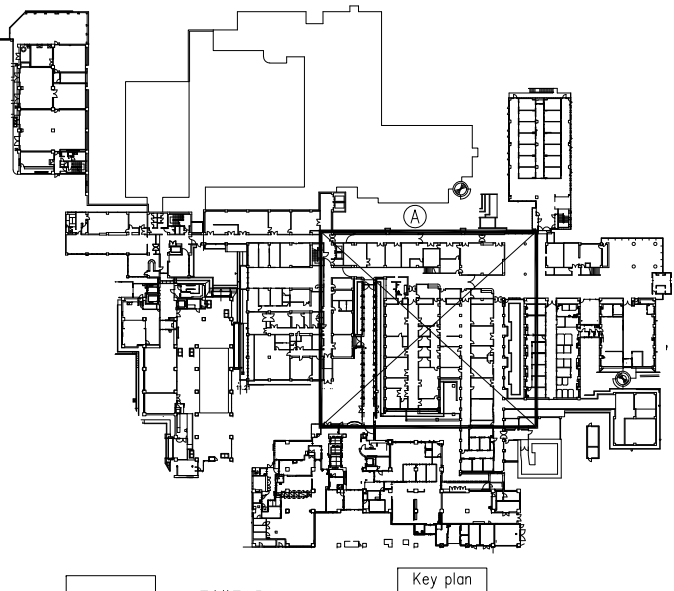


既存

A部 既存平面図



- 凡例
- 全周気密消火器ボックス (消火器 (ABC10型) 別途)
 - 置型消火器ボックス (消火器 (ABC10型) 別途)
 - 防火区画 (令第112条)
 - 防火上主要な箇仕切壁 (令第114条)



- Key plan
- 工事範囲を示す
 - 設備配管工事範囲を示す (天井張替えのみ建築工事)
 - 工事範囲外を示す

改修

株式会社 日立建設設計

禁複製 無断転載禁止
Copyright Hitachi Architects & Engineers Co., Ltd. All rights reserved.

製図日 2001.09.01
改訂日 2017.04.01
文書番号 102-604-1704

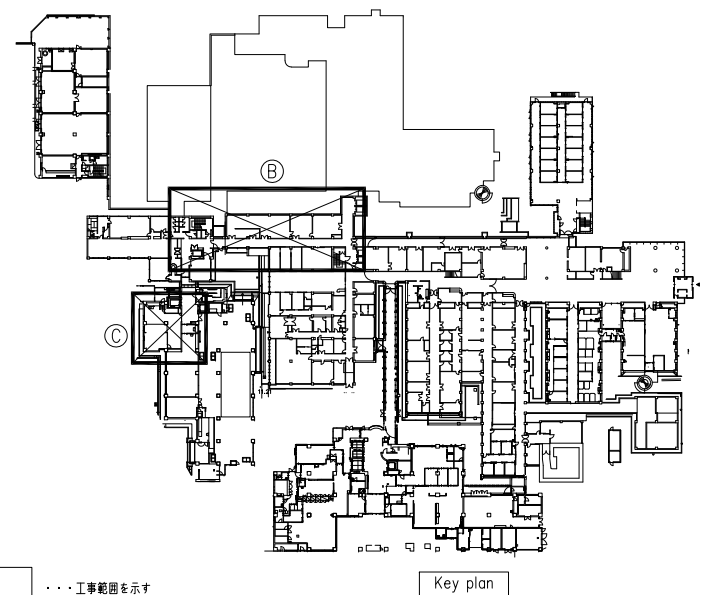
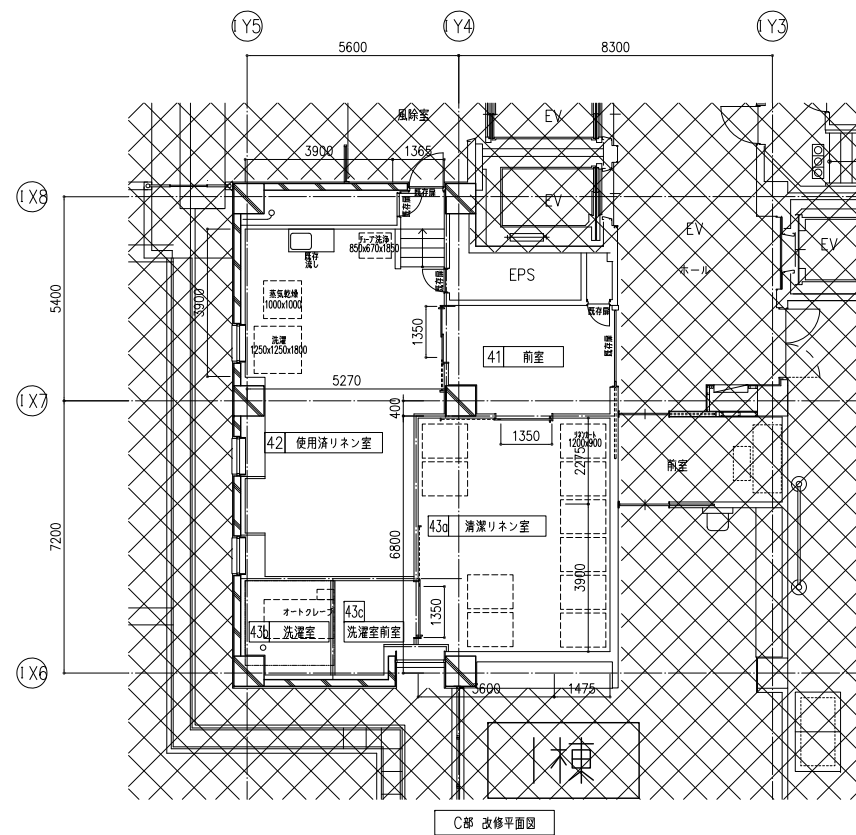
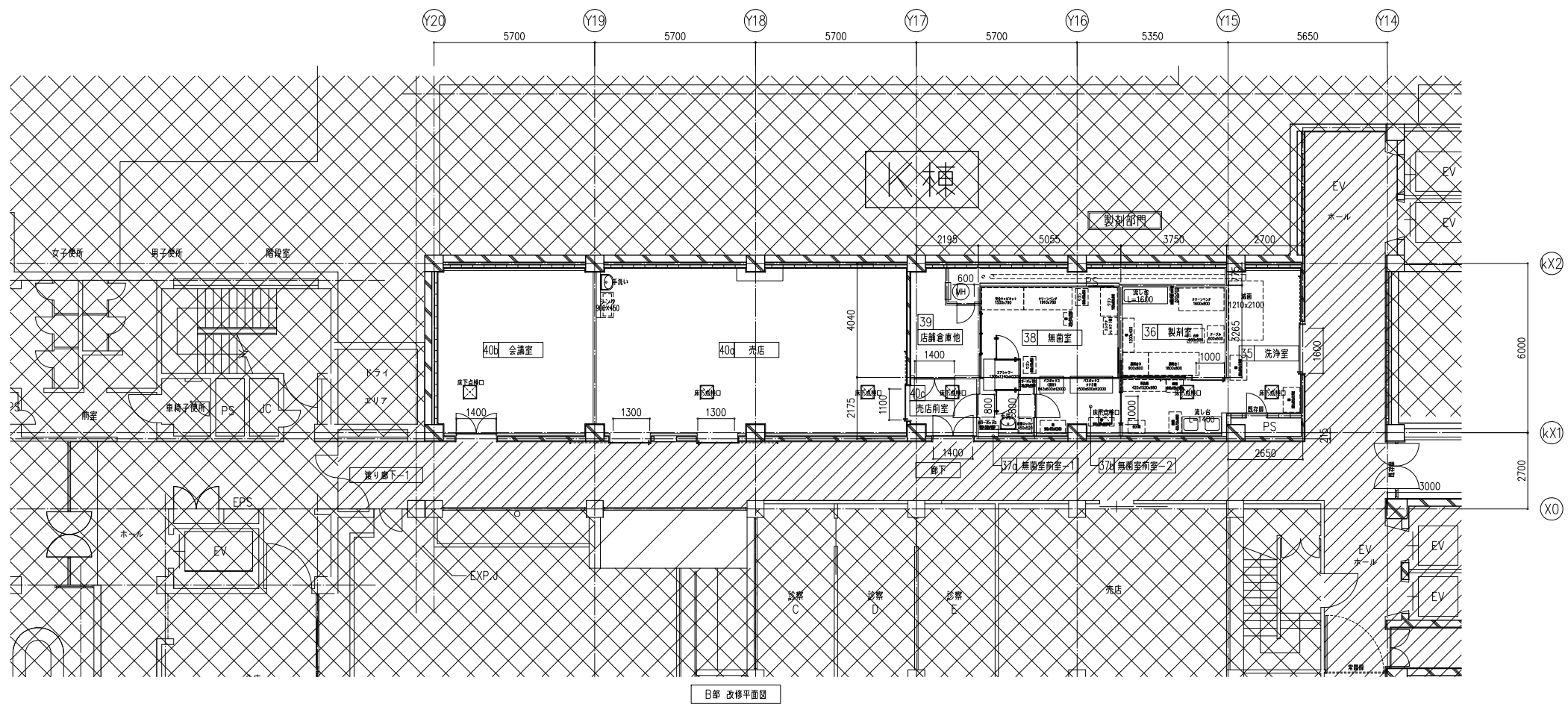
REVISION

竣工図 (責任者)
作製日付 年 月 日
作製者

APPRO. CHKD. DWN. DATE 2019.03.29
SCALE 1:100 (A3) 1:200

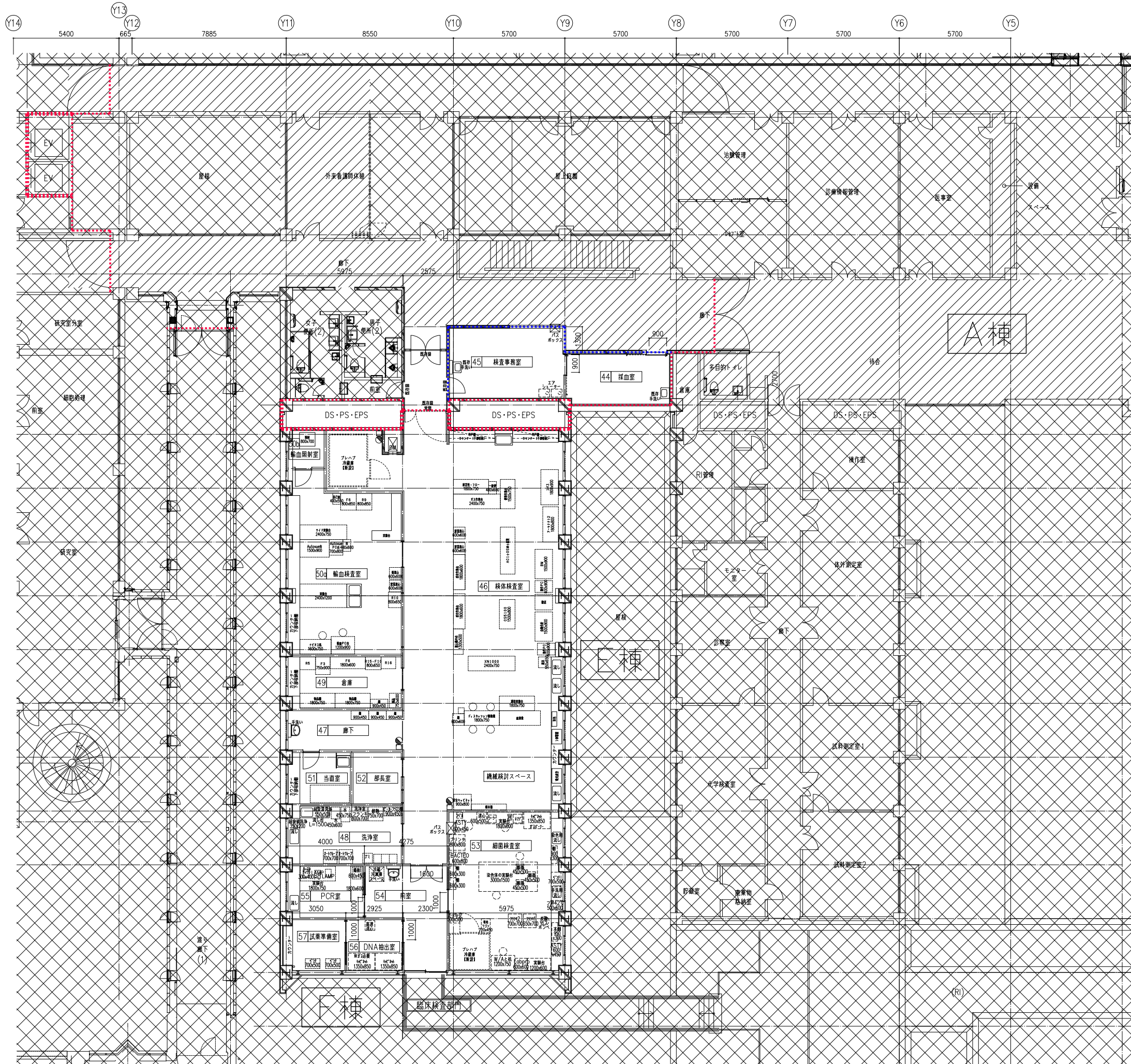
JOB NAME 静岡県立こども病院本館リニューアル工事
TITLE 改修1階平面図-1
DWG NO. D-16

一級建築士 第283810号 田中 裕和



- ...工事範囲を示す
- ...設備配管工事範囲を示す
(天井張替えのみ建築工事)
- ...工事範囲外を示す

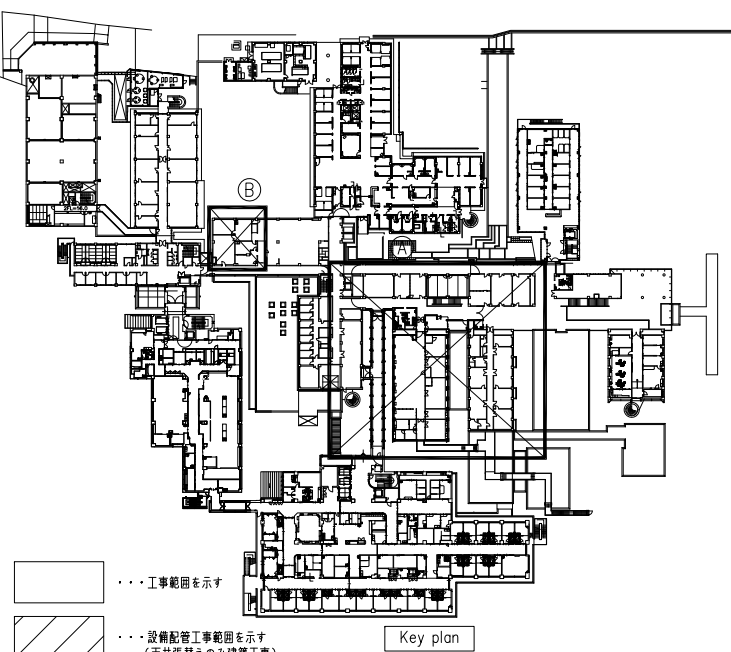
改修



Y14
Y13
Y12
Y11
Y10
Y9
Y8
Y7
Y6
Y5

X1
X0
X1
X2
X3
X4
X5
X6
X7
X8
X9
X10
X11
X12
X13
X14
X15

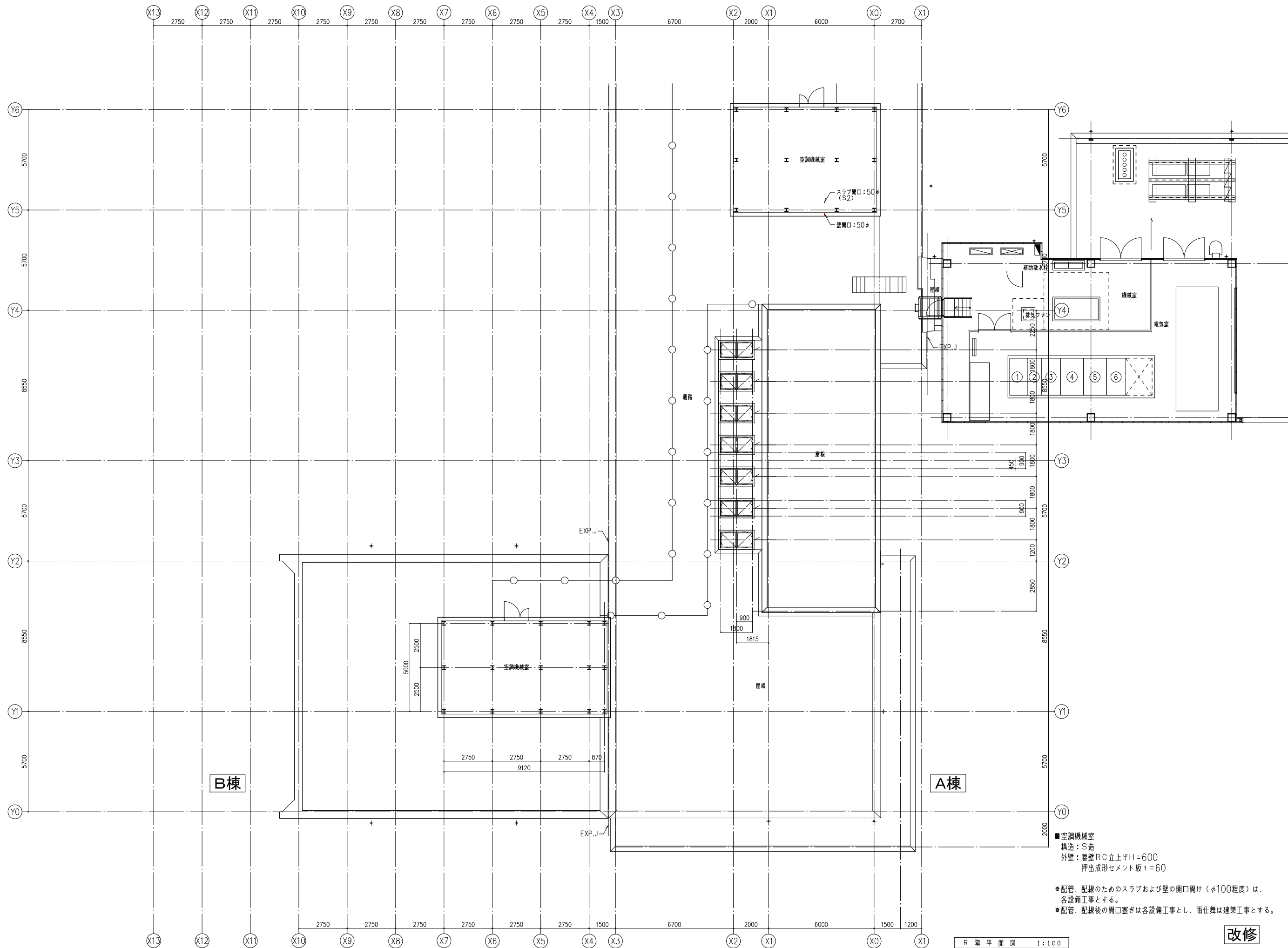
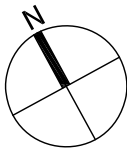
- 凡例
- 全埋込型消火器ボックス（消火器（ABC10型）別添）
 - 露型消火器ボックス（消火器（ABC10型）別添）
 - 防火区画（令第112条）
 - 防火上主要な隔仕切壁（令第114条）



- Key plan
- ・・・工事範囲を示す
 - ・・・設備配管工事範囲を示す（天井張替えのみ建築工事）
 - ・・・工事範囲外を示す

A部 改修平面図

改修



■空調機械室
構造：S造
外壁：腰壁RC立上げH=600
押出成形セメント板 $t=60$

※配管、配線のためのスラブおよび壁の開口開け（ $\phi 100$ 程度）は、
各設備工事とする。
※配管、配線後の開口塞ぎは各設備工事とし、雨仕舞は建築工事とする。

R 階 平 面 図 1:100

改修

株式会社 日立建設設計

禁複製 無断転載禁止

Copyright Hitachi Architects & Engineers Co., Ltd. All rights reserved.

制定日 2001.09.01
改訂日 2017.04.01
文書番号 F02-604-1704

REVISION Δ :

竣工図 (責任者)

APPD.

CHKD.

DWN.

DATE

2019.03.29

JOB NAME

静岡県立こども病院本館リニューアル工事

DWG NO.

D-19

改修

1:100

1:200

TITLE

改修屋上平面図-1

1:200

1:200

1:200

1:200

1:200

1:200

1:200

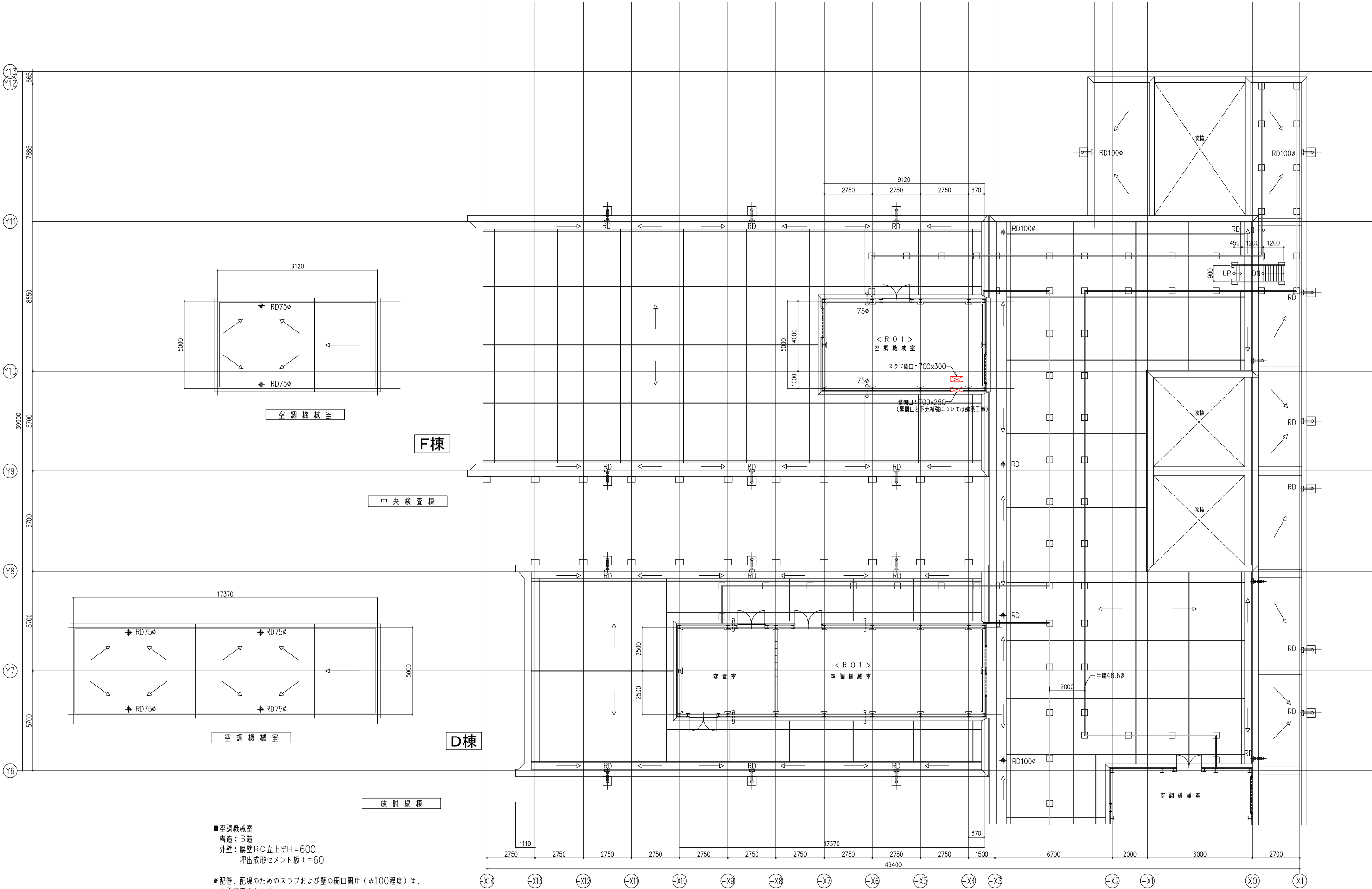
1:200

1:200

1:200

1:200

1:200



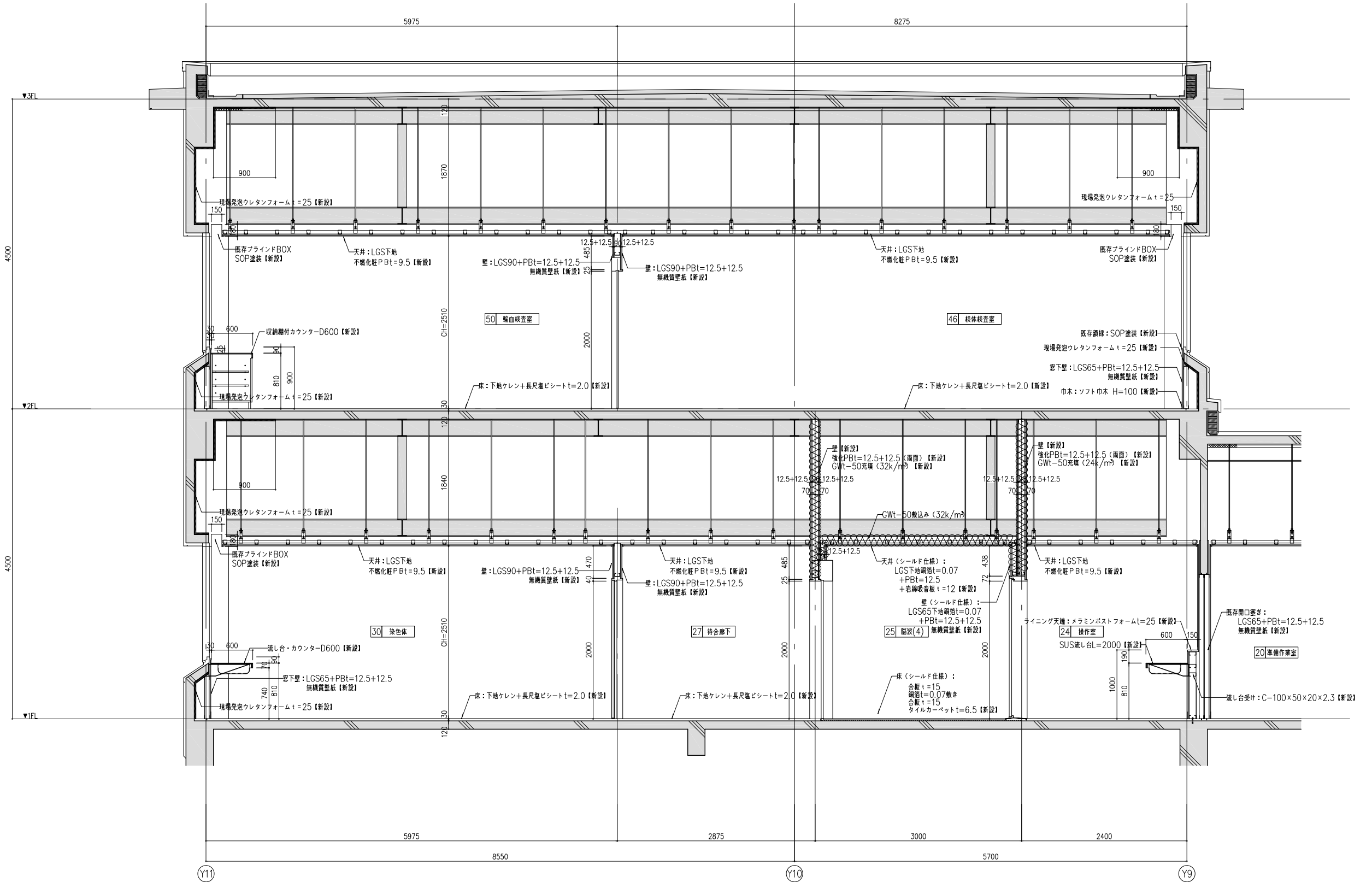
■空調機械室
構造：S造
外壁：腰壁RC立上げH=600
押出成形セメント板 t=60

※配管、配線のためのスラブおよび壁の開口開け（φ100程度）は、
各設備工事とする。

※配管、配線後の開口塞ぎは各設備工事とし、雨仕舞は建築工事とする。

改修

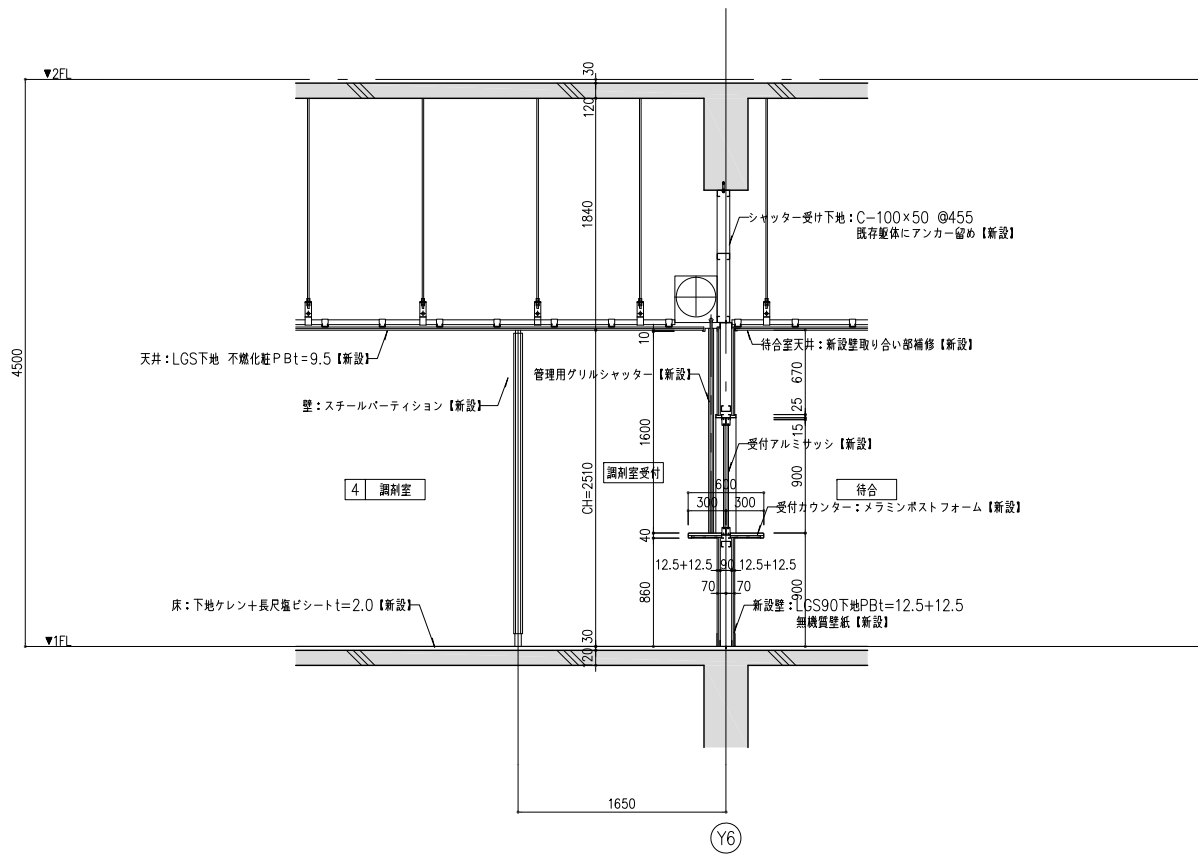
株式会社 日立建設設計 Copyright Hitachi Architects & Engineers Co., Ltd. All rights reserved.	禁 複 写 無 断 転 載 禁 止	制定日 2001.09.01	REVISION ▲ :	竣 工 図 (責任者)				APPD.	CHKD.	DWN.	DATE	JOB.NAME 静岡県立こども病院本館リニューアル工事	DWG.NO. D - 20
		改訂日 2017.04.01		作製日付	年 月 日	田 中	磯 田	望 月	2019.03.29	SCALE 1:100 (A3) 1:200	TITLE		
		文書番号 F02-604-1704		作製者	改修屋上平面図-2								
一級建築士 第283810号 田中 裕和													



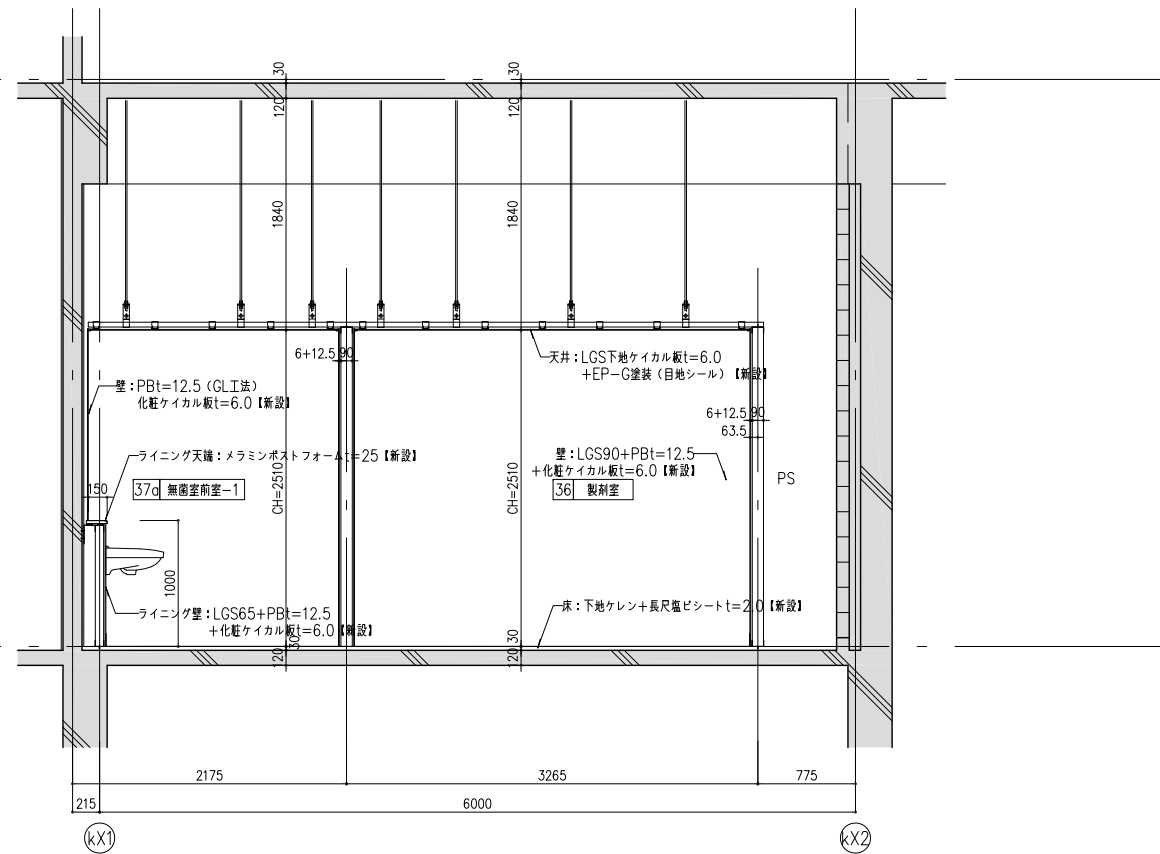
F棟 矩計図-1

・・・既設部分を示す

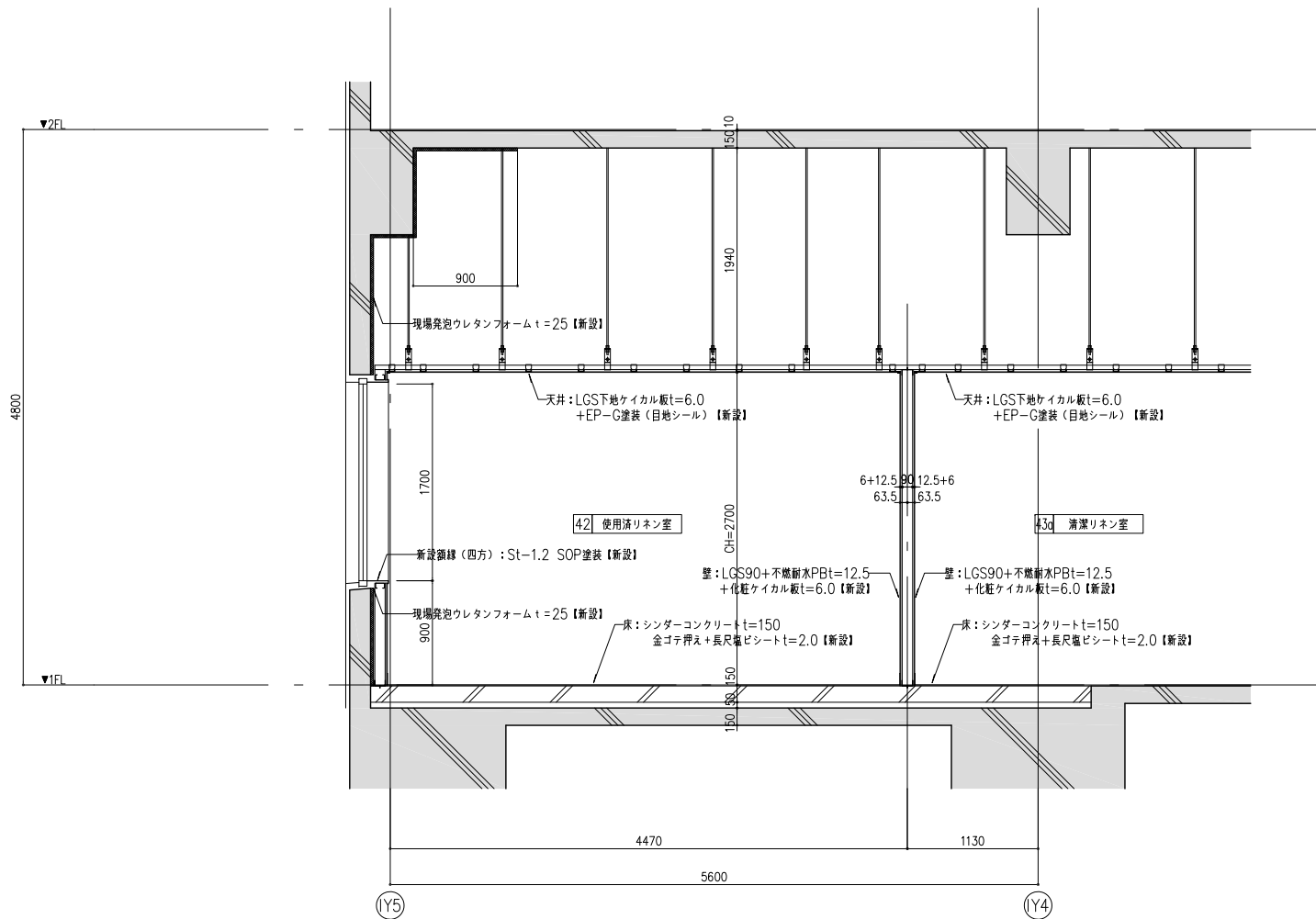
改修



A棟 矩計図



K棟 矩計図

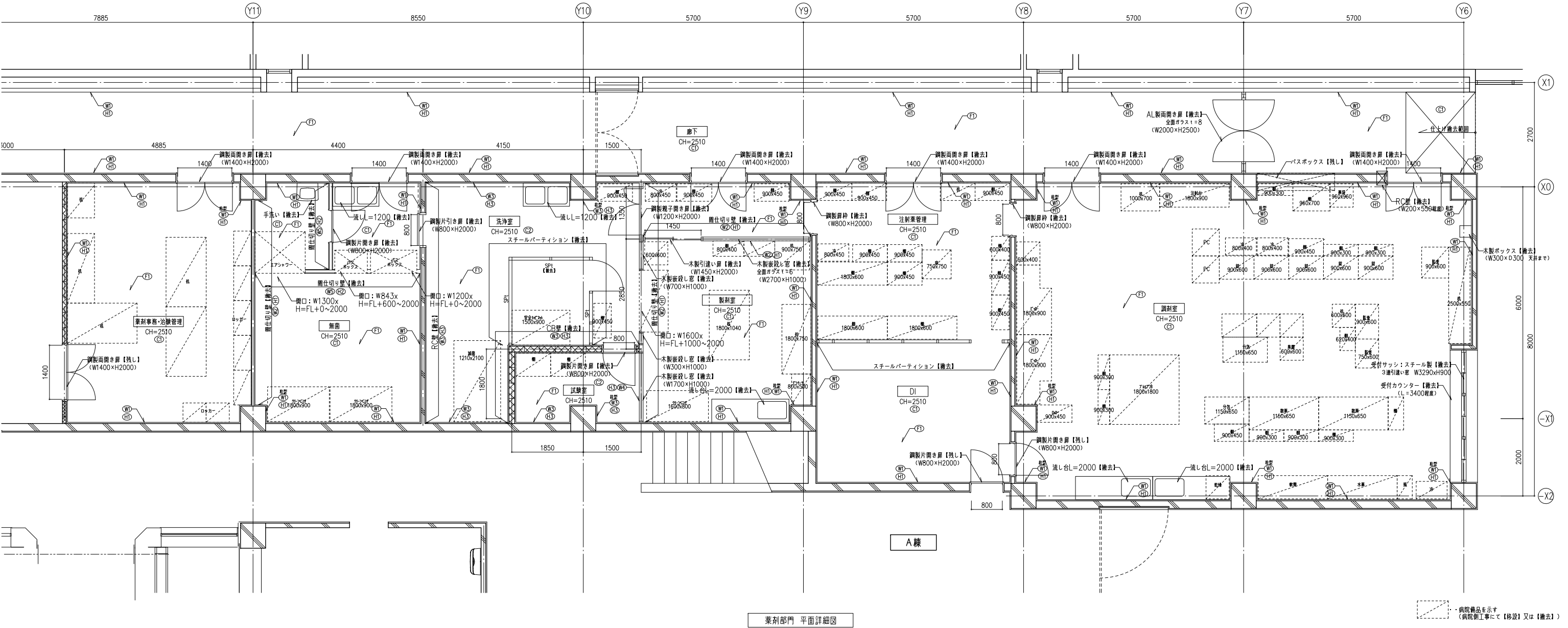


I棟 矩計図

・・・既設部分を示す

改修

株式会社 日立建設設計 Copyright Hitachi Architects & Engineers Co., Ltd. All rights reserved.	禁複製 無断転載禁止	制定日 2001.09.01 改訂日 2017.04.01 文書番号 F02-G04-1704	REVISION :	竣工図 (責任者)				DATE 2019.03.29 SCALE 1:30 (A3) 1:60	JOB.NAME 静岡県立こども病院本館リニューアル工事 TITLE 矩計図-3	DWG.NO. D-23
				作製日付	年	月	日			
				作製者						



薬剤部門 平面詳細図

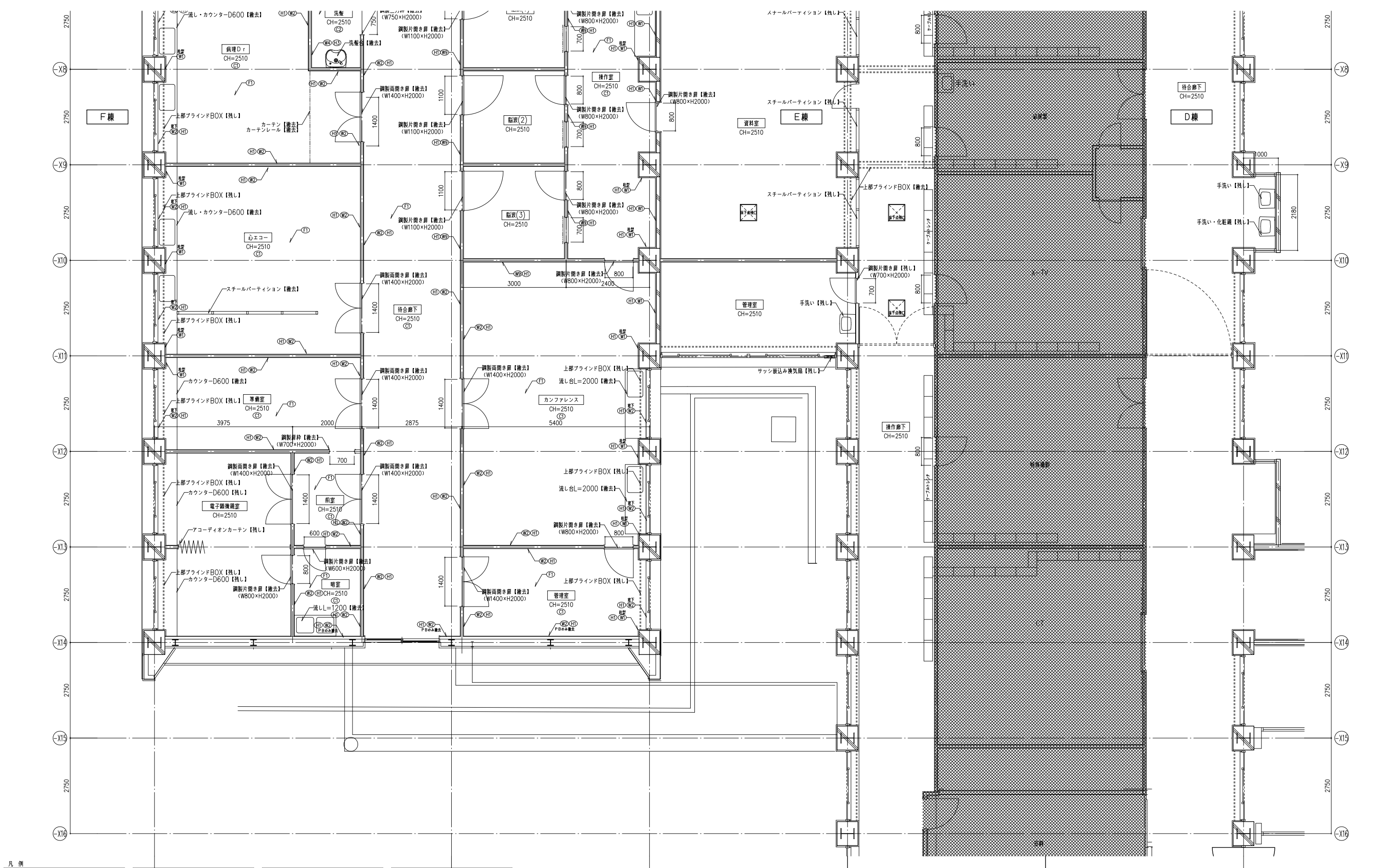
凡 例		天井		壁		巾木		床			
①	LGS	PBt=9+岩綿吸音板t=12	撤去	①	RC	モルタル金ゴテ EP	塗装 グレン	①	RC	長尺塩ビシート	撤去
②	LGS	ケイカル板t=6 EP	撤去	②	LGS	PB=12.5+12.5 EP	撤去	②	RC	カーペット敷き	撤去
③	LGS	PBt=9+岩綿吸音板t=12 (電線シールド仕様)	撤去	③	RCW+G	磁器質100角タイル	撤去	③	RC	モザイクタイル	撤去
④	LGS	化粧PBt=9.5	撤去	④	LGS	新木PBt=12.5 +磁器質100角タイル	撤去	④		コンクリート	
				⑤	LGS	PB=12.5+化粧ケイカル	撤去				
				⑥	LGS	PBt=12.5+12.5+ビニルクロス	撤去				
				⑦	LGS	PBt=12.5+12.5+ビニルクロス (電線シールド仕様)	撤去				
				⑧	RC	ビニルクロス	撤去				
				⑨		ビニルクロス	撤去				

既存



・病院備品を示す
(病院創工事にて【移設】又は【撤去】)

既存

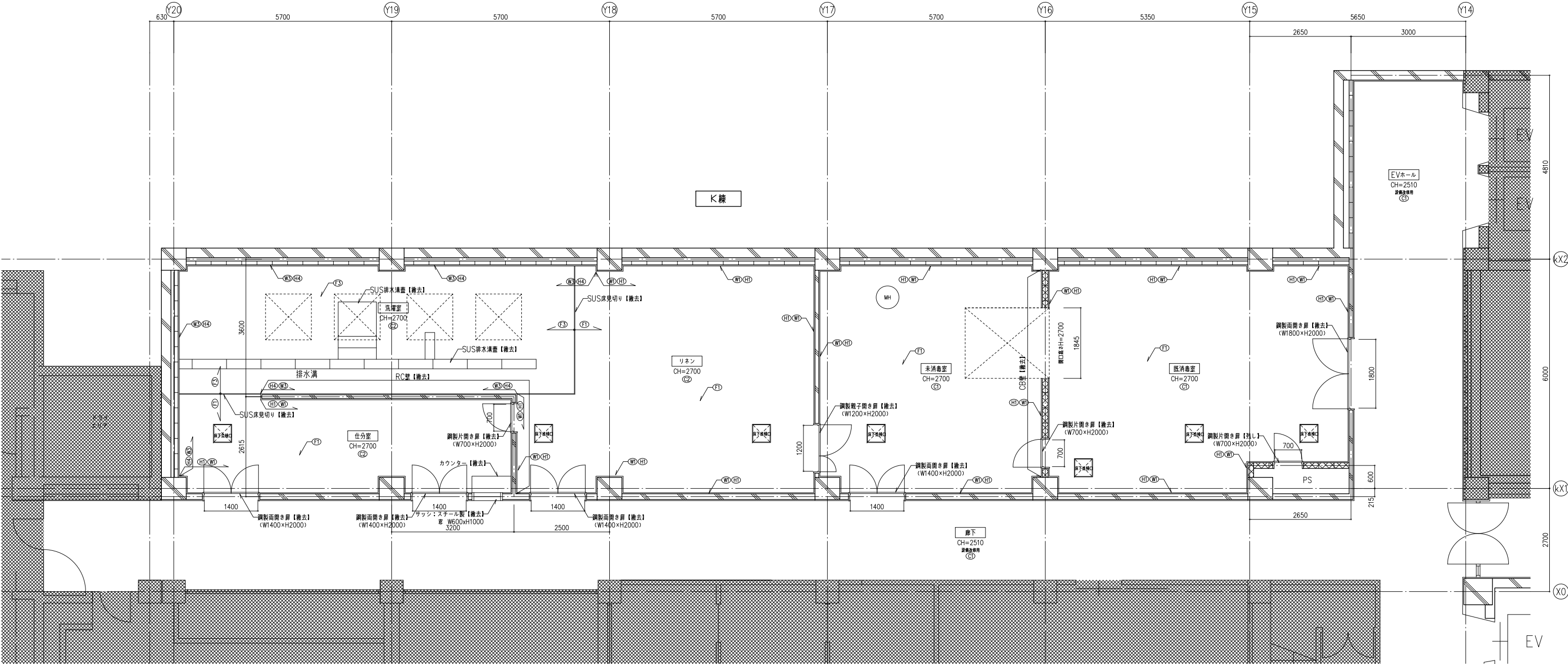


凡 例			
天井			
C1	LGS	PBt=9+岩綿吸音板t=12	撤去
C2	LGS	ケイカル板t=6 EP	撤去
C3	LGS	PBt=9+岩綿吸音板t=12 (電線シールド仕舞)	撤去
C4	LGS	化粧PBt=9.5	撤去
壁			
W1	RC	モルタル金ゴテ EP	遮音グレシ
W2	LGS	PB=12.5+12.5 EP	撤去
W3	RC+CG	磁器質100角タイル	撤去
W4	LGS	新木PBt=12.5 +磁器質100角タイル	撤去
W5	LGS	PB=12.5+化粧ケイカル	撤去
W6	LGS	PBt=12.5+12.5+ビニルクロス	撤去
W7	LGS	PBt=12.5+12.5+ビニルクロス (電線シールド仕舞)	撤去
W8	RC	ビニルクロス	撤去
巾木			
H1	木巾木	H=85 SOP	撤去
H2	アルミ巾木	H=100	撤去
H3		床材上げ H=100	撤去
H4		磁器質100角タイル H=100	撤去
床			
F1	RC	長尺塩ビシート	撤去
F2	RC	カーペット敷き	撤去
F3	RC	モザイクタイル	撤去
F4		コンクリート	

生理機能・病理検査部門、放射部門 平面詳細図（－X8～－X16）

・・・既設品を示す
（病院側工事で【移設】又は【撤去】）

既存

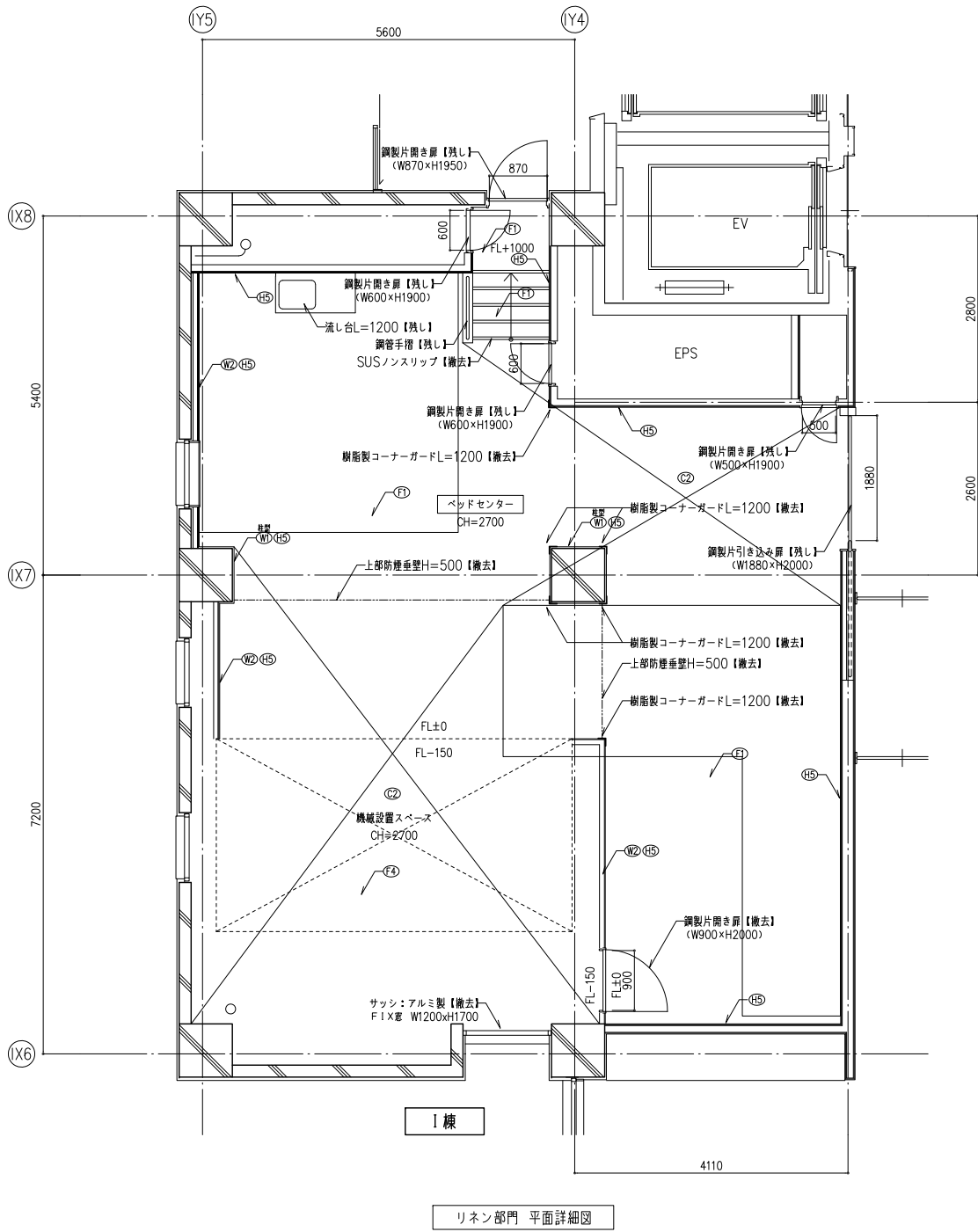


製剤部門 平面詳細図

--- 病院備品を示す
(病院側工事にて【移設】又は【撤去】)

凡 例

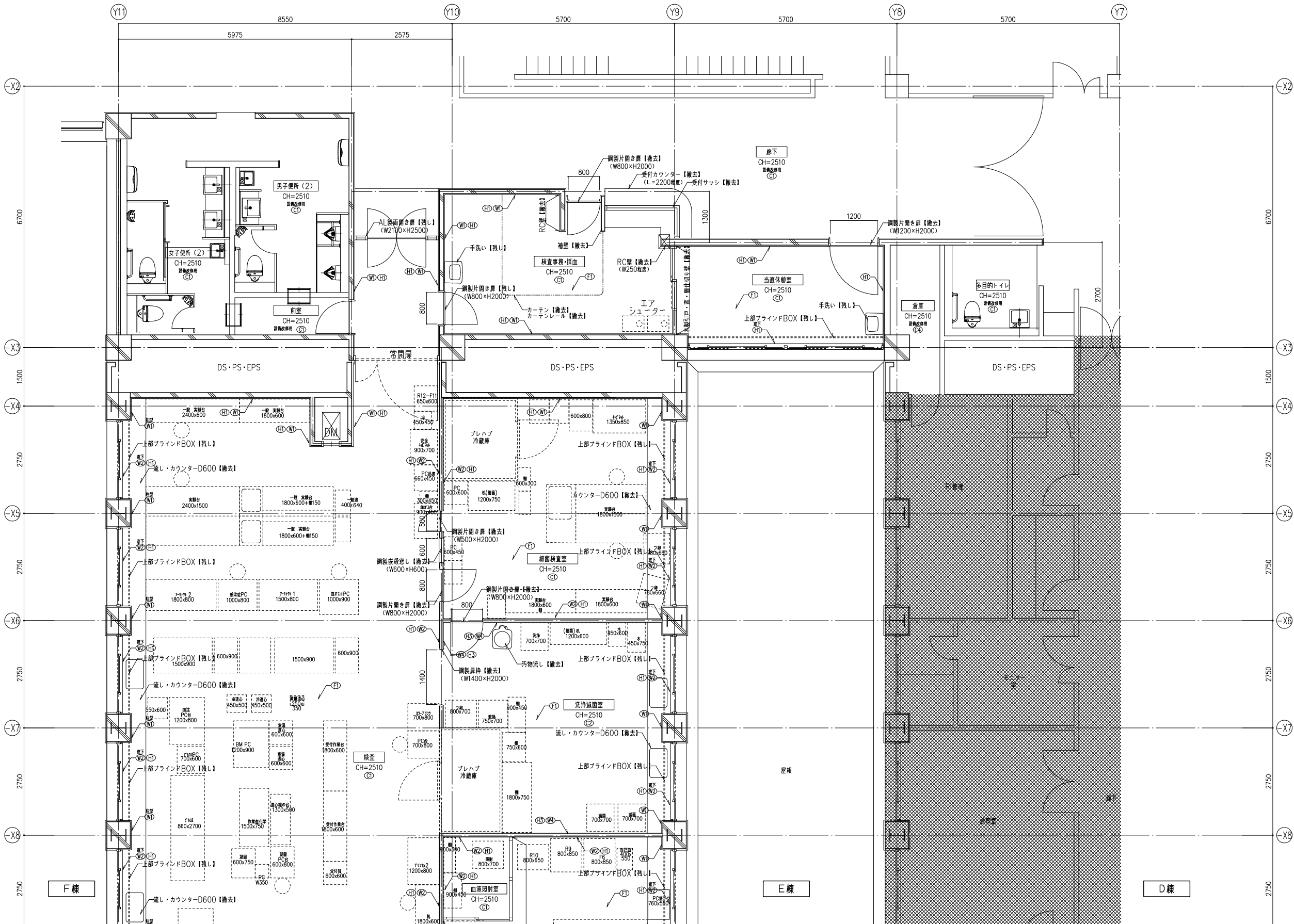
天井			壁			巾木			床						
①	LGS	PBt=9+岩綿吸音板t=12	撤去	①	RC	モルタル全ゴテ EP	撤去	①	H2	木巾木 H=85 SOP	撤去	F1	RC	長尺塩ビシート	撤去
②	LGS	ケイカル板t=6 EP	撤去	②	LGS	PB=12.5+12.5 EP	撤去	②	H2	アルミ巾木 H=100	撤去	F2	RC	カーペット敷き	撤去
③	LGS	PBt=9+岩綿吸音板t=12 （電線シールド付仕様）	撤去	③	RC+GRC	磁器質100角タイル	撤去	③	H3	床材立上げ H=100	撤去	F3	RC	モザイクタイル	撤去
④	LGS	化粧PBt=9.5	撤去	④	LGS	板状PBt=12.5 化粧質100角タイル	撤去	④	H4	磁器質100角タイル H=100	撤去	F4		コンクリート	
				⑤	LGS	PB=12.5+化粧ケイカル	撤去	⑤	H5	ソフト巾木 H=100	撤去				
				⑥	LGS	PBt=12.5+12.5+ビニルクロス	撤去								
				⑦	LGS	PBt=12.5+12.5+ビニルクロス （電線シールド付仕様）	撤去								
				⑧	RC	ビニルクロス	撤去								
				⑨		ビニルクロス	撤去								



凡 例		
天井		
①	LGS ; PBt=9+岩綿吸音板t=12	撤去
②	LGS ; ケイカル板t=6 EP	撤去
③	LGS ; PBt=9+岩綿吸音板t=12 (電線シールド仕様)	撤去
④	LGS ; 化粧PBt=9.5	撤去
壁		
①	RC ; モルタル金ゴテ EP	塗装 グレン
②	LGS ; PB=12.5+12.5 EP	撤去
③	RC+CG ; 磁器質100角タイル	撤去
④	LGS ; 新木PBt=12.5 +磁器質100角タイル	撤去
⑤	LGS ; PB=12.5+化粧ケイカル	撤去
⑥	LGS ; PBt=12.5+12.5+ビニルクロス	撤去
⑦	LGS ; PBt=12.5+12.5+ビニルクロス (電線シールド仕様)	撤去
⑧	RC ; ビニルクロス	撤去
⑨		ビニルクロス
巾木		
①	木巾木 H=85 SOP	撤去
②	アルミ巾木 H=100	撤去
③	床材立上げ H=100	撤去
④	磁器質100角タイル H=100	撤去
⑤	ソフト巾木 H=100	撤去
床		
①	RC ; 長尺塩ビシート	撤去
②	RC ; カーペット敷き	撤去
③	RC ; モザイクタイル	撤去
④		コンクリート

・病院備品を示す
(病院側工事にて【移設】又は【撤去】)

既存



臨床検査部門 平面詳細図 (-X2~-X8)

凡 例

天井		
①	LGS	PBt=9+岩綿吸音板t=12 撤去
②	LGS	ケイカル板t=6 EP 撤去
③	LGS	PBt=9+岩綿吸音板t=12 (電線シールド仕舞) 撤去
④	LGS	化粧PBt=9.5 撤去

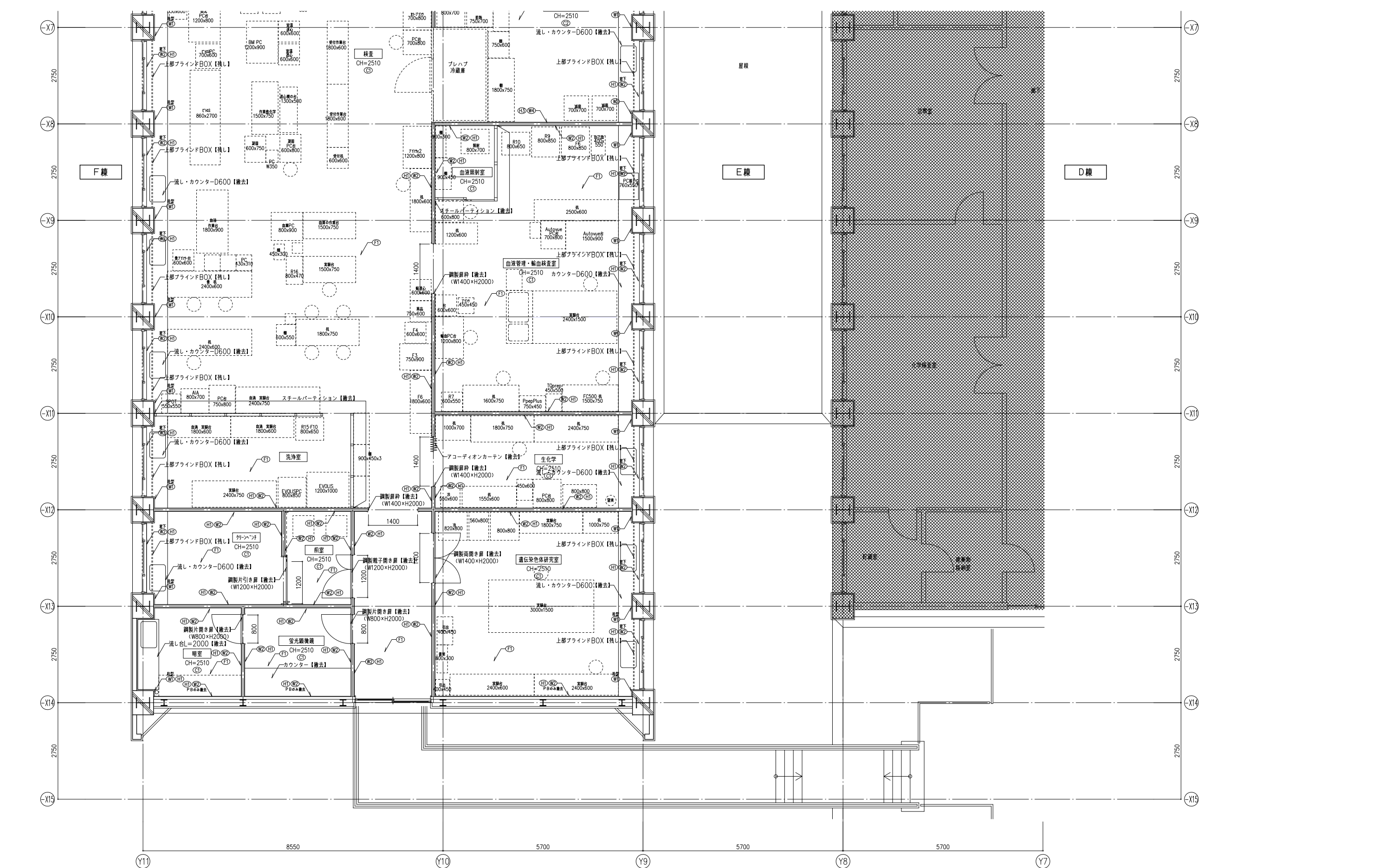
壁		
①	RC	モルタル金ゴテ EP 撤去
②	LGS	PB=12.5+12.5 EP 撤去
③	RC+G	磁器質100角タイル 撤去
④	LGS	新木PBt=12.5 撤去
⑤	LGS	磁器質100角タイル 撤去
⑥	LGS	PB=12.5+化粧ケイカル 撤去
⑦	LGS	PBt=12.5+12.5+ビニルクロス 撤去
⑧	LGS	PBt=12.5+12.5+ビニルクロス (電線シールド仕舞) 撤去
⑨	RC	ビニルクロス 撤去

巾木		
①	木巾木	H=85 SOP 撤去
②	アルミ巾木	H=100 撤去
③	床材立上げ	H=100 撤去
④	磁器質100角タイル	H=100 撤去

床		
①	RC	長尺塩ビシート 撤去
②	RC	カーペット敷き 撤去
③	RC	モザイクタイル 撤去
④		コンクリート

・・・・・ 病院用品を示す
(病院側工事で【移設】又は【撤去】)

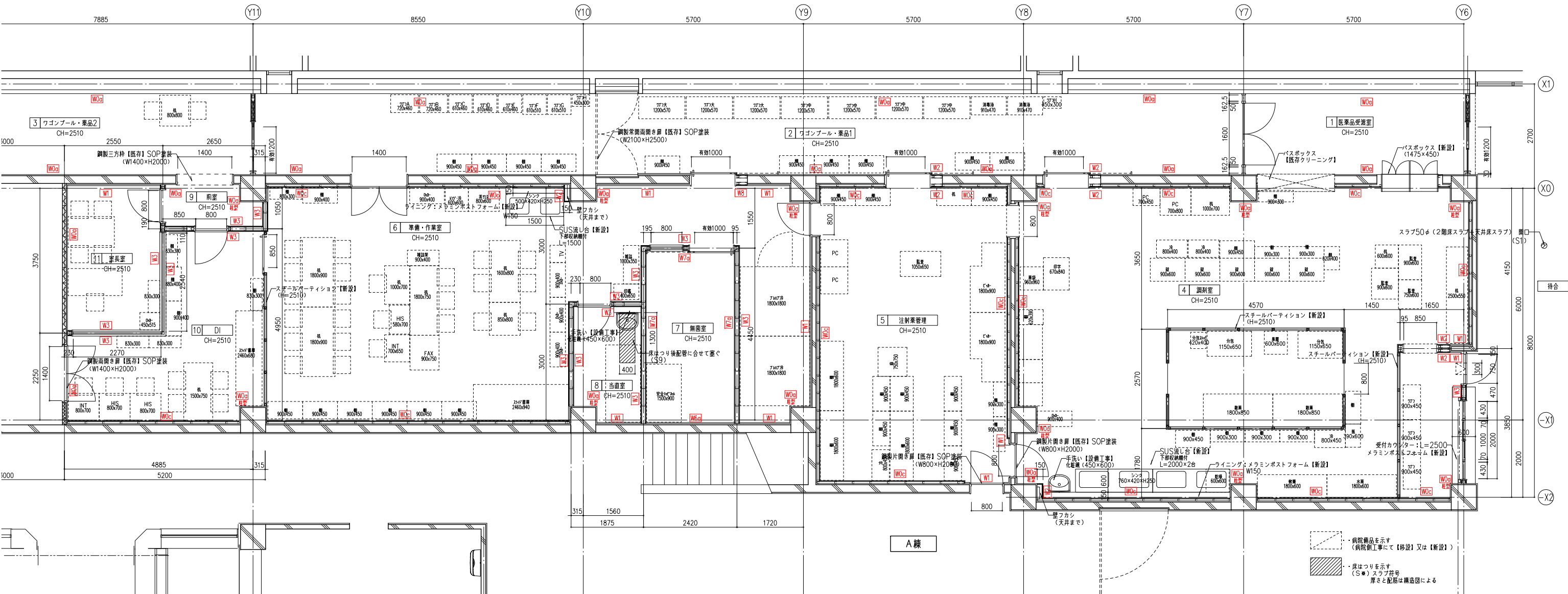
既存



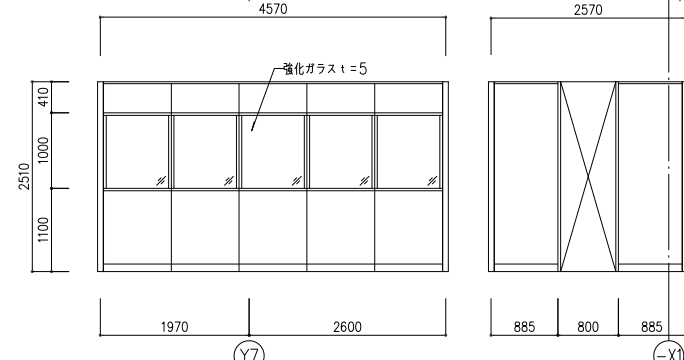
凡 例			
天井			
①	LGS	PBt=9+若緑吸音板t=12	撤去
②	LGS	ケイカル板t=6 EP	撤去
③	LGS	PBt=9+若緑吸音板t=12 (電線シールド仕様)	撤去
④	LGS	化粧PBt=9.5	撤去
壁			
①	RC	モルタル金ゴテ EP	塗替 クレタ
②	LGS	PB=12.5+12.5 EP	撤去
③	RC+G	磁器質100角タイル	撤去
④	LGS	新木PBt=12.5 +磁器質100角タイル	撤去
⑤	LGS	PB=12.5+化粧ケイカル	撤去
⑥	LGS	PBt=12.5+12.5+ビニルクロス	撤去
⑦	LGS	PBt=12.5+12.5+ビニルクロス (電線シールド仕様)	撤去
⑧	RC	ビニルクロス	撤去
巾木			
①	木巾木	H=85 SOP	撤去
②	アルミ巾木	H=100	撤去
③	床材立上げ	H=100	撤去
④	磁器質100角タイル	H=100	撤去
床			
①	RC	長尺塩ビシート	撤去
②	RC	カーペット敷き	撤去
③	RC	モザイクタイル	撤去
④		コンクリート	

臨床検査部門 平面詳細図 (-X7~-X15)

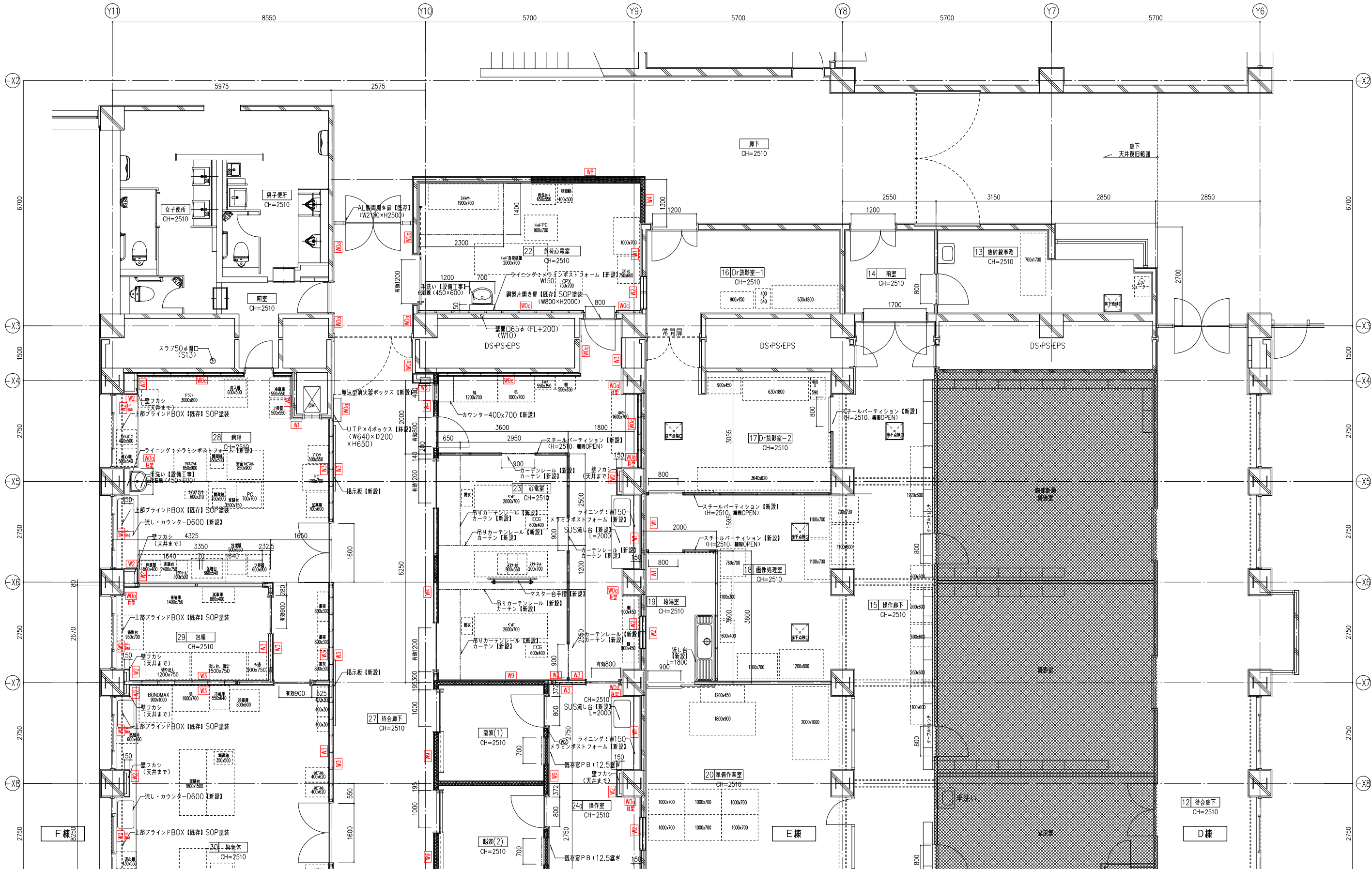
既存



薬剤部門 平面詳細図



改修



生理機能・病理検査部門、放射部門 平面詳細図 (ーX2～ーX8)

- ・病院用品を示す
(病院領工事で【移設】又は【新設】)
- ・床はつりを示す
(S●) スラブ符号
厚さと配筋は構造図による



改修

株式会社 日立建設設計

禁複製 無断転載禁止
Copyright Hitachi Architects & Engineers Co., Ltd. All rights reserved.

制図日 2001.09.01
改訂日 2017.04.01
文書番号 T02-G04-1704

REVISION

竣工図 (責任者)

APPD.

CHKD.

OWN.

DATE

2019.03.29

JOB NAME

静岡県立こども病院本館リニューアル工事

SCALE

1:50

(A3)

1:100

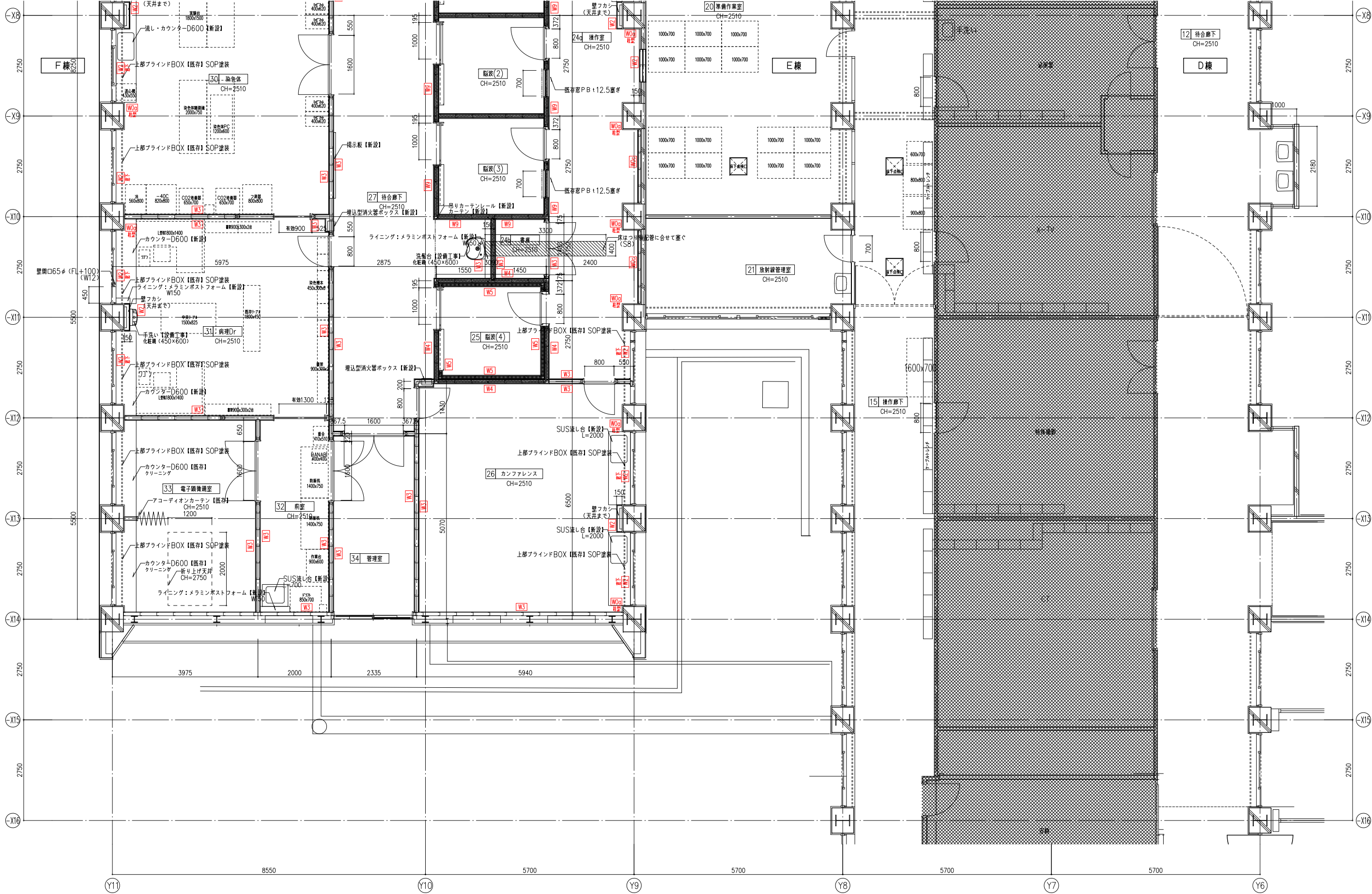
TITLE

改修1階平面詳細図-2

DWG NO.

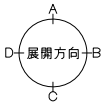
D - 32

一級建築士 第283810号 田中 裕和



生理機能・病理検査部門、放射部門 平面詳細図 (-X8~-X16)

- ・病室用品を示す
(病院側工事にて【移設】又は【新設】)
- ・床はつり床を示す
(S*) スラブ符号
厚さと配筋は構造図による



改修

株式会社 日立建設設計

禁複製 無断転載禁止

Copyright Hitachi Architects & Engineers Co., Ltd. All rights reserved.

製図日 2001.09.01
改訂日 2017.04.01
文書番号 102-604-1704

REVISION

竣工図 (責任者)
作製日付 年 月 日
作製者

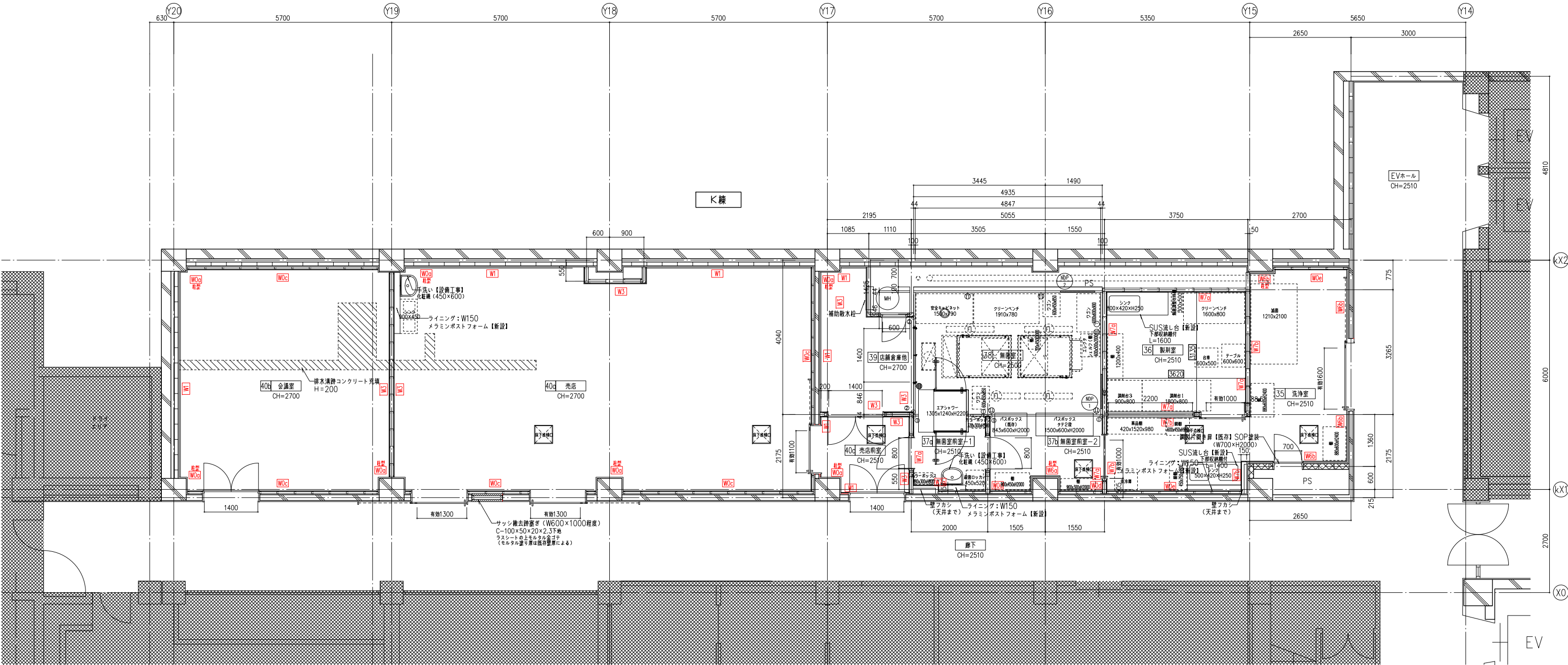
APPRO. CHKD. DWN. DATE 2019.03.29
SCALE 1:50 (A3) 1:100

JOB NAME 静岡県立こども病院本館リニューアル工事
TITLE 改修1階平面詳細図-3

DWG NO.

D - 33

一級建築士 第283810号 田中 裕和

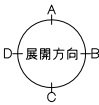


製剤部門 平面詳細図

○● 壁取合い部：電ビ製ジョイナー

- ・病院構品を示す
(病院構品にて【新設】又は【新設】)
- ・床はつり示す
(S*) スラブ符号
厚さと配筋は構造図による

○● 壁取合い部：電ビ製ジョイナー



改修

株式会社 日立建設設計

禁複製 無断転載禁止
Copyright Hitachi Architects & Engineers Co., Ltd. All rights reserved.

制定日 2001.09.01
改訂日 2017.04.01
文書番号 T02-G04-1704

REVISION △:

竣工図 (責任者)

APPD.

CHKD.

DWN.

DATE

JOB.NAME

SCALE

TITLE

DWG.NO.

2019.03.29

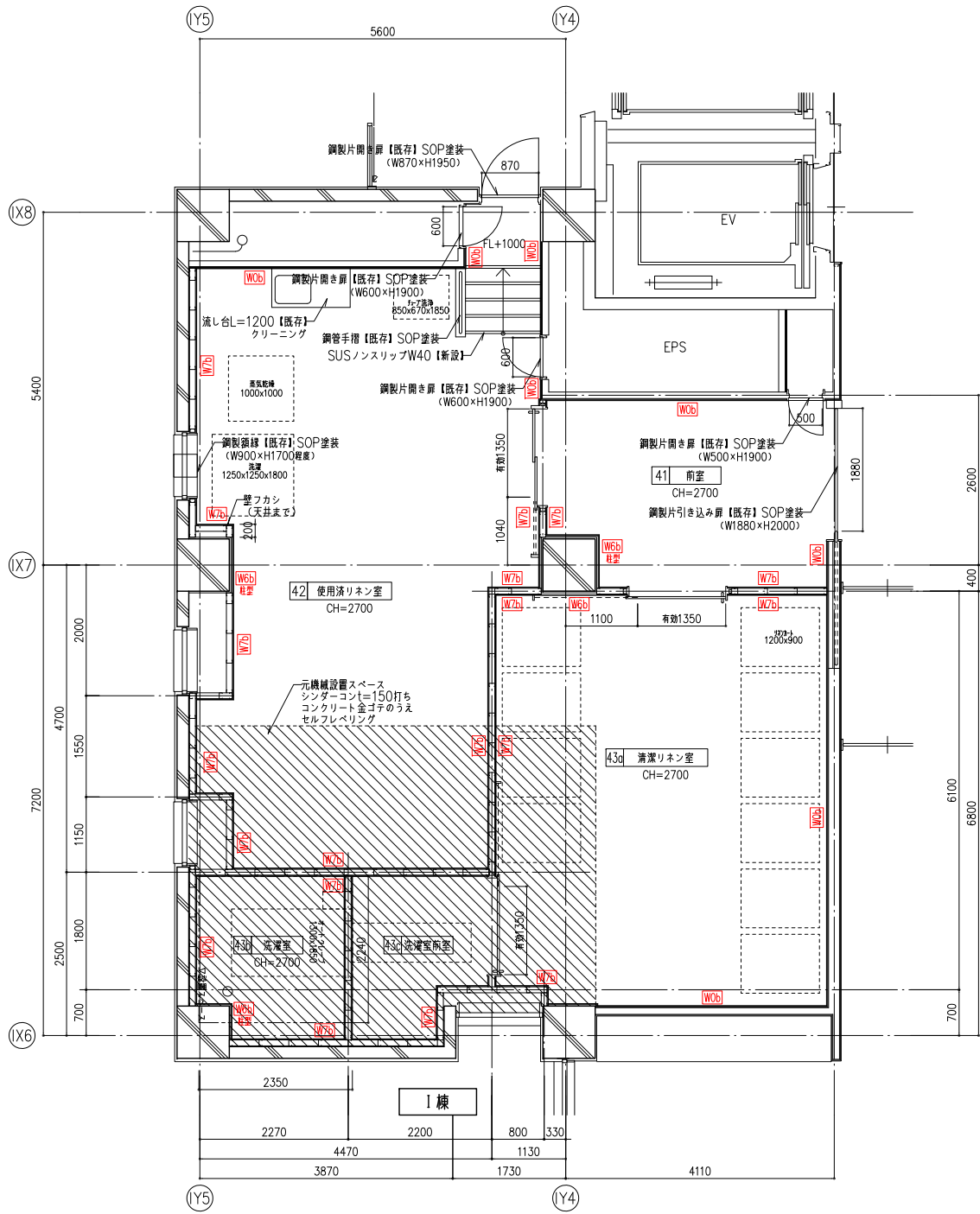
静岡県立こども病院本館リニューアル工事

1:50

1:100

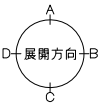
改修1階平面詳細図-4

D - 34



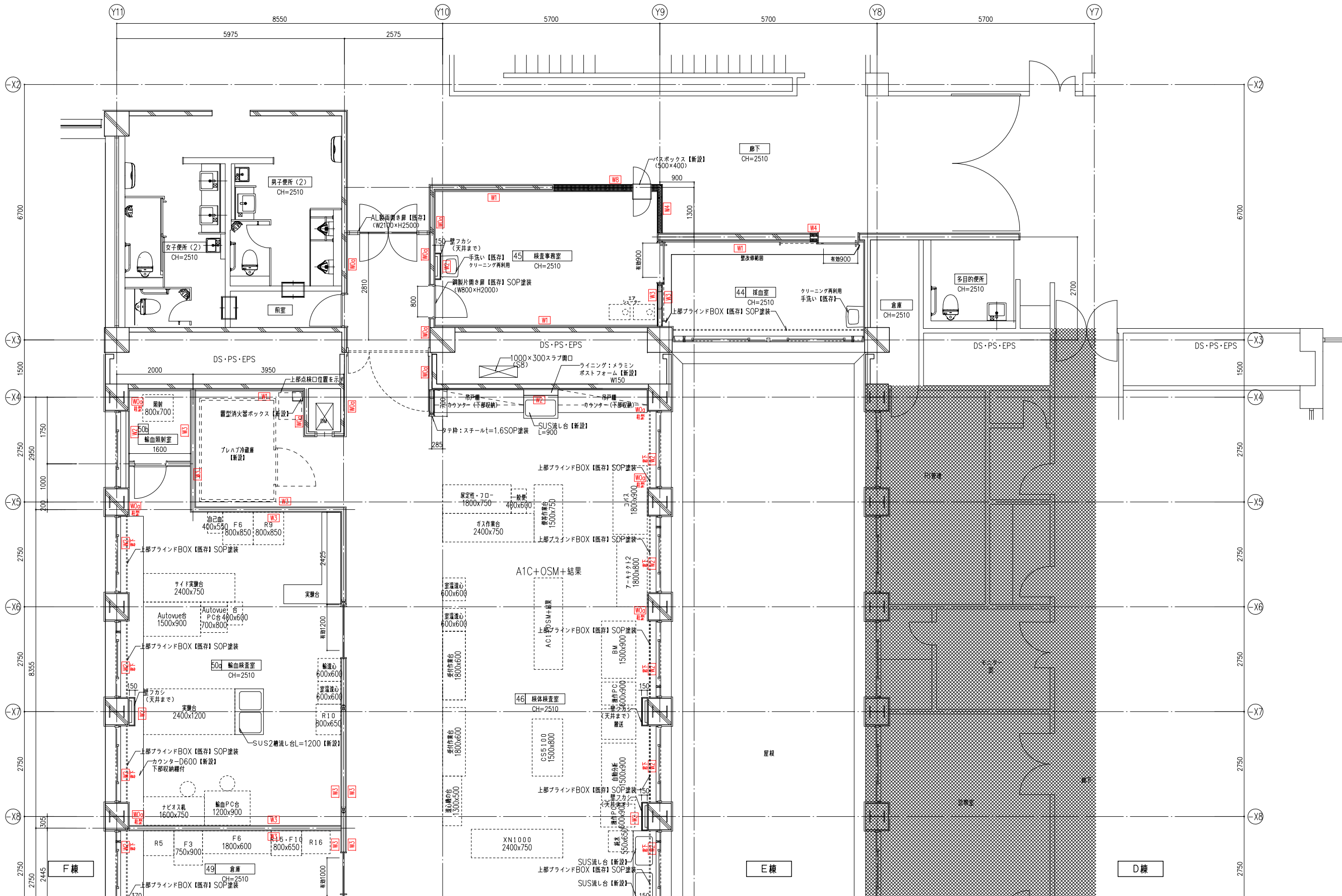
リネン部門 平面詳細図

- 病院用品を示す
(病院側工事にて【移設】又は【新設】)
- 床はつりを示す
(S*) スラブ符号
床さと配筋は構造図による



改修

株式会社 日立建設設計 Copyright Hitachi Architects & Engineers Co., Ltd. All rights reserved.	禁複製 無断転載禁止	製図日 2001.09.01	REVISION :	竣工図 (責任者)			APPO.	CHKD.	DWN.	DATE 2019.03.29	JOB.NAME 静岡県立こども病院本館リニューアル工事	DWG.NO. D - 35
		改訂日 2017.04.01		作製日付 年 月 日	作製者		田中	磯目	望月	SCALE 1:50 (A3) 1:100	TITLE 改修1階平面詳細図-5	



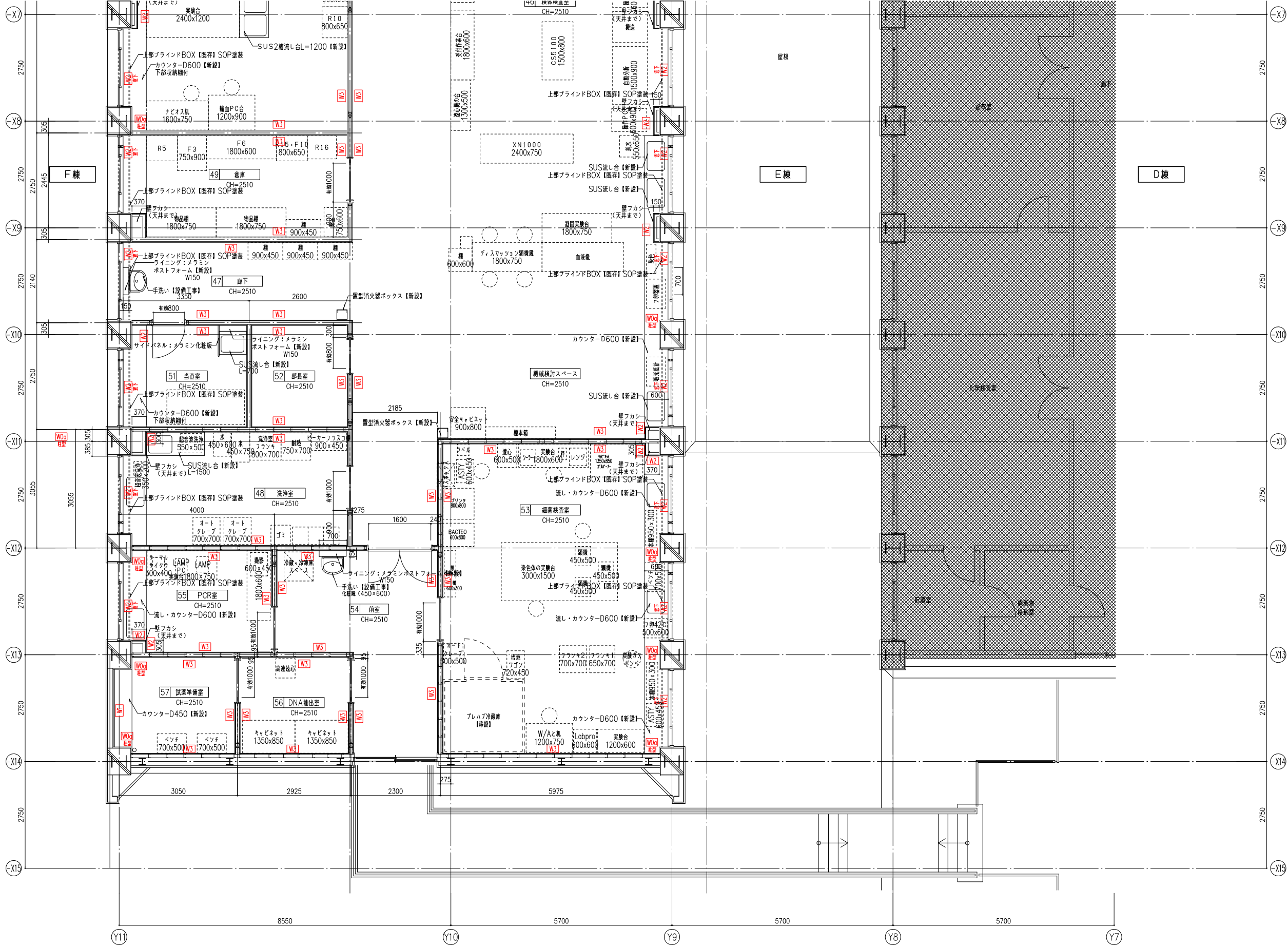
臨床検査部門 平面詳細図（-X2~-X8）

・病院備品を示す
（病院備工事で【移設】又は【新設】）

・床はつりを示す
（S●）スラブ符号
厚さと配筋は構造図による

↑
A
D→展開方向→B
↓
C

改修



臨床検査部門 平面詳細図 (-X7~-X15)

・病院備品を示す
(病院側工事で【移設】又は【新設】)

・床はつり示す
(S*)スラブ符号
厚さと配筋は構造図による

A

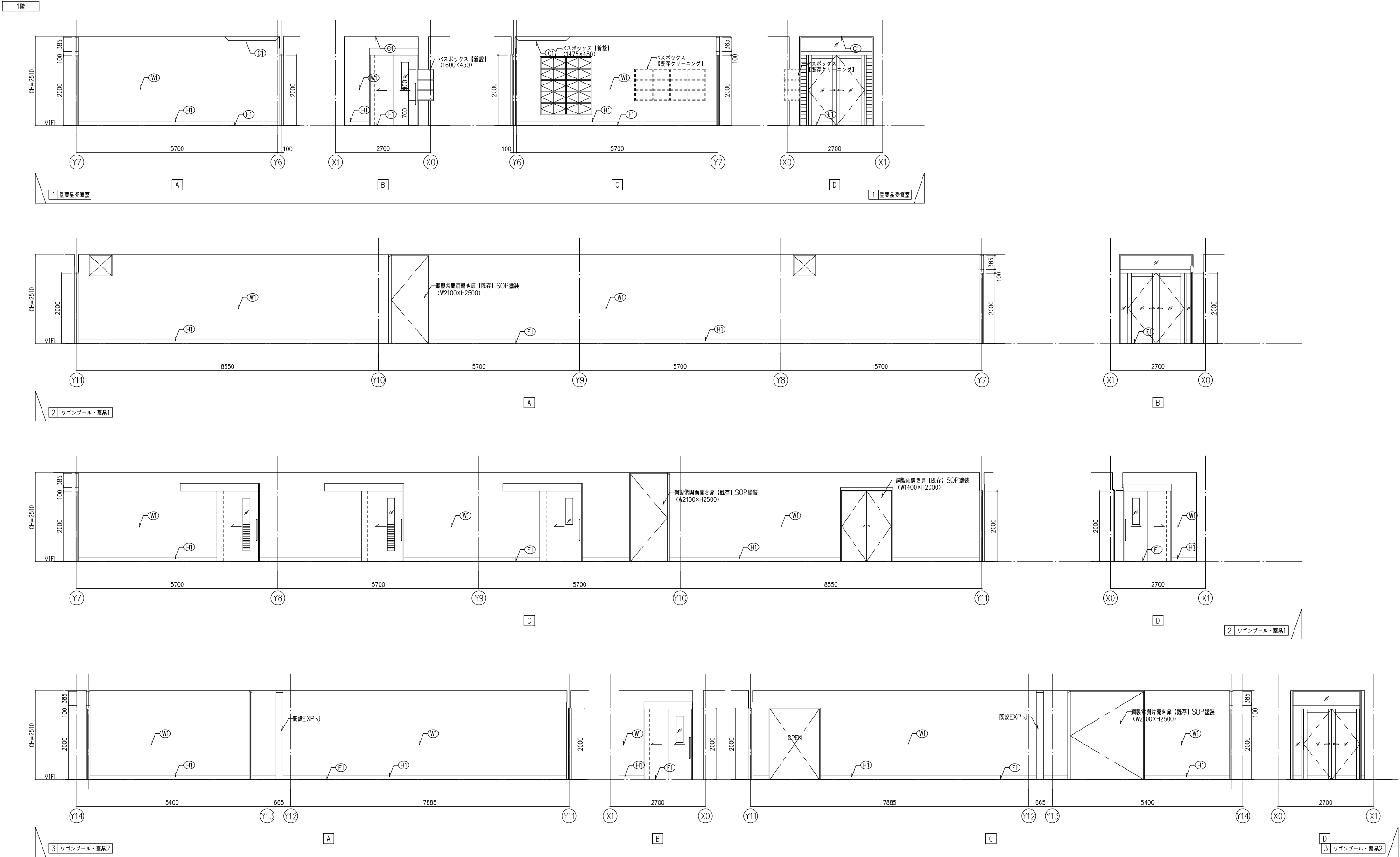
←展開方向→B

C

改修

W0a	既存壁（RC）	W0b	既存壁（ボード）	W1	GL工法壁	W2	軽量鉄骨下地壁	W3	軽量鉄骨下地壁
W4	114条区画壁	W5	電磁シールド壁	W6a、W6b	GL工法壁	W7a、W7b	軽量鉄骨下地壁	W8	防火区画壁（1時間）
				<p>※6a：石膏ボード 6b：耐水石膏ボード</p>		<p>※7a：石膏ボード 7b：耐水石膏ボード</p>		<p>※：既存壁厚による</p>	
<p>株式会社 日立建設設計</p> <p>Copyright Hitachi Architects & Engineers Co., Ltd. All rights reserved.</p>						<p>竣工図 (責任者)</p> <p>製 日 年 月 日</p> <p>作製者</p>		<p>APPD. 田中</p> <p>CHKD. 磯貝</p> <p>DWN. 望月</p> <p>DATE 2019.03.29</p> <p>SCALE 1:5 (A3) 1:10</p> <p>JOB NAME 静岡県立こども病院本館リニューアル工事</p> <p>TITLE 改修壁リストー1</p> <p>DWG.NO. D - 38</p>	

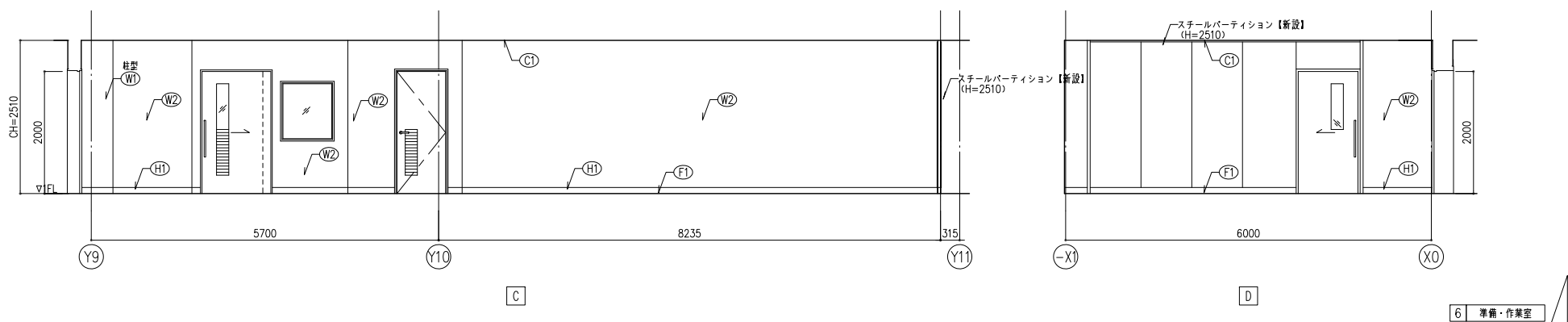
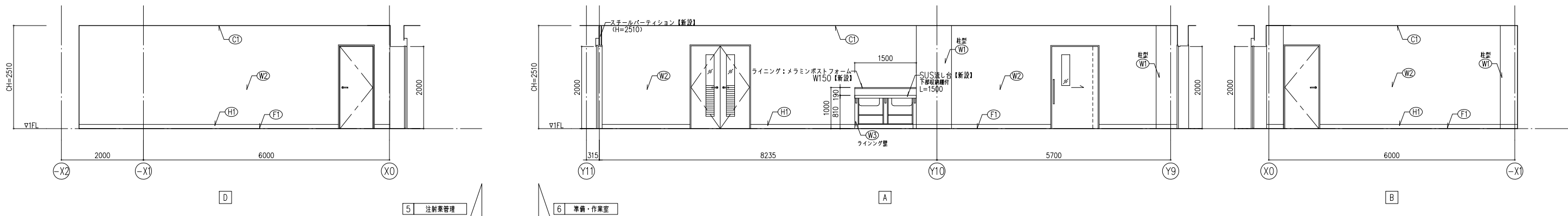
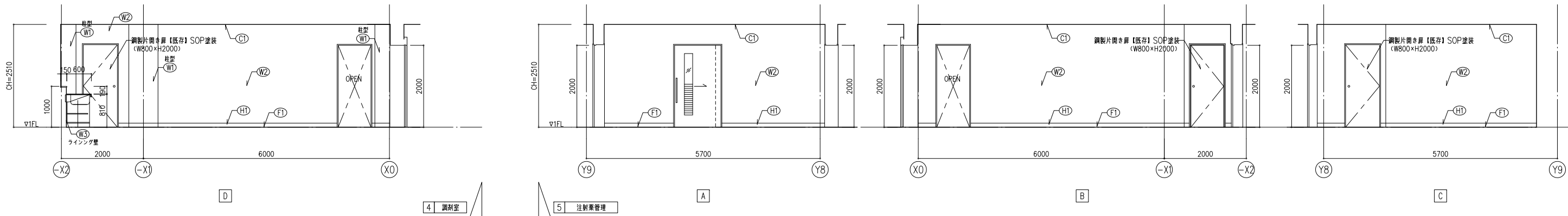
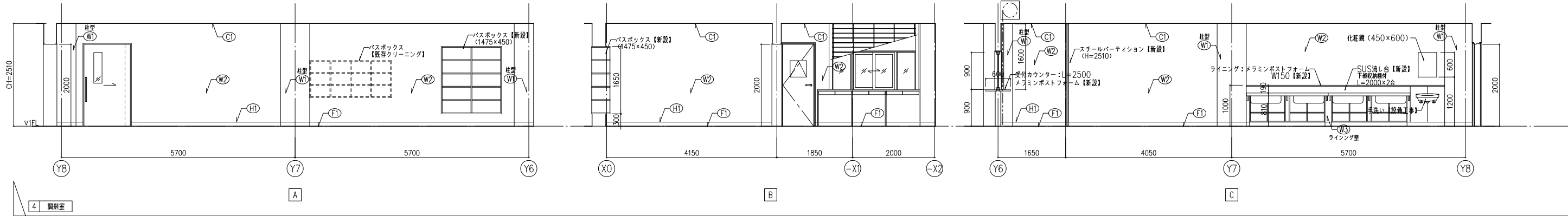
W0c	既存壁 (RC)	W0d、W0e	既存壁 (RC)	W9	軽量鉄骨下地壁				



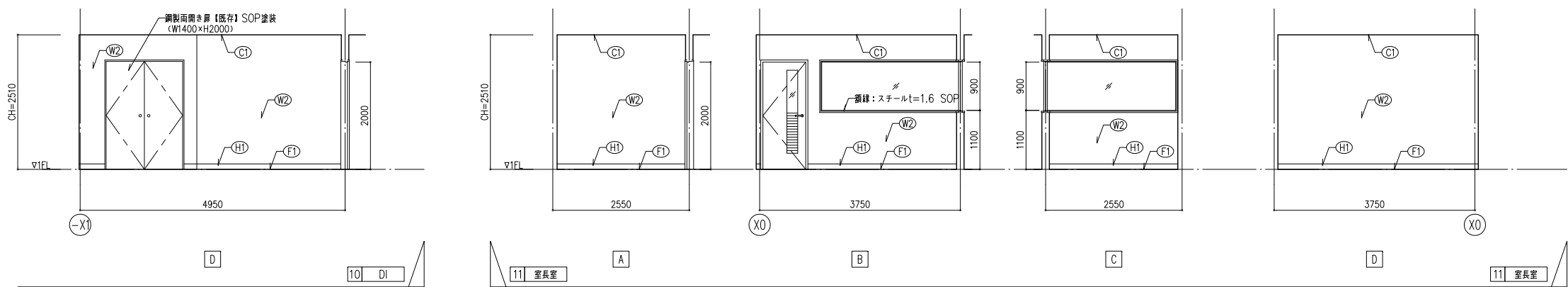
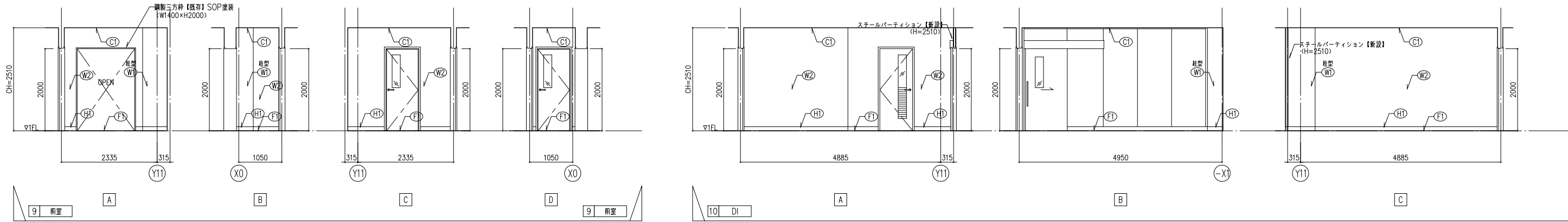
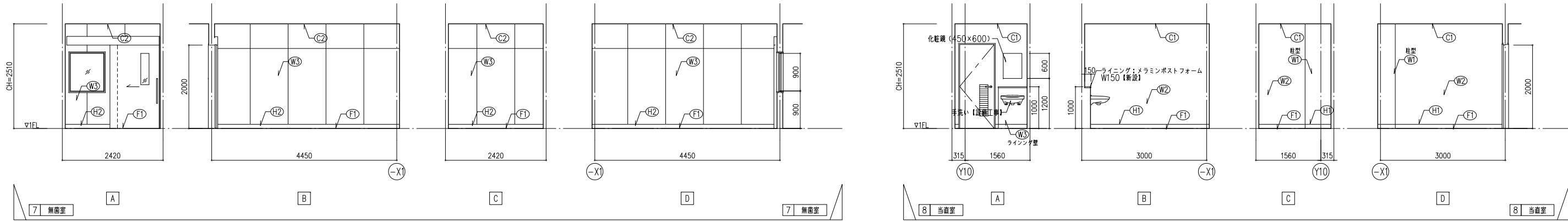
凡 例							
天井		壁	巾木	床			
(C1)	不燃化粧P Bt=9.5	(W1)	EP-G	(H1)	ソフト巾木 H=100	(F1)	長尺畳ビシトt=2.0
(C2)	ケイカル板t=6 EP-G (目地シール)	(W2)	無機質壁紙	(H2)	床材立上げ H=100	(F2)	タイルカーペットt=6.5
		(W3)	化粧ケイカルt=6.0 (目地シール)			(F3)	FRP防水 (露出仕様)

株式会社 日立建設設計 Copyright Hitachi Architects & Engineers Co., Ltd. All rights reserved.	禁 複 写 無 断 転 載 禁 止	制定日	2001.09.01	REVISION	△ :	竣 工 図 (責任者)		APPD.	CHKD.	DWN.	DATE	2019.03.29	JOB.NAME	静岡県立こども病院本館リニューアル工事	DWG.NO.	
		改訂日	2017.04.01			作製日付	年 月 日	田中	磯目	望月		2019.03.29	静岡県立こども病院本館リニューアル工事	D - 40		
		文書番号	F02-G04-1704			作製者					SCALE	1:50 (A3)	1:100		TITLE	改修展開図-1

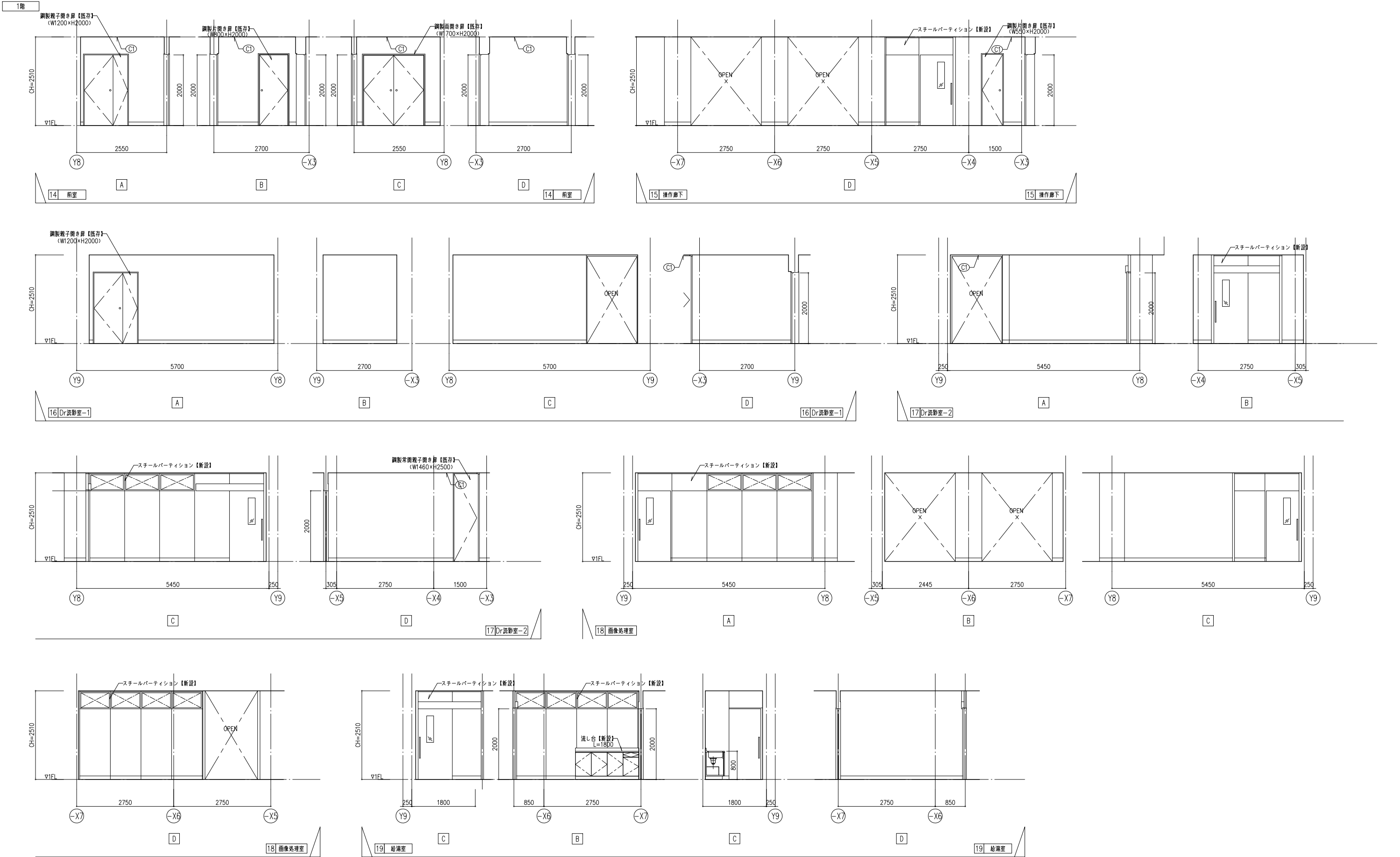
一級建築士 第283810号 田中 裕也



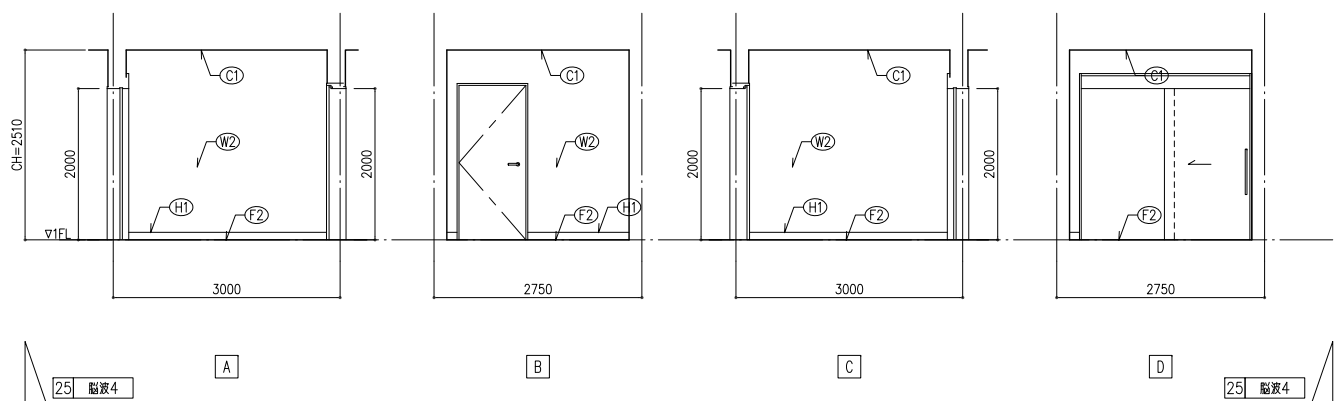
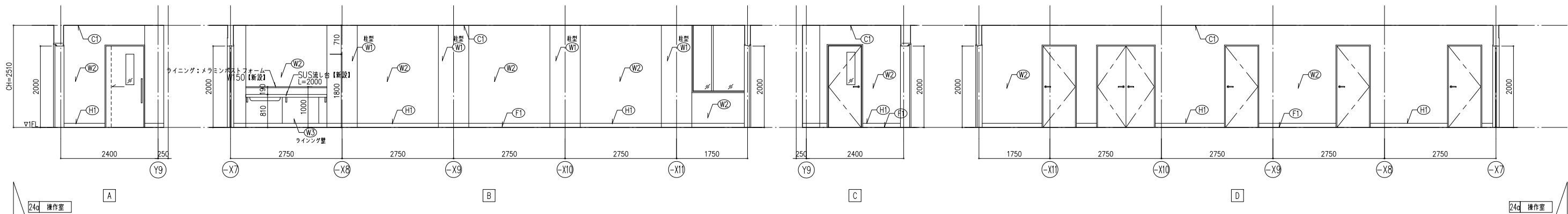
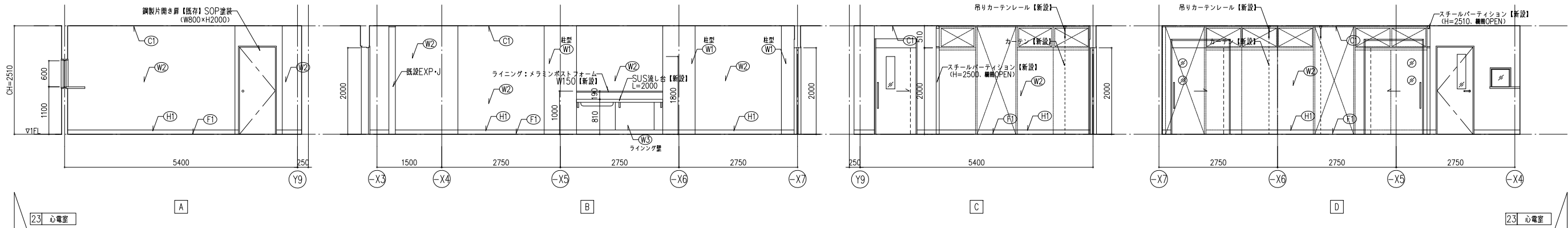
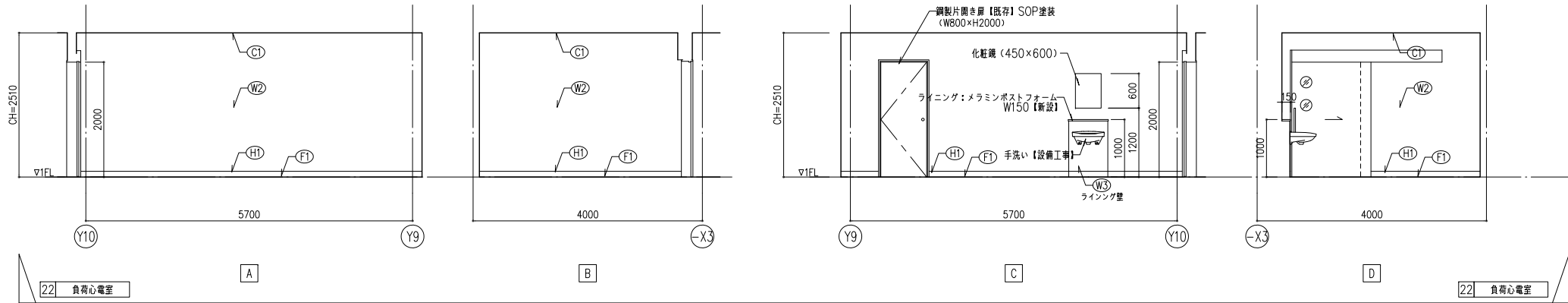
凡 例							
天井		壁	巾木	床			
(C1)	不燃化粧P B t=9.5	(W1)	EP-G	(H1)	ソフト巾木 H=100	(F1)	長尺塩ビシート t=2.0
(C2)	ケイカル板 t=6 EP-G (目地シール)	(W2)	無機質壁紙	(H2)	床材立上げ H=100	(F2)	タイルカーベット t=6.5
		(W3)	化粧ケイカル t=6.0 (目地シール)			(F3)	FRP防水 (露出仕様)



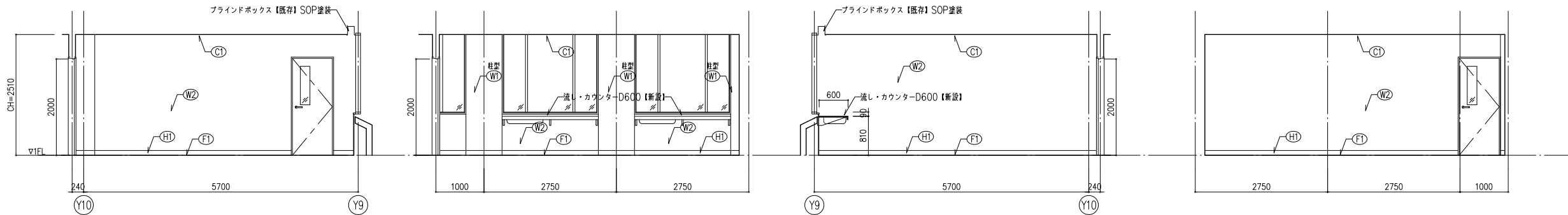
凡 例				
天井		壁	巾木	床
(C1)	不燃化粧P Bt=9.5	(W1) EP-G	(H1) ソフト巾木 H=100	(F1) 長尺塩ビシートt=2.0
(C2)	ケイカル板t=6 EP-G (目地シール)	(W2) 無機質壁紙	(H2) 床材立上げ H=100	(F2) タイルカーペットt=6.5
		(W3) 化粧ケイカルt=6.0 (目地シール)		(F3) FRP防水 (露出仕様)



凡 例		天井	壁	巾木	床
(C1)	不燃化粧P	Bt=9.5	(W1) EP-G	(H1) ソフト巾木 H=100	(F1) 長尺塩ビシート t=2.0
(C2)	ケイカル板	t=6 EP-G (目地シール)	(W2) 無機質壁紙	(H2) 床材立上げ H=100	(F2) タイルカーペット t=6.5
			(W3) 化粧ケイカル t=6.0 (目地シール)		(F3) FRP防水 (露出仕様)

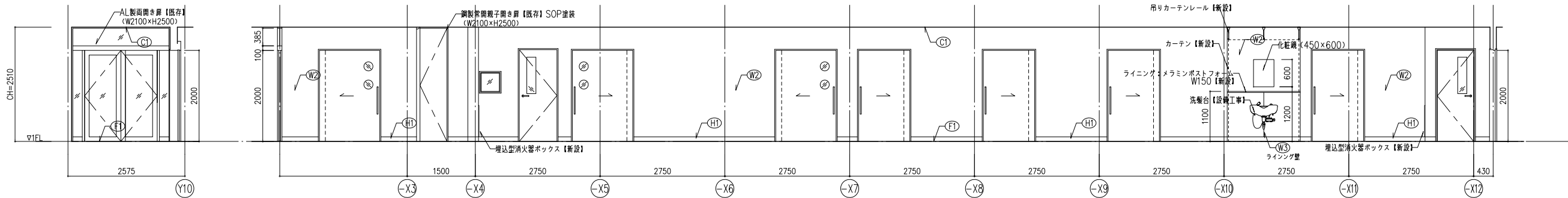


凡 例		天井		壁		巾木		床	
C1	不燃化粧P	Bt=9.5		W1	EP-G	H1	ソフト巾木	F1	長尺化粧シート
C2	ケイカル板	t=6	EP-G (目地シール)	W2	無機質壁紙	H2	床材立上げ	F2	タイルカーペット
				W3	化粧ケイカル	t=6.0 (目地シール)		F3	FRP防水 (露出仕様)

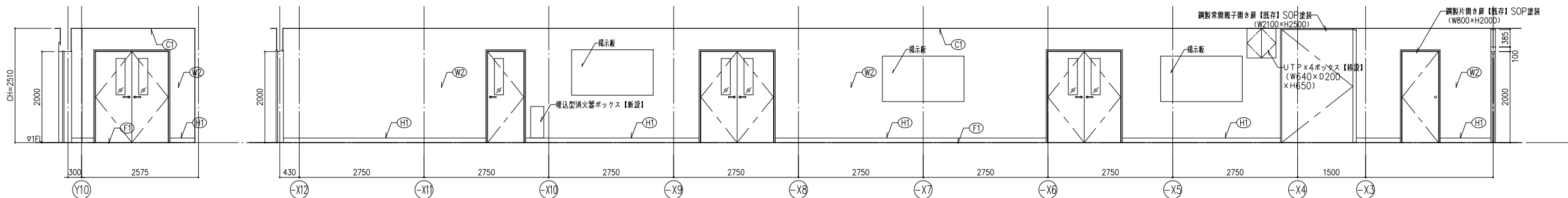


26	カンファレンス
----	---------

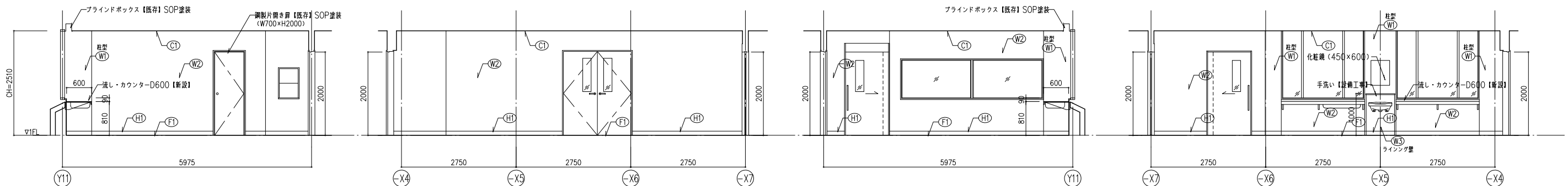
カンファレンス 26



27 待合廊下



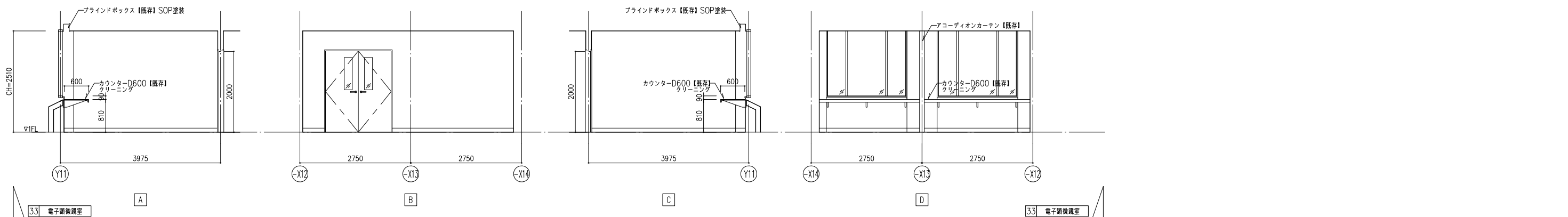
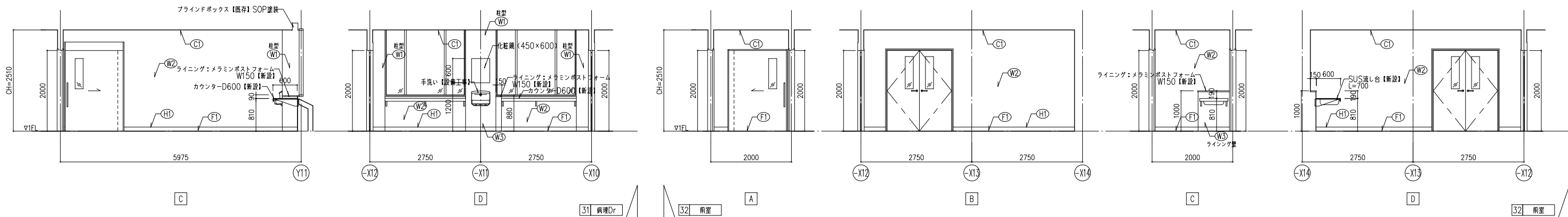
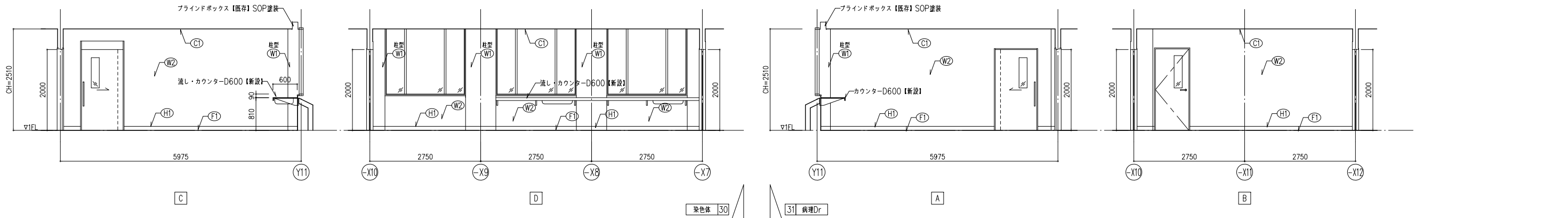
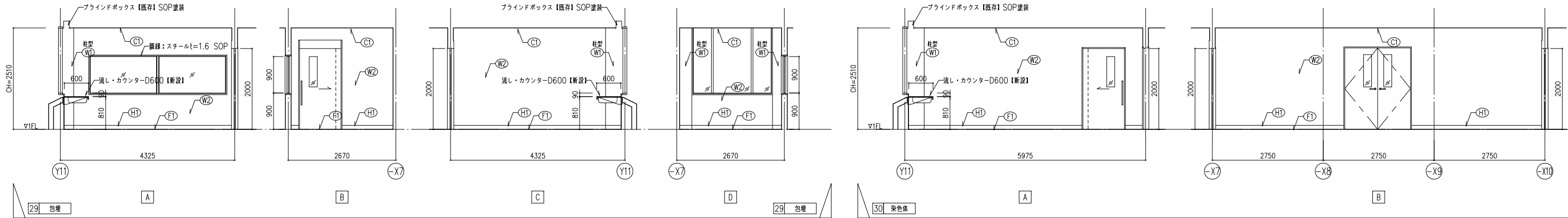
27	待合廊下
----	------



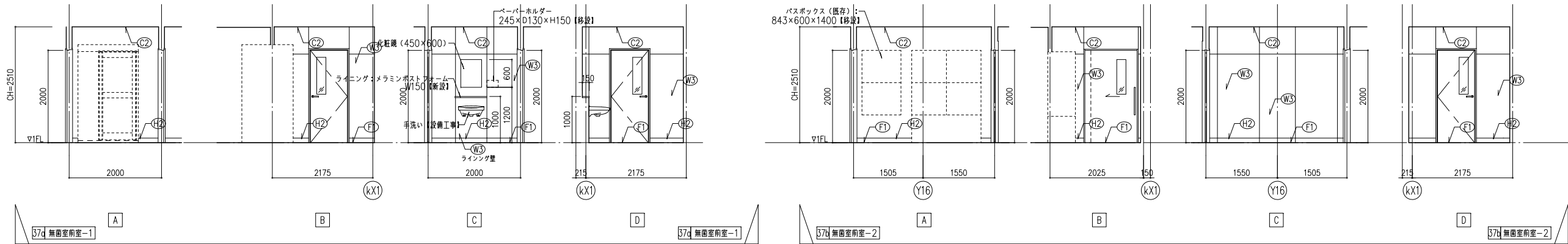
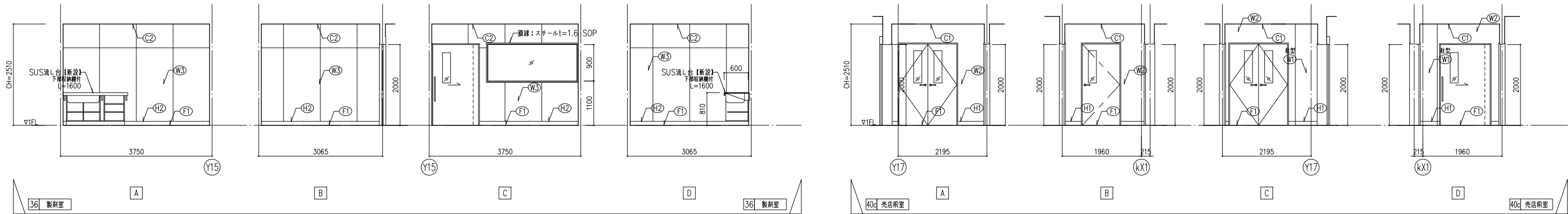
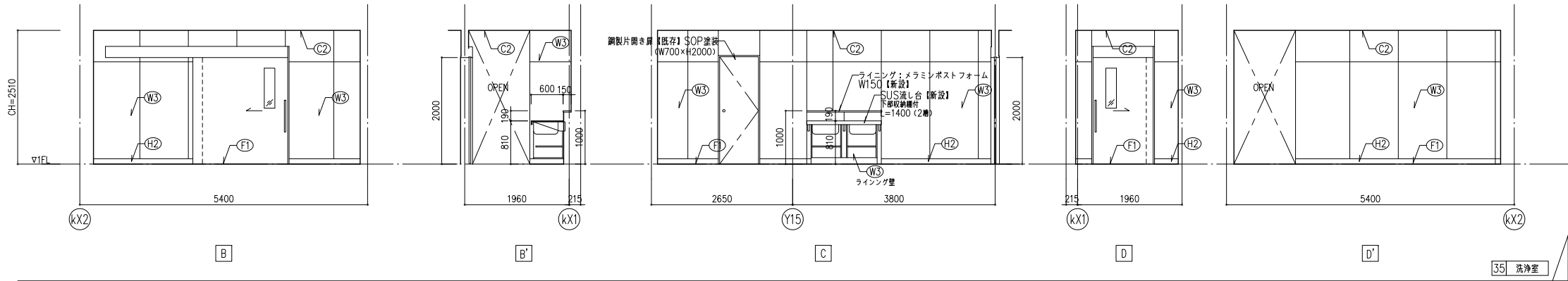
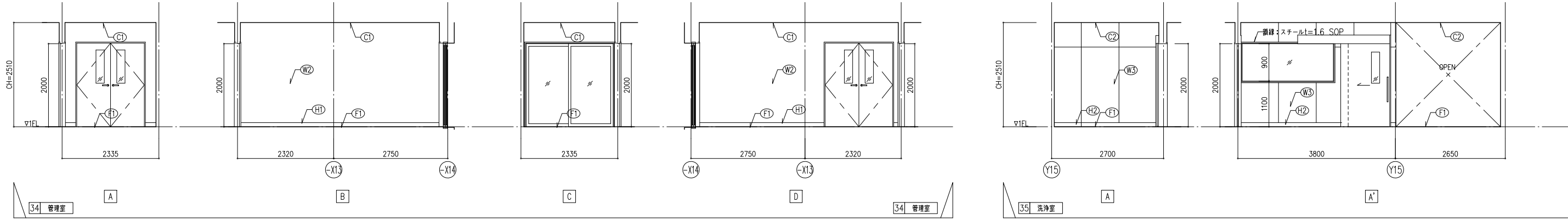
28	病理
----	----

病理	28
----	----

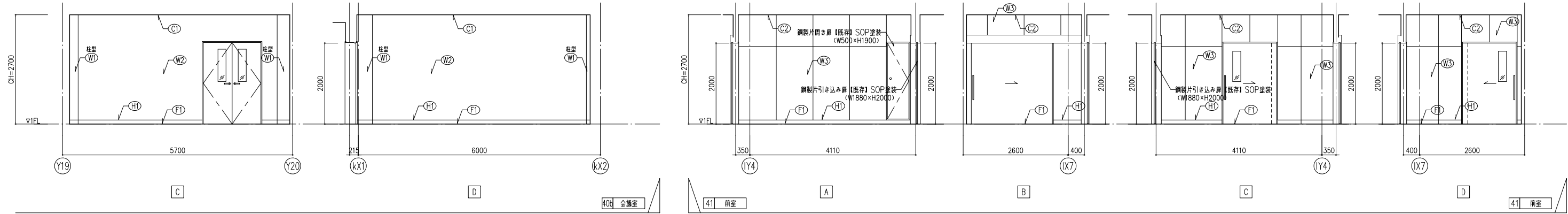
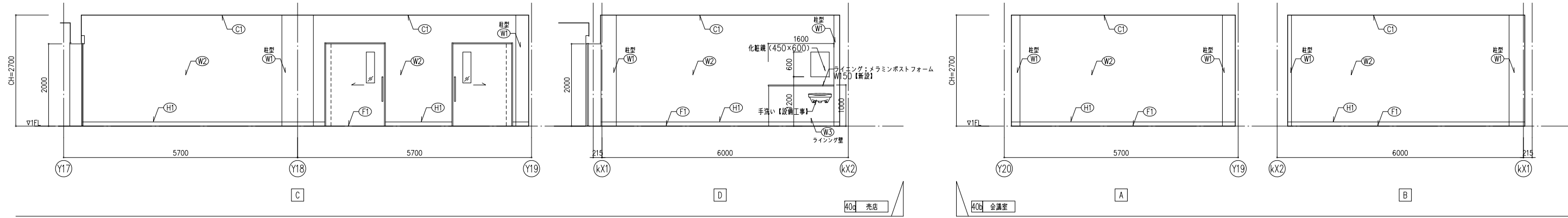
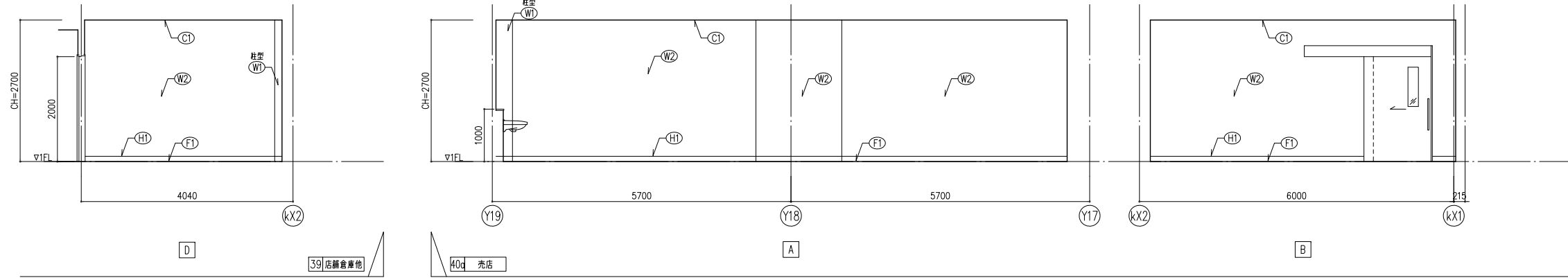
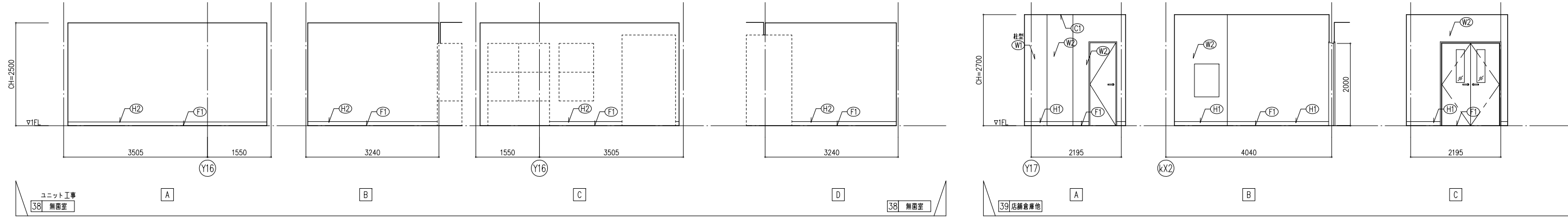
凡 例		天 井		壁		巾 木		床		
(C1)	不燃化粧PBT=9.5	(W1)	EP-G	(H1)	ソフト巾木 H=100	(F1)	長尺化粧シートt=2.0			
(C2)	ケイカル板t=6 EP-G (目地シール)	(W2)	無縫質壁紙	(H2)	床材立上げ H=100	(F2)	タイルカーペットt=6.5			
		(W3)	化粧ケイカルt=6.0 (目地シール)			(F3)	FRP防水 (露出仕様)			



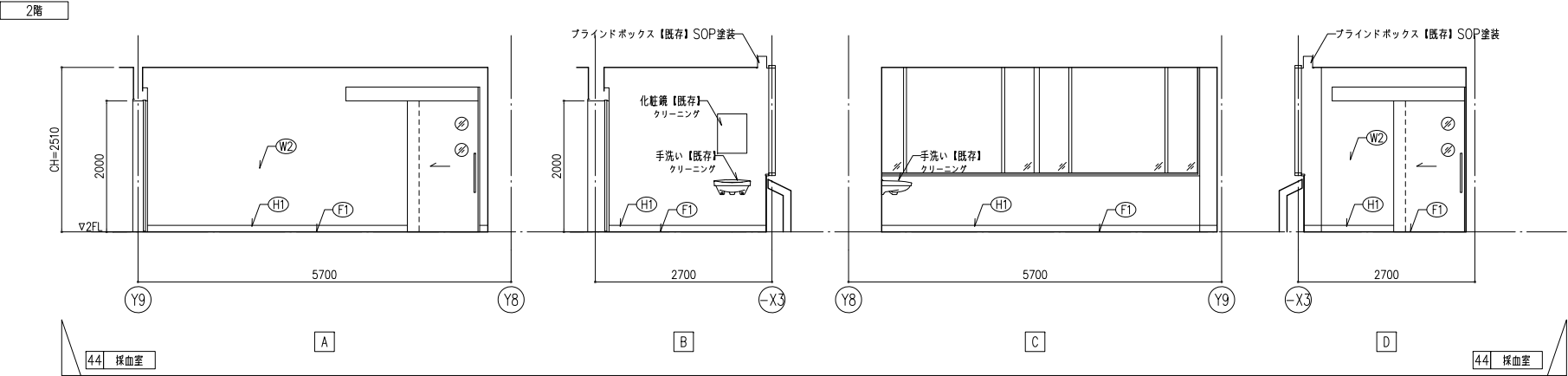
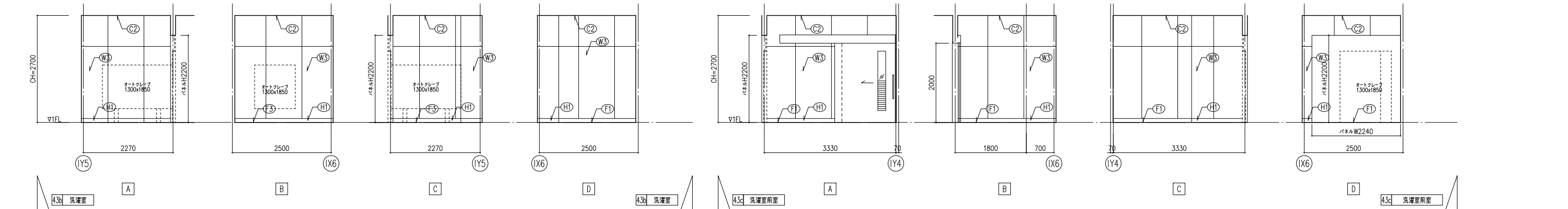
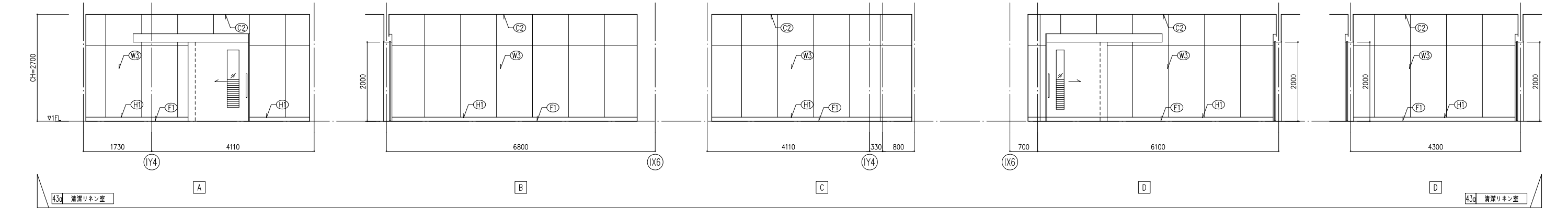
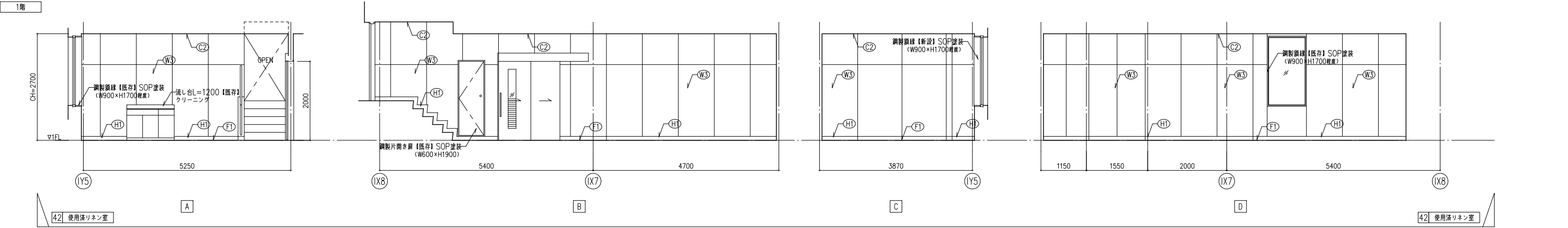
凡 例			
天井		壁	
(C1)	不燃化粧P Bt=9.5	(W1)	EP-G
(C2)	ケイカル板t=6 EP-G (目地シール)	(W2)	無機質壁紙
		(W3)	化粧ケイカルt=6.0 (目地シール)
巾木		床	
(H1)	ソフト巾木 H=100	(F1)	長尺ビシートt=2.0
(H2)	床材立上げ H=100	(F2)	タイルカーペットt=6.5
		(F3)	FRP防水 (露出仕様)



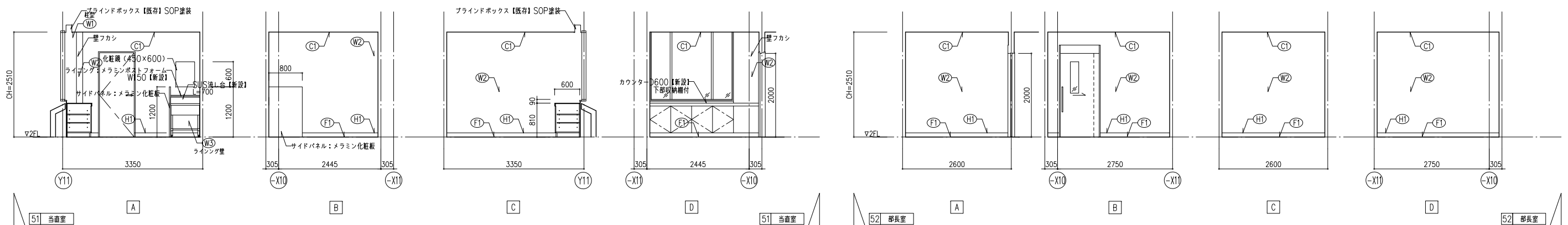
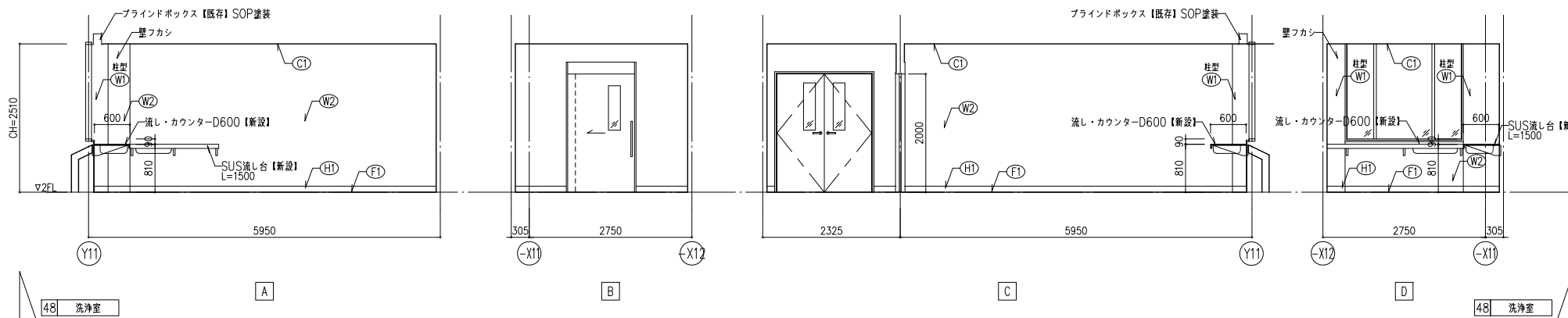
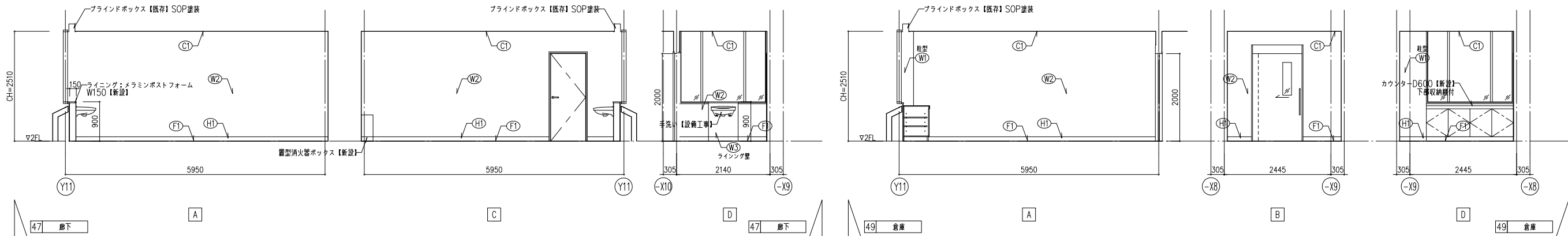
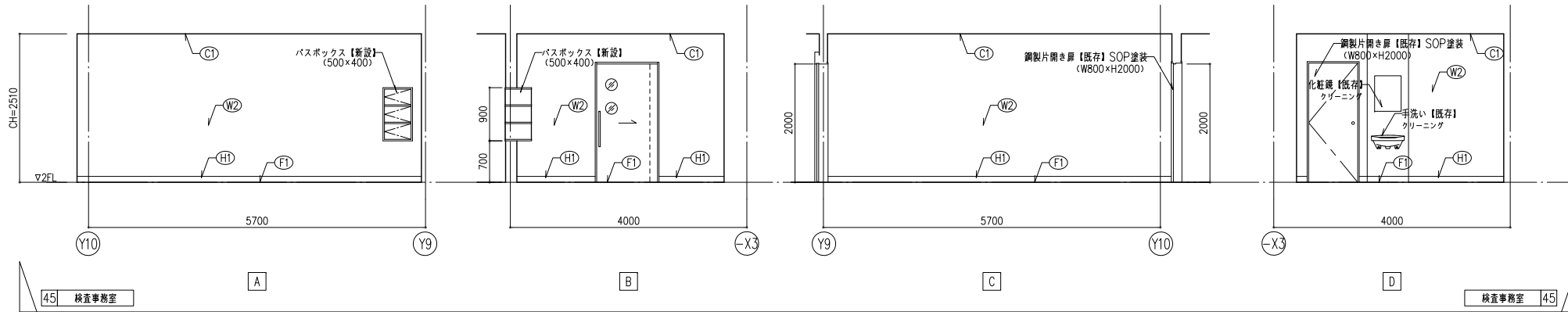
凡 例							
天井		壁	巾木	床			
㉮1	不燃化粧P Bt=9.5	㉮1	EP-G	㉮1	ソフト巾木 H=100	㉮1	長尺壁シートt=2.0
㉮2	ケイカル板t=6 EP-G (目地シール)	㉮2	無機質壁紙	㉮2	床材立上げ H=100	㉮2	タイルカーペットt=6.5
		㉮3	化粧ケイカルt=6.0 (目地シール)			㉮3	FRP防水 (露出仕様)



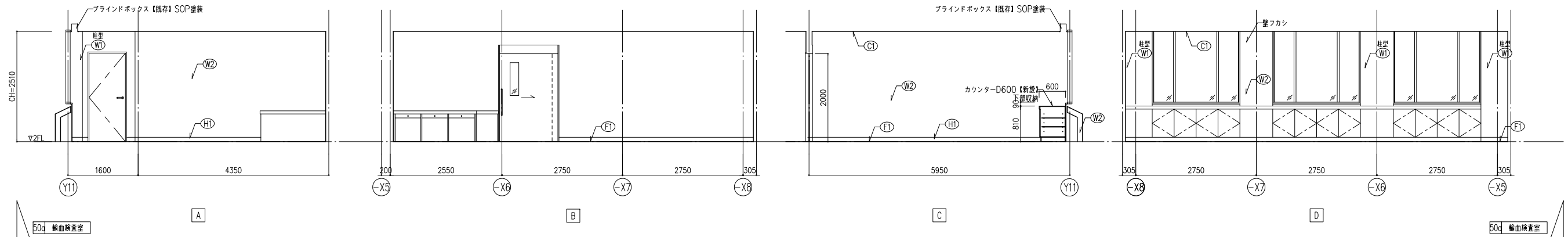
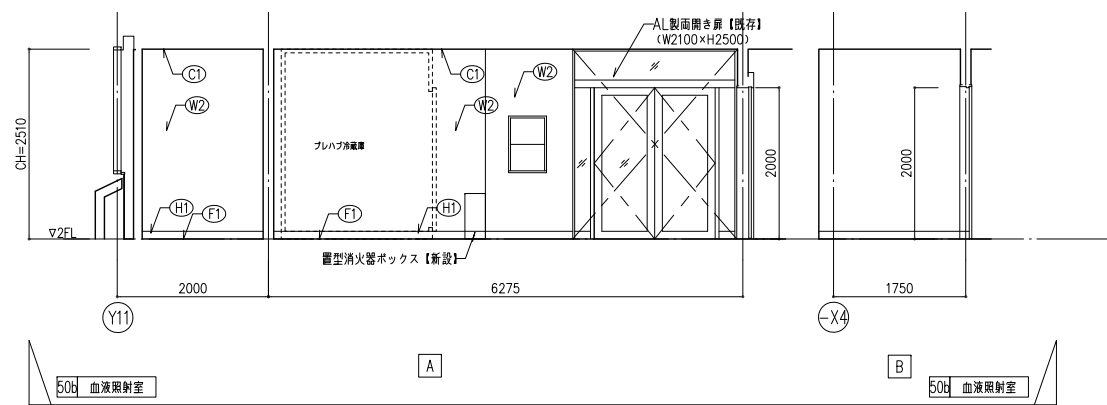
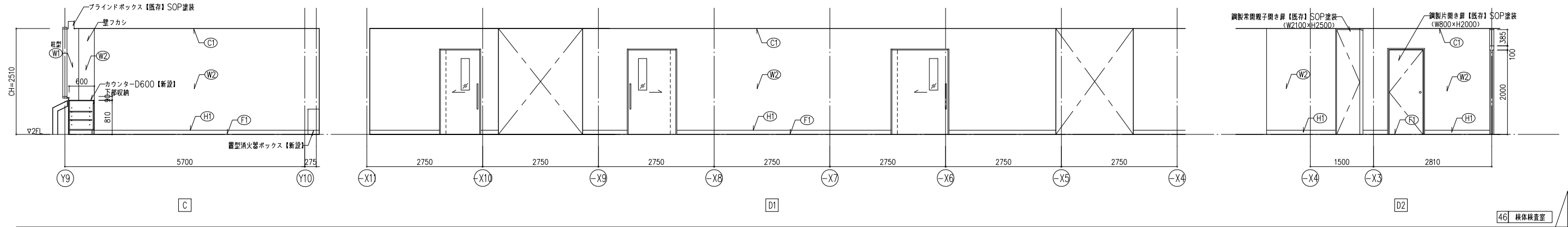
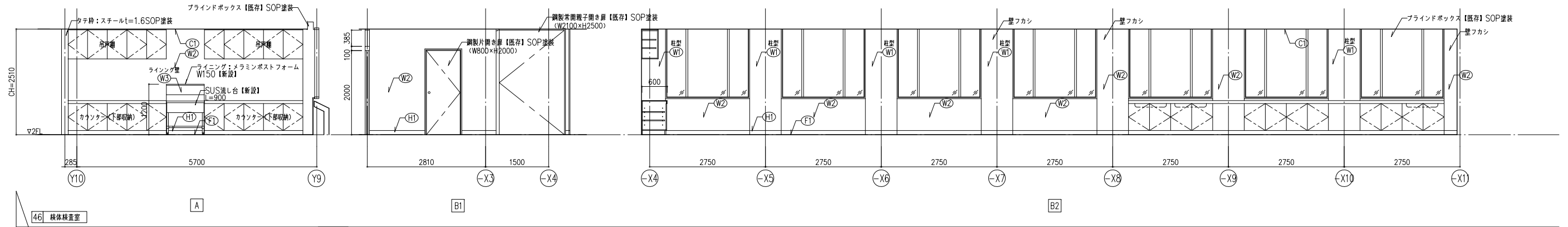
凡 例		天井		壁		巾木		床	
C1	不燃化粧P Bt=9.5	W1	EP-G	H1	ソフト巾木 H=100	F1	長尺塩ビシートt=2.0	F1	長尺塩ビシートt=2.0
C2	ケイカル板t=6 EP-G (目地シール)	W2	無機質壁紙	H2	床材立上げ H=100	F2	タイルカーペットt=6.5	F2	タイルカーペットt=6.5
		W3	化粧ケイカルt=6.0 (目地シール)			F3	FRP防水 (露出仕様)	F3	FRP防水 (露出仕様)



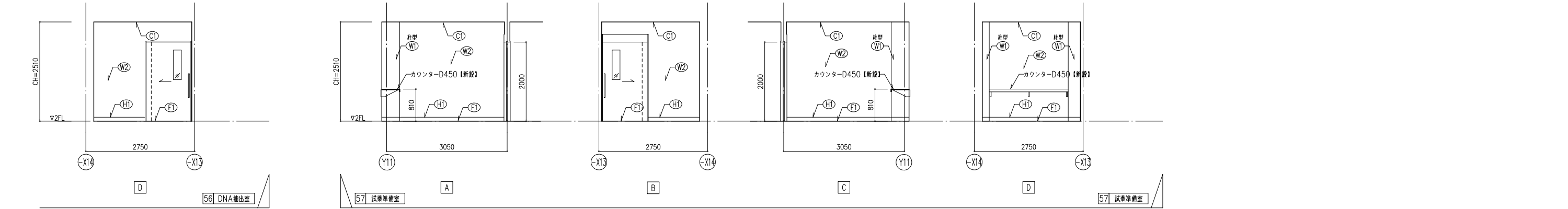
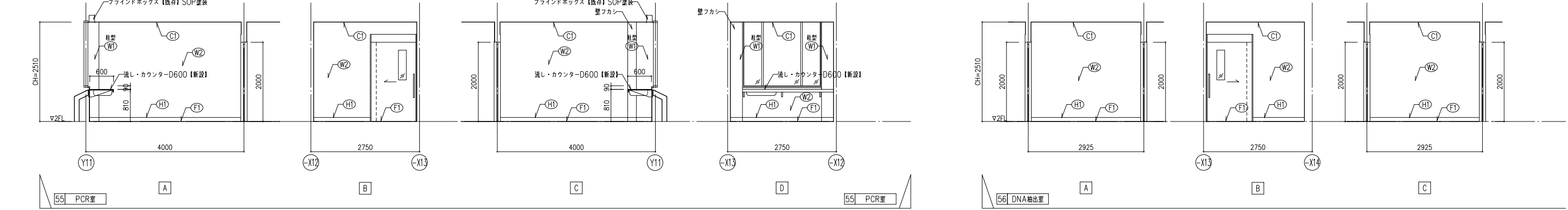
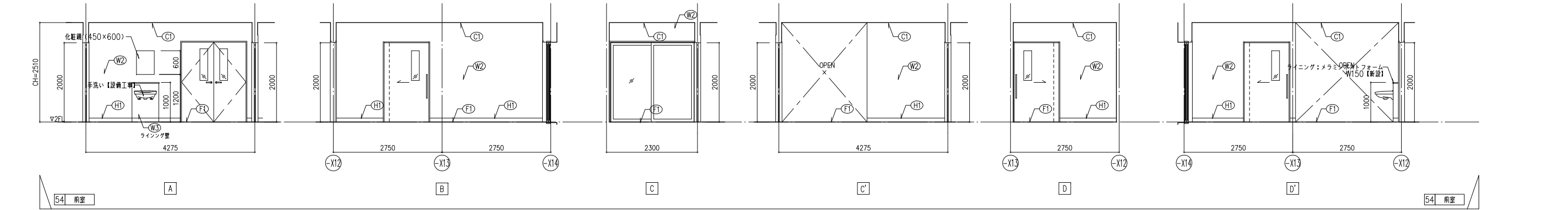
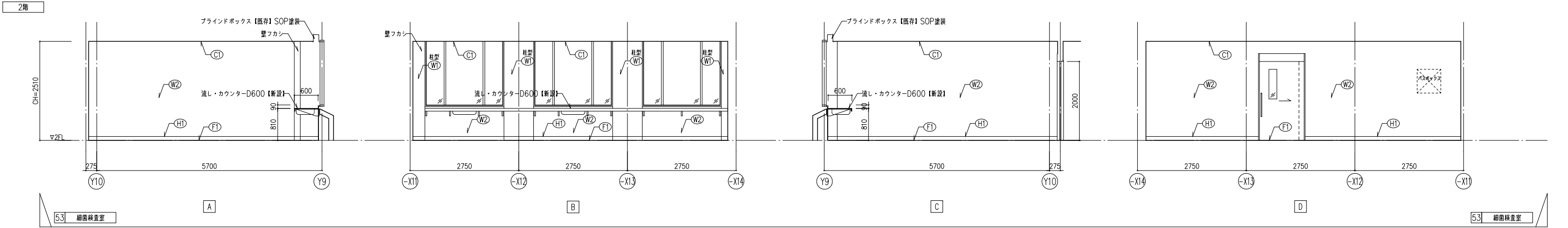
凡 例			
天井		壁	
(C1)	不燃化粧P B t=9.5	(W1)	EP-G
(C2)	ケイカル板 t=6 EP-G (目地シール)	(W2)	無機質壁紙
		(W3)	化粧ケイカル t=6.0 (目地シール)
巾木		床	
(H1)	ソフト巾木 H=100	(F1)	長尺畳シート t=2.0
(H2)	床材立上げ H=100	(F2)	タイルカーペット t=6.5
		(F3)	FRP防水 (露出仕様)



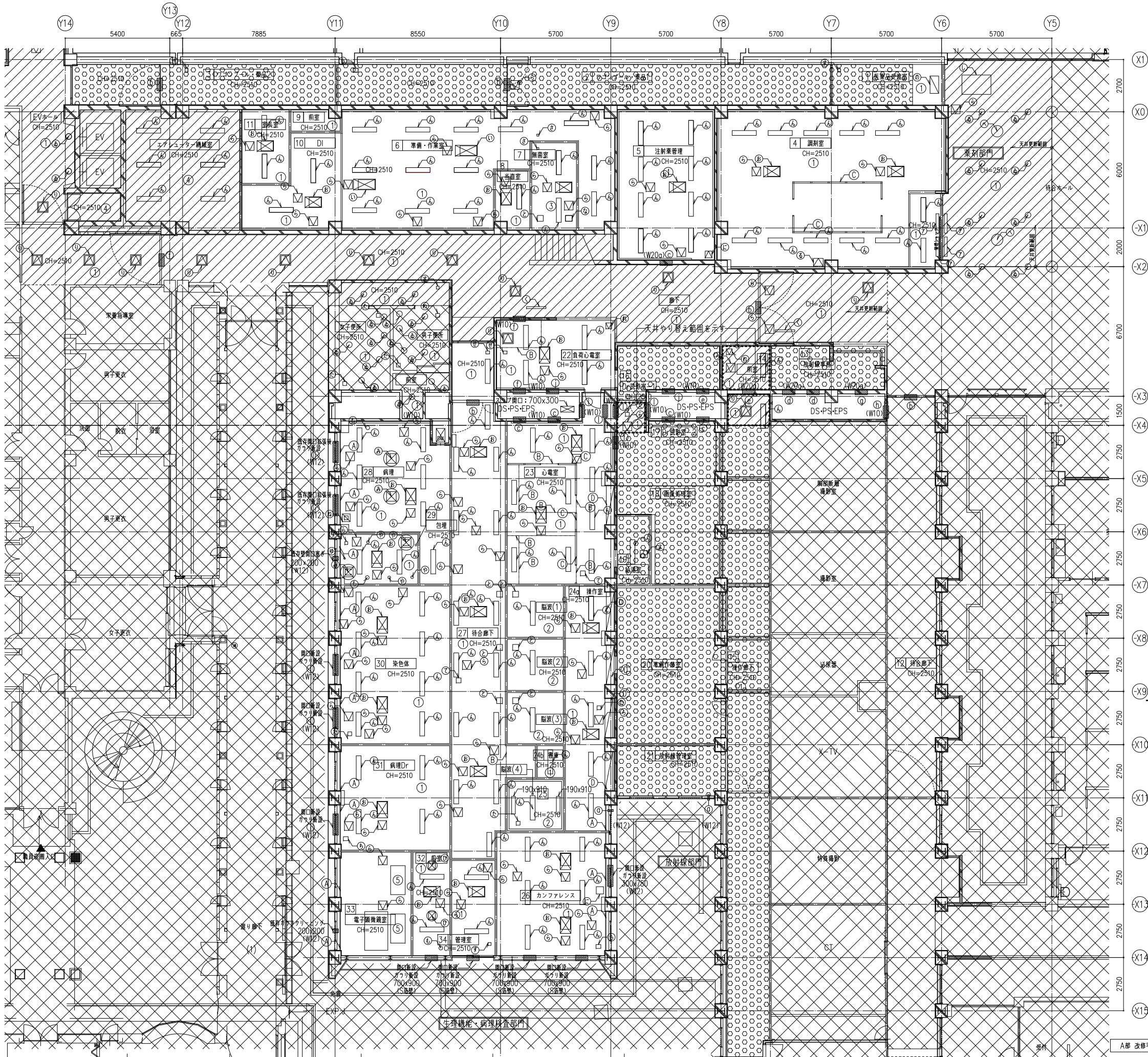
天 井		壁		巾 木		床	
㊦1	不燃化粧PB $t=9.5$	㊦W1	EP-G	㊦H1	ソフト巾木 H=100	㊦1	長尺幅ビシート $t=2.0$
㊦2	ケイカル板 $t=6$ EP-G (目地シール)	㊦W2	無機質壁紙	㊦H2	床材立上げ H=100	㊦2	タイルカーペット $t=6.5$
		㊦W3	化粧ケイカル $t=6.0$ (目地シール)			㊦3	FRP防水 (露出仕様)



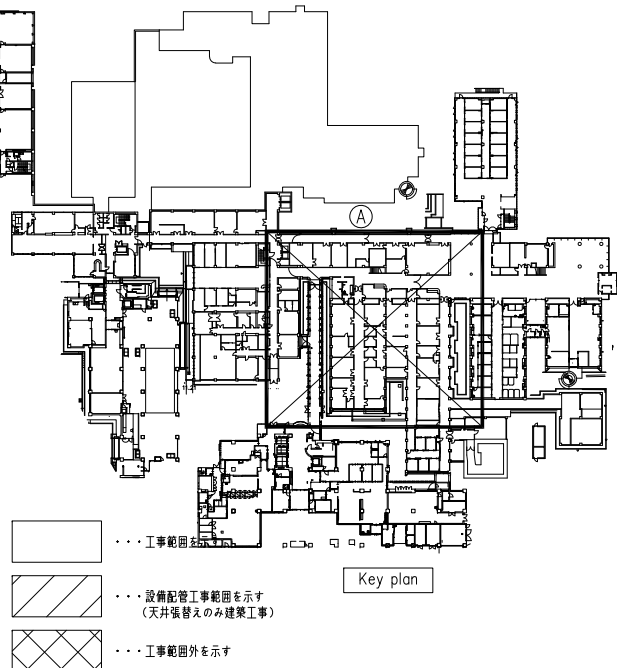
天井		壁		巾木		床	
㉮	不燃化粧P B t=9.5	㉮1	EP-G	㉮1	ソフト巾木 H=100	㉮1	長尺畳ビシト t=2.0
㉮2	ケイカル板 t=6 EP-G (目地シール)	㉮2	無機質紙	㉮2	床材立上げ H=100	㉮2	タイルカーペット t=6.5
		㉮3	化粧ケイカル t=6.0 (目地シール)			㉮3	FRP防水 (露出仕様)

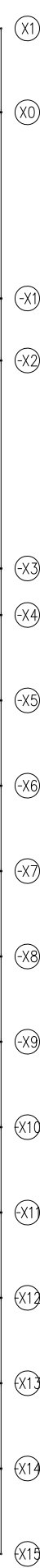


凡 例		天井		壁		巾木		床	
(C1)	不燃化粧P Bt=9.5	(W1)	EP-G	(H1)	ソフト巾木 H=100	(F1)	長尺化粧P Bt=2.0	(F1)	長尺化粧P Bt=2.0
(C2)	ケイカル板t=6 EP-G (目地シール)	(W2)	無機質壁紙	(H2)	床材立上げ H=100	(F2)	タイルカーペットt=6.5	(F2)	タイルカーペットt=6.5
		(W3)	化粧ケイカルt=6.0 (目地シール)			(F3)	FRP防水 (露出仕様)	(F3)	FRP防水 (露出仕様)



天井仕上げ凡例		開口補強筋リスト (1階・2階共通)	
記号	仕上げ等	記号	用途 寸法
①	不燃化粧PBT=9.5	①	空調機 1000x1000
②	鋼筋t=0.035PBT=12.5+不燃化粧PBT=9.5	②	空調機 1135x550
③	グラスウールt=50 (24k/m³) 敷込み	③	空調機 1800x1000
④	ケイカル板t=6 EP-G (目地シール)	④	空調機 500x800
⑤	PBT=12.5+岩綿吸音板t=12	⑤	空調機 855x550
⑥	PBT=12.5 EP-G	⑥	空調機 985x550
⑦		⑦	噴出口 200x700
⑧	既存ブラインドボックス SOP塗装	⑧	制気口 1000x100
⑨	格カーテンレール H=255	⑨	制気口 1000x500
⑩	スチールパーテーション	⑩	制気口 1000x650
⑪	格戸欄	⑪	制気口 100x100
		⑫	制気口 1500x1000
		⑬	制気口 150x150
		⑭	制気口 150x200
		⑮	制気口 2000x200
		⑯	制気口 200x200
		⑰	制気口 200x250
		⑱	制気口 230x230
		⑲	制気口 250x250
		⑳	制気口 300x300
		㉑	制気口 300x350
		㉒	制気口 350x350
		㉓	制気口 4000x100
		㉔	制気口 400x400
		㉕	制気口 450x900
		㉖	制気口 490φ
		㉗	制気口 550φ
		㉘	制気口 600x500
		㉙	制気口 600φ
		㉚	制気口 650x500
		㉛	制気口 700x700
		㉜	制気口 800φ
		㉝	ダクト 250x500
		㉞	ダクト 300x500
		㉟	ダクト 200φ
		㊱	ダクト 150φ
		㊲	ダクト 100φ
		㊳	天井吊 375x375
		㊴	天井吊 450x450
		㊵	天井吊 600x600
		㊶	天井吊 400x500
		㊷	天井吊 350x350
		㊸	天井吊 300x300
		㊹	天井吊 200x200
		㊺	配管 50φ
		㊻	照明 1250x250
		㊼	照明 150φ
		㊽	照明 700x250
		㊾	照明 1000x150



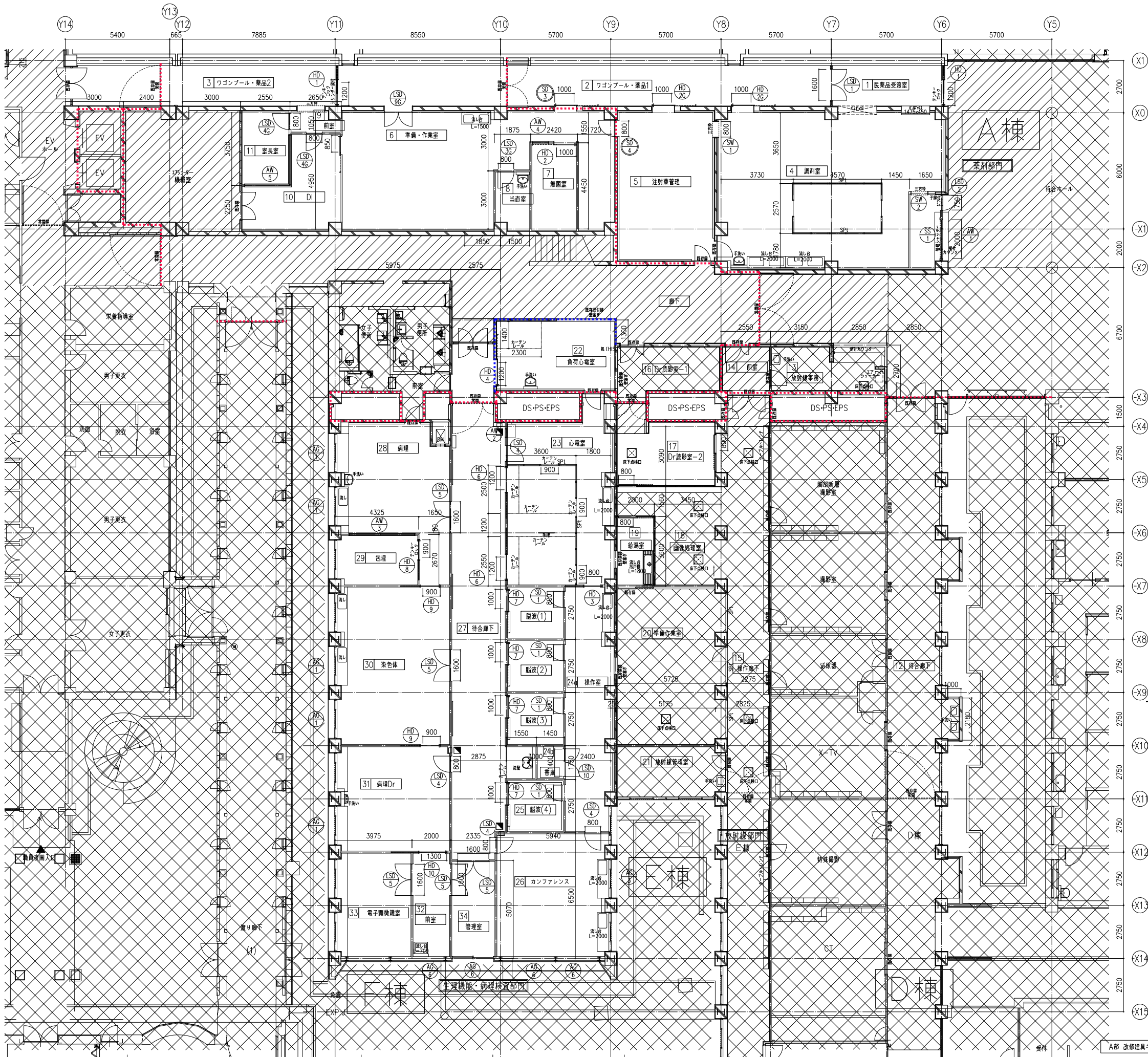


A部 改修天井伏図

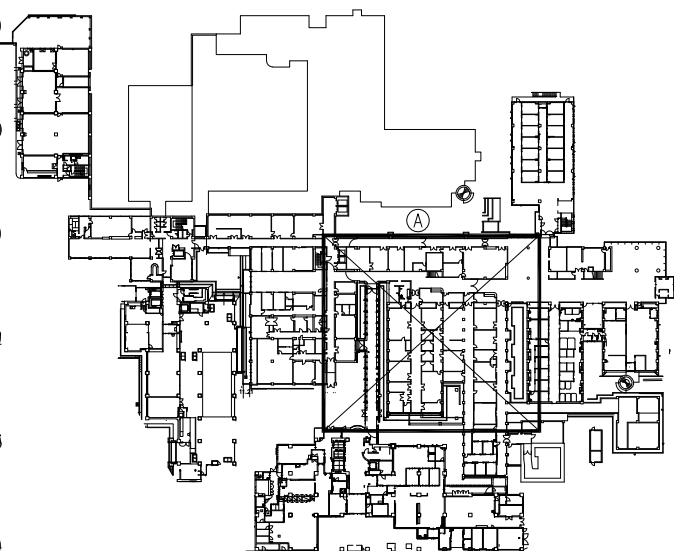
- ・・・ 工事範囲を示す
- ・・・ 設備配管工事範囲を示す
(天井張替えのみ建築工事)
- ・・・ 工事範囲外を示す
- ・・・ 天井張替えなし範囲を示す

Key plan

改修



凡例
■■■■■ 防火区画 (令第112条)
■■■■■ 防火上主要な箇仕切壁 (令第114条)



...工事範囲を示す
...設備配管工事範囲を示す
(天井気替えのみ建築工事)
...工事範囲外を示す

A部 改修建具キープラン

株式会社 日立建設設計

禁複製 無断転載禁止
Copyright Hitachi Architects & Engineers Co., Ltd. All rights reserved.

制定日 2001.09.01
改訂日 2017.04.01
文書番号 F02-G04-1704

REVISION

竣工図 (責任者)

作製日付 年 月 日
作製者

APPD.

CHKD.

DWN.

DATE

2019.03.29

JOB NAME

静岡県立こども病院本館リニューアル工事

SCALE

1:100
(A3) 1:200

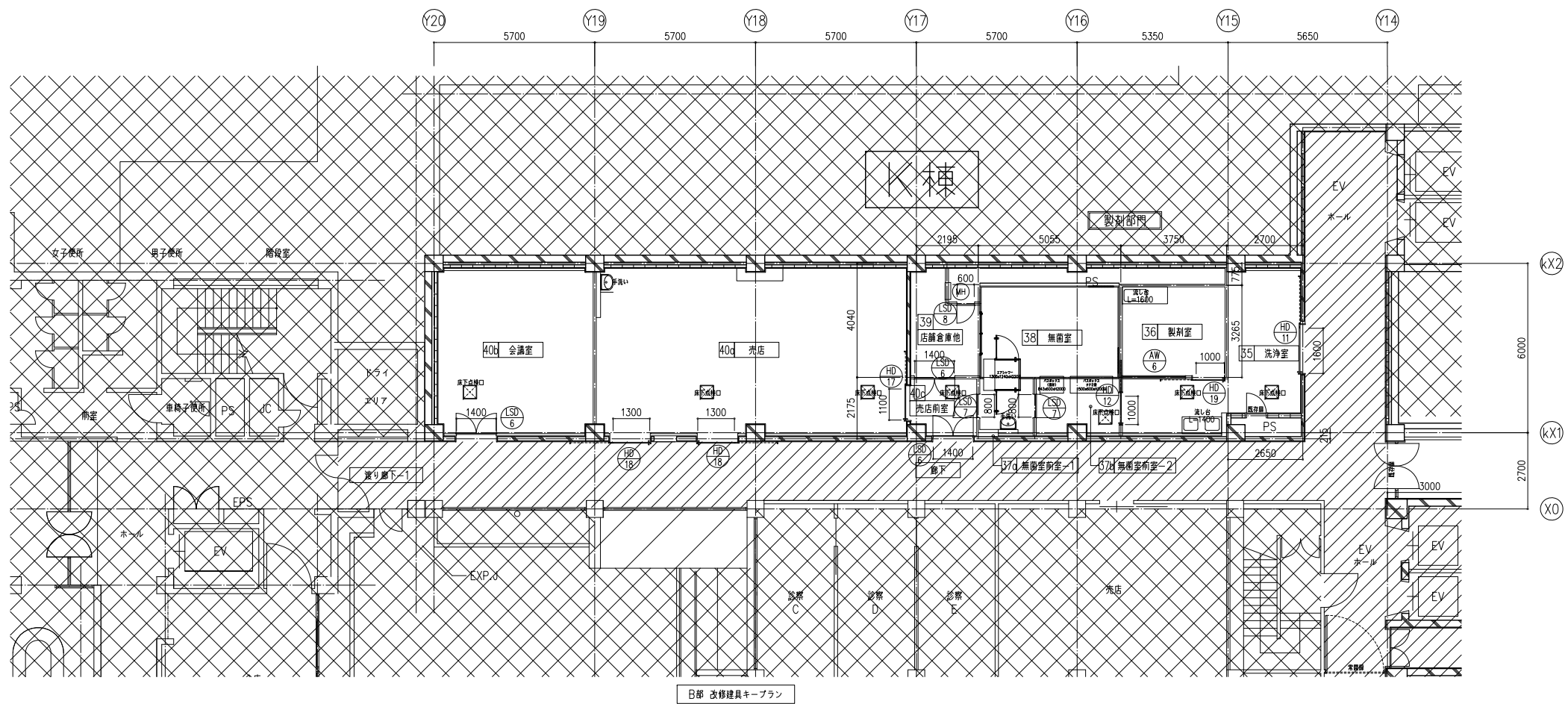
TITLE

改修1階建具キープラン-1

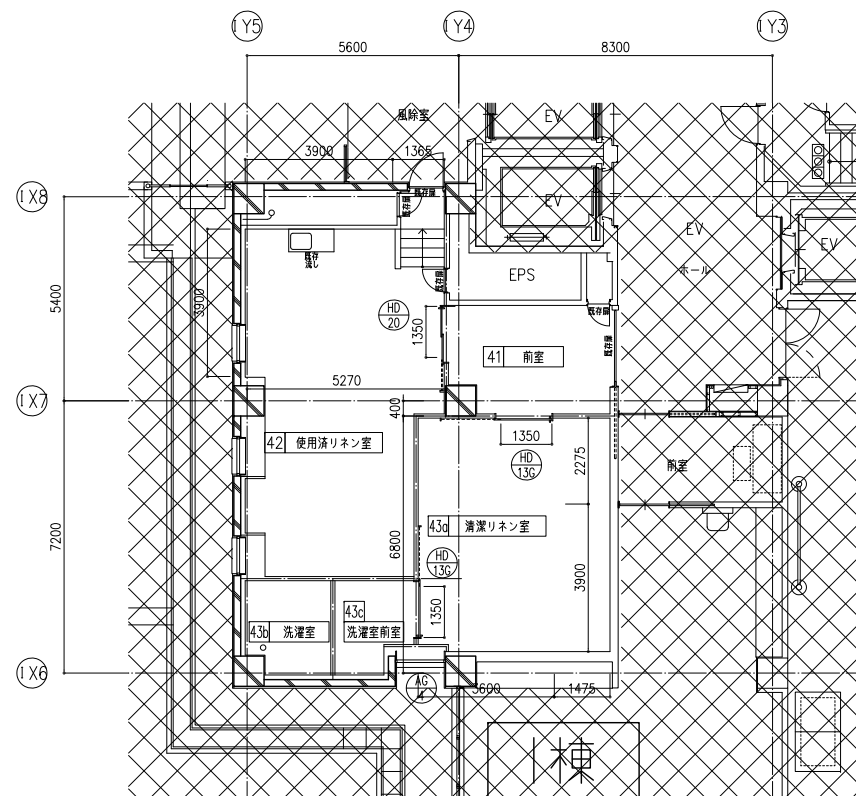
DWG NO.

D - 56

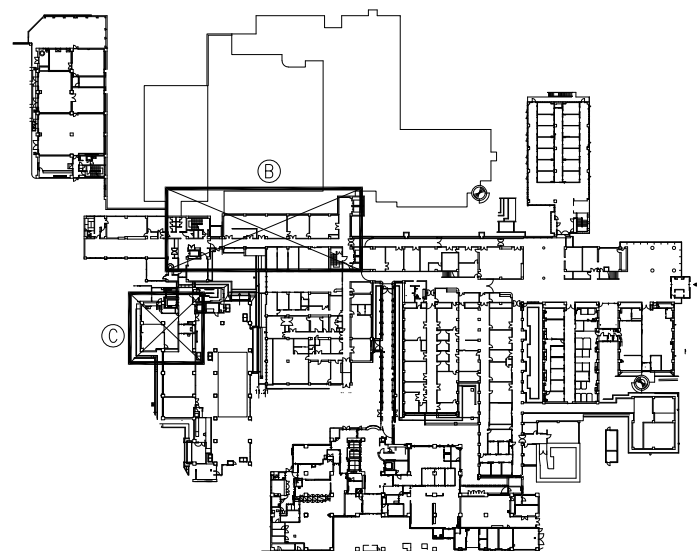
一級建築士 第283810号 田中 裕和



B部 改修建具キープラン



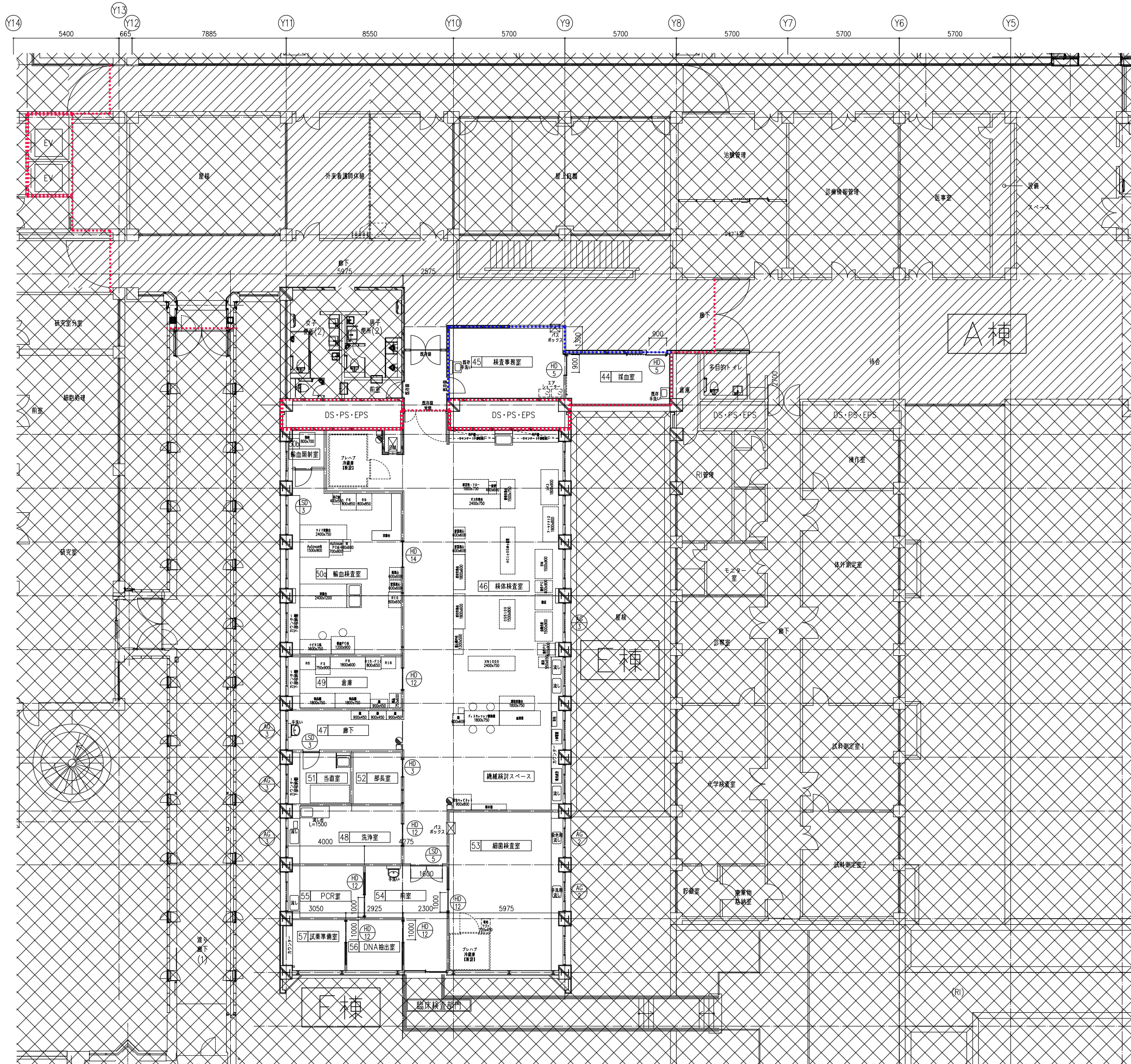
C部 改修建具キープラン



Key plan

- ・・・工事範囲を示す
- ・・・設備配管工事範囲を示す
(天井張替えのみ建築工事)
- ・・・工事範囲外を示す

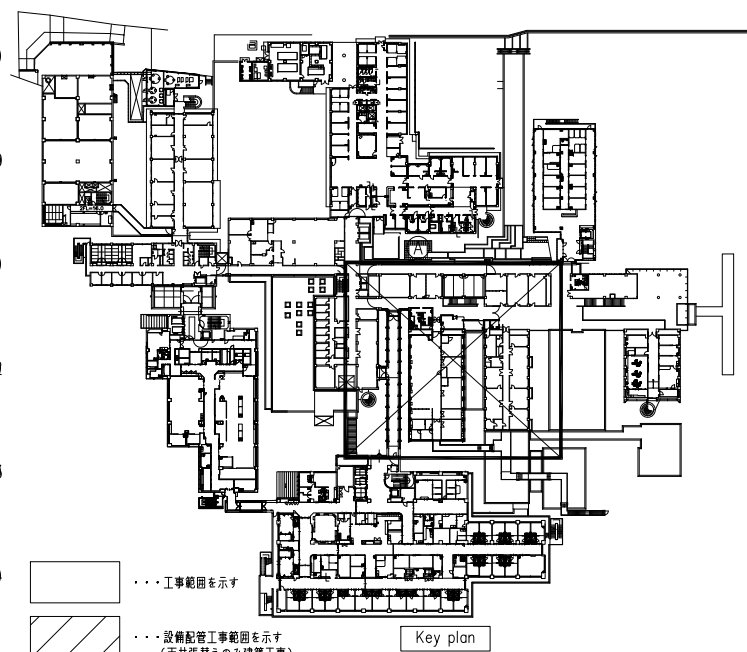
改修



Y14
Y13
Y12
Y11
Y10
Y9
Y8
Y7
Y6
Y5

X1
X0
-X1
-X2
-X3
-X4
-X5
-X6
-X7
-X8
-X9
X10
X11
X12
X13
X14
X15

凡例
■ 防火区画 (令第112条)
■ 防火上主要な隔仕切壁 (令第114条)




... 工事範囲を示す
... 設備配管工事範囲を示す
(天井張替えのみ建築工事)
... 工事範囲外を示す

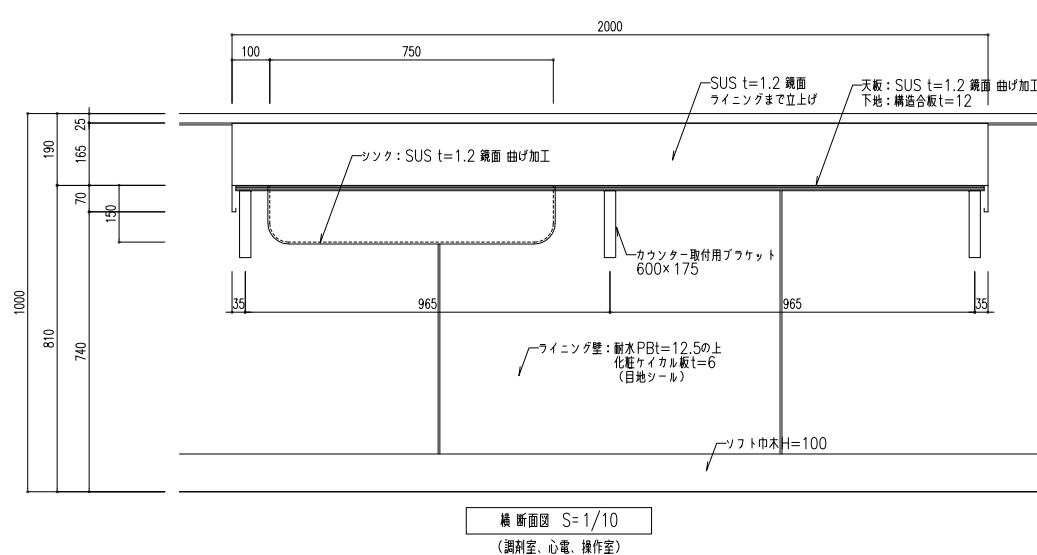
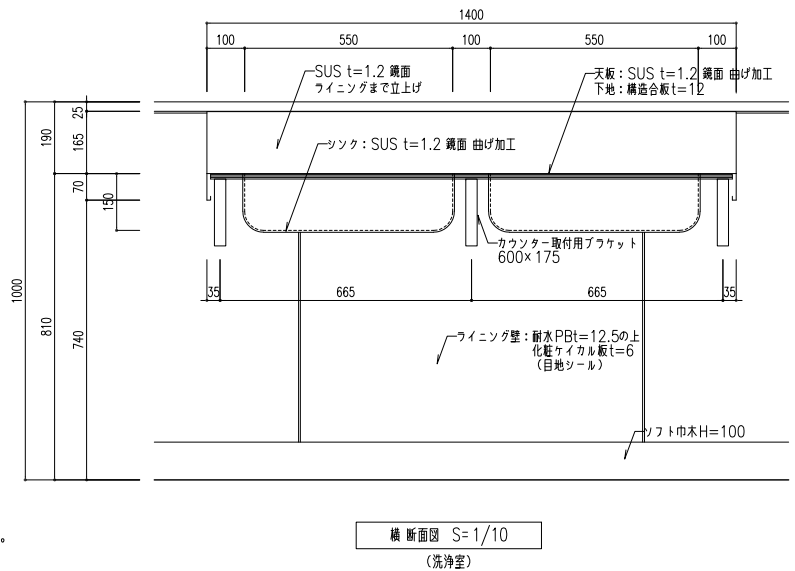
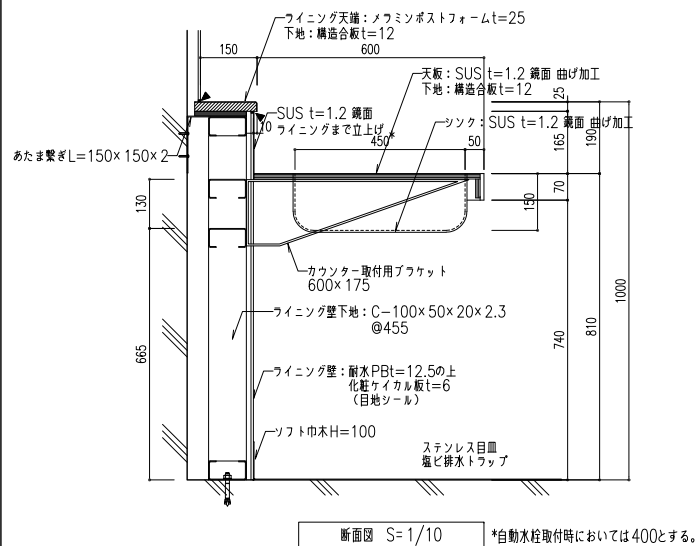
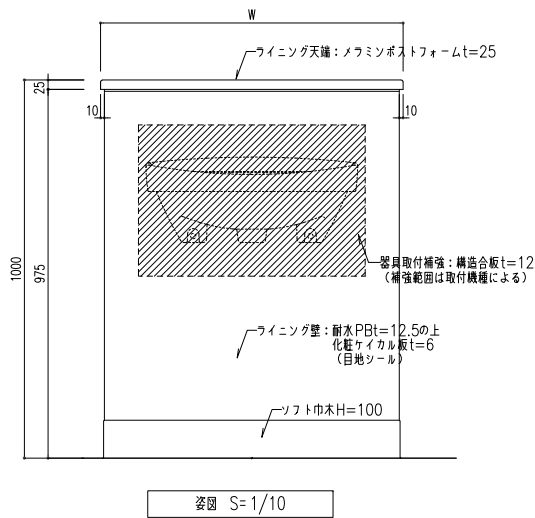
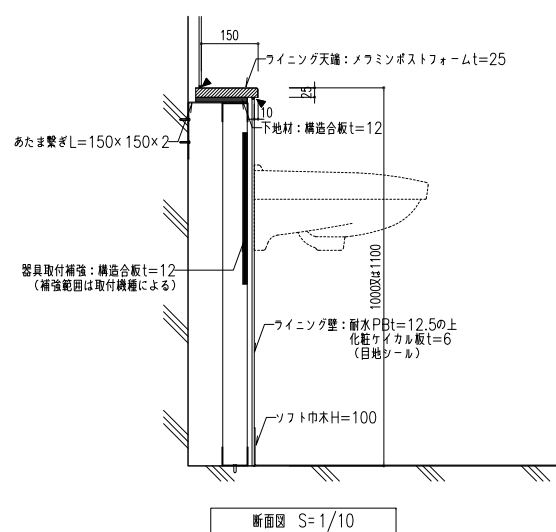
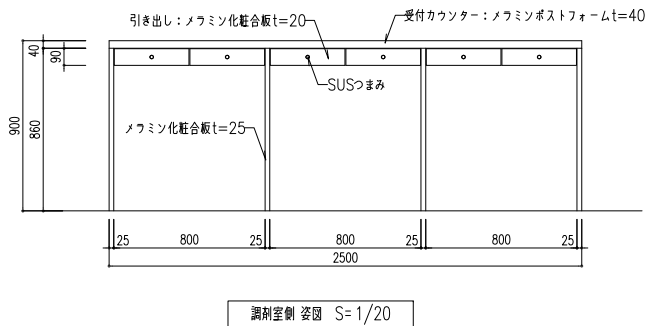
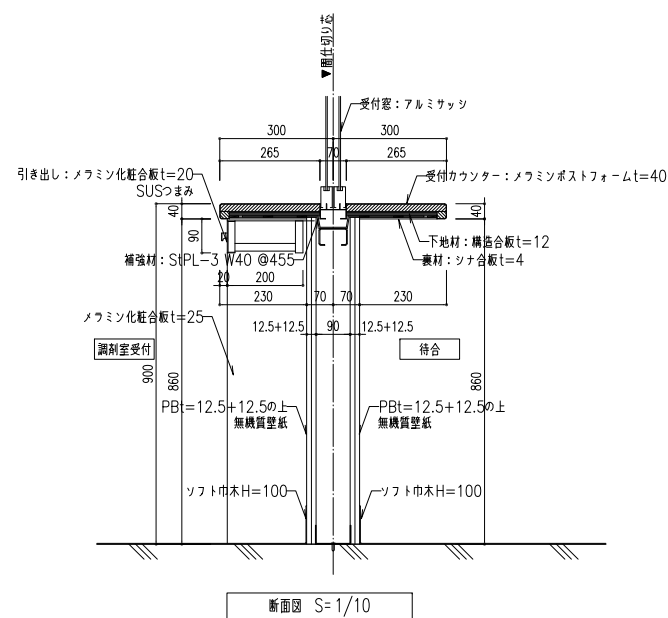
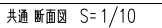
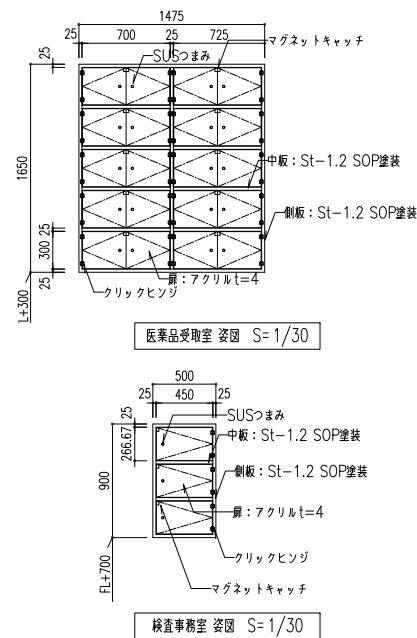
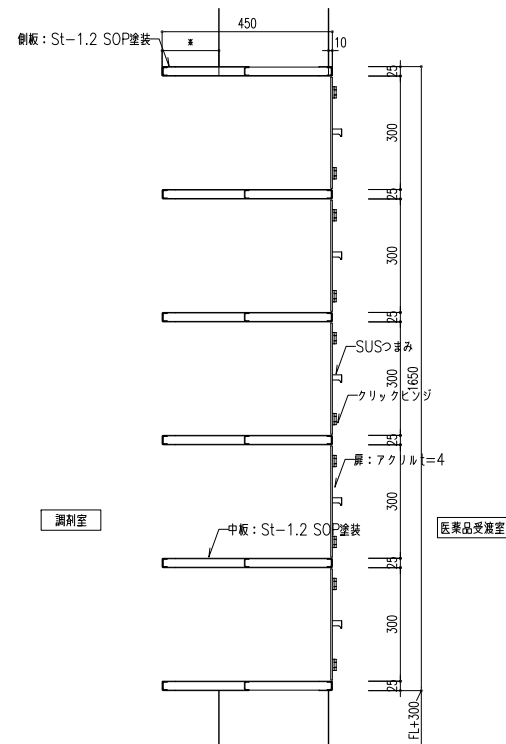
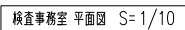
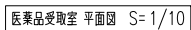
Key plan

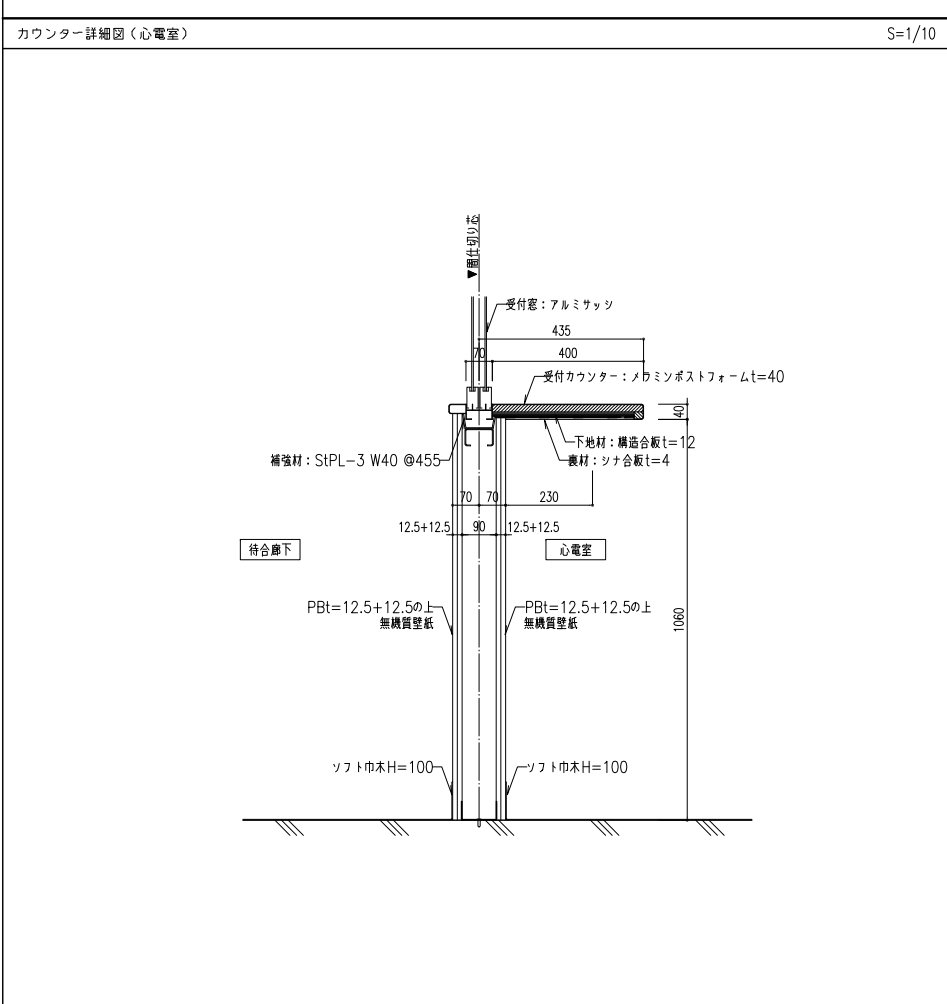
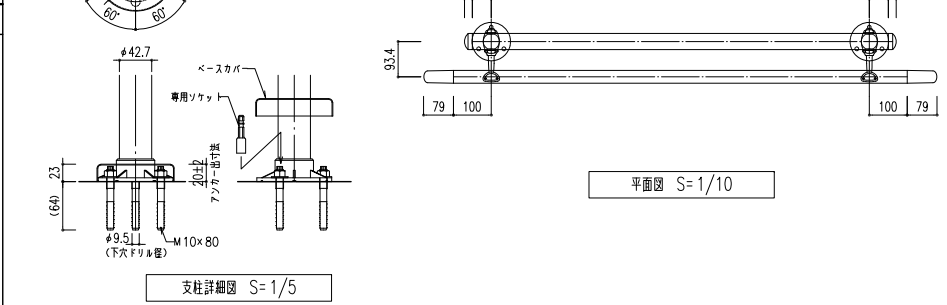
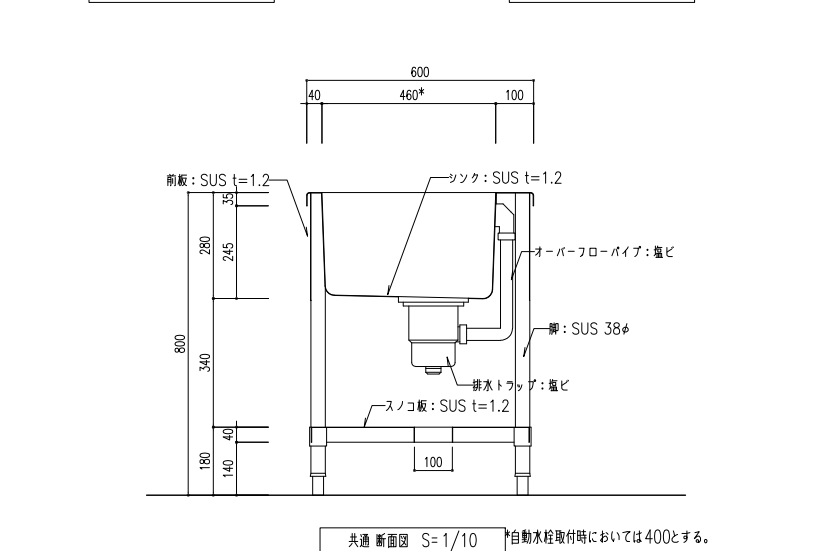
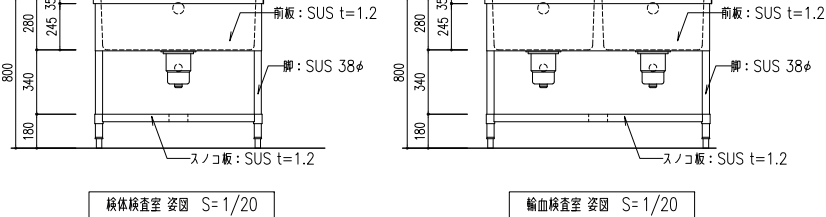
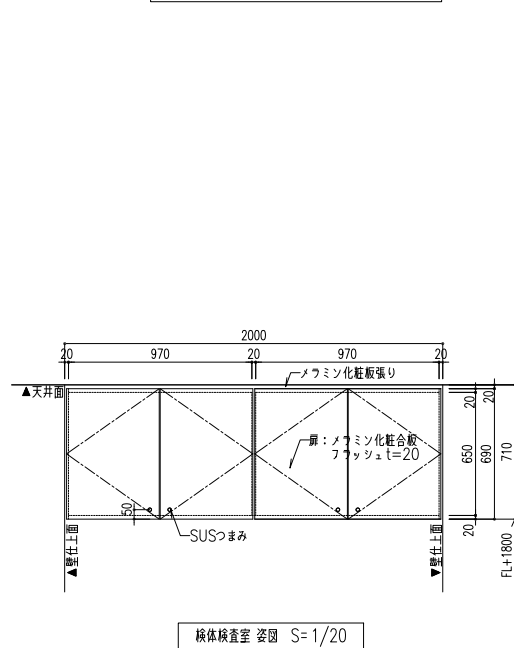
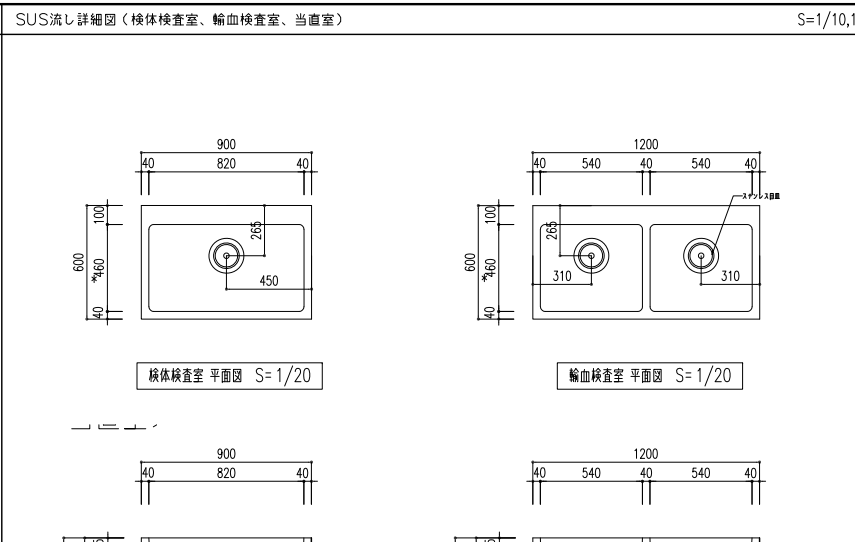
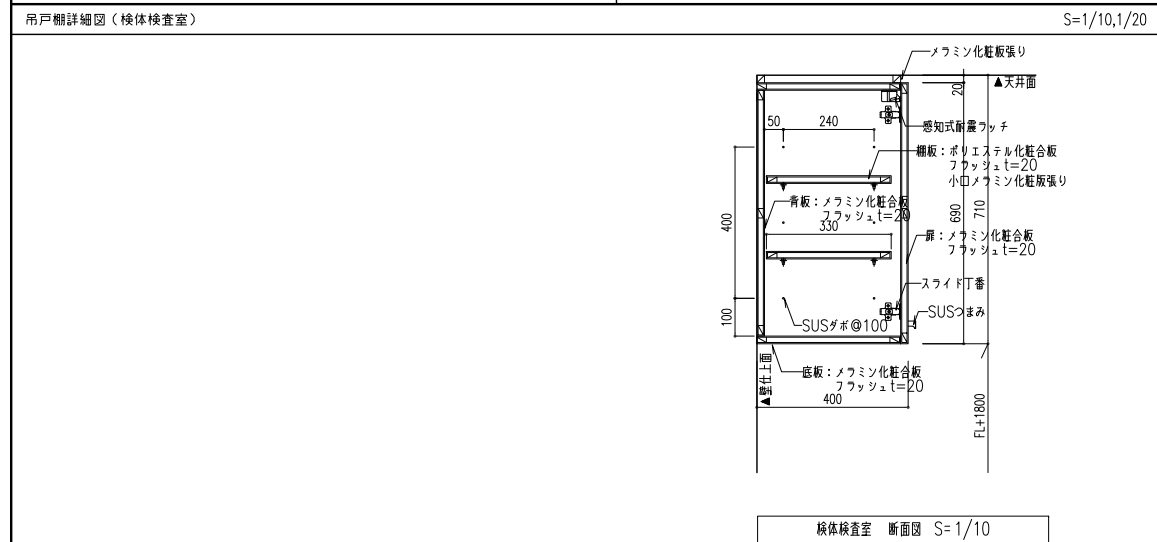
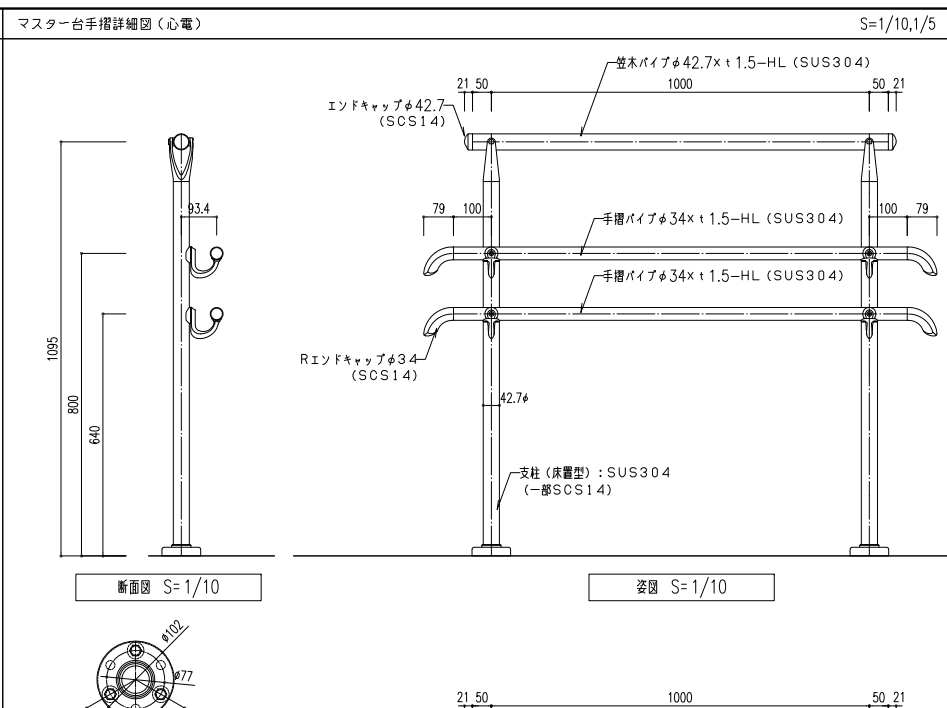
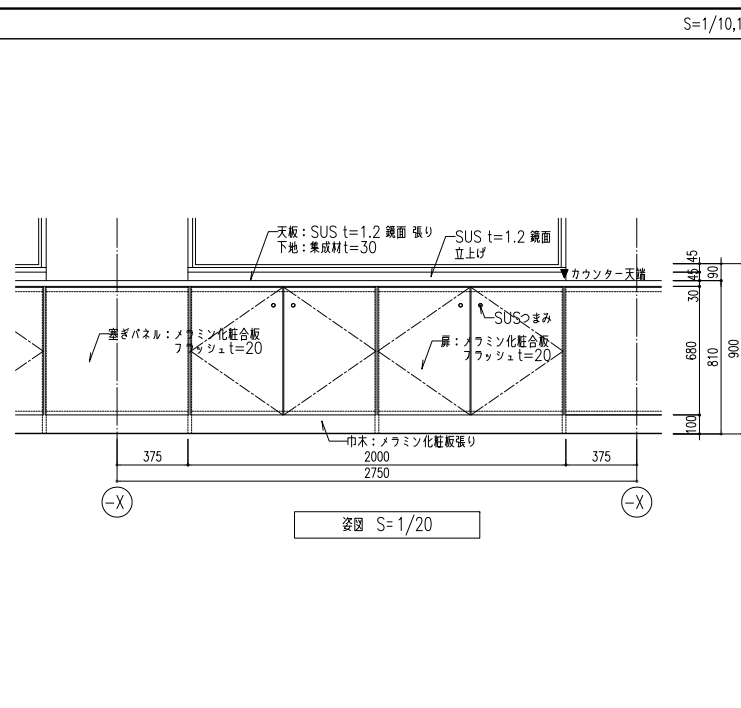
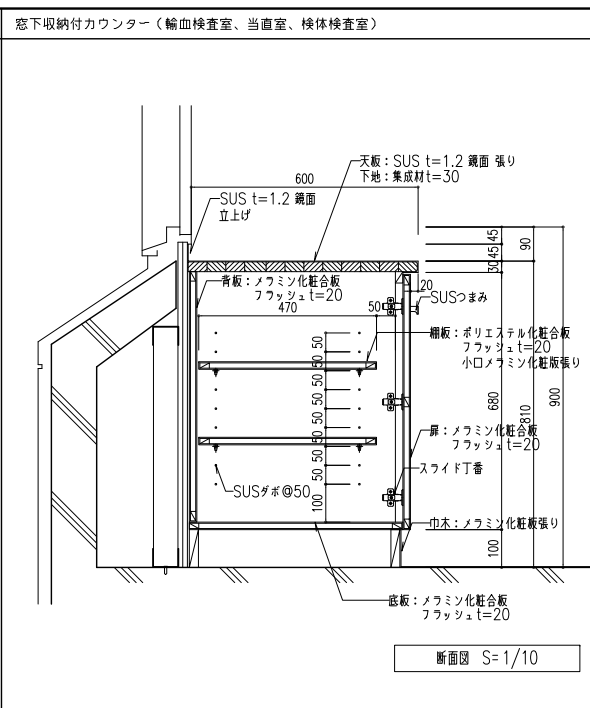
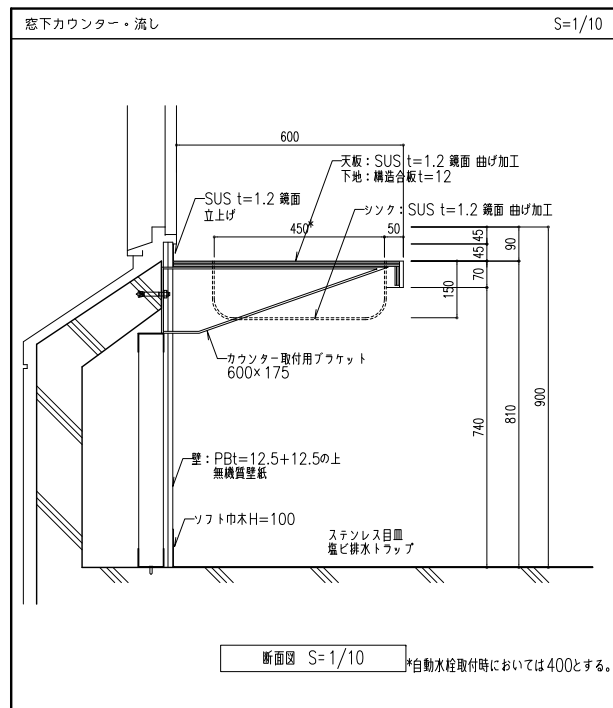
A 2F 既存平面図

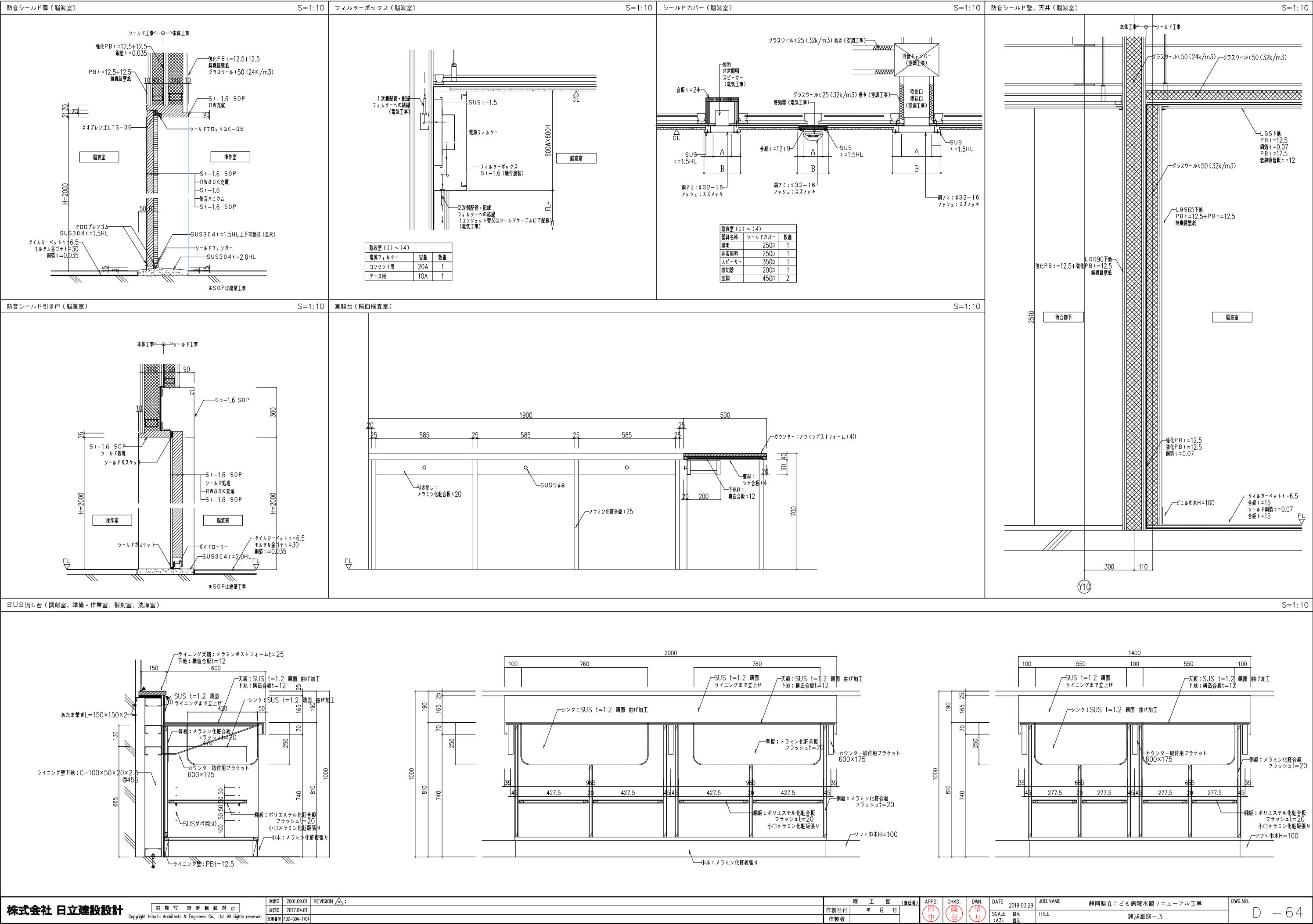
改修

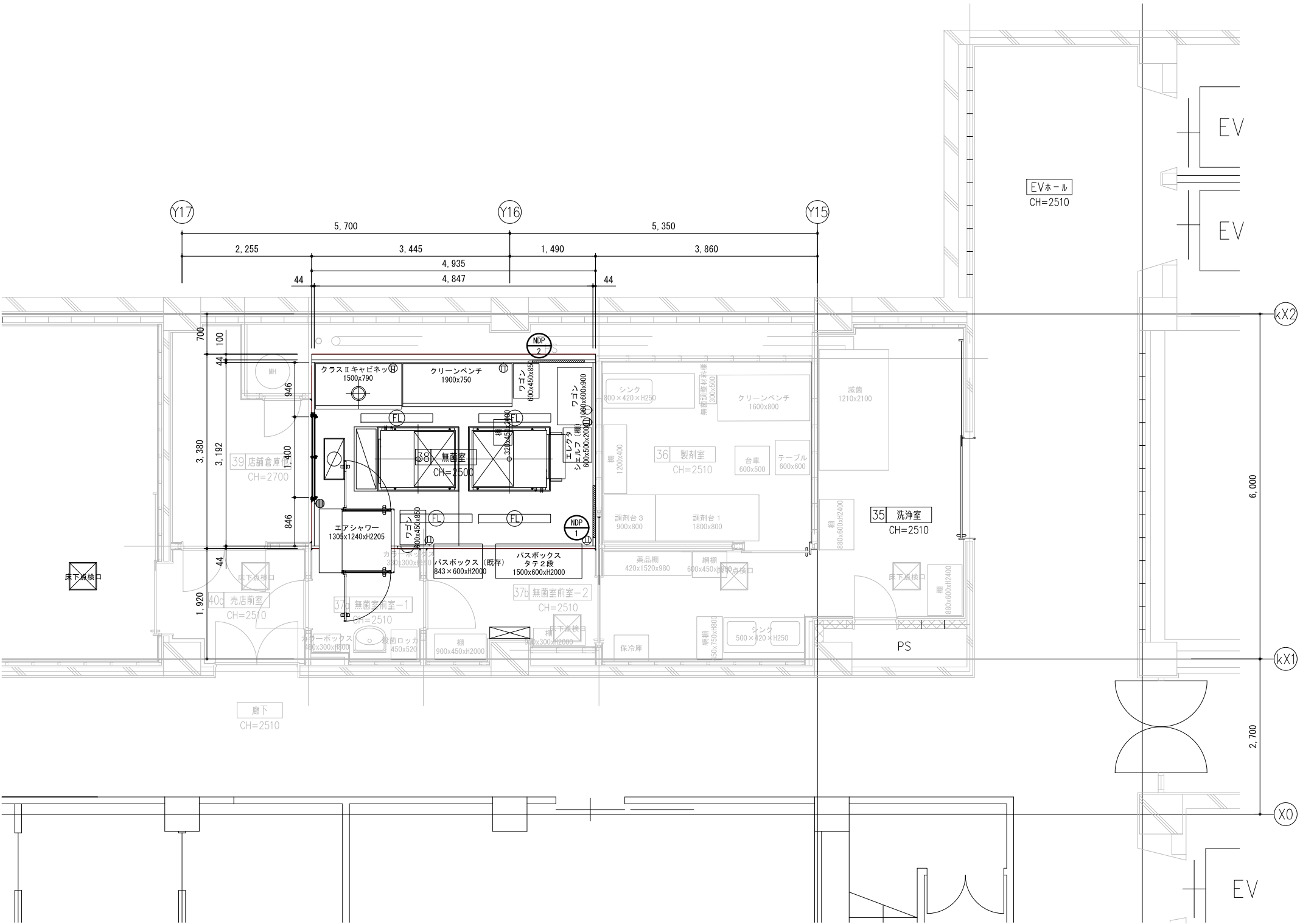
株式会社 日立建設設計 Copyright Hitachi Architects & Engineers Co., Ltd. All rights reserved.	禁 複 写 無 断 転 載 禁 止 文書番号 T02-604-1704	制定日 2001.09.01	REVISION  :	竣 工 図 (責任者)					APPRO.	CHKD.	DWN.	DATE 2019.03.29	JOB NAME 静岡県立こども病院本館リニューアル工事	DWG.NO. D - 58
		改訂日 2017.04.01		作製日付 年 月 日	中	図	中	図	望	月	SCALE 1:100 (A3) 1:200	TITLE 改修2階建具キープラン		
		文書番号 T02-604-1704												

共通特記事項			案件毎特記事項			凡 例			凡例・使用材料リスト							
(特記無き限り、下記による)			(各項目の適用は〔適用：■、不適用：□〕とする。)													
1. 共通	1. 各種建具の仕様は建設大臣官庁官庁設備部監修「建築工事標準仕様書（平成28年版）」による。		1. 共通	■ 電気錠は停電時開放設定とする。		● 建 具 記 号 AW.....アルミ製窓 AG.....アルミ製ガラリ AD.....アルミ製扉 SW.....鋼 製 窓 SD.....鋼 製 扉 SG.....鋼製ガラリ STW.....ステンレス製窓 STD.....ステンレス製扉 STG.....ステンレス製ガラリ SS.....シャッター PG.....プラスチックガラリ WW.....木 製 窓 WD.....木 製 扉 WG.....木製ガラリ シS.....シートシャッター SAD.....鋼製自動ドア AAD.....アルミ製自動ドア STAD.....ステンレス製自動ドア HD.....ハンガード S障 子 WF.....襖 横 F 換 TR.....トップライト CS.....シートシャッター SF.....鋼製枠 STF.....ステンレス製枠	● 建 具 金 物 記 号 FH.....フロアーヒンジ PH.....ピボットヒンジ LH.....ラバトリヒンジ AH.....オートヒンジ DC.....ドアーチェック SC.....センサー知覚連動 FC.....熱感知器連動	● ガラス仕様記号 FL.....フロート板ガラス F型ガラス P普通板ガラス SG.....すり板ガラス PW.....網入層板ガラス PLW.....線入層板ガラス FW.....網入型板ガラス FLW.....線入型板ガラス HFL.....熱線吸収板ガラス HFW.....熱線吸収網入板ガラス HRE.....耐熱結晶化ガラス HT.....耐熱強化ガラス D複層ガラス（外側LowE） L合せガラス T強化ガラス GB.....ガラスブロック	● 塗 装 記 号 SOP.....合成樹脂調合ペイント FEフタル酸樹脂エナメル 2-UE.....2液ポリウレタンエナメル DP耐候性塗料 OSオイルステイン CLクリアラッカー WP木材保護塗料	● 防火戸凡例 [特] 常時閉鎖式特定防火設備 [防] 常時閉鎖式防火設備 [網] 防火設備 網入ガラス ● ドア枠形状 A A' B C D E ● 窓枠の形状 A B C D E F						
	2. 建具窓面表示は全て特有効内法を示す。			■ 全ての扉に対してマスターキーシステム対応とする。							● 建 具 記 号		● 塗 装 記 号		● 防火戸凡例	
	3. ガラスの取付はシーリング工法とする。			□ W=7,000以上の建具の引合わせは、一般扉においてもSAT仕様とし、ゴム当りを取り付ける。							AG.....アルミ製ガラリ		F型ガラス		[特] 常時閉鎖式特定防火設備	
	4. 建具の結露水は排水防外部排出とし、等圧タイプとする。			□ 排煙用外倒し、突き出し窓は60°開放とする。							AD.....アルミ製扉		P普通板ガラス		[防] 常時閉鎖式防火設備	
	5. 外部建具の水切りの高欄部には全て汚染防止の立上りをつける。			■ ドア鋼入スリット巾は特記なき限り150mmとする。							SW.....鋼 製 窓		SG.....すり板ガラス		[網] 防火設備 網入ガラス	
	6. 床見切の材質はSUS304 t=2.0HLとする。			■ 引き違い建具（窓、ドア含）は引き差しを設計、指詰め対策を行なう。							SD.....鋼 製 扉		PW.....網入層板ガラス			
	7. 非常用近入口作用開口位置は立面図により認定表示マーク點とする。			□ ガラス面には全て飛散防止フィルムを貼ること。							SG.....鋼製ガラリ		PLW.....線入層板ガラス			
	8. 自動扉の「非常時開放型」は火報連動とする。			□ 外部建具面のフィルムは（CP認定品）とする。							STW.....ステンレス製窓		FW.....網入型板ガラス			
	9. 表示錠は非常時開放装置付とする。			□							STD.....ステンレス製扉		FLW.....線入型板ガラス			
	10. 外部に面するドアは上部に水切り（SUS-D50）を設けること。			□							STG.....ステンレス製ガラリ		HFL.....熱線吸収板ガラス			
2. アルミ建具	1. ドアの開き勝手、位置は平面図、建具キープラン、または平面詳細図による。 設置機器（スイッチ等）との調整を行ない、総合図で確認を受けること。		2. アルミ建具	□ アルミサッシは後付網戸対応の枠形状とする。		● 建 具 記 号	● 塗 装 記 号		● 防火戸凡例							
	2. 手摺が取付く方立等は補強を行なうこと。			□ 外開きAWに取付ける網戸はブリーツ網戸（内部取付）とする。			F型ガラス		[特] 常時閉鎖式特定防火設備							
	3. 外部網戸の仕様は特記仕様書参照。			■ クレセントはスライドロック付とする。			P普通板ガラス		[防] 常時閉鎖式防火設備							
	4. 防火戸に取付（FD、DO、AH等はストッパー無しとする。 また、親子一両開防火戸は両扉に閉鎖装置及び閉鎖順位調整器を設けること。			□			SG.....すり板ガラス		[網] 防火設備 網入ガラス							
				□			PW.....網入層板ガラス									
				□			PLW.....線入層板ガラス									
							FW.....網入型板ガラス									
							FLW.....線入型板ガラス									
							HFL.....熱線吸収板ガラス									
							STG.....ステンレス製ガラリ									
3. スチール建具	1. 防火戸に取付くFD・DC・AH等はストッパー無しとする。 また、親子一両開防火戸は両扉に閉鎖装置及び閉鎖順位調整器を設けること。		3. スチール建具	■ SDの鋼線はt=1.6加工。亜鉛メッキ鋼板・エッチングプライマー処理の上建具同仕上とする。		● 建 具 記 号	● 塗 装 記 号		● 防火戸凡例							
	2. 外部SDはSA干渉とし、両側に気密ゴムを設けること。特記によりPA仕様とする。			■ LSDはエッジレスタイプとして、扉内に取付けるガラス・ガラリは枠無タイプとする。			F型ガラス		[特] 常時閉鎖式特定防火設備							
	3. 外部廻りのスチールドアは全て扉一掃式ウレタン充填とする。			■ LSD引戸は自由口（傾斜レール、エアダンパ付）とする。			P普通板ガラス		[防] 常時閉鎖式防火設備							
				□			SG.....すり板ガラス		[網] 防火設備 網入ガラス							
				□			PW.....網入層板ガラス									
				□			PLW.....線入層板ガラス									
							FW.....網入型板ガラス									
							FLW.....線入型板ガラス									
							HFL.....熱線吸収板ガラス									
							STG.....ステンレス製ガラリ									
4. 木製建具	1. 木製扉の吊元及び枠は全てひのきとする。		4. 木製建具	□ 扉の上下大手は防水塗装を行なうこと。（トイレブース共）		● 建 具 記 号	● 塗 装 記 号		● 防火戸凡例							
	2. 便所・手洗、湯沸・シャワー室・浴室、脱衣室等の木製の合板はタイプI耐水合板とし、その他はタイプIIとする。			□ SKに設ける扉には、閉鎖金物（キャッチ等）を設けること。			F型ガラス		[特] 常時閉鎖式特定防火設備							
	3. 障子、襖枠（堅枠、鴨居、敷居、三方枠）は米松とする。			□			P普通板ガラス		[防] 常時閉鎖式防火設備							
	4. ペイント・色ラッカー仕上の合板の表板はしな合板とする。			□			SG.....すり板ガラス		[網] 防火設備 網入ガラス							
				□			PW.....網入層板ガラス									
				□			PLW.....線入層板ガラス									
							FW.....網入型板ガラス									
							FLW.....線入型板ガラス									
							HFL.....熱線吸収板ガラス									
							STG.....ステンレス製ガラリ									
5. シャッター	1. シャッターには危害防止装置を設けること。		5. シャッター	□ 常時開放状況のシャッターのスラットはサビ止め塗装仕上とする。		● 建 具 記 号	● 塗 装 記 号		● 防火戸凡例							
	2. 防火区画シャッター（耐火・防煙）は手動閉鎖装置付とする。			□ 外部に面するシャッターのスラットは溶融亜鉛メッキ仕上とする。			F型ガラス		[特] 常時閉鎖式特定防火設備							
	3. シャッター毎に天井点検口を1ヶ所設けること。			□ 外部に面するシャッターの座板に止水ゴムを取付とする。			P普通板ガラス		[防] 常時閉鎖式防火設備							
	4. シャッターのマグサ、座板、ガイドレールはSUS製とする。			□ 外部に面するシャッターの三方枠は床面から300mm迄とSUS t=2.0HLとする。			SG.....すり板ガラス		[網] 防火設備 網入ガラス							
				□			PW.....網入層板ガラス									
				□			PLW.....線入層板ガラス									
							FW.....網入型板ガラス									
							FLW.....線入型板ガラス									
							HFL.....熱線吸収板ガラス									
							STG.....ステンレス製ガラリ									
6. ガラリ	1. 外部ガラリで延焼の恐れのある範囲は、チェーンバーDDX（設備工事）スチールt=1.6とし、ダクトにFDを取付けると。 建具工事としてはフランジ差とする。		6. ガラリ	□ 外部に面するガラリには防鳥網を設けること。		● 建 具 記 号	● 塗 装 記 号		● 防火戸凡例							
	2. 内部扉面に設置するガラリは扉同材とし、開口率40%とする。			□			F型ガラス		[特] 常時閉鎖式特定防火設備							
	3. 外部ガラリが室内に直接面する場合完全防水型とする。			□			P普通板ガラス		[防] 常時閉鎖式防火設備							
				□			SG.....すり板ガラス		[網] 防火設備 網入ガラス							
				□			PW.....網入層板ガラス									
				□			PLW.....線入層板ガラス									
							FW.....網入型板ガラス									
							FLW.....線入型板ガラス									
							HFL.....熱線吸収板ガラス									
							STG.....ステンレス製ガラリ									
7. 付属金物	1. 付属金物は一式使用するものとする。		7. 付属金物	□ 開き扉には「引・引」表示を取付けること。		● 建 具 記 号	● 塗 装 記 号		● 防火戸凡例							
	2. 建具金物はステンレス製へライン仕上とし、見本品により決定する。			■ 押棒・引手は特記なき限り、ステンレス製L=600とする。			F型ガラス		[特] 常時閉鎖式特定防火設備							
	3. 釦玉・レバーハンドルの取付高さは床仕上げより1,000mmとする。			■ オートヒンジは特記なき限り、中心吊りとする。			P普通板ガラス		[防] 常時閉鎖式防火設備							
	4. 排煙オペレータ及びカレセーハンドルの取付高さは床仕上げより800～1500mm（標準1,300mm）とする。			□ 外部建具に取付く支持金物は特記なき限り丁番とする。また、枠の切欠部はシーリングでふさぐこと。			SG.....すり板ガラス		[網] 防火設備 網入ガラス							
	5. 排煙オペレータは埋込みとし、ワンタッチ開放型（ワイヤー操縦型）とする。			■ 引き戸は全て、戸先（大手）に指はさみ防止用ゴムクッションを取り付ける。			PW.....網入層板ガラス									
	6. 各オペレーターは用途により「排煙」または「換気」の表示を行う。			□ ピボットヒンジは全て壁掛取付型とする。			PLW.....線入層板ガラス									
	7. 各扉には戸当りを設けること。			□ 電気錠システムに取付錠前は、基本サムターン無しとする。			FW.....網入型板ガラス									
	8. DC（ドアチェック）は室内側に設けること。			□			FLW.....線入型板ガラス									
	9. 各種錠前類は特記なき限りサムターン付とする。			□			HFL.....熱線吸収板ガラス									
	10. 丁番はドア寸法2,000×800以上の鋼製は150mm 3枚、木製は125mm 2枚、 2,000×750以下の鋼製は125mm 3枚、木製は2枚付とする。			□			STG.....ステンレス製ガラリ									
株式会社 日立建設設計			Copyright Hitachi Architects & Engineers Co., Ltd. All rights reserved.			竣工図（責任者）			JOB.NAME 静岡県立こども病院本館リニューアル工事							
禁複製 無断転載禁止			制定日 2001.09.01 改訂日 2017.04.01 文書番号 F02-G04-1704			作製日付 年 月 日 作者者			TITLE 建具特記仕様書							
REVISION △:			APPO. CHKD. DWN. DATE 2019.03.29 SCALE - (A3) -			DWG.NO. D - 59										









無菌室 平面詳細図

■ 仕様

部屋名	面積	天井高	容積		
無菌室	13.6㎡	2.5m	34㎡		
清浄度	室圧	吹出風量	換気回数	外気量	
ISO class7	陽圧 (++)	2040㎡/h	60回	750㎡/h	
空調装置	天井カセット形給気処理ユニットにて一般空調				
フィルター	HEPAフィルター (捕集効率99.99%以上 粒径0.3μm スキャンテスト合格品)				

要求電源	電源1φ3W100V/200V 40A +医療用E	一次側端子接続まで
	電源3φ3W200V 30A ED	一次側端子接続まで

■ 改修仕様

- ☐ 断熱パネルを設置
- ☐ 空調システムを設置し清浄度ISOclass7、陽圧 (対前室) を保つ
- ☐ 既設改修建築工事、既設改修設備工事、既設改修電気工事は別途とする。

工 事 区 分 表

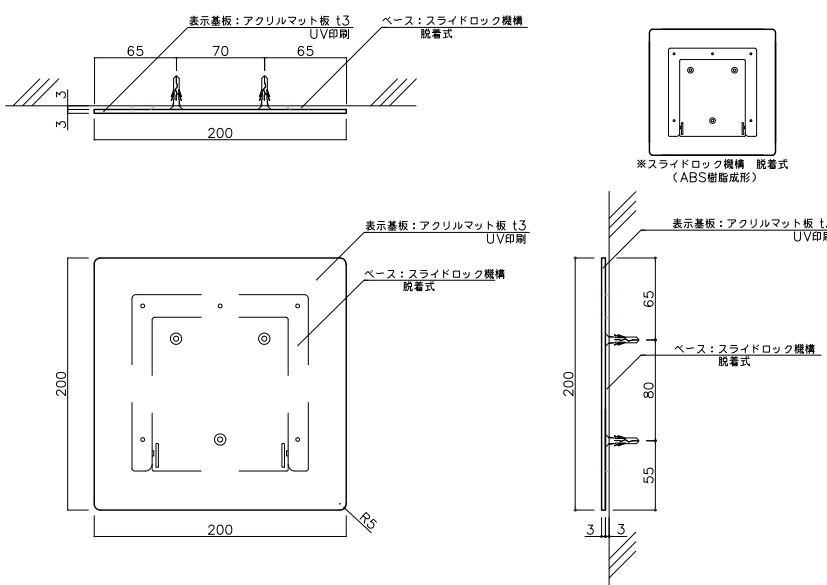
工 事 区 分 表									
	無菌室パネル工事	※本体工事別途	空調換気設備工事	給排水衛生設備工事	自動制御設備工事	電気設備工事	建築工事	医ガス工事	
無菌室パネル工事一式	○								
無菌室パネル・隣接壁・天井の取り合い工事								○	
無菌室の空調機器・室内機・室外機本体及び据付工事	○								
無菌室の室内機用1次側ドレン配管接続口、パネル仕切り部分まで		○							
無菌室の室内機用給気1次ダクト、パネル仕切り部分まで		○							
無菌室の室内機から室外機の冷媒配管及びラッキング	○								
無菌室の室内機用ドレン配管接続	○								
無菌室の床部分の不陸調整									
耐薬性長尺塩ビシートの新設								○	
無菌室の室内機から屋外機までの渡り配線	○								
1次側外気処理ダクトと無菌室の給気ダクトの接続	○								
無菌室の排気ダクトの施工	○								
無菌室のダクトパネルから室内機までのダクト工事	○								
無菌室のスイッチ・コンセントの設置及び気密処理	○								
無菌室の情報機器用埋め込みボックスの設置	○								
無菌室の情報機器用プレート・配線及び気密処理						○			
エアーシャワーの設置	○								
エアーシャワーの電気配線	○								
バスボックスの設置	○								
クラスIIキャビネットの設置	○								
クラスIIキャビネットのダクト接続工事	○								
無菌室制御盤の設置	○								
無菌室制御盤設置の取付下地								○	
同上への1次側電源つなぎ込み配線工事								○	
同上からの一括警報配線工事								○	
外観機運転信号を無菌室制御盤1次側端子までのつなぎ込み配線工事								○	
無菌室内の照明器具及び取付・配線工事	○								
火災報知器設備及びスピーカー新設工事								○	
無菌室の空調機用配管・配線用貫通孔のコア抜き			○						
無菌室の空調機用配管・配線の防火区画貫通処理	○								
無菌室ユニット試運転調整	○								

A

アクリルマット室名札（正面型）

S=1:2

表示基板：アクリルマット板 t=3
ベース：スライドロック機構 着脱式
表示方法：UV印刷



薬剤部門

階	設置場所	個数
1	医薬品受渡し	1
	カウンター・薬品-1	1
	カウンター・薬品-2	1
	調剤室	2
	注射管理室	2
	準備・作業室	2
	無菌室	1
	当直室	1
	前室	1
	D I	1
	室長室	1

製剤部門

階	設置場所	個数
	洗浄室	1
	製剤室	1
	無菌室前室-1	1
	無菌室前室-2	1
	無菌室	1
	売店前室	1
	店舗倉庫他	1
	売店	2
	会議室	1

放射線部門

階	設置場所	個数
1	待合廊下	1
	放射線事務	1
	操作廊下	1
	D r 読影室-1	1
	D r 読影室-2	1
	画像処理室	1
	給湯室	1
	準備作業室	1
	放射線管理室	1

リネン部門

階	設置場所	個数
1	前室	1
	使用前リネン室	1
	清潔リネン室	1
	洗濯室	1
	洗濯室前室	1

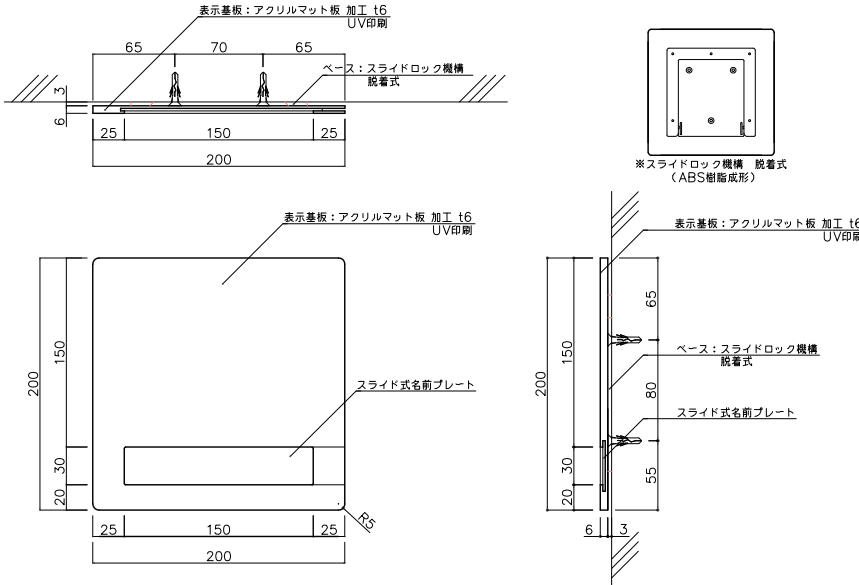
生理機能・病理検査部門

階	設置場所	個数
1	心電室	4
	操作室	1
	脳波（1）	1
	脳波（2）	1
	脳波（3）	1
	脳波（4）	1
	カンファレンス	2
	待合廊下	1
	病理	1
	包理	1
	染色体	1
	病理D r	1
	前室	1
	電子顕微鏡室	1
	管理室	1

臨床検査部門

階	設置場所	個数
2	採血室	1
	検査事務室	1
	検体検査室	1
	洗浄室	1
	倉庫	1
	輸血検査室	1
	当直室	1
	部長室	1
	細菌検査室	1
	前室	1
	PCR室	1
	DNA抽出室	1
	試薬準備室	1

表示基板：アクリルマット板 t=3
ベース：スライドロック機構 着脱式
表示方法：UV印刷



薬剤部門

階	設置場所	個数
1	医薬品受渡し	2
	カウンター・薬品-1	2
	カウンター・薬品-2	2
	調剤室	2
	注射管理室	2
	準備・作業室	2
	D I	2

製剤部門

階	設置場所	個数
	洗浄室	2
	無菌室前室-1	2
	無菌室前室-2	2
	売店前室	2
	無菌室	2
	従業員倉庫他	2
	売店	2

放射線部門

階	設置場所	個数
1	待合廊下	5
	操作廊下	5
	D r 読影室-2	2
	画像処理室	2
	給湯室	2
	準備作業室	2

リネン部門

階	設置場所	個数
1	前室	2
	使用前リネン室	2
	清潔リネン室	2

生理機能・病理検査部門

階	設置場所	個数
1	心電	2
	操作室	2
	待合廊下	5
	病理	2
	染色体	2
	病理D r	2
	前室	2
		1
	管理室	2


臨床検査部門

階	設置場所	個数
2	採血室	1
	検査事務室	1
	検体検査室	2
	洗浄室	1
	倉庫	2
	輸血検査室	2
	細菌検査室	1
	前室	1

C

バックヤードサイン


S=1:2






株式会社 日立建設設計

禁複写無断転載禁止
Copyright Hitachi Architects & Engineers Co., Ltd. All rights reserved.

製図日 2001.09.01
改訂日 2017.04.01
文書番号 F02-G04-1704

REVISION  :

竣工図（責任者）
作製日付 年 月 日
作製者

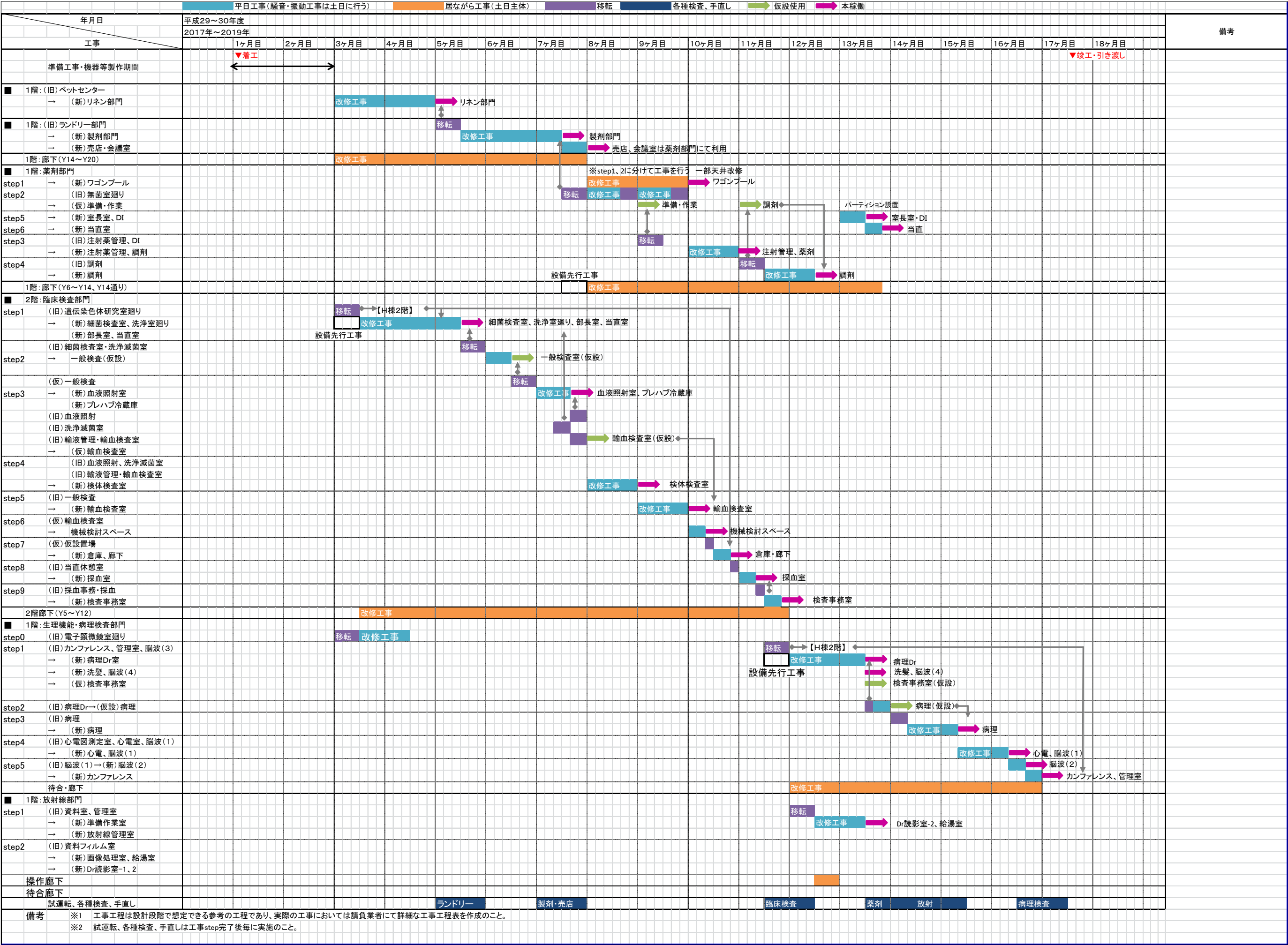
APPD. 
CHKD. 
OWN. 

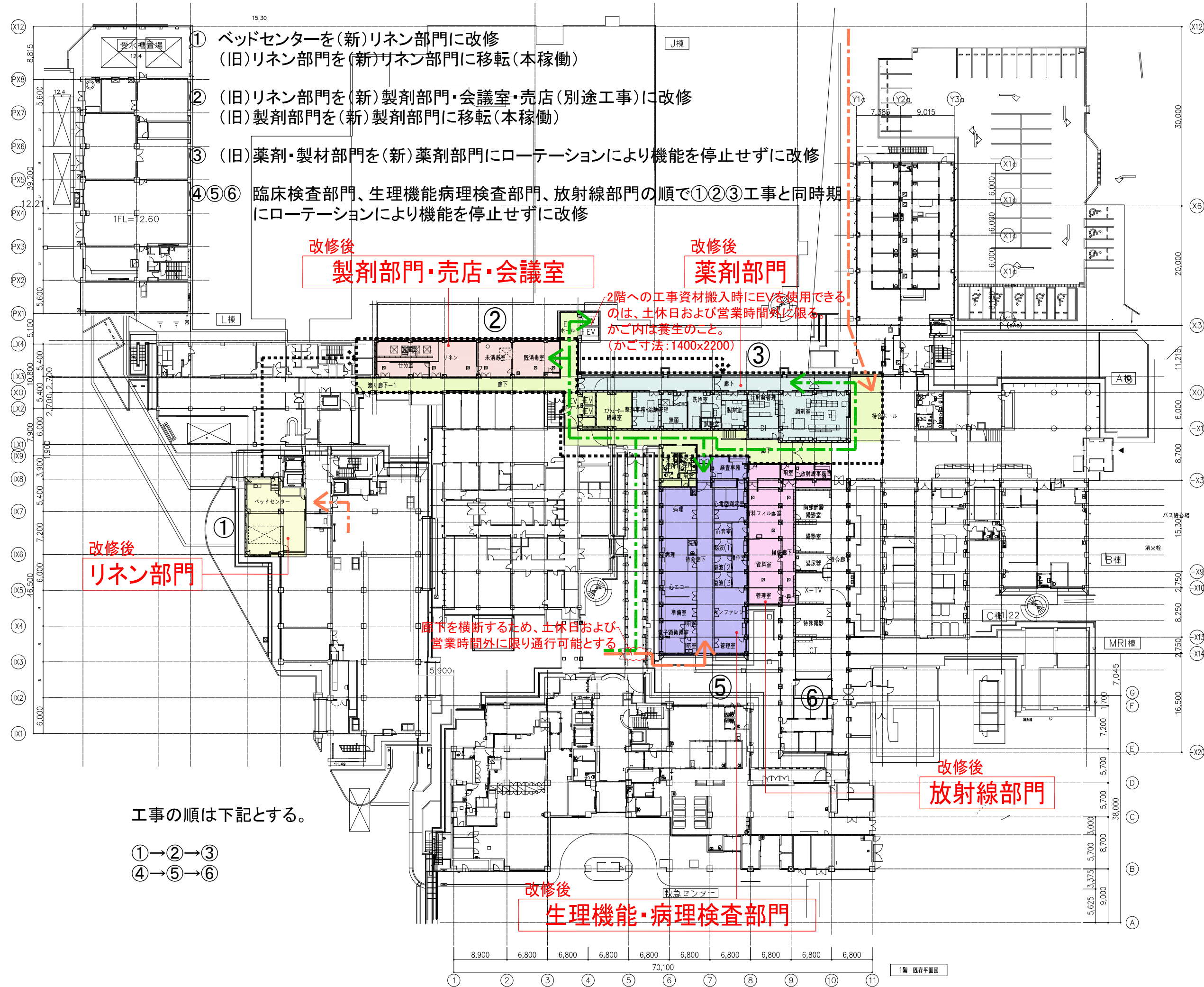
DATE 2019.03.29
SCALE 1:2 (A3) 1:4

JOB.NAME 静岡県立こども病院本館リニューアル工事
TITLE サイン詳細図

DWG.NO.
D - 66

一級建築士 第283810号 田中 裕和





- ① ベッドセンターを(新)リネン部門に改修
(旧)リネン部門を(新)リネン部門に移転(本稼働)
- ② (旧)リネン部門を(新)製剤部門・会議室・売店(別途工事)に改修
(旧)製剤部門を(新)製剤部門に移転(本稼働)
- ③ (旧)薬剤・製材部門を(新)薬剤部門にローテーションにより機能を停止せずに改修
- ④⑤⑥ 臨床検査部門、生理機能病理検査部門、放射線部門の順で①②③工事と同時期にローテーションにより機能を停止せずに改修

改修後
製剤部門・売店・会議室

改修後
薬剤部門

改修後
リネン部門

改修後
放射線部門

改修後
生理機能・病理検査部門

工事の順は下記とする。

- ①→②→③
④→⑤→⑥

2階への工事資材搬入時にEVを使用できるのは、土休日および営業時間外に限る。
かご内は養生のこと。
(かご寸法:1400x2200)

廊下を横断するため、土休日および営業時間外に限り通行可能とする

特記事項

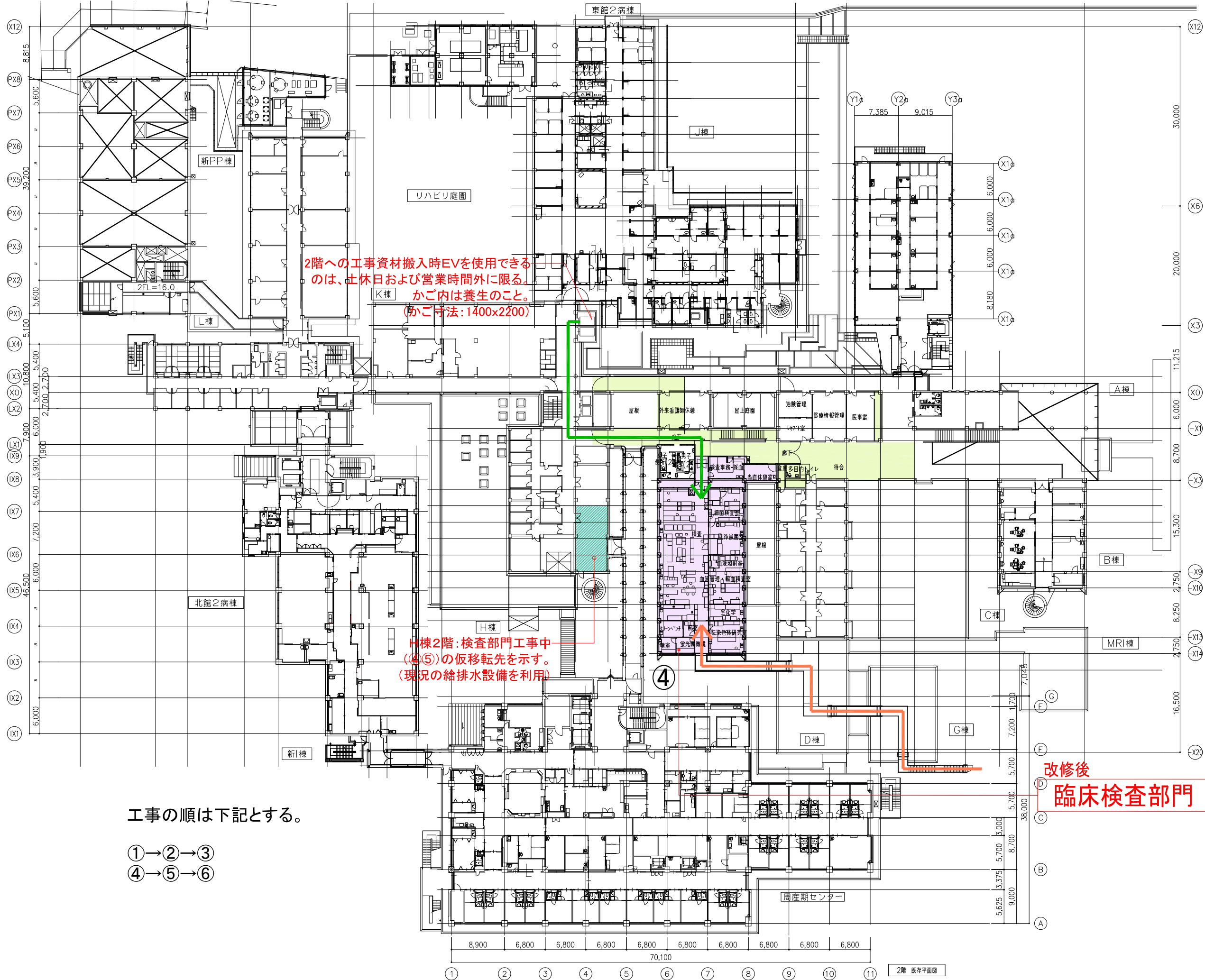
- ・工事請負者は原則、本計画図を基に施工を行うこと。関係法令、施工条件等により必要があれば監督員および工事監督者等と協議すること。
- ・工事期間中は居ながら工事となる為、それらの運用を配慮し、安全計画には十分注意すること。
- ・資材置場等については、基本的に工事利用範囲とする。但し、一時的にその他の場所が必要となる場合は、監督員と協議して了承を得ること。
- ・工事は平日主体で行うが、騒音・振動をとまう工事は土休日に行うこと。1階の検査部門の脳波室に隣接する室および上部階においては、営業時間内は騒音・振動をとまう工事は行えないものとする。
- ・廊下の居ながら工事については土休日主体で行う。平日はシートで養生を行うこと。
- ・資材搬入は休日主体で行うこと。平日に行う場合は営業時間外で行うこと。搬出入で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、資材にはブルーシート等で養生を行うこと。
- ・工事作業員は原則、直接外部に面する出入口や窓から工事エリアに出入りすること。外部からの出入口がない工事エリアへの経路で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、工事エリア内で着用する作業服での通行は禁止とする。

■アスペルギルス対策について

- ・工事期間中は、排風機(4,000CMH)を5台設置する。
- ・5台を各工事エリアにて運用することとし、工事対象の棟(天井解体部分)において、換気回数10回/時を確保すること。
- ・設置方法は、各仮設計画図を参照することとし、排気口にHEPAフィルターを設置すること。
- ・フレキシブルダクト設置は、破損等のないよう適切に行うこと。改修済みのエリアに設置する際は養生を行い、傷や汚れ等のないよう十分注意すること。
- ・排風機用の電源線として、EM-CE3.5-4Cを見込むこと。(長さは各仮設計画図による。)

凡例

リネン部門	天井解体範囲(設備工事)
製剤部門	臨床検査部門
薬剤部門	その他
生理機能・病理検査部門	作業員経路
放射線部門	資材搬入経路



工事の順は下記とする。

- ①→②→③
④→⑤→⑥

特記事項

- ・工事請負者は原則、本計画図を基に施工を行うこと。関係法令、施工条件等により必要があれば監督員および工事監督者等と協議すること。
- ・工事期間中は居ながら工事となる為、それらの運用を配慮し、安全計画には十分注意すること。
- ・資材置場等については、基本的に工事利用範囲とする。但し、一時的にその他の場所が必要となる場合は、監督員と協議して了承を得ること。
- ・工事は平日主体で行うが、騒音・振動をとまう工事は土休日に行うこと。1階の検査部門の脳波室に隣接する室および上部階においては、営業時間内は騒音・振動をとまう工事は行えないものとする。
- ・廊下の居ながら工事については土休日主体で行う。平日はシートで養生を行うこと。
- ・資材搬入は休日主体で行うこと。平日に行う場合は営業時間外で行うこと。搬出入で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、資材にはブルーシート等で養生を行うこと。
- ・工事作業員は原則、直接外部に面する出入口や窓から工事エリアに出入りすること。外部からの出入口がない工事エリアへの経路で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、工事エリア内で着用する作業服での通行は禁止とする。

■アスペルギルス対策について

- ・工事期間中は、排風機(4,000CMH)を5台設置する。
- ・5台を各工事エリアにて運用することとし、工事対象の棟(天井解体部分)において、換気回数10回/時を確保すること。
- ・設置方法は、各仮設計画図を参照することとし、排気口にHEPAフィルターを設置すること。
- ・フレキシブルダクト設置は、破損等のないよう適切に行うこと。改修済みのエリアに設置する際は養生を行い、傷や汚れ等のないよう十分注意すること。
- ・排風機用の電源線として、EM-CE3.5-4Cを見込むこと。(長さは各仮設計画図による。)

凡例

：リネン部門

：製剤部門

：薬剤部門

：生理機能・病理検査部門

：放射線部門

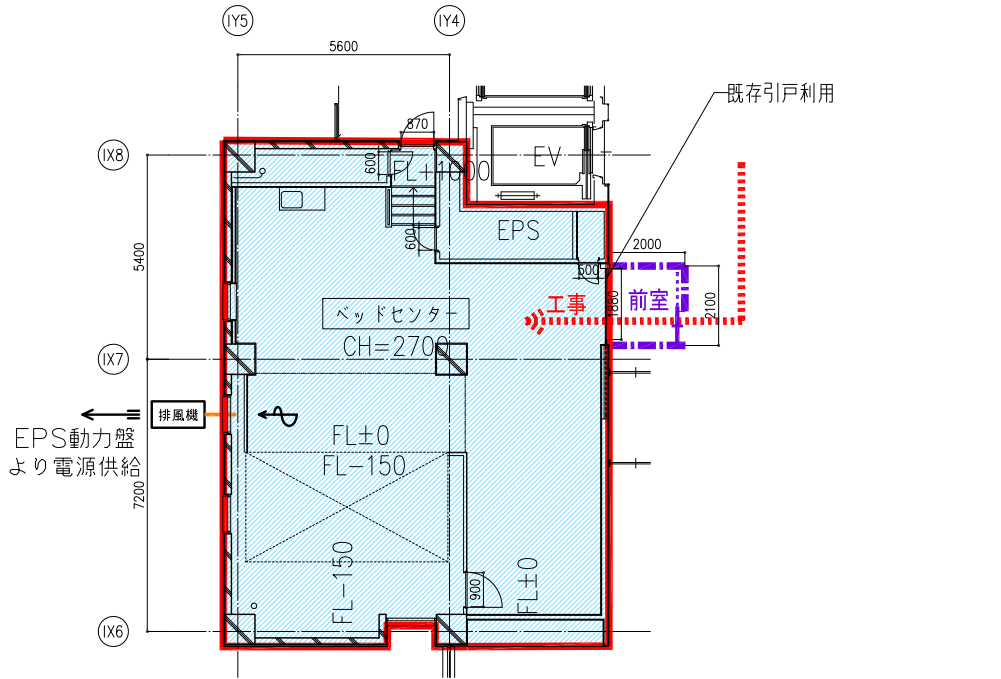
：天井解体範囲(設備工事)

：臨床検査部門

：その他

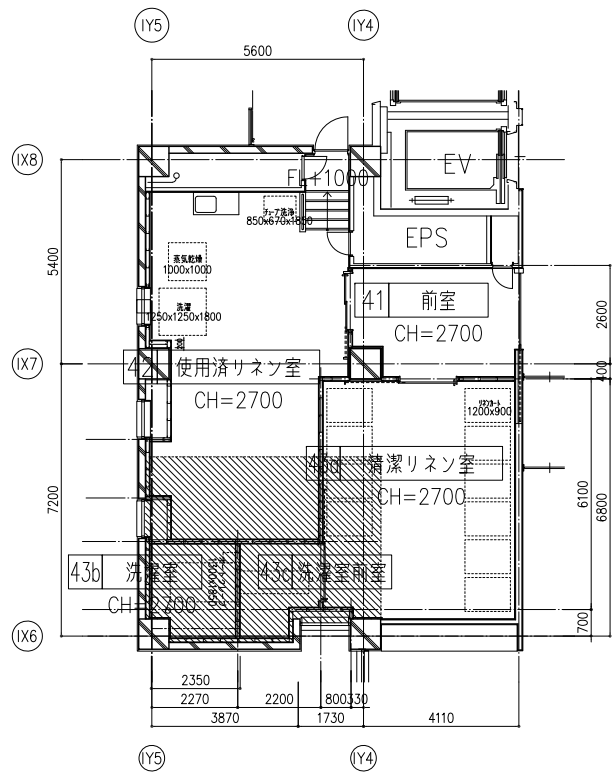
：作業員経路

：資材搬入経路



現況

・病院備品を示す
(病院側工事にて【移設】又は【新設】)



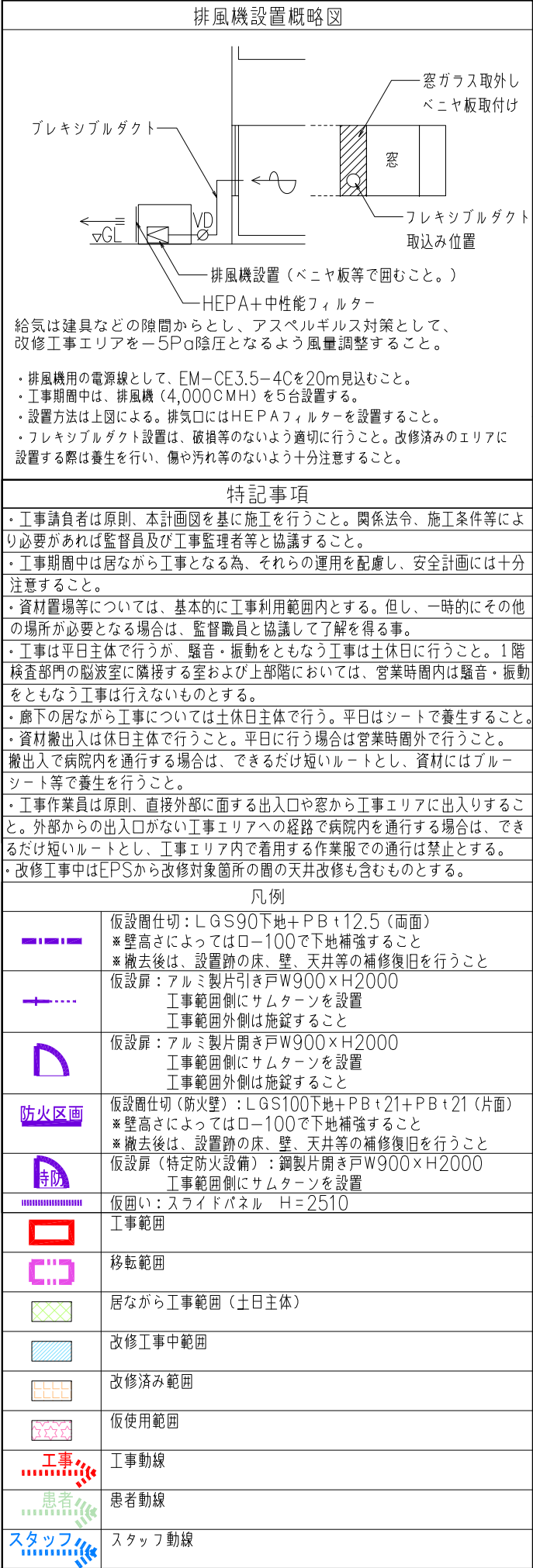
改修後

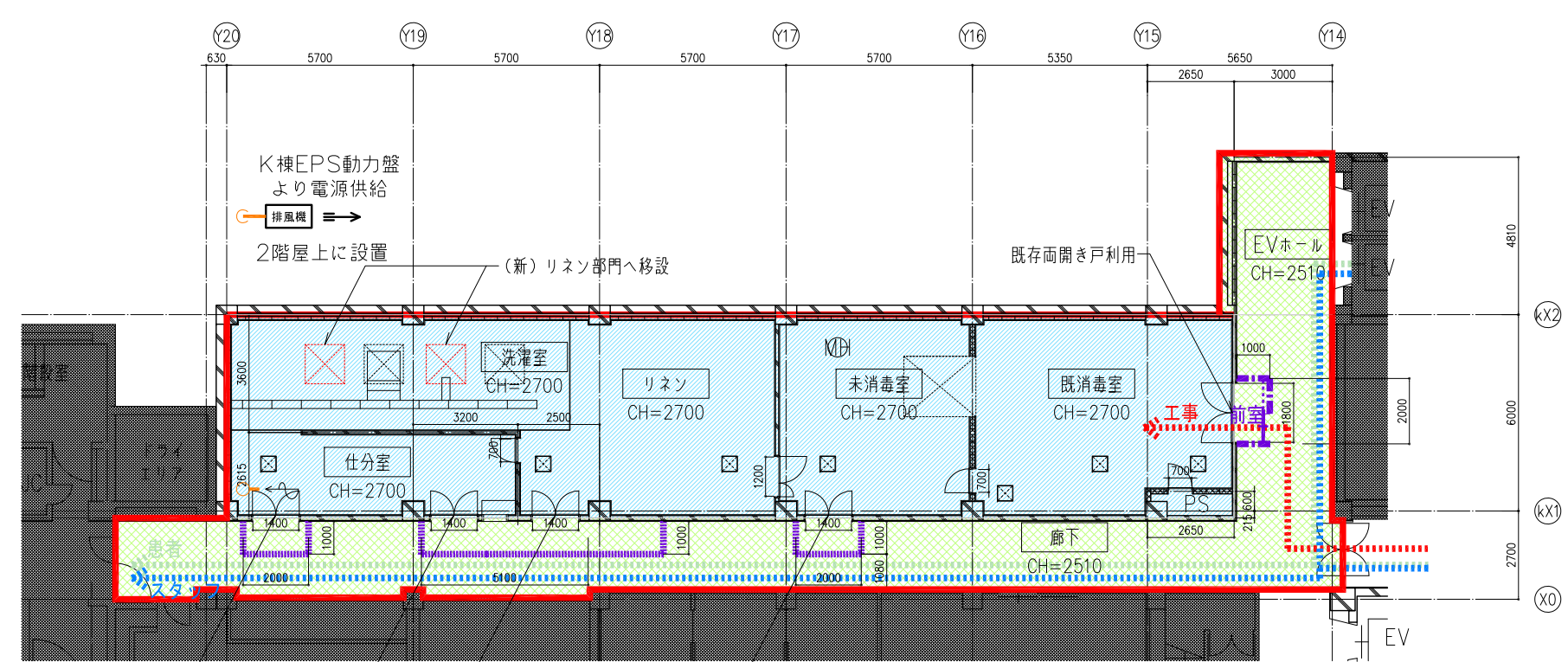
・病院備品を示す
(病院側工事にて【移設】又は【新設】)

1) 旧ベッドセンターの什器・備品・機器の移設(病院工事)、機器の解体・撤去(病院工事)を行う。

2) 本体工事(建築、電気設備、給排水衛生設備、空調換気設備)を行う。

3) 旧リネン部門から、既存機器(洗濯機、乾燥機)の移設(病院工事)、新設機器(オートクレーブ、チューブ洗浄)の設置(病院工事)を行い、本体工事との接続工事を行う。

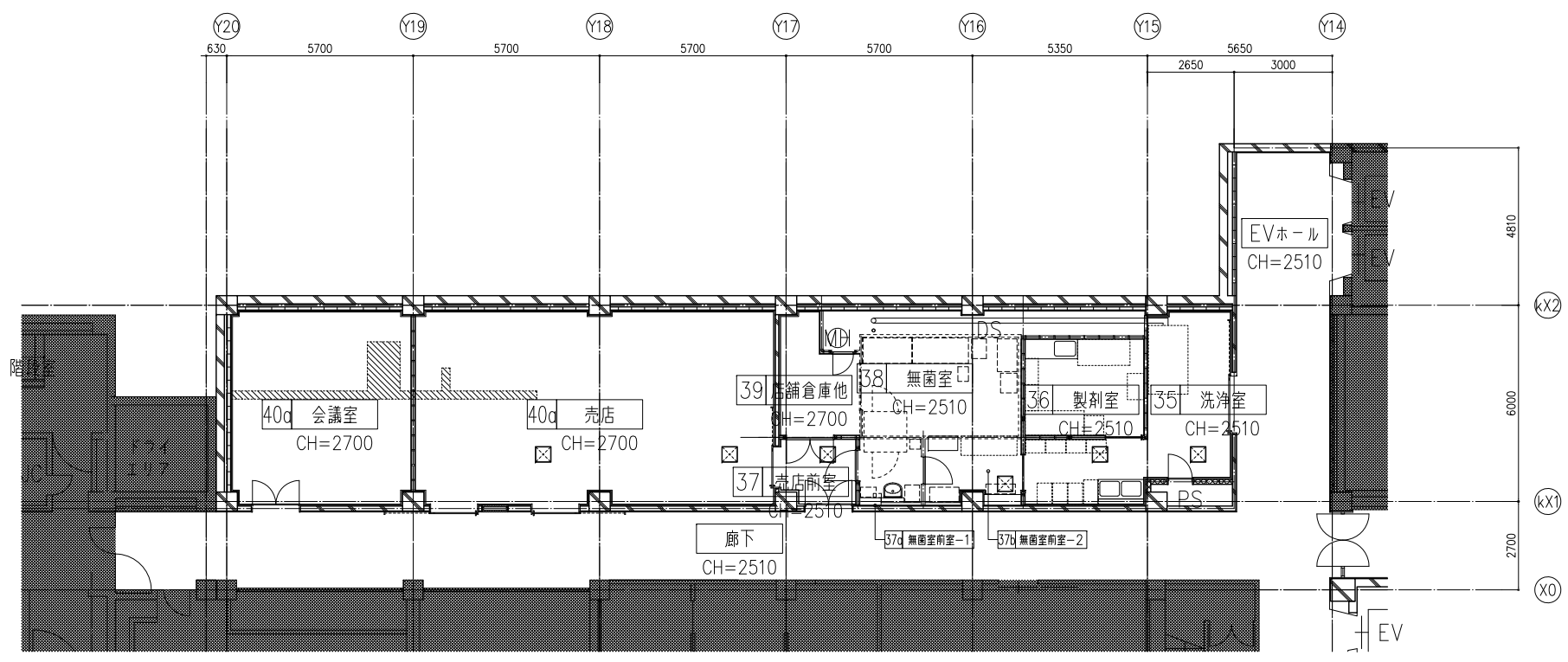




既存両開き戸施設にて閉鎖。
扉改修時のみ（5日間）
スライドパネルにて
仮囲いする。

現況

- 1) 旧リネン部門から改修後の新リネン部門への什器・備品・機器の移設（病院工事）を行う。
- 2) 本体工事（建築、電気設備、給排水衛生設備、空調換気設備）を行う。
- 3) 旧製剤部門からの什器・備品・機器の移設（病院工事）、新設機器の設置（病院工事）を行い、本体工事との接続工事を行う。



改修後

排風機設置概略図

排風機設置
(ベニヤ板等で囲むこと。)

HEPA
＋中性能フィルター

屋上

2FL

1FL

プレキシブルダクト

給気は建具などの隙間からとし、アスペルギルス対策として、改修工事エリアを－5Pa陰圧となるよう風量調整すること。

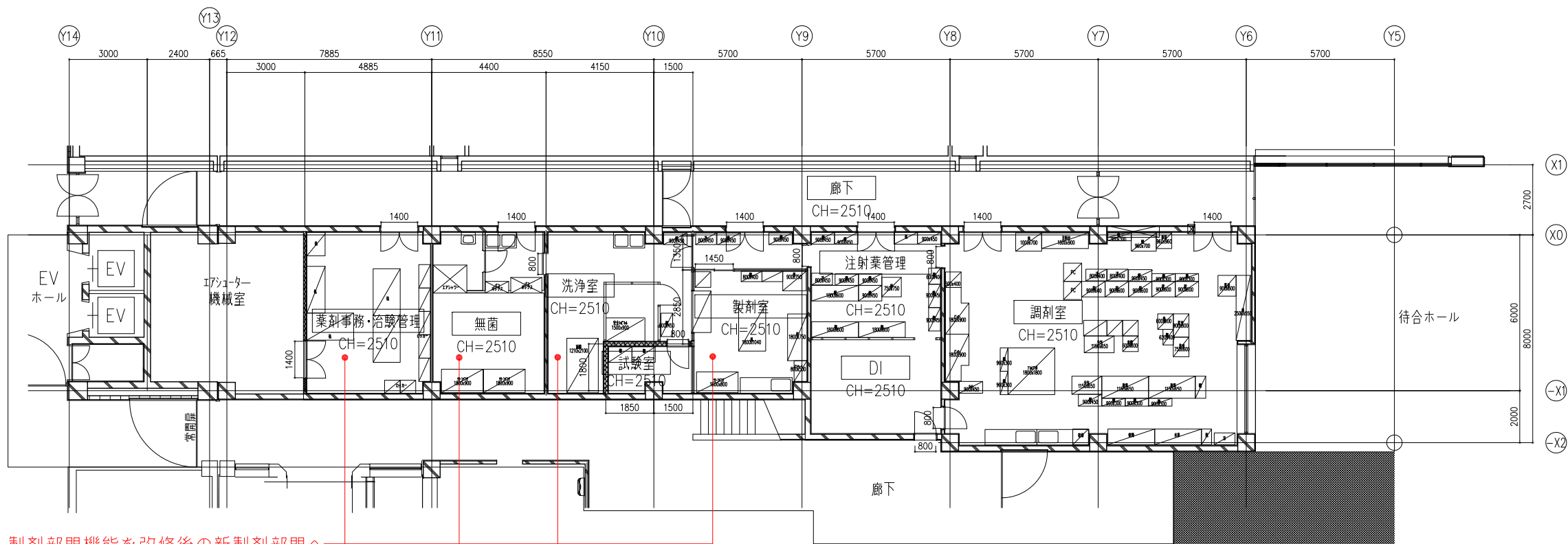
- ・排風機用の電源線として、EM－CE3.5－4Cを50m見込むこと。
- ・工事期間中は、排風機（4,000CMH）を5台設置する。
- ・設置方法は上図による。排気口にはHEPAフィルターを設置すること。
- ・フレキシブルダクト設置は、破損等のないよう適切に行うこと。改修済みのエリアに設置する際は養生を行い、傷や汚れ等のないよう十分注意すること。

特記事項

- ・工事請負者は原則、本計画図を基に施工を行うこと。関係法令、施工条件等により必要があれば監督員及び工事監理者等と協議すること。
- ・工事期間中は居ながら工事となる為、それらの運用を配慮し、安全計画には十分注意すること。
- ・資材置場等については、基本的に工事利用範囲内とする。但し、一時的にその他の場所が必要となる場合は、監督職員と協議して了解を得る事。
- ・工事は平日主体で行うが、騒音・振動をとまう工事は土休日に行うこと。1階検査部門の脳波室に隣接する室および上部階においては、営業時間内は騒音・振動をとまう工事は行えないものとする。
- ・廊下の居ながら工事については土休日主体で行う。平日はシートで養生すること。
- ・資材搬出入は休日主体で行うこと。平日に行う場合は営業時間外で行うこと。搬出入で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、資材にはブルーシート等で養生を行うこと。
- ・工事作業員は原則、直接外部に面する出入口や窓から工事エリアに出入りすること。外部からの出入口がない工事エリアへの経路で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、工事エリア内で着用する作業服での通行は禁止とする。
- ・改修工事中はEPSから改修対象箇所の周りの天井改修も含むものとする。

凡例

---	仮設囲仕切：LGS90下地＋PB＋12.5（両面） ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
+	仮設扉：アルミ製片引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
└	仮設扉：アルミ製片引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
防火区画	仮設囲仕切（防火壁）：LGS100下地＋PB＋21＋PB＋21（片面） ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
寺防	仮設扉（特定防火設備）：鋼製片引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置
	仮囲い：スライドパネル H=2510
□	工事範囲
□	移転範囲
□	居ながら工事範囲（土日主体）
□	改修工事中範囲
□	改修済み範囲
☆☆☆	仮使用範囲
工事	工事動線
患者	患者動線
スタッフ	スタッフ動線

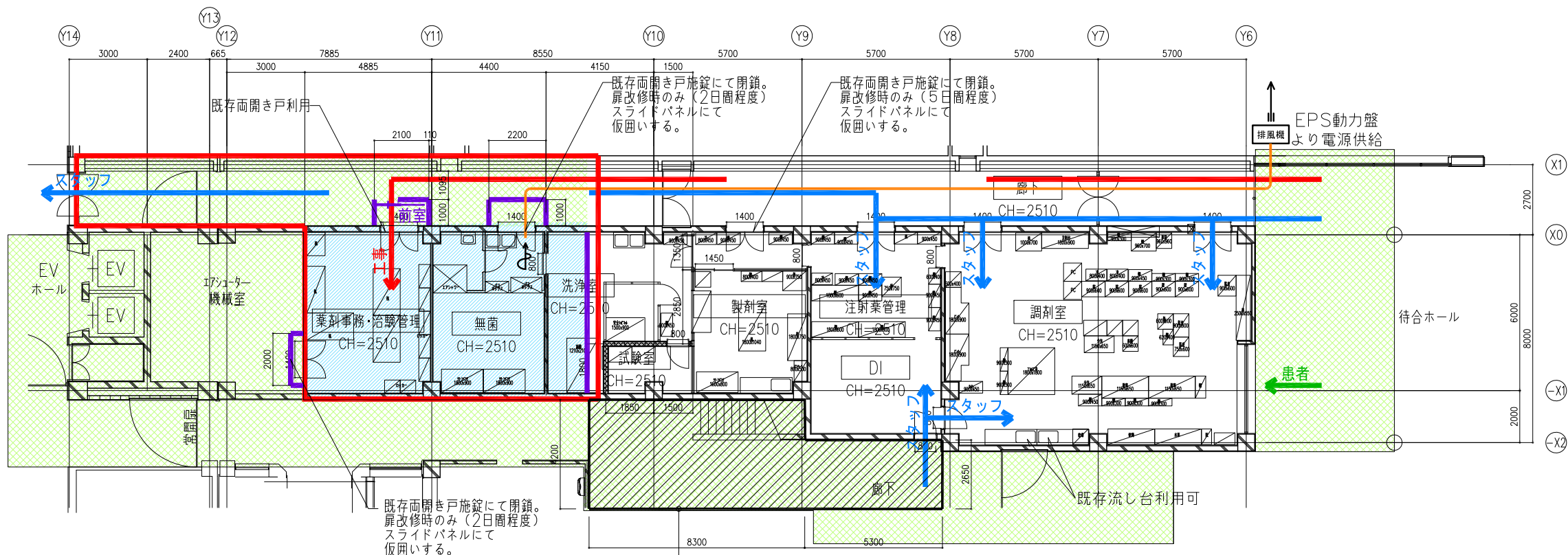


薬剤部門機能を改修後の新薬剤部門へ
移転（病院工事）する。

step0（現況）

- 1）薬剤事務・治験管理、無菌、洗浄室、試験室、製剤室から改修後の新薬剤部門へ什器・備品・機器を移設（病院工事）する。
薬剤事務・治験管理の什器・備品については製剤部門の会議室にstep4まで仮置き（病院工事）する。

・・・病院備品を示す
（病院側工事にて【移設】又は【撤去】）



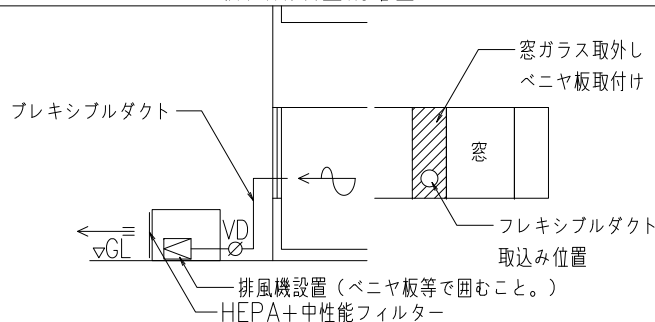
step1

設備工事に伴う先行工事（土日主体）
天井撤去、給水管更新（設備工事）後、天井新設

- 2）図示工事範囲の本体工事（建築、電気設備、給排水衛生設備、空調換気設備）を行う。
薬剤部門内廊下、廊下、待合ホールについては居ながら工事とする。

・・・病院備品を示す
（病院側工事にて【移設】又は【撤去】）

排風機設置概略図



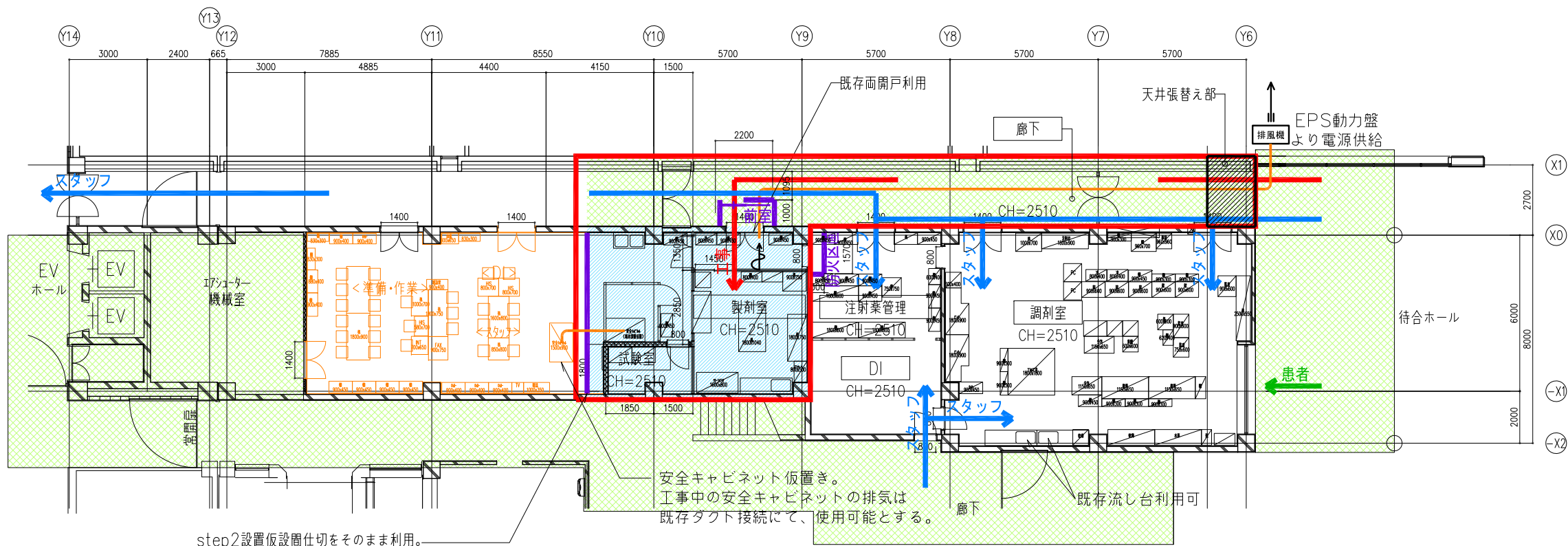
給気は建具などの隙間からとし、アスペルギルス対策として、改修工事エリアを -5Pa 陰圧となるよう風量調整すること。
・排風機用の電源線として、EM-CE3.5-4Cを50m見込むこと。
・工事期間中は、排風機（4,000CMH）を5台設置する。
・設置方法は上図による。排気口にはHEPAフィルターを設置すること。
・フレキシブルダクト設置は、破壊等のないよう適切に行うこと。改修済みのエリアに設置する際は養生を行い、傷や汚れ等のないよう十分注意すること。

特記事項

- ・工事請負者は原則、本計画図を基に施工を行うこと。関係法令、施工条件等により必要があれば監督員及び工事監理者等と協議すること。
・工事期間中は居ながら工事となる為、それらの運用を配慮し、安全計画には十分注意すること。
・資材置場等については、基本的に工事利用範囲内とする。但し、一時的にその他の場所が必要となる場合は、監督職員と協議して了解を得る事。
・工事は平日主体で行うが、騒音・振動をとまぬ工事は土休日に行うこと。1階検査部門の脳波室に隣接する室および上部階においては、営業時間内は騒音・振動をとまぬ工事は行えないものとする。
・廊下の居ながら工事については土休日主体で行う。平日はシートで養生すること。
・資材搬出入は休日主体で行うこと。平日に行う場合は営業時間外で行うこと。
搬出入で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、資材にはブルーシート等で養生を行うこと。
・工事作業員は原則、直接外部に面する出入口や窓から工事エリアに出入りすること。外部からの出入口がない工事エリアへの経路で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、工事エリア内で着用する作業服での通行は禁止とする。
・改修工事中はEPSから改修対象箇所の周の天井改修も含むものとする。
・E棟EPSに切替電源盤を設置し、電源の仮設切回し配線として切替電源盤主幹2次側から改修対象箇所までEEF2.0-3C 50m×10本を見込むこと。
・LAN設備の仮設配管としてPF管（16）を20m見込むこと。

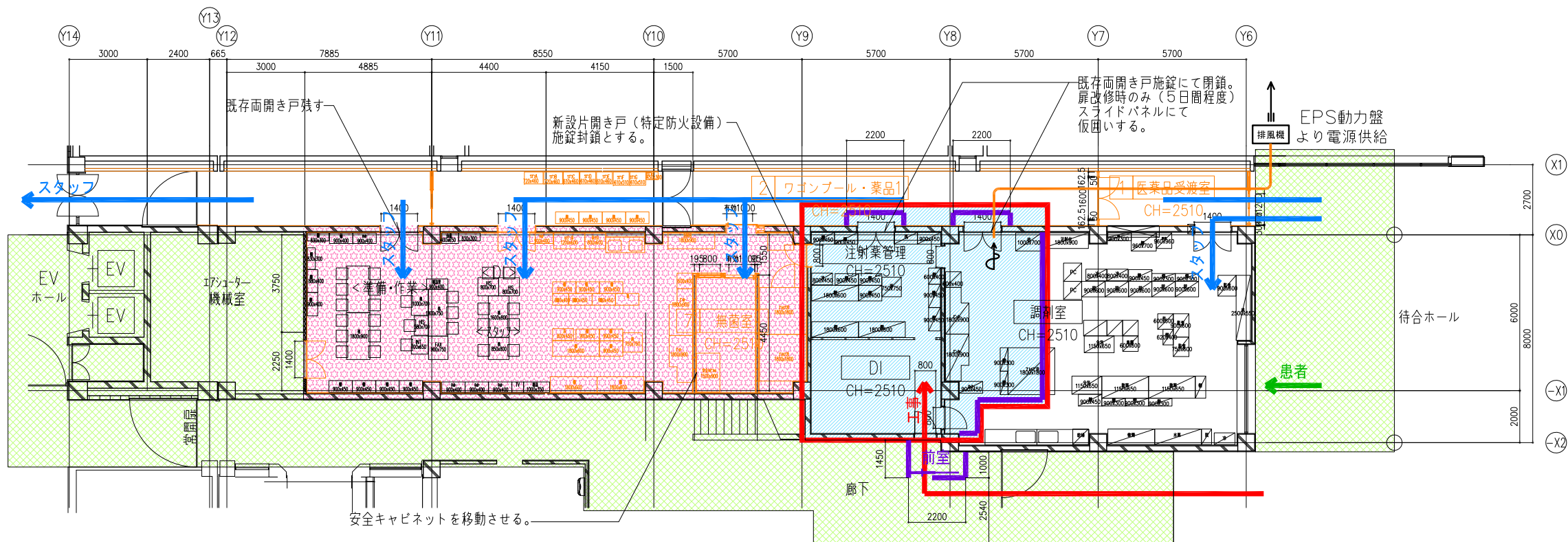
凡例

	仮設間仕切：LGS90下地+PB \pm 12.5（両面） ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
	仮設扉：アルミ製片引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
	仮設扉：アルミ製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
	仮設間仕切（防火壁）：LGS100下地+PB \pm 21+PB \pm 21（片面） ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
	仮設扉（特定防火設備）：鋼製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置
	仮囲い：スライドパネル H=2510
	工事範囲
	移転範囲
	居ながら工事範囲（土日主体）
	改修工事中範囲
	改修済み範囲
	仮使用範囲
	工事動線
	患者動線
	スタッフ動線



step2

- 2) <準備・作業>へ什器・備品の移設(病院工事)、安全キャビネットの仮移設(病院工事)を行い、図示工事範囲の本体工事を行う。
薬剤部門内廊下、廊下、待合ホールについては居ながら工事とする。
(一部天井張替え工事を含む。)
- ・病院備品を示す(病院側工事にて【移設】又は【撤去】)

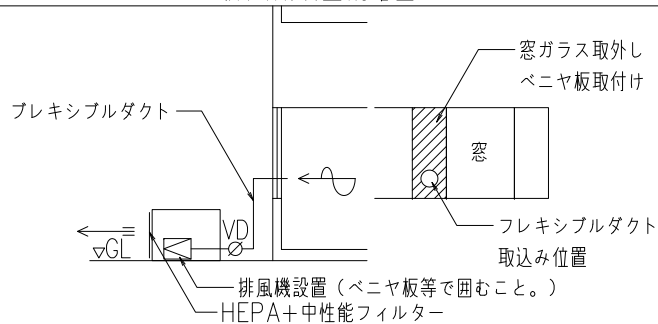


step3

- 3) step1、2で改修したエリアに朱書きの通りのレイアウトに什器・備品の設置(病院工事)、機器の設置(病院工事)を行い本体工事との接続工事を行い準備・作業、D I、スタッフの仮運用を開始する。
- 4) 注射管理、D I、調剤室1/2(一部)の什器・備品・機器の移設(病院工事)を行う。
仮設間仕切を設置し図示工事範囲の本体工事を行う。
- 5) 待合ホールの本体工事(設備更新・天井やり替え)を居ながら工事でこの時期までに完了させる。

- ・病院備品を示す(病院側工事にて【移設】又は【撤去】)

排風機設置概略図



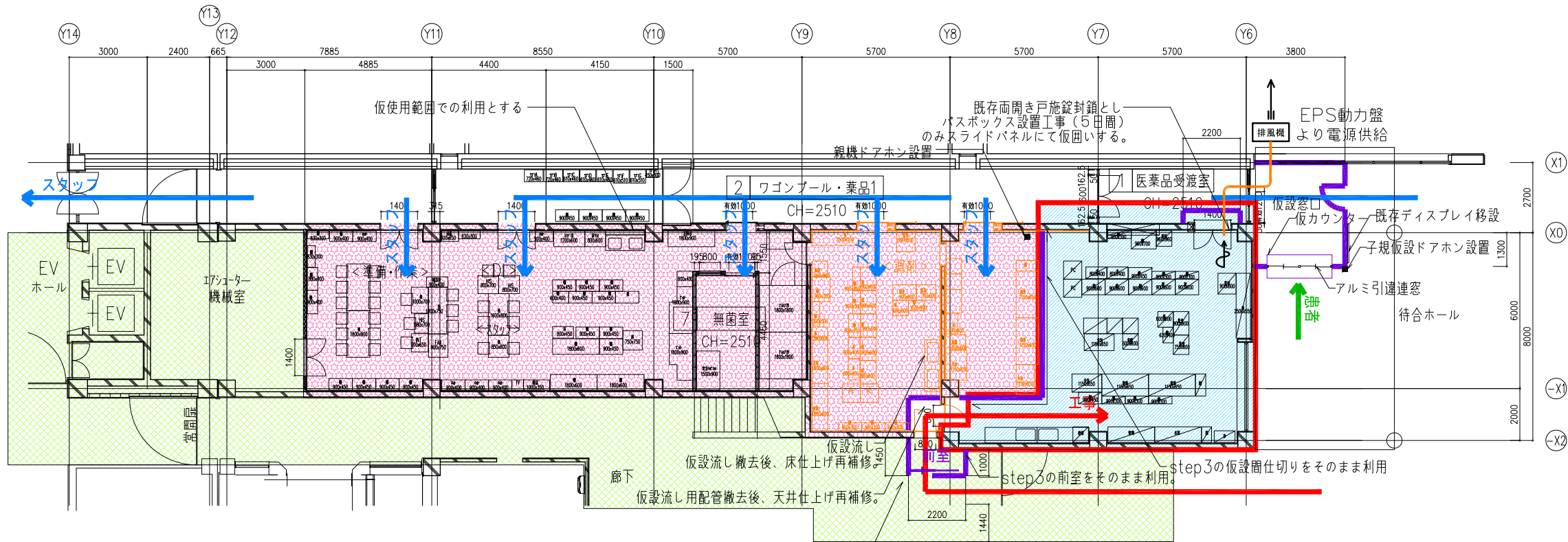
給気は建具などの隙間からとし、アスペルギルス対策として、改修工事エリアを-5Pa陰圧となるよう風量調整すること。
・排風機用の電源線として、EM-CE3.5-4Cを50m見込むこと。
・工事期間中は、排風機(4,000CMH)を5台設置する。
・設置方法は上図による。排気口にはHEPAフィルターを設置すること。
・フレキシブルダクト設置は、破壊等のないよう適切に行うこと。改修済みのエリアに設置する際は養生を行い、傷や汚れ等のないよう十分注意すること。

特記事項

- ・工事請負者は原則、本計画図を基に施工を行うこと。関係法令、施工条件等により必要があれば監督員及び工事監理者等と協議すること。
- ・工事期間中は居ながら工事となる為、それらの運用を配慮し、安全計画には十分注意すること。
- ・資材置場等については、基本的に工事利用範囲内とする。但し、一時的にその他の場所が必要となる場合は、監督職員と協議して了解を得る事。
- ・工事は平日主体で行うが、騒音・振動をとまう工事は土休日に行うこと。1階検査部門の脳波室に隣接する室および上部階においては、営業時間内は騒音・振動をとまう工事は行えないものとする。
- ・廊下の居ながら工事については土休日主体で行う。平日はシートで養生すること。
- ・資材搬入は休日主体で行うこと。平日に行う場合は営業時間外で行うこと。
- 搬入で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、資材にはブルーシート等で養生を行うこと。
- ・工事作業員は原則、直接外部に面する出入口や窓から工事エリアに出入りすること。外部からの出入口がない工事エリアへの経路で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、工事エリア内で着用する作業服での通行は禁止とする。
- ・改修工事中はEPSから改修対象箇所の周の天井改修も含むものとする。
- ・E棟EPSに切替電源盤を設置し、電源の仮設切回し配線として切替電源盤主幹2次側から改修対象箇所までEEF2.0-3C 50m×10本を見込むこと。
- ・LAN設備の仮設配管としてPF管(16)を20m見込むこと。

凡例

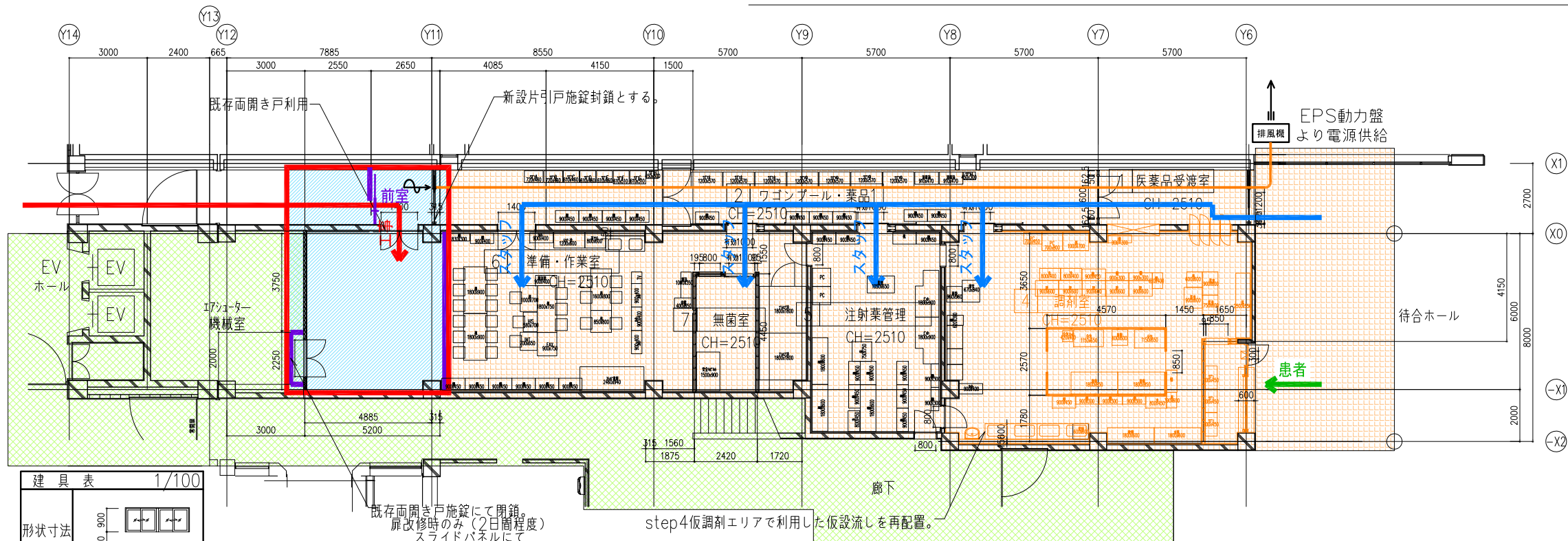
—	仮設間仕切:LGS90下地+PB+12.5(両面) ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
+	仮設扉:アルミ製片引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
D	仮設扉:アルミ製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
防火区画	仮設間仕切(防火壁):LGS100下地+PB+21+PB+21(片面) ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと 仮設扉(特定防火設備):鋼製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置
待防	仮囲い:スライドパネル H=2510
□	工事範囲
□	移転範囲
□	居ながら工事範囲(土日主体)
□	改修工事中範囲
□	改修済み範囲
□	仮使用範囲
→	工事動線
→	患者動線
→	スタッフ動線



既存配管を利用し、仮設流しの給排水を行う。

step4

- 6) 仮設窓口を設置する。
7) step3で改修したエリアに朱書きの通りのレイアウトに什器・備品の配置（病院工事）、機器の設置（病院工事）を行い、本体工事との接続工事を行う。
仮く調剤>エリアに改修後の調剤室に新設する流しを仮設置する。
8) 調剤室2/2（一部）を移転（病院工事）し、仮設間仕切りを設置し図示工事範囲の本体工事を行う。工事エリアへは廊下側から出入りする。
工事完了後、仮く調剤>エリアの仮設流しを撤去し、床仕上げと天井の再補修を行う。



step5

- 9) step4改修エリアの工事完了後、朱書きレイアウトのように什器・備品・機器を設置（病院工事）、新設機器の設置（病院工事）、仮く調剤>の仮設流しの移設を行い、本体工事との接続工事を行う。
10) 仮設窓口を解体し、改修後の窓口の運用を開始する。
11) 図示工事範囲に仮設間仕切りを設置し、本体工事を行う。工事エリアへは廊下側から出入りする。
12) 廊下の本体工事（設備更新、天井やり替え）を居ながら工事でこの時期までに完成させる。

建具表 1/100	
形状寸法	
形式	アルミ製引違窓（カウンター窓）
設置場所	仮設窓口
W x H	2400 x 900
見込	70
硝子	T+5
仕上	シルバー
錠前類	クレセント

排風機設置概略図	
	窓ガラス取外し ベニヤ板取付け フレキシブルダクト 取込み位置 排風機設置（ベニヤ板等で囲むこと。） HEPA+中性性能フィルター
給気は建具などの隙間からとし、アスペルギルス対策として、改修工事エリアを-5Pa陰圧となるよう風量調整すること。 ・排風機用の電源線として、EM-CE3.5-4Cを50m見込むこと。 ・工事期間中は、排風機（4,000CMH）を5台設置する。 ・設置方法は上図による。排気口にはHEPAフィルターを設置すること。 ・フレキシブルダクト設置は、破損等のないよう適切に行うこと。改修済みのエリアに設置する際は養生を行い、傷や汚れ等のないよう十分注意すること。	
特記事項	
・工事請負者は原則、本計画図を基に施工を行うこと。関係法令、施工条件等により必要があれば監督員及び工事監理者等と協議すること。 ・工事期間中は居ながら工事となる為、それらの運用を配慮し、安全計画には十分注意すること。 ・資材置場等については、基本的に工事利用範囲内とする。但し、一時的にその他の場所が必要となる場合は、監督職員と協議して了解を得る事。 ・工事は平日主体で行うが、騒音・振動をとまう工事は土休日に行うこと。1階検査部門の脳波室に隣接する室および上部階においては、営業時間内は騒音・振動をとまう工事は行えないものとする。 ・廊下の居ながら工事については土休日主体で行う。平日はシートで養生すること。 ・資材搬出入は休日主体で行うこと。平日に行う場合は営業時間外で行うこと。 搬出入で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、資材にはブルーシート等で養生を行うこと。 ・工事作業員は原則、直接外部に面する出入口や窓から工事エリアに出入りすること。外部からの出入口がない工事エリアへの経路で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、工事エリア内で着用する作業服での通行は禁止とする。 ・改修工事中はEPSから改修対象箇所の周の天井改修も含むものとする。 ・E棟EPSに切替電源盤を設置し、電源の仮設切回し配線として切替電源盤主幹2次側から改修対象箇所までEEF2.0-3C 50m×10本を見込むこと。 ・LAN設備の仮設配管としてPF管（16）を20m見込むこと。	
凡例	
	仮設間仕切：LGS90下地+PB+12.5（両面） ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
	仮設扉：アルミ製引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
	仮設扉：アルミ製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
	仮設間仕切（防火壁）：LGS100下地+PB+21+PB+21（片面） ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと 仮設扉（特定防火設備）：鋼製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置
	仮囲い：スライドパネル H=2510
	工事範囲
	移転範囲
	居ながら工事範囲（土日主体）
	改修工事中範囲
	改修済み範囲
	仮使用範囲
	工事動線
	患者動線
	スタッフ動線

株式会社 日立建設設計

禁複製 無断転載禁止
Copyright Hitachi Architects & Engineers Co., Ltd. All rights reserved.

製図日 2001.09.01
改訂日 2017.04.01
文庫番号 F02-G04-1704

REVISION

竣工図（責任者）
作製日付 年 月 日
作製者

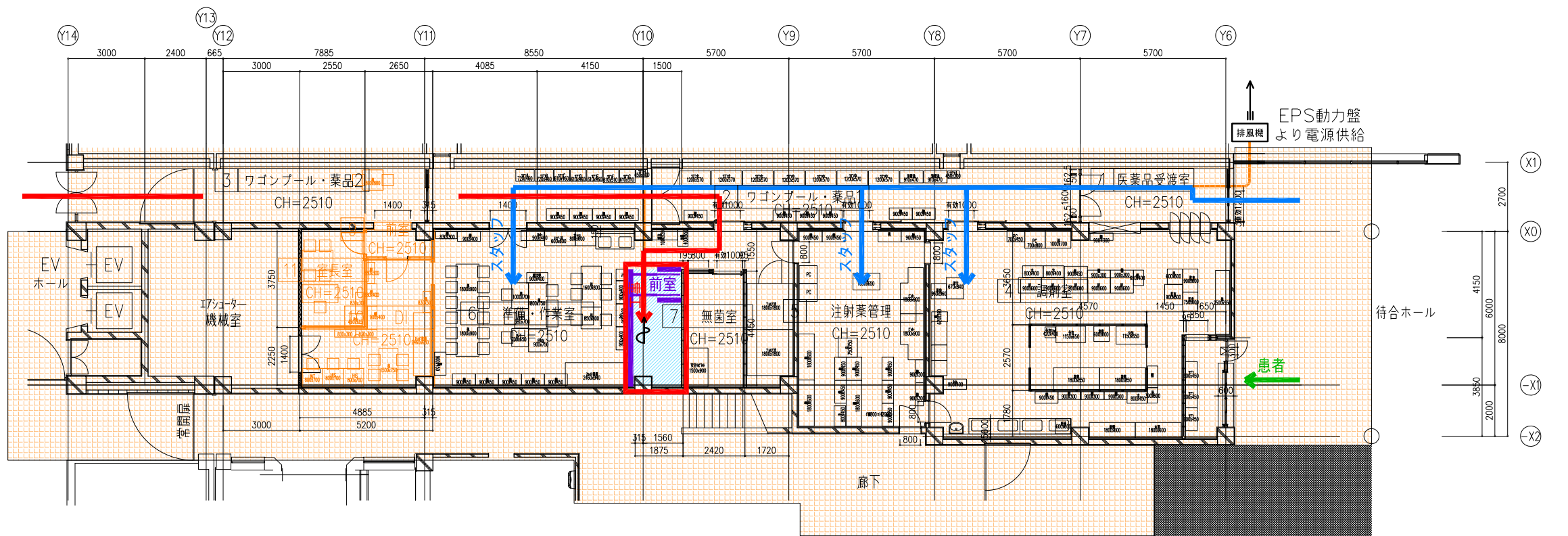
APPD. 田中
CHKD. 磯目
OWN. 望月

DATE 2019.03.29
SCALE 1:100
(A3) 1:200

JOB-NAME 静岡県立こども病院本館リニューアル工事
TITLE 仮設計画図-5 - 薬剤部門（3） -

DWG.NO.

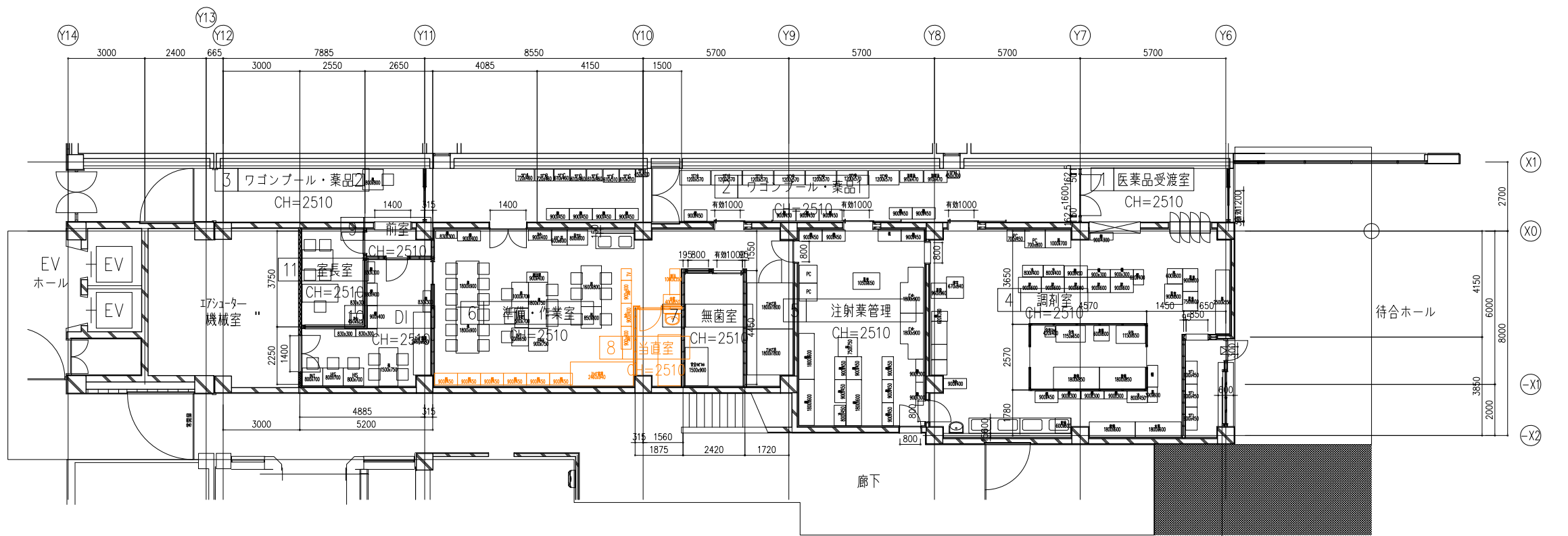
D - 74



step6

13) 準備作業室の備品・什器の一部移設（病院工事）を行い、仮設間仕切りを設置し
図示工事範囲の本体工事を行い当直室へ改修する。

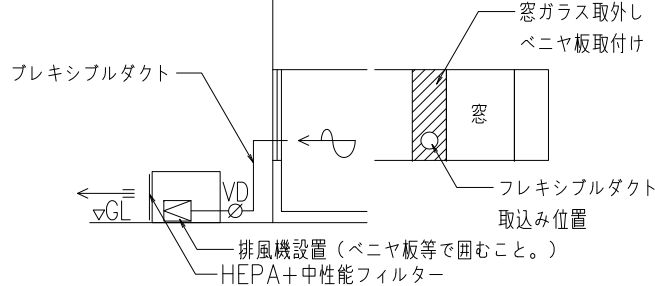
・病院備品を示す
（病院側工事にて【移設】又は【撤去】）



step6完了後（完成）

・病院備品を示す
（病院側工事にて【移設】又は【撤去】）

排風機設置概略図



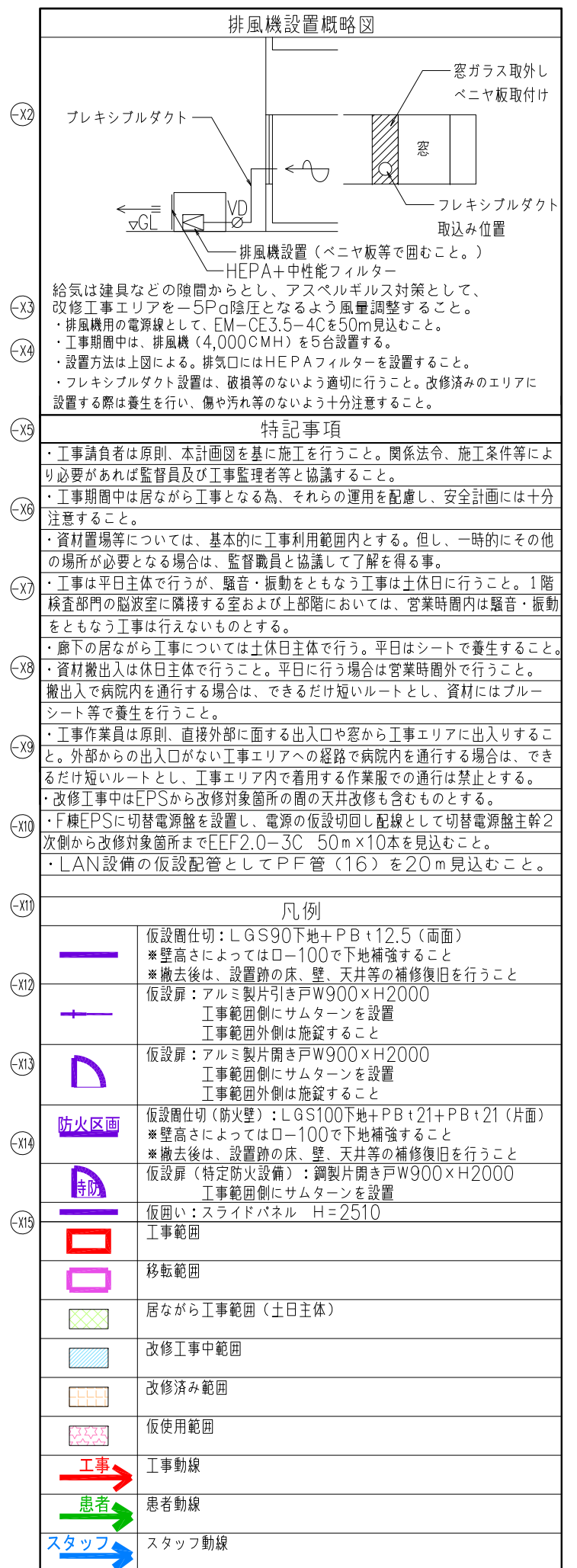
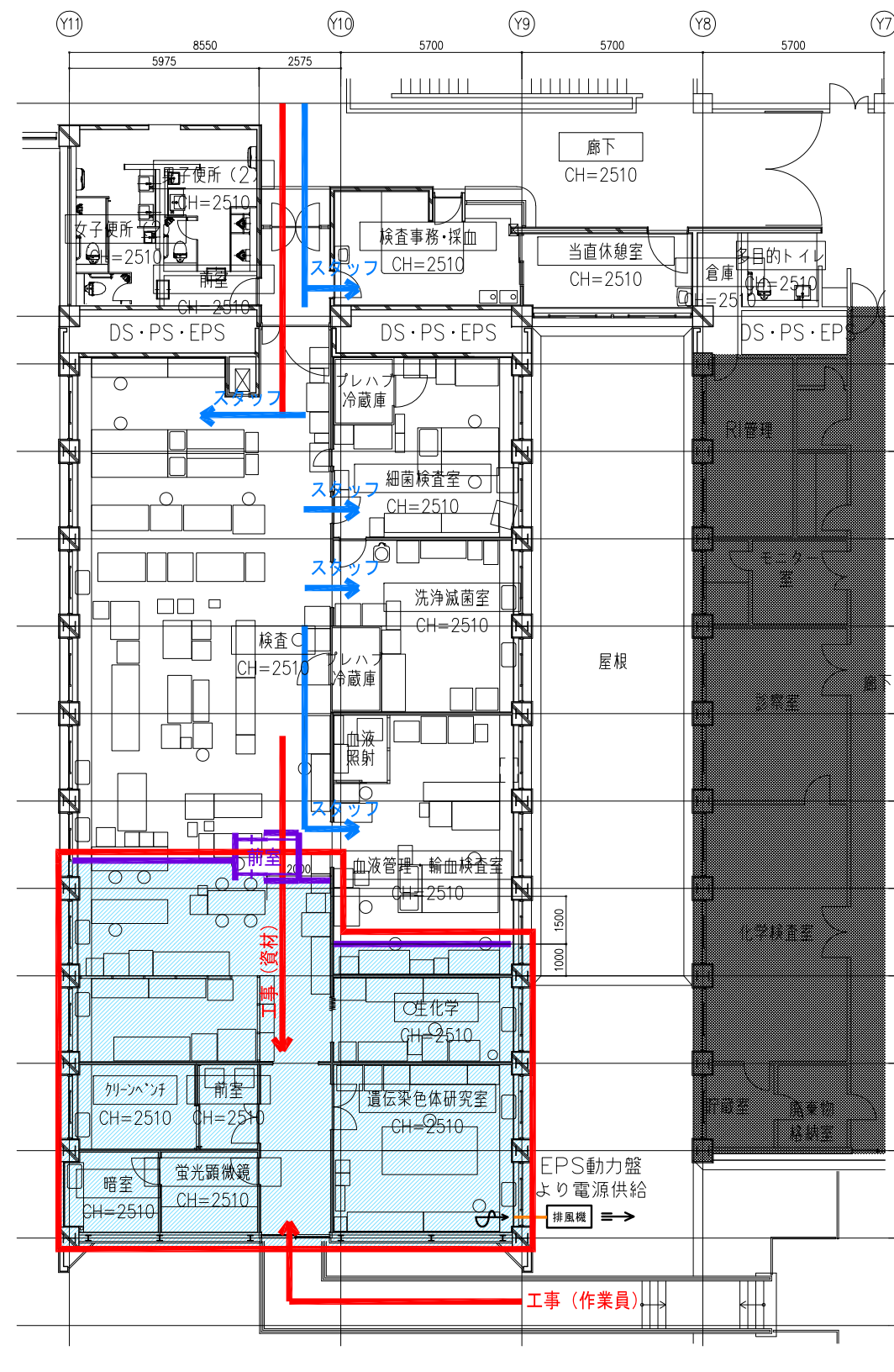
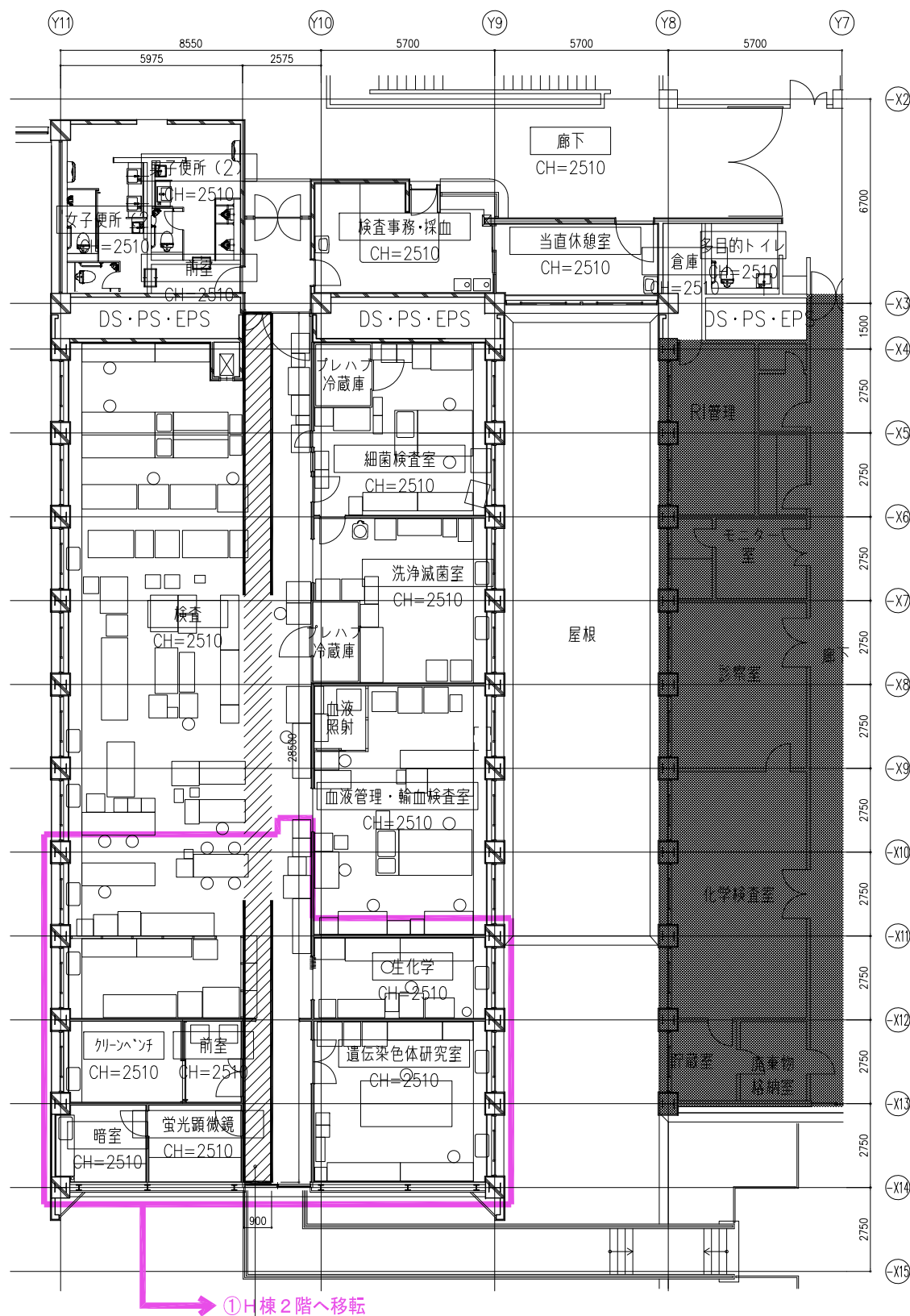
給気は建具などの隙間からとし、アスベルギルス対策として、
改修工事エリアを -5Pa 陰圧となるよう風量調整すること。
・排風機用の電源線として、EM-CE3.5-4Cを50m見込むこと。
・工事期間中は、排風機（4,000 CMH ）を5台設置する。
・設置方法は上図による。排気口にはHEPAフィルターを設置すること。
・フレキシブルダクト設置は、破損等のないよう適切に行うこと。改修済みのエリアに
設置する際は養生を行い、傷や汚れ等のないよう十分注意すること。

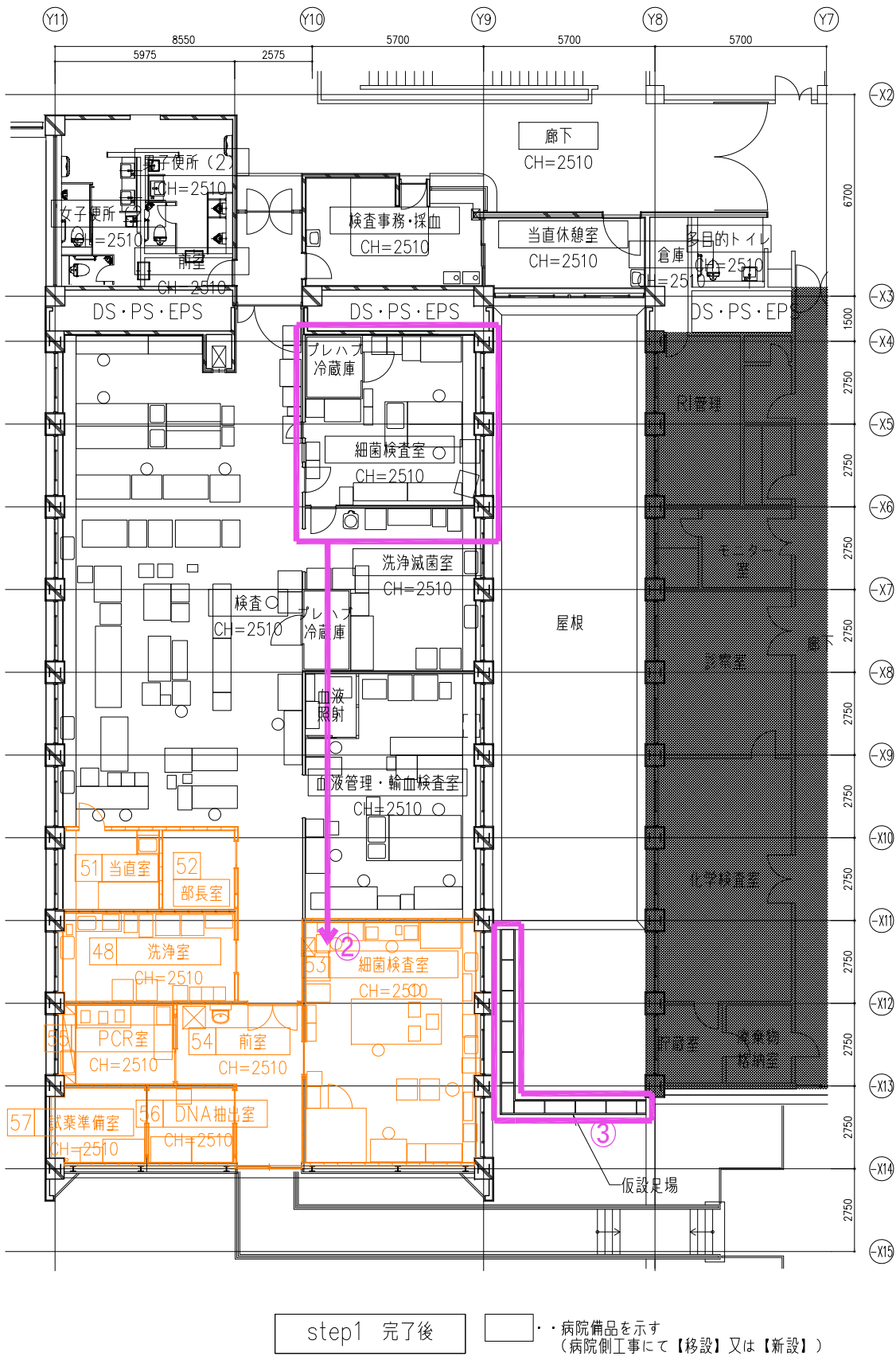
特記事項

- ・工事請負者は原則、本計画図を基に施工を行うこと。関係法令、施工条件等により必要があれば監督員及び工事監理者等と協議すること。
- ・工事期間中は居ながら工事となる為、それらの運用を配慮し、安全計画には十分注意すること。
- ・資材置場等については、基本的に工事利用範囲内とする。但し、一時的にその他の場所が必要となる場合は、監督職員と協議して了解を得る事。
- ・工事は平日主体で行うが、騒音・振動をとまう工事は土休日に行うこと。1階検査部門の脳波室に隣接する室および上部階においては、営業時間内は騒音・振動をとまう工事は行えないものとする。
- ・廊下の居ながら工事については土休日主体で行う。平日はシートで養生すること。
- ・資材搬出入は休日主体で行うこと。平日に行う場合は営業時間外で行うこと。
- ・搬出入で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、資材にはブルーシート等で養生を行うこと。
- ・工事作業員は原則、直接外部に面する出入口や窓から工事エリアに出入りすること。外部からの出入口がない工事エリアへの経路で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、工事エリア内で着用する作業服での通行は禁止とする。
- ・改修工事中はEPSから改修対象箇所の周の天井改修も含むものとする。
- ・E棟EPSに切替電源盤を設置し、電源の仮設切回し配線として切替電源盤主幹2次側から改修対象箇所までEEF2.0-3C 50 m ×10本を見込むこと。
- ・LAN設備の仮設配管としてPF管（16）を20 m 見込むこと。

凡例

	仮設間仕切：LGS90下地+PB ± 12.5 （両面） ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
	仮設扉：アルミ製片引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
	仮設扉：アルミ製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
	仮設間仕切（防火壁）：LGS100下地+PB ± 21 +PB ± 21 （片面） ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
	仮設扉（特定防火設備）：鋼製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置
	仮囲い：スライドパネル H=2510
	工事範囲
	移転範囲
	居ながら工事範囲（土日主体）
	改修工事中範囲
	改修済み範囲
	仮使用範囲
	工事動線
	患者動線
	スタッフ動線



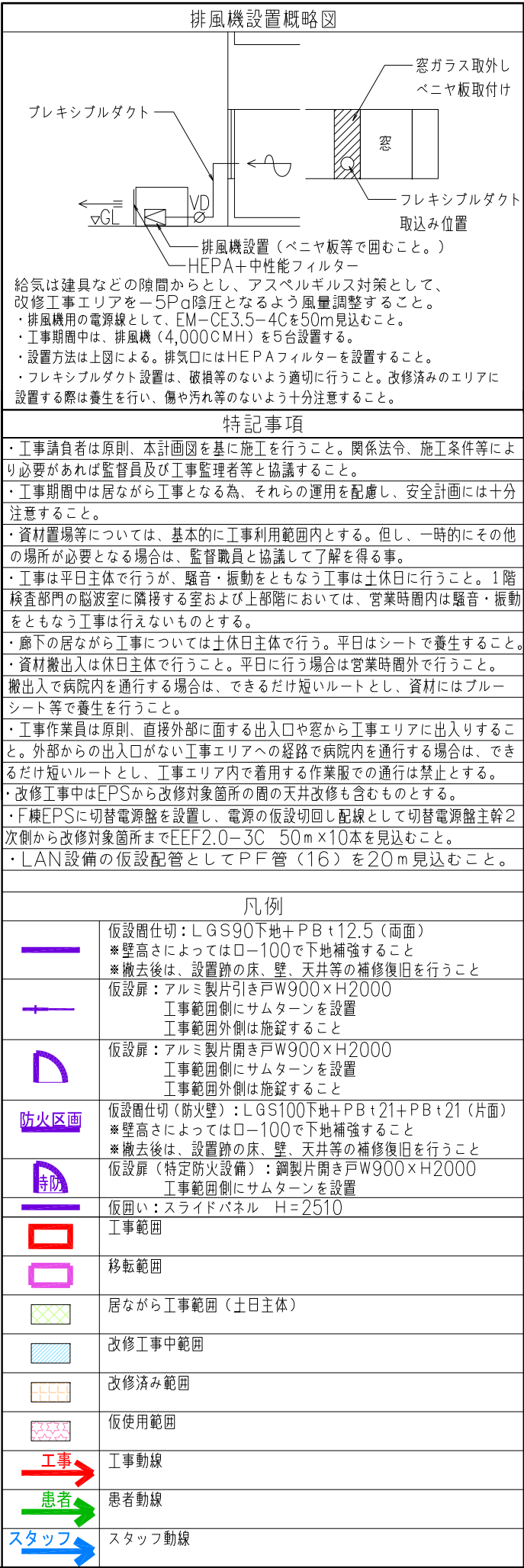


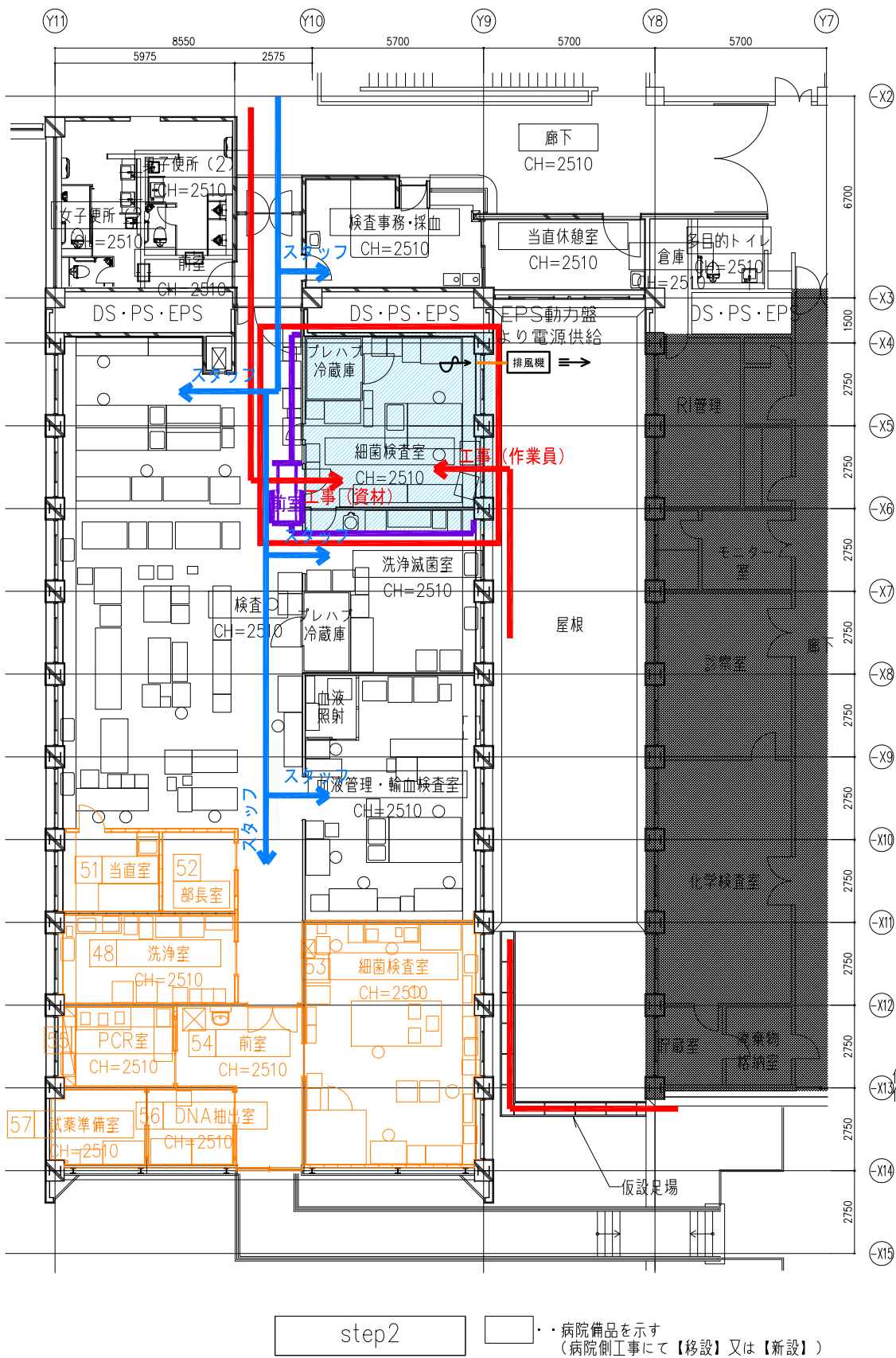
step1 完了後

・病院備品を示す
(病院側工事にて【移設】又は【新設】)

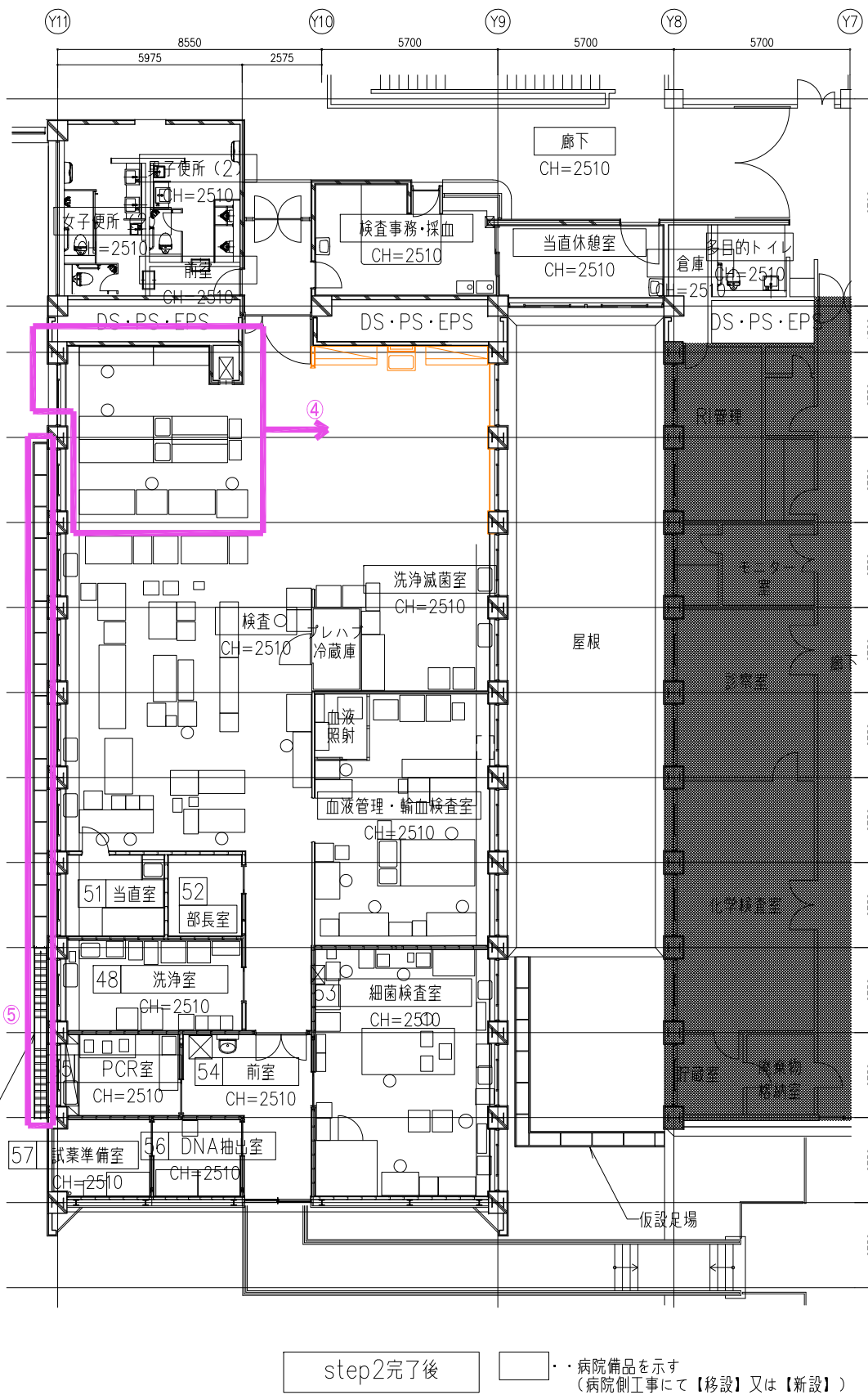
② 改修後のエリアに朱書きレイアウトの通りに什器・備品・機器の移設（病院工事）、
新設機器の設置（病院工事）を行い、本体工事との接続工事を行う。【本稼働】

③ 仮設足場を図の通りに設置する。





1) 図示工事範囲の本体工事を行う。
作業員は屋外から工事エリアに出入りする。
工事資材は、営業時間外および休日に限り、廊下からの搬出入を可能とする。



④ 旧一般検査の什器・備品・機器の仮移設（病院工事）を行う。

⑤ Y11通り沿いに仮設足場を設置する。

排風機設置概略図

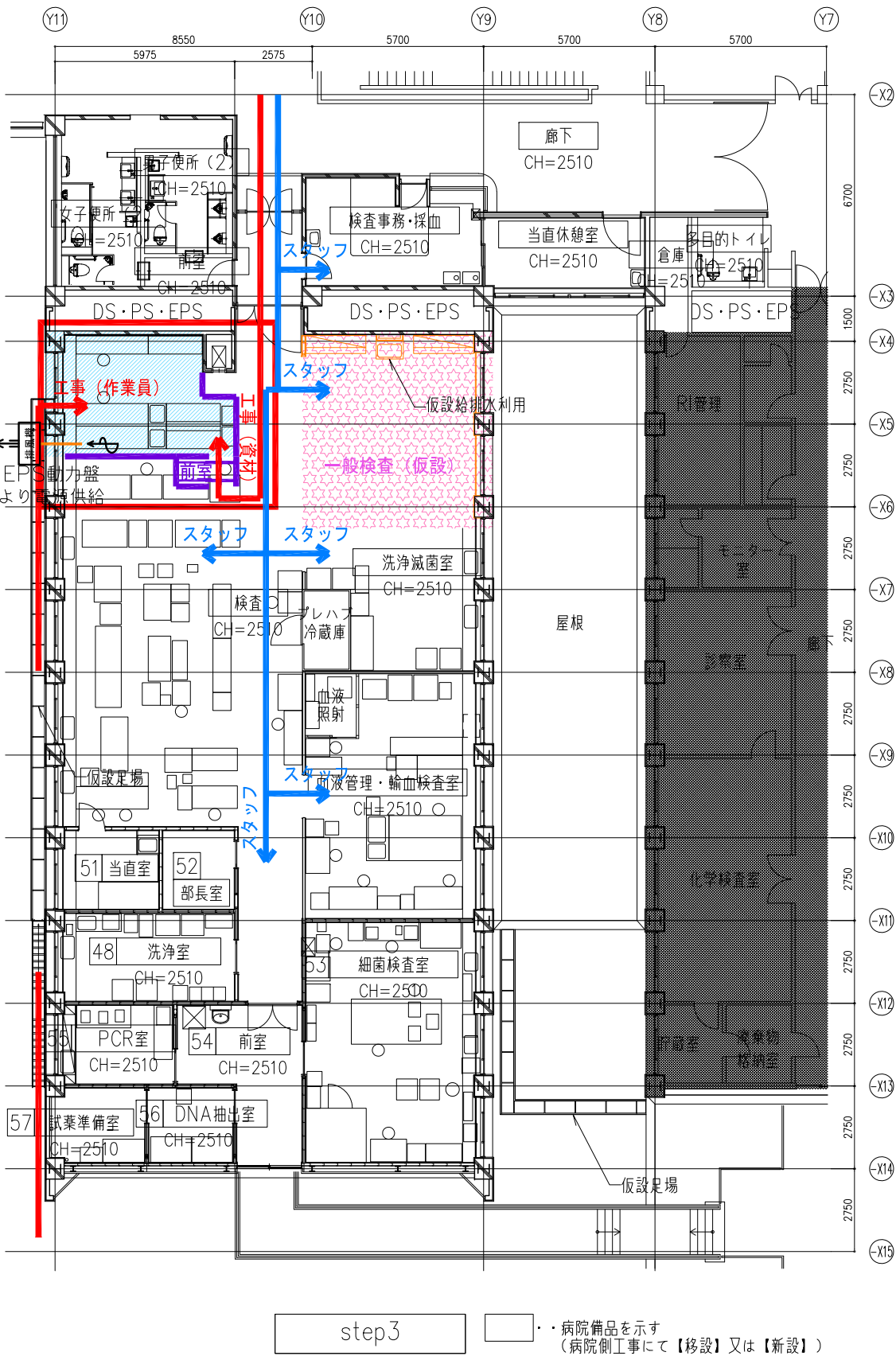
給気は建具などの隙間からとし、アスペルギルス対策として、改修工事エリアを -5Pa 陰圧となるよう風量調整すること。
・排風機用の電源線として、EM-CE3.5-4Cを50m見込むこと。
・工事期間中は、排風機(4,000CMH)を5台設置する。
・設置方法は上図による。排気口にはHEPAフィルターを設置すること。
・フレキシブルダクト設置は、破損等のないよう適切に行うこと。改修済みのエリアに設置する際は養生を行い、傷や汚れ等のないよう十分注意すること。

特記事項

- ・工事請負者は原則、本計画図を基に施工を行うこと。関係法令、施工条件等により必要があれば監督員及び工事監理者等と協議すること。
- ・工事期間中は居ながら工事となる為、それらの運用を配慮し、安全計画には十分注意すること。
- ・資材置場等については、基本的に工事利用範囲内とする。但し、一時的にその他の場所が必要となる場合は、監督職員と協議して了解を得る事。
- ・工事は平日主体で行うが、騒音・振動をとまう工事は土休日に行うこと。1階検査部門の脳波室に隣接する室および上部階においては、営業時間内は騒音・振動をとまう工事は行えないものとする。
- ・廊下の居ながら工事については土休日主体で行う。平日はシートで養生すること。
- ・資材搬出入は休日主体で行うこと。平日に行う場合は営業時間外で行うこと。搬出入で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、資材にはブルーシート等で養生を行うこと。
- ・工事作業員は原則、直接外部に面する出入口や窓から工事エリアに出入りすること。外部からの出入口がない工事エリアへの経路で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、工事エリア内で着用する作業服での通行は禁止とする。
- ・改修工事中はEPSから改修対象箇所の周囲の天井改修も含むものとする。
- ・F棟EPSに切替電源盤を設置し、電源の仮設切回し配線として切替電源盤主幹2次側から改修対象箇所までEEF2.0-3C 50m×10本を見込むこと。
- ・LAN設備の仮設配管としてPF管(16)を20m見込むこと。

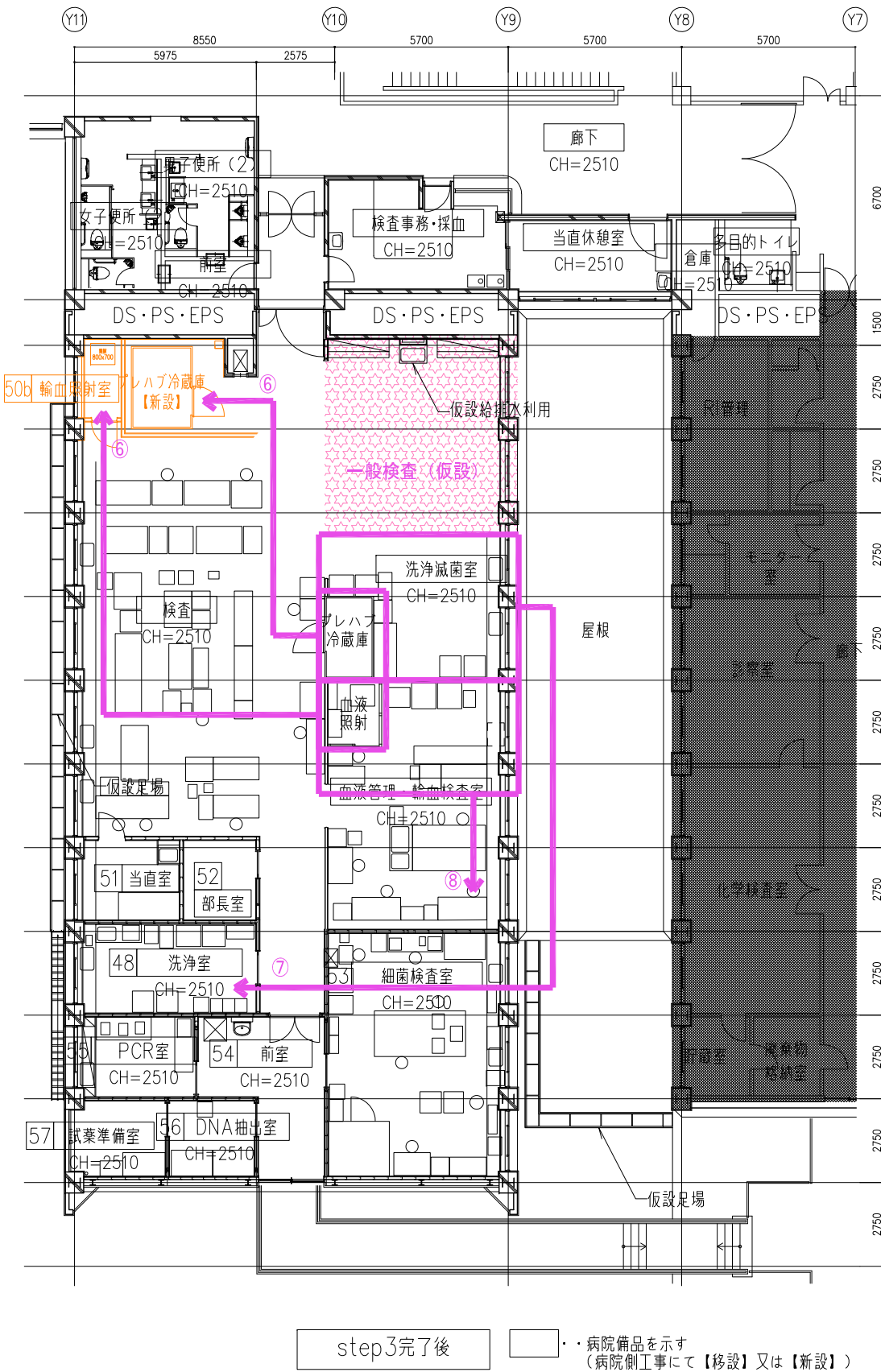
凡例

	仮設間仕切：LGS90下地+PB+12.5(両面) ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
	仮設扉：アルミ製片引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
	仮設扉：アルミ製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
	防火区画 仮設間仕切(防火壁)：LGS100下地+PB+21+PB+21(片面) ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと 仮設扉(特定防火設備)：鋼製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置
	仮囲い：スライドパネル H=2510
	工事範囲
	移転範囲
	居ながら工事範囲(土日主体)
	改修工事中範囲
	改修済み範囲
	仮使用範囲
	工事動線
	患者動線
	スタッフ動線



1) 図示工事範囲の本体工事を行う。
作業員は屋外から工事エリアに出入りする。
工事資材は、営業時間外及び休日に限り廊下からの搬出入を可能とする。

2) 一般検査を仮設で運用する。



⑥ 血液照射装置の移転（病院工事）、新設プレハブ冷蔵庫を設置（病院工事）を行い、本体工事との接続工事を行う。【本稼働】

⑦ 旧洗浄滅菌室から改修後の新洗浄室への什器・備品・機器の移設（病院工事）、新設機器の設置（病院工事）を行い、本体工事との接続工事を行う。【本稼働】

⑧ 旧血液管理・輸血検査室の什器・備品・機器の仮移設（病院工事）を行う。

排風機設置概略図

給気は建具などの隙間からとし、アスペルギルス対策として、改修工事エリアを -5Pa 陰圧となるよう風量調整すること。

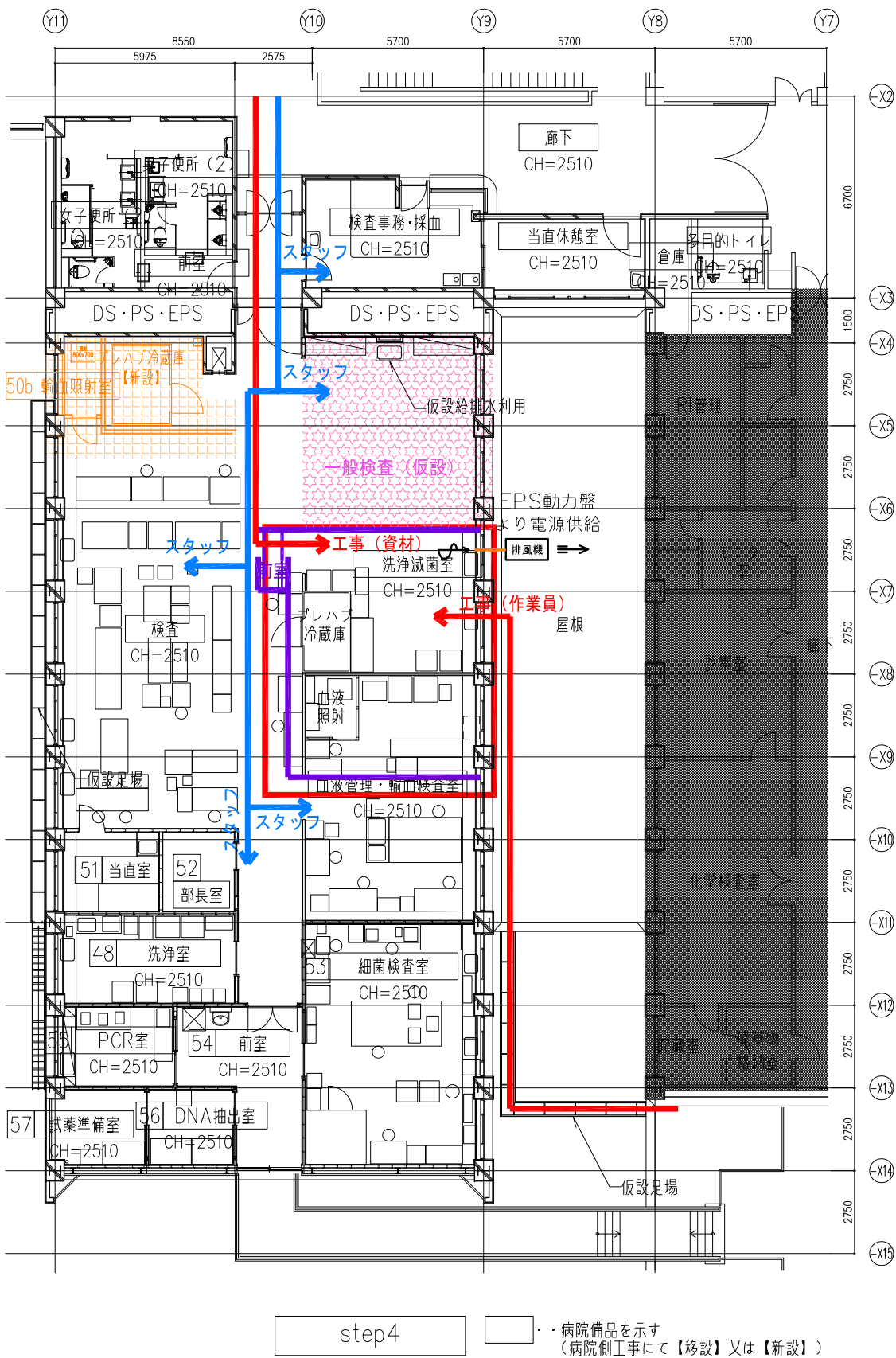
- ・排風機用の電源線として、EM-CE3.5-4Cを50m見込むこと。
- ・工事期間中は、排風機（4,000 CMH ）を5台設置する。
- ・設置方法は上図による。排気口にはHEPAフィルターを設置すること。
- ・フレキシブルダクト設置は、破損等のないよう適切に行うこと。改修済みのエリアに設置する際は養生を行い、傷や汚れ等のないよう十分注意すること。

特記事項

- ・工事請負者は原則、本計画図を基に施工を行うこと。関係法令、施工条件等により必要があれば監督員及び工事監理者等と協議すること。
- ・工事期間中は居ながら工事となる為、それらの運用を配慮し、安全計画には十分注意すること。
- ・資材置場等については、基本的に工事利用範囲内とする。但し、一時的にその他の場所が必要となる場合は、監督職員と協議して了解を得る事。
- ・工事は平日主体で行うが、騒音・振動をとまう工事は土休日に行うこと。1階検査部門の脳波室に隣接する室および上部階においては、営業時間内は騒音・振動をとまう工事は行えないものとする。
- ・廊下の居ながら工事については土休日主体で行う。平日はシートで養生すること。
- ・資材搬出入は休日主体で行うこと。平日に行う場合は営業時間外で行うこと。搬出入で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、資材にはブルーシート等で養生を行うこと。
- ・工事作業員は原則、直接外部に面する出入口や窓から工事エリアに出入りすること。外部からの出入口がない工事エリアへの経路で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、工事エリア内で着用する作業服での通行は禁止とする。
- ・改修工事中はEPSから改修対象箇所の周囲の天井改修も含むものとする。
- ・F棟EPSに切替電源盤を設置し、電源の仮設切回し配線として切替電源盤主幹2次側から改修対象箇所までEEF2.0-3C 50 m ×10本を見込むこと。
- ・LAN設備の仮設配管としてPF管（16）を20 m 見込むこと。

凡例

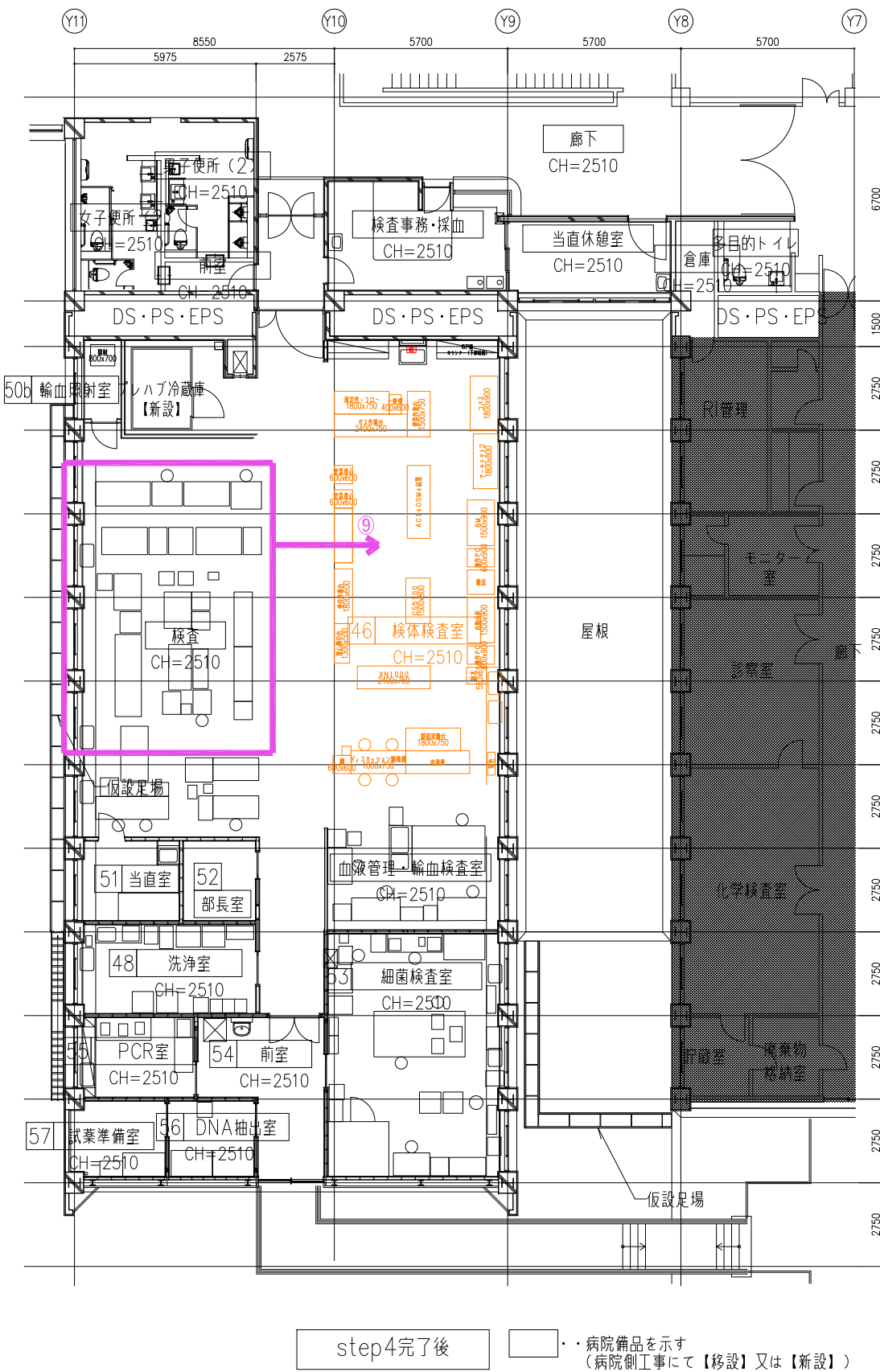
—	仮設間仕切：LGS90下地+PB+12.5（両面） ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
+	仮設扉：アルミ製片引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
D	仮設扉：アルミ製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
防火区画	仮設間仕切（防火壁）：LGS100下地+PB+21+PB+21（片面） ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
特防	仮設扉（特定防火設備）：鋼製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置
仮囲い	仮囲い：スライドパネル H=2510
工事範囲	工事範囲
移転範囲	移転範囲
居ながら工事範囲（土日主体）	居ながら工事範囲（土日主体）
改修工事中範囲	改修工事中範囲
改修済み範囲	改修済み範囲
仮使用範囲	仮使用範囲
工事	工事動線
患者	患者動線
スタッフ	スタッフ動線



step4

・病院備品を示す
(病院側工事にて【移設】又は【新設】)

1) 図示工事範囲の一般検査2/2の本体工事を行う。



step4完了後

・病院備品を示す
(病院側工事にて【移設】又は【新設】)

⑨ 旧一般検査から改修後の新検体検査室への什器・備品・機器の移設(病院工事)、新設機器の設置(病院工事)を行い、本体工事との接続工事を行う。【本稼働】

排風機設置概略図

プレキシブルダクト

窓ガラス取外し
ベニヤ板取付け

窓

フレキシブルダクト
取込み位置

排風機設置(ベニヤ板等で囲むこと。)
HEPA+中性能フィルター

給気は建具などの隙間からとし、アスベルギルス対策として、
改修工事エリアを-5Pa陰圧となるよう風量調整すること。
・排風機用の電源線として、EM-CE3.5-4Cを50m見込むこと。
・工事期間中は、排風機(4,000CMH)を5台設置する。
・設置方法は上図による。排気口にはHEPAフィルターを設置すること。
・フレキシブルダクト設置は、破損等のないよう適切に行うこと。改修済みのエリアに
設置する際は養生を行い、傷や汚れ等のないよう十分注意すること。

特記事項

・工事請負者は原則、本計画図を基に施工を行うこと。関係法令、施工条件等により
必要があれば監督員及び工事監理者等と協議すること。
・工事期間中は居ながら工事となる為、それらの運用を配慮し、安全計画には十分
注意すること。
・資材置場等については、基本的に工事利用範囲内とする。但し、一時的にその他の
場所が必要となる場合は、監督職員と協議して了解を得る事。
・工事は平日主体で行うが、騒音・振動をとまう工事は土休日に行うこと。1階
検査部門の脳波室に隣接する室および上部階においては、営業時間内は騒音・振動
をとまう工事は行えないものとする。
・廊下の居ながら工事については土休日主体で行う。平日はシートで養生すること。
・資材搬入は休日主体で行うこと。平日に行う場合は営業時間外で行うこと。
搬入で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、資材にはブルー
シート等で養生を行うこと。
・工事作業員は原則、直接外部に面する出入口や窓から工事エリアに出入りすること。
外部からの出入口がない工事エリアへの経路で病院内を通行する場合は、でき
るだけ短いルートとし、工事エリア内で着用する作業服での通行は禁止とする。
・改修工事中はEPSから改修対象箇所の周囲の天井改修も含むものとする。
・F棟EPSに切替電源盤を設置し、電源の仮設切回し配線として切替電源盤主幹2
次側から改修対象箇所までEEF2.0-3C 50m×10本を見込むこと。
・LAN設備の仮設配管としてPF管(16)を20m見込むこと。

凡例

仮設間仕切: LGS90下地+PB+12.5(両面)
※壁高さによってはロー100で下地補強すること
※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
仮設扉: アルミ製片引き戸W900×H2000
工事範囲側にサムターンを設置
工事範囲外側は施錠すること

仮設扉: アルミ製片開き戸W900×H2000
工事範囲側にサムターンを設置
工事範囲外側は施錠すること

防火区画
仮設間仕切(防火壁): LGS100下地+PB+21+PB+21(片面)
※壁高さによってはロー100で下地補強すること
※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
仮設扉(特定防火設備): 鋼製片開き戸W900×H2000
工事範囲側にサムターンを設置

仮囲い: スライドパネル H=2510

工事範囲

移転範囲

居ながら工事範囲(土日主体)

改修工事中範囲

改修済み範囲

仮使用範囲

工事動線

患者動線

スタッフ動線

株式会社 日立建設設計

禁複製 無断転載禁止
Copyright Hitachi Architects & Engineers Co., Ltd. All rights reserved.

新設日 2001.09.01
改訂日 2017.04.01
文庫番号 F02-G04-1704

REVISION

竣工図 (責任者)

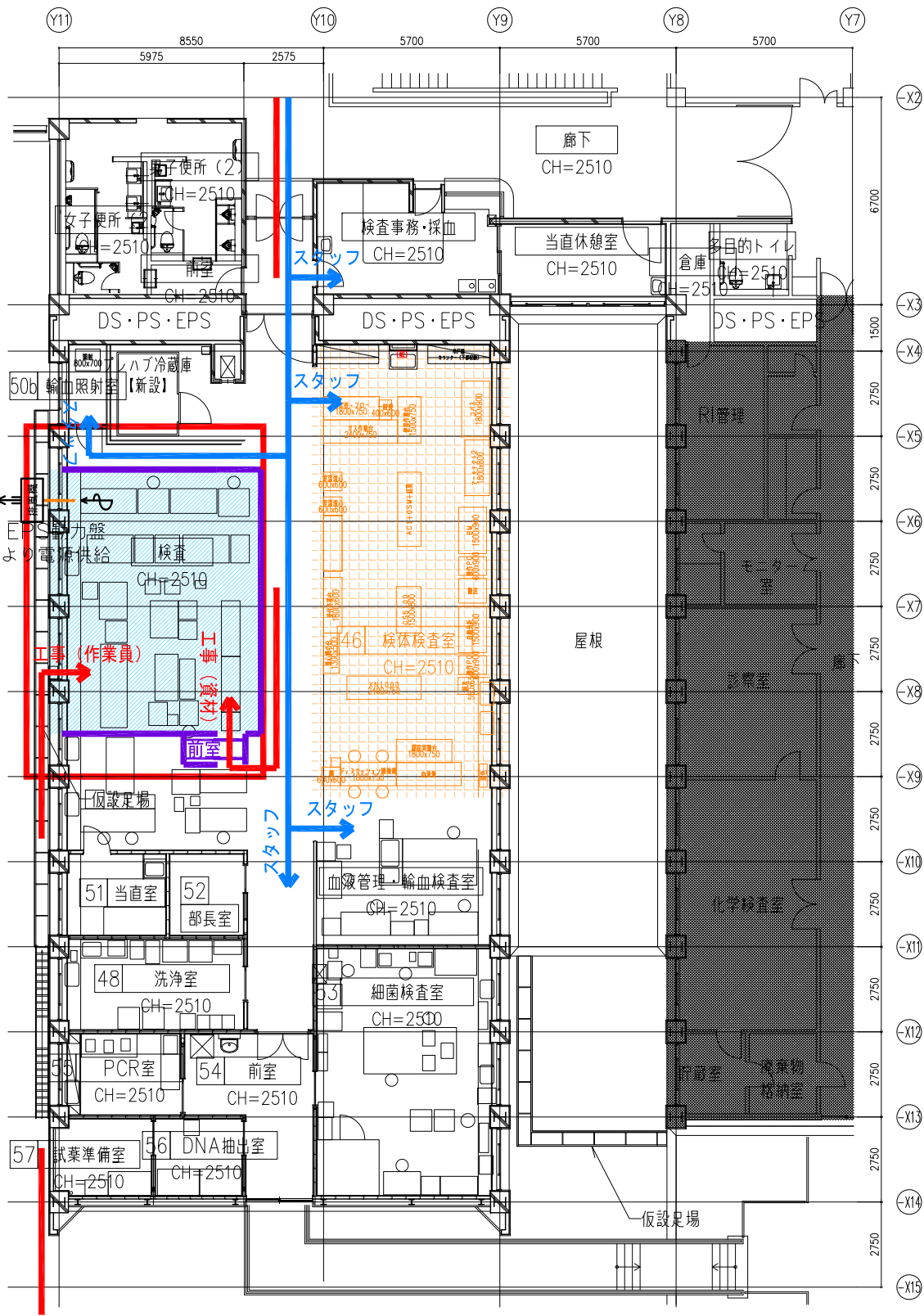
APPO. 田中 裕和
CHKD. 磯田 誠
OWN. 田中 裕和

DATE 2019.03.29
SCALE 1:100
(A3) 1:200

JOB-NAME 静岡県立こども病院本館リニューアル工事
TITLE 仮設計画図-11 臨床検査部門(5)-

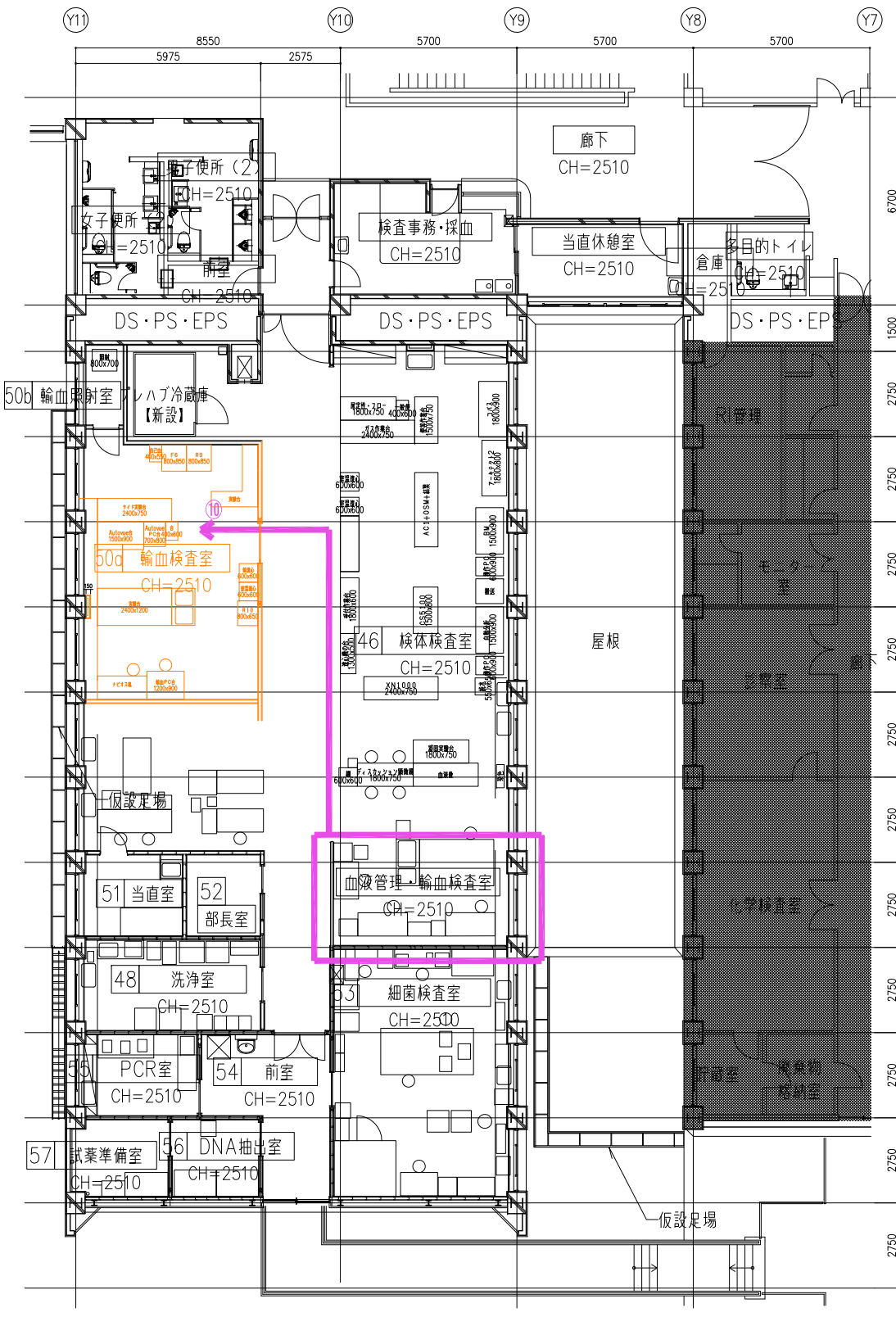
DWG.NO. D-80

一級建築士 第283810号 田中 裕和



step5

・病院備品を示す
(病院側工事にて【移設】又は【新設】)



step5完了後

・病院備品を示す
(病院側工事にて【移設】又は【新設】)

- 1) 図示工事範囲の本体工事を行う。
- 2) 工事完了後、血液照射室への動線部分に仮設間仕切りを設置し step5の工事完了とする。

- ⑩ 仮設の血液管理・輸血検査室から改修後の新輸血検査室への什器・備品・機器の移設 (病院工事)、新設機器の設置 (病院工事) を行い、本体工事との接続工事を行う。
【本移働】

排風機設置概略図

プレキシブルダクト

窓ガラス取外し
ベニヤ板取付け

フレキシブルダクト
取込み位置

排風機設置 (ベニヤ板等で囲むこと。)
HEPA+中性能フィルター

給気は建具などの隙間からとし、アスペルギルス対策として、
改修工事エリアを -5Pa 陰圧となるよう風量調整すること。
・排風機用の電源線として、EM-CE3.5-4Cを50m見込むこと。
・工事期間中は、排風機 (4,000CMH) を5台設置する。
・設置方法は上図による。排気口にはHEPAフィルターを設置すること。
・フレキシブルダクト設置は、破損等のないよう適切に行うこと。改修済みのエリアに
設置する際は養生を行い、傷や汚れ等のないよう十分注意すること。

特記事項

・工事請負者は原則、本計画図を基に施工を行うこと。関係法令、施工条件等により
必要があれば監督員及び工事監理者等と協議すること。
・工事期間中は居ながら工事となる為、それらの運用を配慮し、安全計画には十分
注意すること。
・資材置場等については、基本的に工事利用範囲内とする。但し、一時的にその他の
場所が必要となる場合は、監督職員と協議して了解を得る事。
・工事は平日主体で行うが、騒音・振動をとまう工事は土休日に行うこと。1階
検査部門の脳波室に隣接する室および上部階においては、営業時間内は騒音・振動
をとまう工事は行えないものとする。
・廊下の居ながら工事については土休日主体で行う。平日はシートで養生すること。
・資材搬出入は休日主体で行うこと。平日に行う場合は営業時間外で行うこと。
搬出入で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、資材にはブルー
シート等で養生を行うこと。
・工事作業員は原則、直接外部に面する出入口や窓から工事エリアに出入りすること。
外部からの出入口がない工事エリアへの経路で病院内を通行する場合は、でき
るだけ短いルートとし、工事エリア内で着用する作業服での通行は禁止とする。
・改修工事中はEPSから改修対象箇所の周囲の天井改修も含むものとする。
・F棟EPSに切替電源盤を設置し、電源の仮設切回し配線として切替電源盤主幹2
次側から改修対象箇所までEEF2.0-3C 50m \times 10本を見込むこと。
・LAN設備の仮設配管としてPF管 (16) を20m見込むこと。

凡例

—

仮設間仕切: LGS90下地+PB \pm 12.5 (両面)
※壁高さによってはロー100で下地補強すること
※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと

—

仮設扉: アルミ製片引き戸W900 \times H2000
工事範囲側にサムターンを設置
工事範囲外側は施錠すること

—

防火区画

—

—

—

—

—

—

—

—

工事

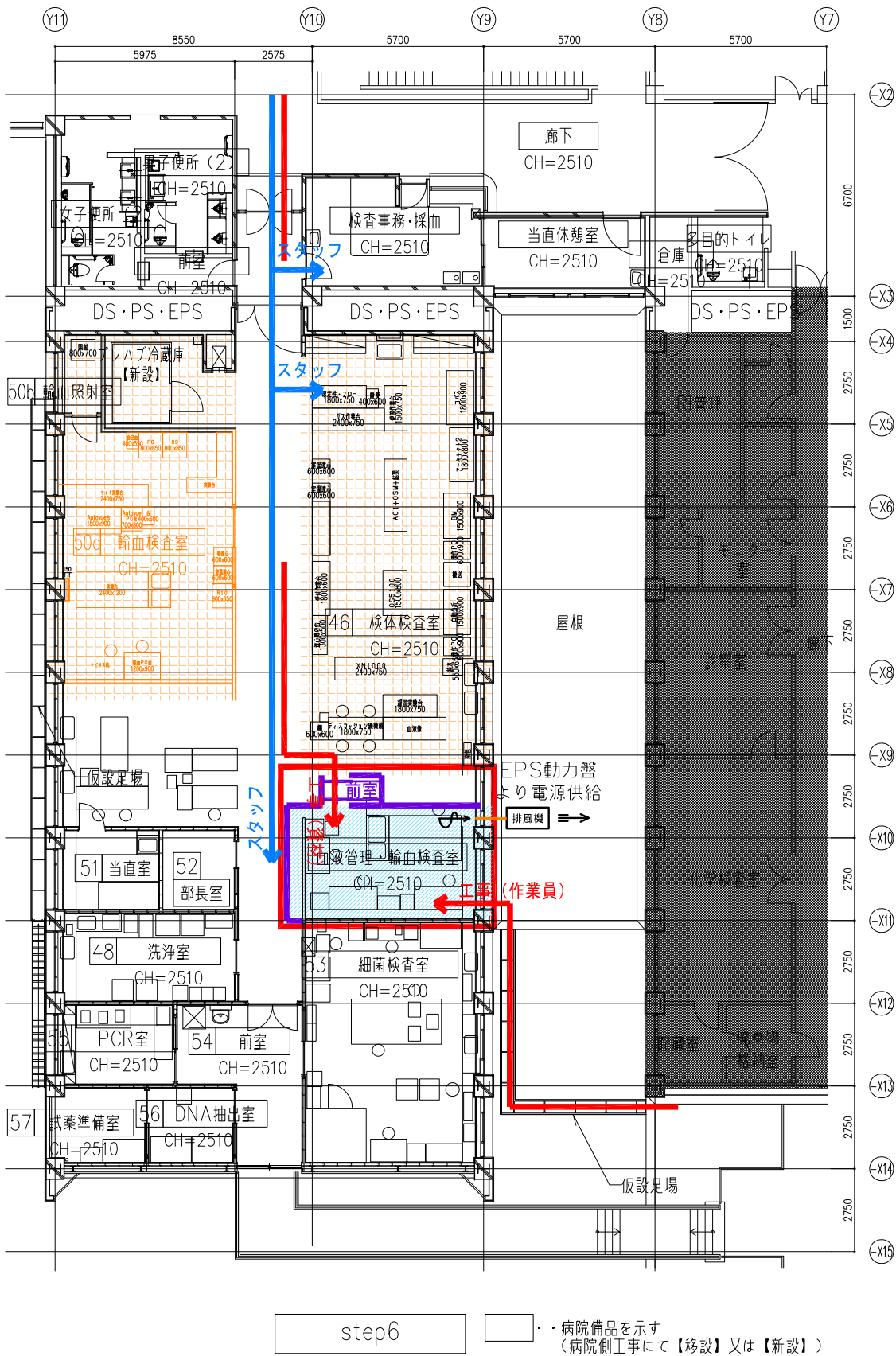
患者

スタッフ

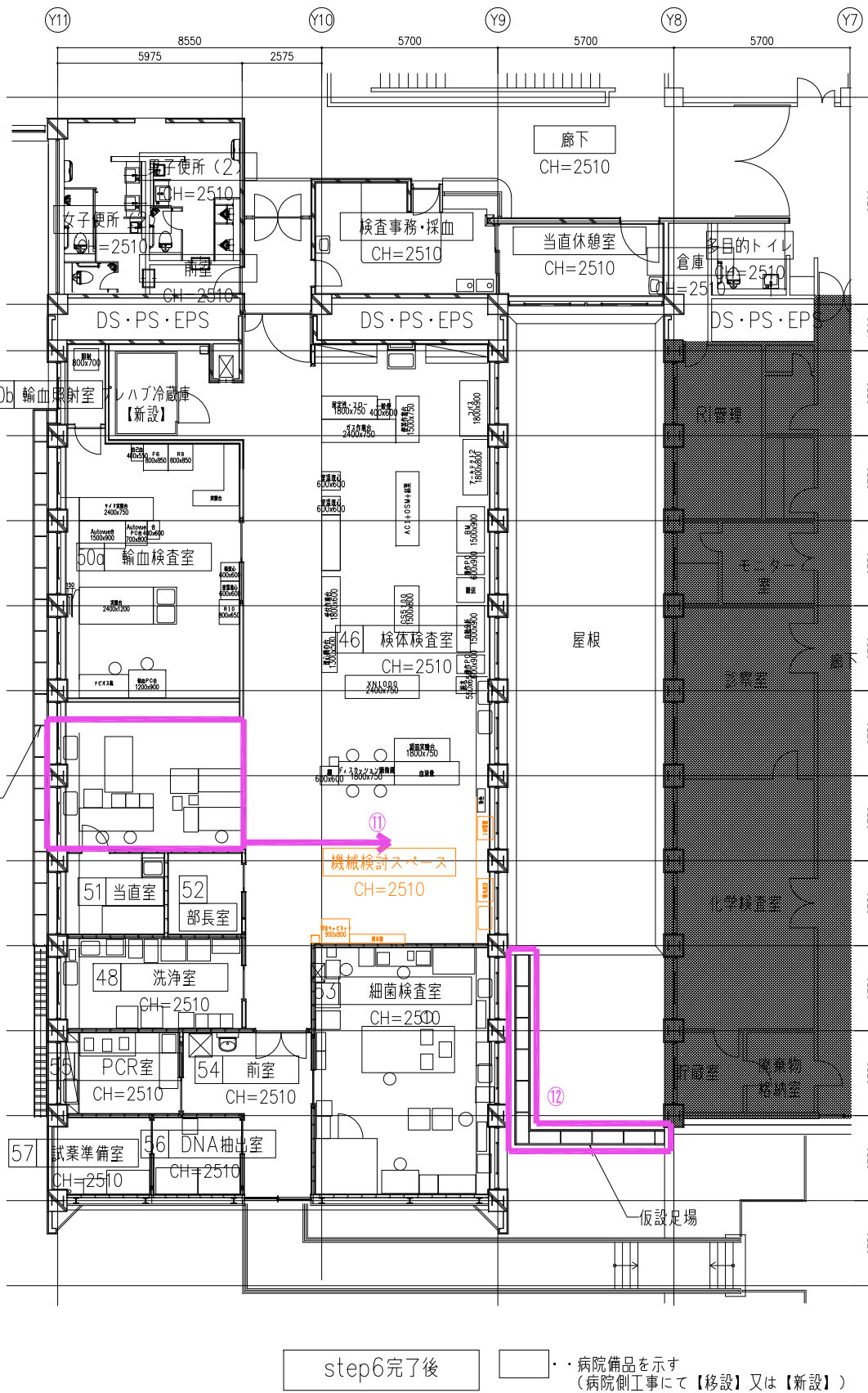
工事動線

患者動線

スタッフ動線



1) 図示工事範囲の本体工事を行う。



⑪ 旧一般検査室から改修後の新機械検討スペースへ、残りの什器・備品・機器の移設(病院工事)、新設機器の設置(病院工事)を行い、本体工事との接続工事を行う。【本移動】

⑫ Y11通り沿いの仮設足場を撤去する。

排風機設置概略図

プレキシブルダクト

窓ガラス取外し
ベニヤ板取付け

フレキシブルダクト
取込み位置

排風機設置(ベニヤ板等で囲むこと。)
HEPA+中性フィルター

給気は建具などの隙間からとし、アスペルギルス対策として、改修工事エリアを -5Pa 陰圧となるよう風量調整すること。

- ・排風機用の電源線として、EM-CE3.5-4Cを50m見込むこと。
- ・工事期間中は、排風機(4,000CMH)を5台設置する。
- ・設置方法は上図による。排気口にはHEPAフィルターを設置すること。
- ・フレキシブルダクト設置は、破損等のないよう適切に行うこと。改修済みのエリアに設置する際は養生を行い、傷や汚れ等のないよう十分注意すること。

特記事項

- ・工事請負者は原則、本計画図を基に施工を行うこと。関係法令、施工条件等により必要があれば監督員及び工事監督者等と協議すること。
- ・工事期間中は居ながら工事となる為、それらの運用を配慮し、安全計画には十分注意すること。
- ・資材置場等については、基本的に工事利用範囲内とする。但し、一時的にその他の場所が必要となる場合は、監督職員と協議して了解を得る事。
- ・工事は平日主体で行うが、騒音・振動をとまう工事は土休日に行うこと。1階検査部門の脳波室に隣接する室および上部階においては、営業時間内は騒音・振動をとまう工事は行えないものとする。
- ・廊下の居ながら工事については土休日主体で行う。平日はシートで養生すること。
- ・資材搬出入は休日主体で行うこと。平日に行う場合は営業時間外で行うこと。搬出入で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、資材にはブルーシート等で養生を行うこと。
- ・工事作業員は原則、直接外部に面する出入口や窓から工事エリアに出入りすること。外部からの出入口がない工事エリアへの経路で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、工事エリア内で着用する作業服での通行は禁止とする。
- ・改修工事中はEPSから改修対象箇所の周の天井改修も含むものとする。
- ・F棟EPSに切替電源盤を設置し、電源の仮設切回し配線として切替電源盤主幹2次側から改修対象箇所までEEF2.0-3C 50m×10本を見込むこと。
- ・LAN設備の仮設配管としてPF管(16)を20m見込むこと。

凡例

仮設箇所仕切: LGS90下地+PB+12.5(両面)
※壁高さによってはロー100で下地補強すること
※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと

仮設扉: アルミ製片引き戸W900×H2000
工事範囲側にサムターンを設置
工事範囲外側は施錠すること

仮設扉: アルミ製片開き戸W900×H2000
工事範囲側にサムターンを設置
工事範囲外側は施錠すること

防火区画
仮設箇所仕切(防火壁): LGS100下地+PB+21+PB+21(片面)
※壁高さによってはロー100で下地補強すること
※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと

仮設扉(特定防火設備): 鋼製片開き戸W900×H2000
工事範囲側にサムターンを設置

仮囲い: スライドパネル H=2510

工事範囲

移転範囲

居ながら工事範囲(土日主体)

改修工事中範囲

改修済み範囲

仮使用範囲

工事
患者
スタッフ

工事動線
患者動線
スタッフ動線

株式会社 日立建設設計

禁複製 無断転載禁止
Copyright Hitachi Architects & Engineers Co., Ltd. All rights reserved.

新設日 2001.09.01
改訂日 2017.04.01
文書番号 F02-G04-1704

REVISION

竣工図 (責任者)

作製日付
作製者

APPO. (責任者)

CHKD. (責任者)

OWN. (責任者)

DATE 2019.03.29

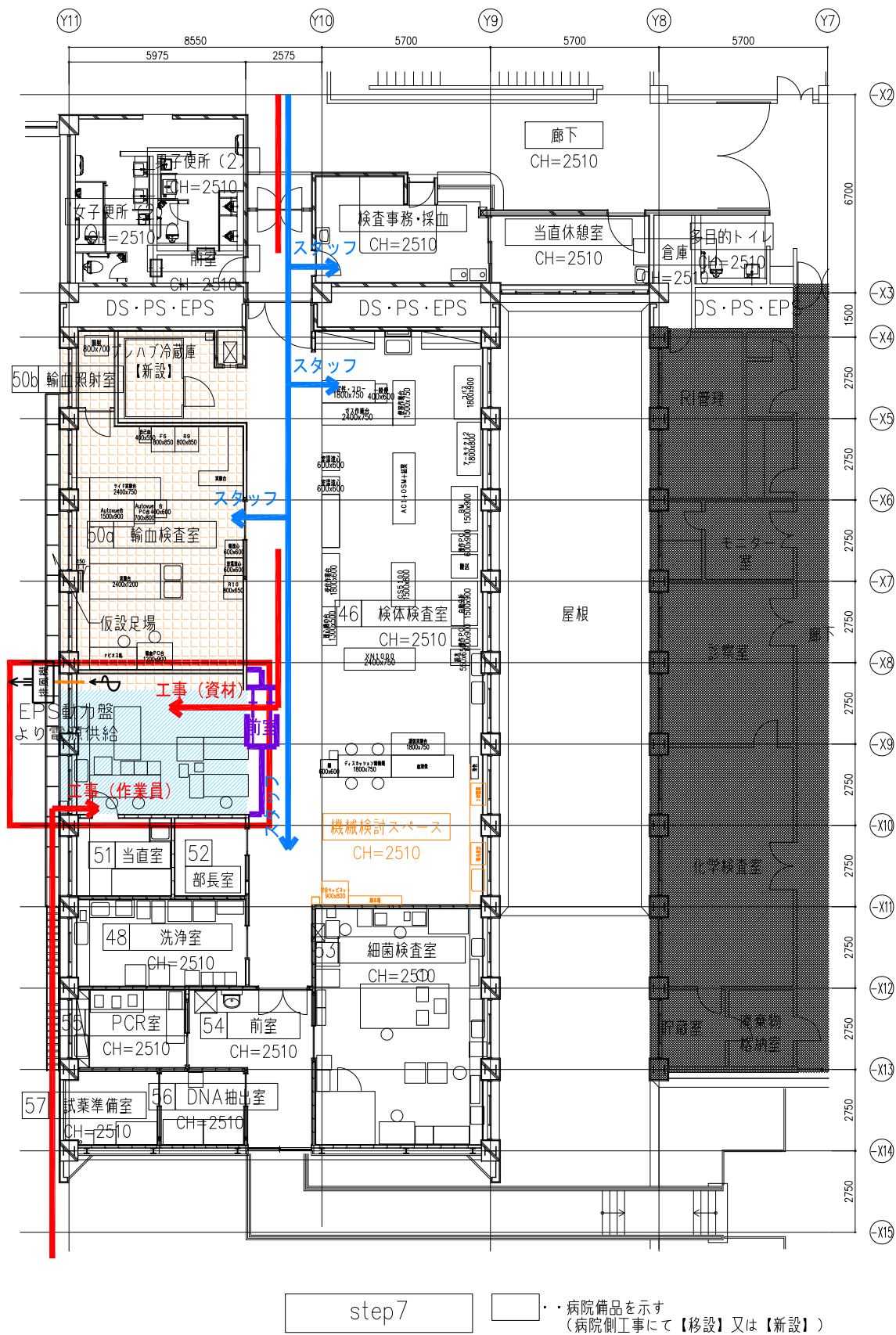
SCALE 1:100
(A3) 1:200

JOB-NAME 静岡県立こども病院本館リニューアル工事

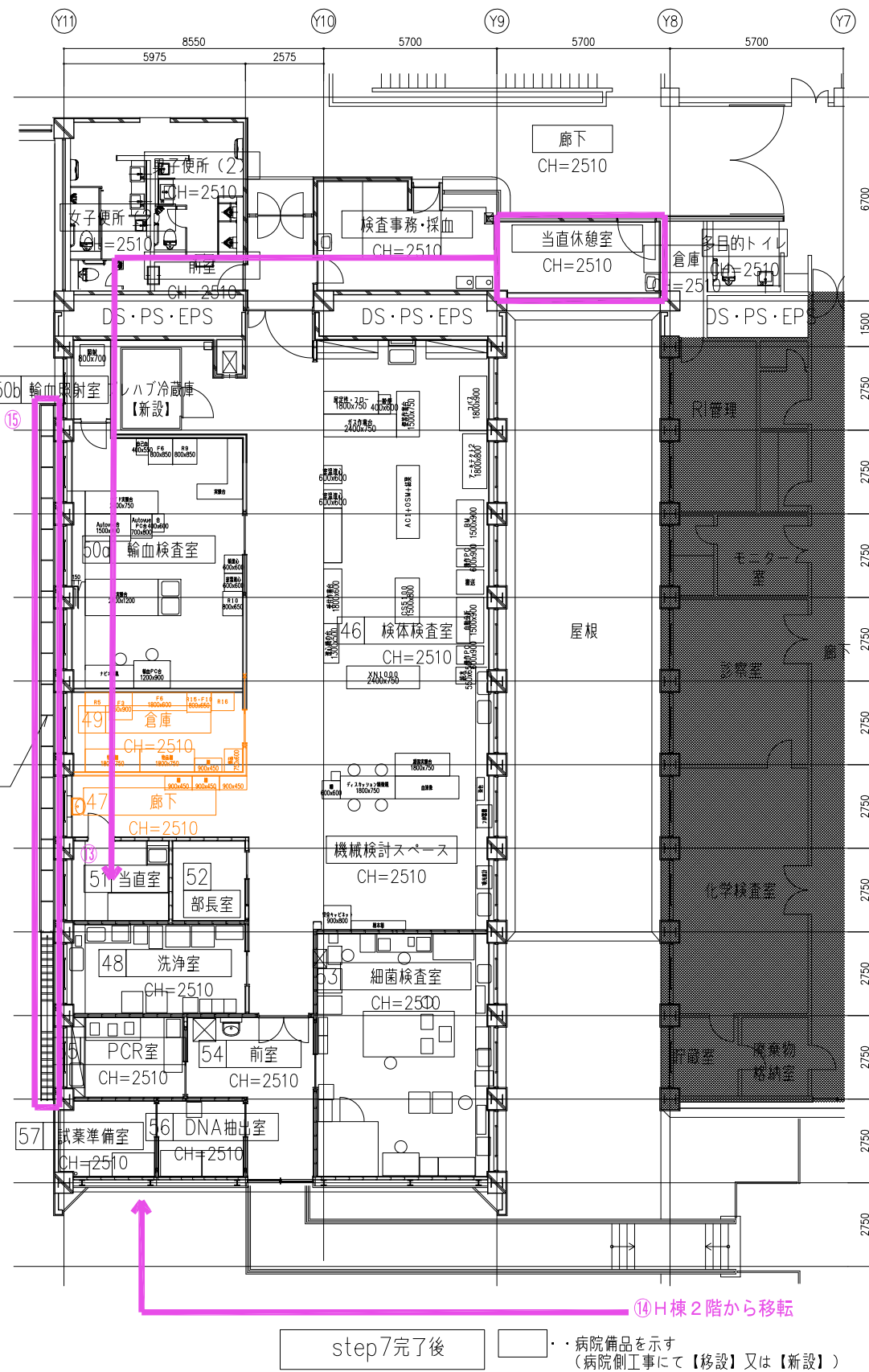
TITLE 仮設計画図-13 臨床検査部門(7) -

DWG.NO. D-82

一級建築士 第283810号 田中 裕和



1) 図示工事範囲の本体工事を行う。



⑬ 旧当直休憩室から改修後の新当直室への什器・備品の移設（病院工事）を行う。【本移働】

⑭ H棟2階からアスベルギルス、アミノ酸をの什器・備品・機器を移設（病院工事）、新設機器の設置（病院工事）を行い、本体工事との接続工事を行う。【本移働】（遺伝子は最終的に1階病理棟に移転の予定）

⑮ Y11通り沿いの仮設足場を解体する。

排風機設置概略図

給気は建具などの隙間からとし、アスベルギルス対策として、改修工事エリアを -5Pa 陰圧となるよう風量調整すること。

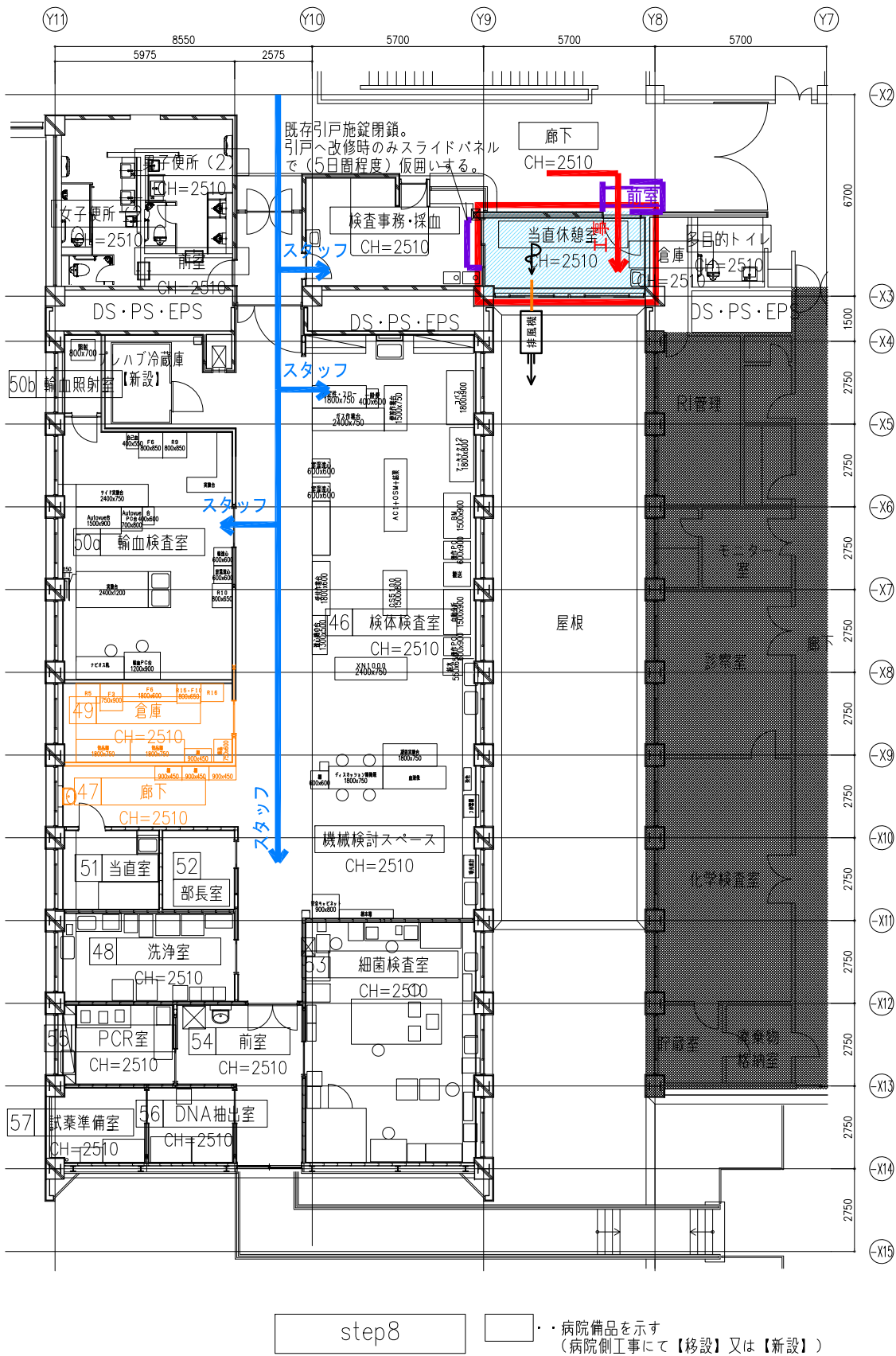
- ・排風機用の電源線として、EM-CE3.5-4Cを50m見込むこと。
- ・工事期間中は、排風機(4,000CMH)を5台設置する。
- ・設置方法は上図による。排気口にはHEPAフィルターを設置すること。
- ・フレキシブルダクト設置は、破損等のないよう適切に行うこと。改修済みのエリアに設置する際は養生を行い、傷や汚れ等のないよう十分注意すること。

特記事項

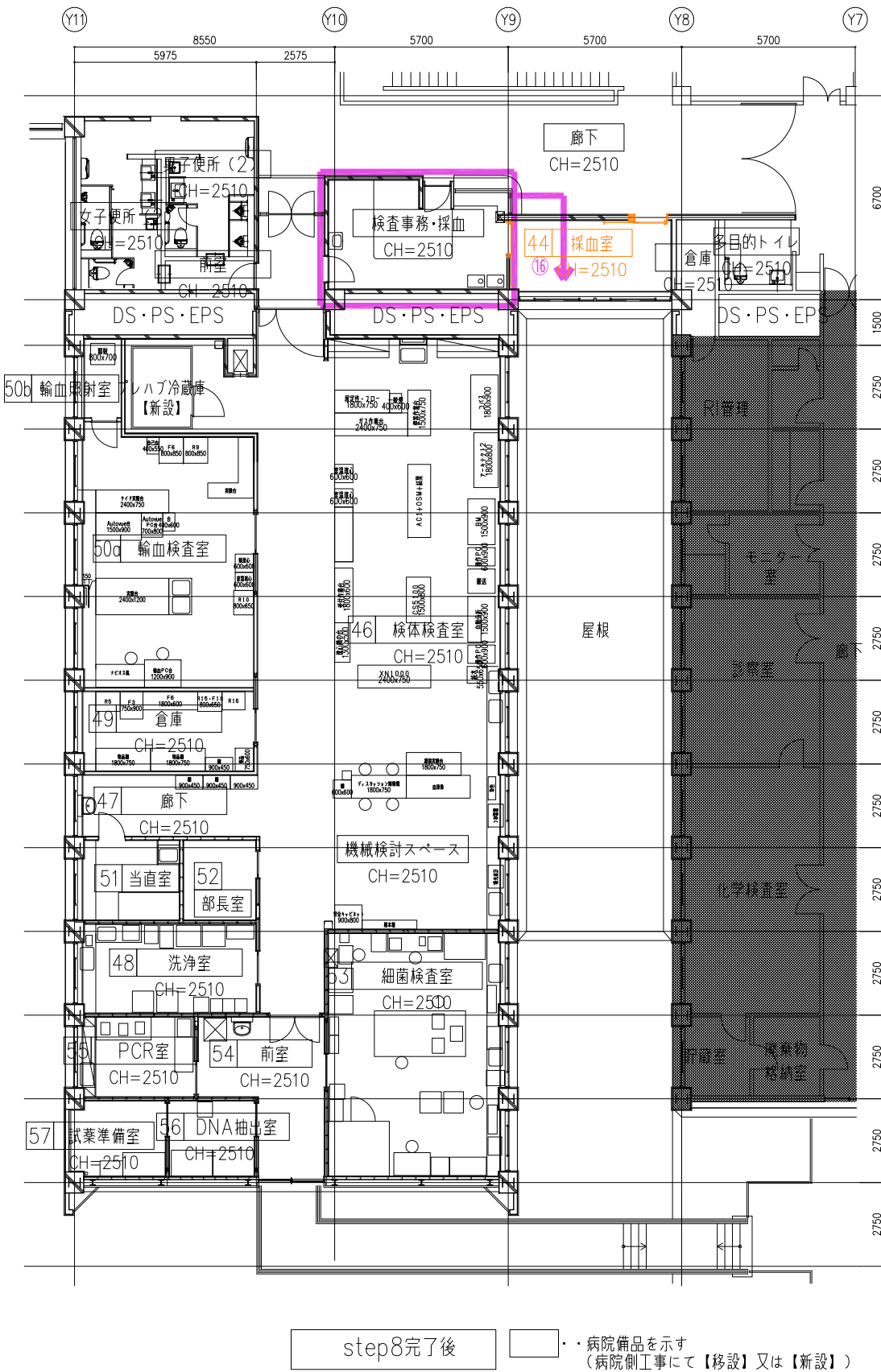
- ・工事請負者は原則、本計画図を基に施工を行うこと。関係法令、施工条件等により必要があれば監督員及び工事監督者等と協議すること。
- ・工事期間中は居ながら工事となる為、それらの運用を配慮し、安全計画には十分注意すること。
- ・資材置場等については、基本的に工事利用範囲内とする。但し、一時的にその他の場所が必要となる場合は、監督職員と協議して了解を得る事。
- ・工事は平日主体で行うが、騒音・振動をとまう工事は土休日に行うこと。1階検査部門の脳波室に隣接する室および上部階においては、営業時間内は騒音・振動をとまう工事は行えないものとする。
- ・廊下の居ながら工事については土休日主体で行う。平日はシートで養生すること。
- ・資材搬出入は休日主体で行うこと。平日に行う場合は営業時間外で行うこと。搬出入で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、資材にはブルーシート等で養生を行うこと。
- ・工事作業員は原則、直接外部に面する出入口や窓から工事エリアに出入りすること。外部からの出入口がない工事エリアへの経路で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、工事エリア内で着用する作業服での通行は禁止とする。
- ・改修工事中はEPSから改修対象箇所の周囲の天井改修も含むものとする。
- ・F棟EPSに切替電源盤を設置し、電源の仮設切回し配線として切替電源盤主幹2次側から改修対象箇所までEEF2.0-3C 50m×10本を見込むこと。
- ・LAN設備の仮設配管としてPF管(16)を20m見込むこと。

凡例

	仮設間仕切：LGS90下地+PB+12.5(両面) ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
	仮設扉：アルミ製片引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
	仮設扉：アルミ製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
	仮設間仕切(防火壁)：LGS100下地+PB+21+PB+21(片面) ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
	仮設扉(特定防火設備)：鋼製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置
	仮囲い：スライドパネル H=2510
	工事範囲
	移転範囲
	居ながら工事範囲(土日主体)
	改修工事中範囲
	改修済み範囲
	仮使用範囲
	工事動線
	患者動線
	スタッフ動線



1) 図示工事範囲の本体工事を行う。



⑯ 旧検査事務・採血から改修後の新採血室へ什器・備品・機器を移設（病院工事）し、本体工事との接続工事を行う。【本稼働】

排風機設置概略図

プレキシブルダクト

窓ガラス取外し
ベニヤ板取付け

フレキシブルダクト
取込み位置

排風機設置（ベニヤ板等で囲むこと。）
HEPA+中性フィルター

給気は建具などの隙間からとし、アスペルギルス対策として、改修工事エリアを-5Pa陰圧となるよう風量調整すること。

- ・排風機用の電源線として、EM-CE3.5-4Cを50m見込むこと。
- ・工事期間中は、排風機（4,000CMH）を5台設置する。
- ・設置方法は上図による。排気口にはHEPAフィルターを設置すること。
- ・フレキシブルダクト設置は、破損等のないよう適切に行うこと。改修済みのエリアに設置する際は養生を行い、傷や汚れ等のないよう十分注意すること。

特記事項

- ・工事請負者は原則、本計画図を基に施工を行うこと。関係法令、施工条件等により必要があれば監督員及び工事監督者等と協議すること。
- ・工事期間中は居ながら工事となる為、それらの運用を配慮し、安全計画には十分注意すること。
- ・資材置場等については、基本的に工事利用範囲内とする。但し、一時的にその他の場所が必要となる場合は、監督職員と協議して了解を得る事。
- ・工事は平日主体で行うが、騒音・振動をとまう工事は土休日に行うこと。1階検査部門の脳波室に隣接する室および上部階においては、営業時間内は騒音・振動をとまう工事は行えないものとする。
- ・廊下の居ながら工事については土休日主体で行う。平日はシートで養生すること。
- ・資材搬出入は休日主体で行うこと。平日に行う場合は営業時間外で行うこと。搬出入で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、資材にはブルーシート等で養生を行うこと。
- ・工事作業員は原則、直接外部に面する出入口や窓から工事エリアに出入りすること。外部からの出入口がない工事エリアへの経路で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、工事エリア内で着用する作業服での通行は禁止とする。
- ・改修工事中はEPSから改修対象箇所の周の天井改修も含むものとする。
- ・F棟EPSに切替電源盤を設置し、電源の仮設切回し配線として切替電源盤主幹2次側から改修対象箇所までEEF2.0-3C 50m×10本を見込むこと。
- ・LAN設備の仮設配管としてPF管（16）を20m見込むこと。

凡例

仮設間仕切：LGS90下地+PB+12.5（両面）
※壁高さによってはロー100で下地補強すること
※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと

仮設扉：アルミ製片引き戸W900×H2000
工事範囲側にサムターンを設置
工事範囲外側は施錠すること

仮設扉：アルミ製片開き戸W900×H2000
工事範囲側にサムターンを設置
工事範囲外側は施錠すること

防火区画

防火区画（特定防火設備）：鋼製片開き戸W900×H2000
工事範囲側にサムターンを設置

仮囲い：スライドパネル H=2510

工事範囲

移転範囲

居ながら工事範囲（土日主体）

改修工事中範囲

改修済み範囲

仮使用範囲

工事

患者

スタッフ

工事動線

患者動線

スタッフ動線

株式会社 日立建設設計

禁複製 無断転載禁止
Copyright Hitachi Architects & Engineers Co., Ltd. All rights reserved.

新設日 2001.09.01
改訂日 2017.04.01
文書番号 F02-G04-1704

REVISION

竣工図（責任者）
作製日付 年 月 日
作製者

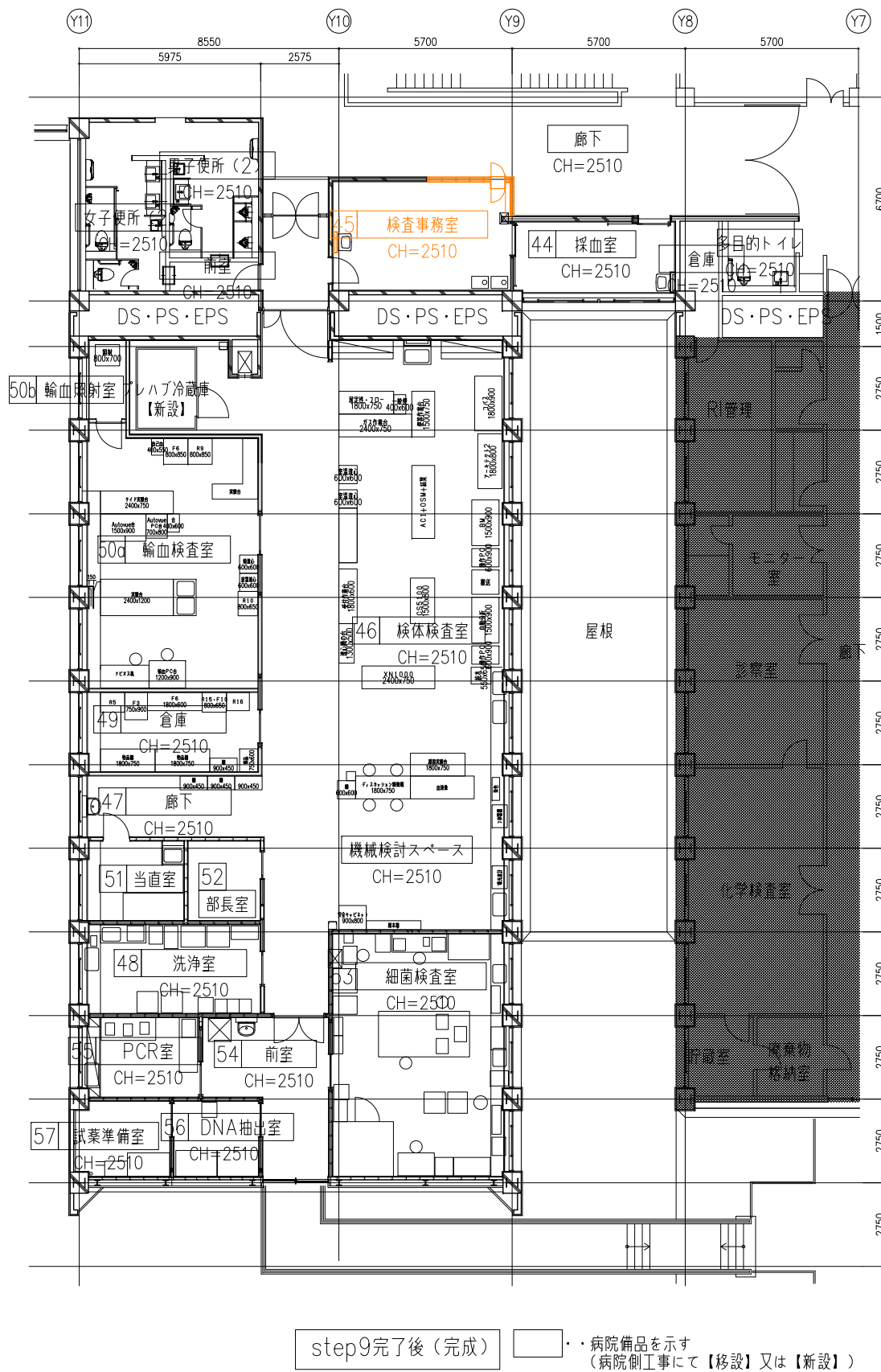
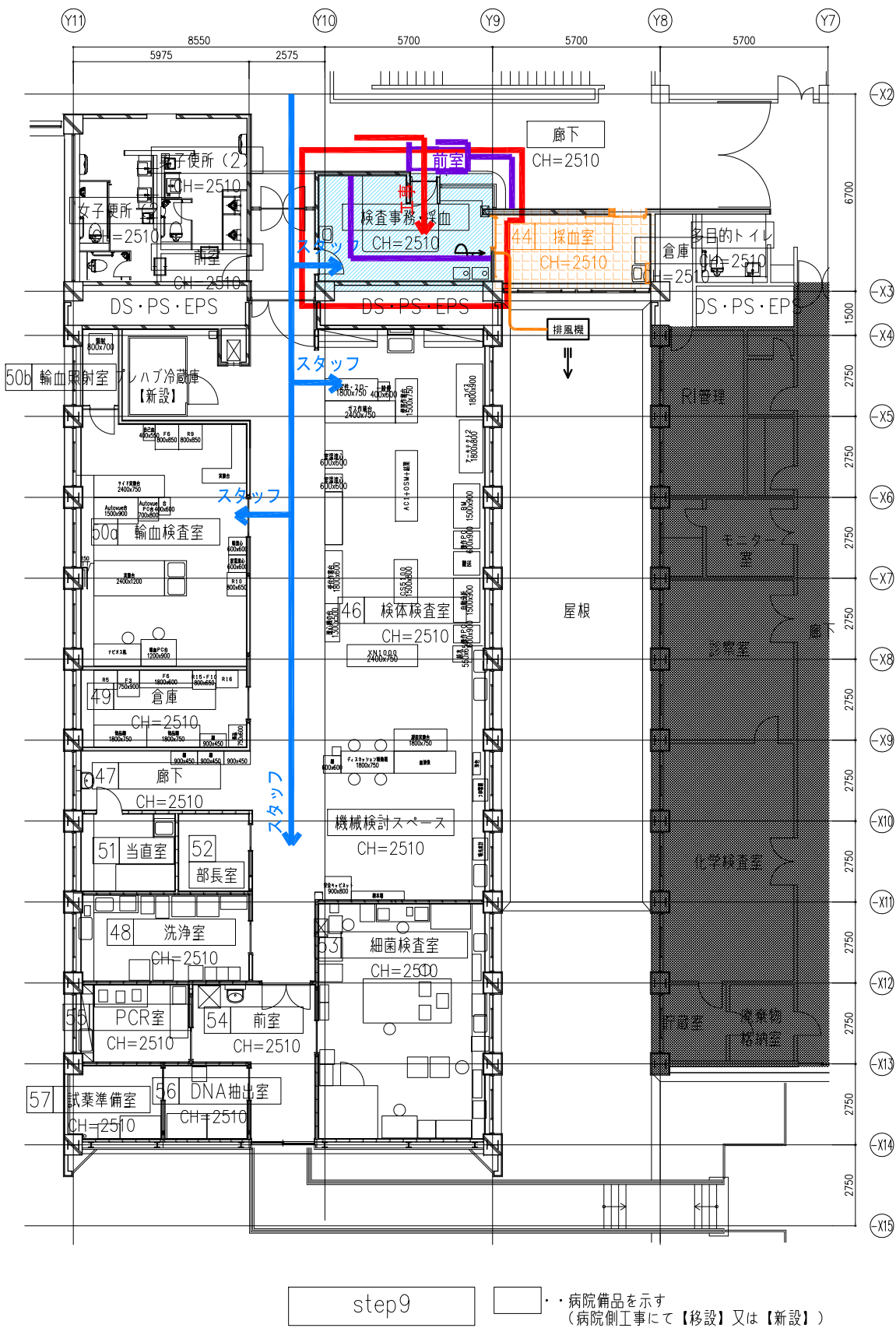
APPO. 田中
CHKD. 磯田
OWN. 望月

DATE 2019.03.29
SCALE 1:100
(A3) 1:200

JOB-NAME 静岡県立こども病院本館リニューアル工事
TITLE 仮設計画図-15 臨床検査部門（9）-

DWG.NO. D-84

一級建築士 第283810号 田中 裕和



排風機設置概略図

給気は建具などの隙間からとし、アスペルギルス対策として、改修工事エリアを-5Pa陰圧となるよう風量調整すること。
・排風機用の電源線として、EM-CE3.5-4Cを50m見込むこと。
・工事期間中は、排風機(4,000CMH)を5台設置する。
・設置方法は上図による。排気口にはHEPAフィルターを設置すること。
・フレキシブルダクト設置は、破損等のないよう適切に行うこと。改修済みのエリアに設置する際は養生を行い、傷や汚れ等のないよう十分注意すること。

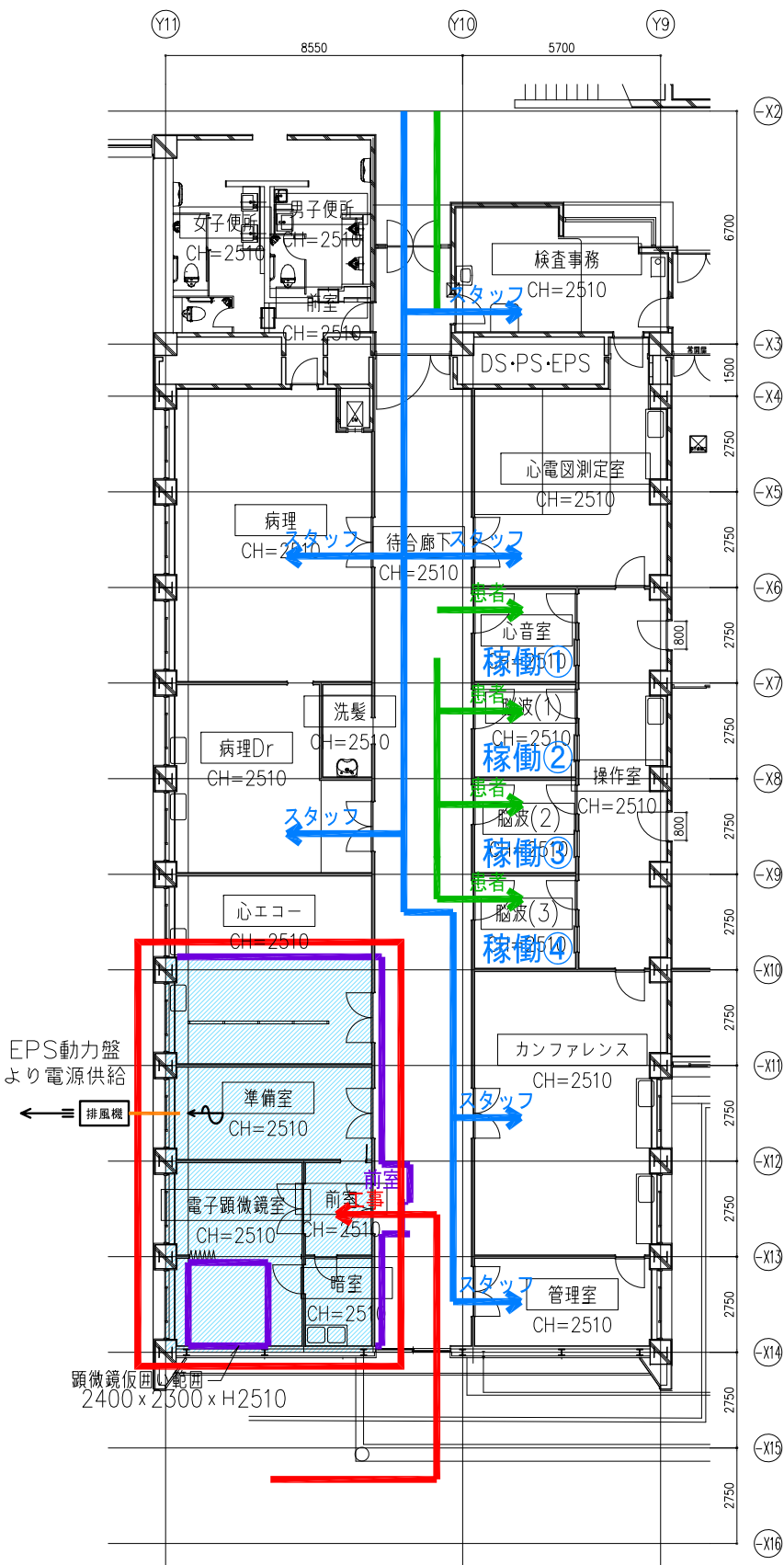
特記事項

- ・工事請負者は原則、本計画図を基に施工を行うこと。関係法令、施工条件等により必要があれば監督員及び工事監督者等と協議すること。
- ・工事期間中は居ながら工事となる為、それらの運用を配慮し、安全計画には十分注意すること。
- ・資材置場等については、基本的に工事利用範囲内とする。但し、一時的にその他の場所が必要となる場合は、監督職員と協議して了解を得る事。
- ・工事は平日主体で行うが、騒音・振動をとまう工事は土休日に行うこと。1階検査部門の脳波室に隣接する室および上部階においては、営業時間内は騒音・振動をとまう工事は行えないものとする。
- ・廊下の居ながら工事については土休日主体で行う。平日はシートで養生すること。
- ・資材搬出入は休日主体で行うこと。平日に行う場合は営業時間外で行うこと。搬出入で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、資材にはブルーシート等で養生を行うこと。
- ・工事作業員は原則、直接外部に面する出入口や窓から工事エリアに出入りすること。外部からの出入口がない工事エリアへの経路で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、工事エリア内で着用する作業服での通行は禁止とする。
- ・改修工事中はEPSから改修対象箇所の周囲の天井改修も含むものとする。
- ・F棟EPSに切替電源盤を設置し、電源の仮設切回し配線として切替電源盤主幹2次側から改修対象箇所までEEF2.0-3C 50m×10本を見込むこと。
- ・LAN設備の仮設配管としてPF管(16)を20m見込むこと。

凡例

仮設間仕切	：LGS90下地+PB+12.5(両面) ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
仮設扉	：アルミ製片引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
仮設扉	：アルミ製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
防火区画	仮設間仕切(防火壁)：LGS100下地+PB+21+PB+21(片面) ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
防火扉	仮設扉(特定防火設備)：鋼製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置
仮囲い	：スライドパネル H=2510
工事範囲	
移転範囲	
居ながら工事範囲(土日主体)	
改修工事中範囲	
改修済み範囲	
仮使用範囲	
工事	工事動線
患者	患者動線
スタッフ	スタッフ動線

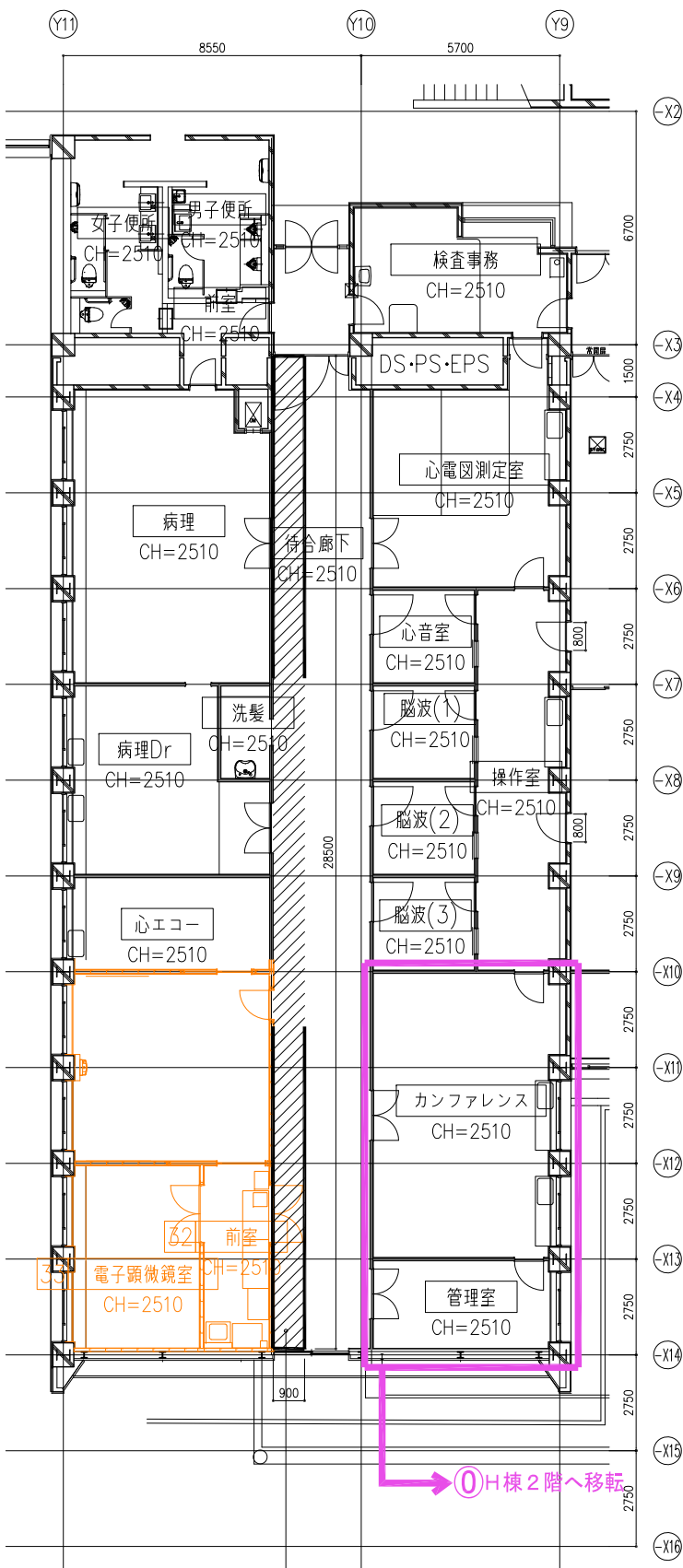
1) 図示工事範囲の本体工事を行う。
エアシューターの頻繁利用や固定ハブがあるため、壁改修をする
範囲を仮設間仕切りで囲い、アスペルギルス対策を行う。



step0 (先行工事)

・病院備品を示す
(病院側工事にて【移設】又は【新設】)

1) 準備室、電子顕微鏡室、前室、暗室の工事を2階臨床検査部門の工事と同時期に行う。
電子顕微鏡室は空調機の更新に伴う天井チャンバー塞ぎ工事のみ行う。
その際、電子顕微鏡室内の顕微鏡を2300×2400×H2510の範囲で仮囲いする。



step0 (現況)

・病院備品を示す
(病院側工事にて【移設】又は【新設】)

設備工事に伴う先行工事(土日主体)
天井撤去、給水管更新(設備工事)後、
天井ブルーシートにて仮復旧

① カンファレンス、管理室の什器・備品をH棟2階に仮移設(病院工事)する。

排風機設置概略図

給気は建具などの隙間からとし、アスペルギルス対策として、改修工事エリアを-5Pa陰圧となるよう風量調整すること。

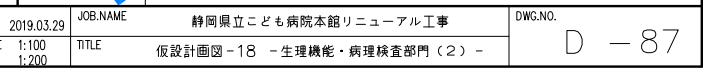
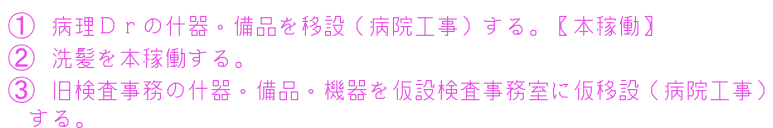
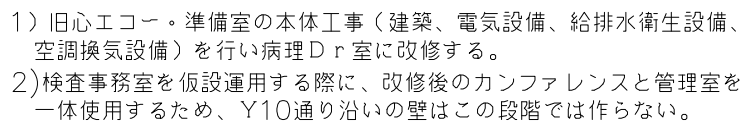
- ・排風機用の電源線として、EM-CE3.5-4Cを50m見込むこと。
- ・工事期間中は、排風機(4,000CMH)を5台設置する。
- ・設置方法は上図による。排気口にはHEPAフィルターを設置すること。
- ・フレキシブルダクト設置は、破損等のないよう適切に行うこと。改修済みのエリアに設置する際は養生を行い、傷や汚れ等のないよう十分注意すること。

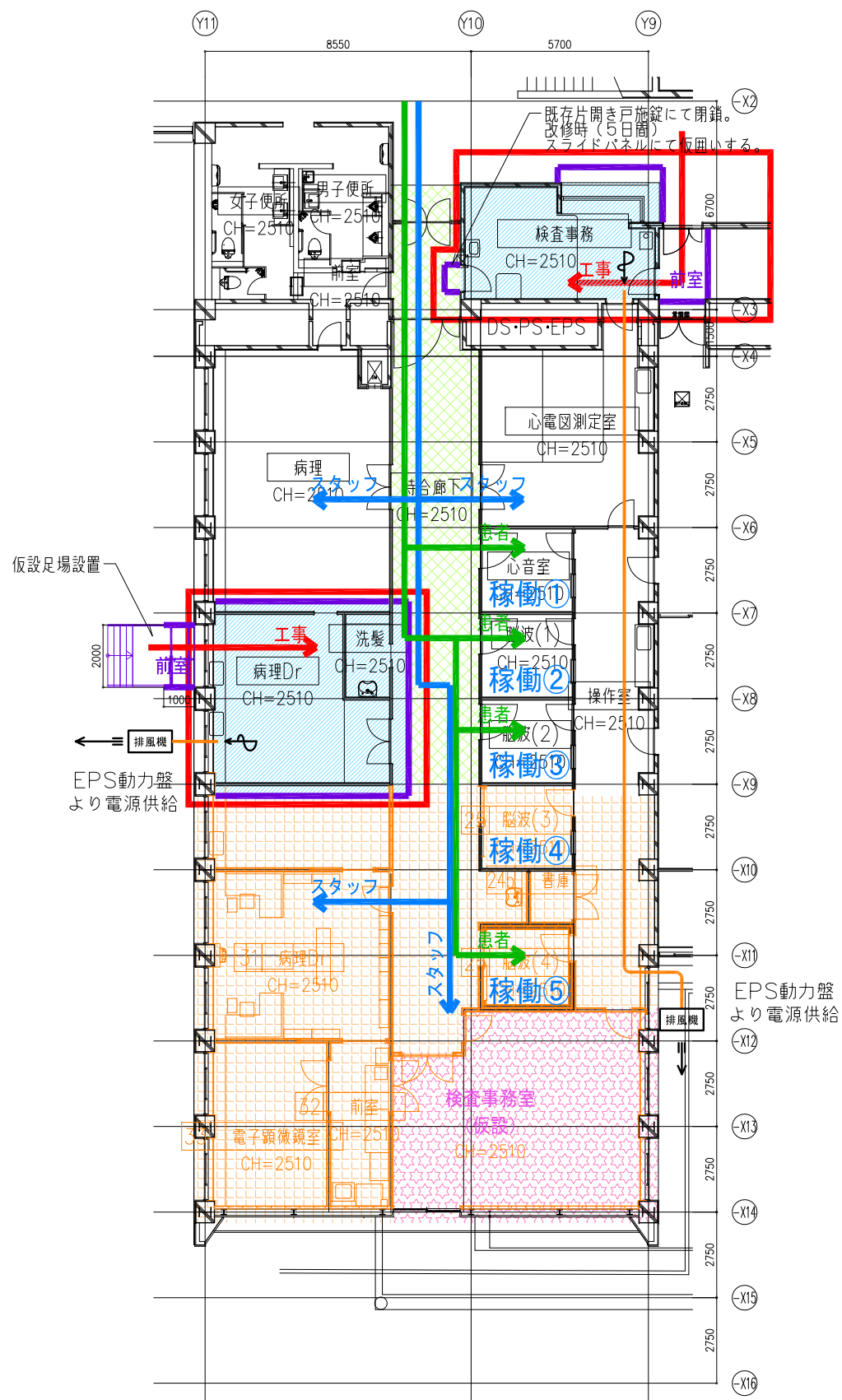
特記事項

- ・工事請負者は原則、本計画図を基に施工を行うこと。関係法令、施工条件等により必要があれば監督員及び工事監理者等と協議すること。
- ・工事期間中は居ながら工事となる為、それらの運用を配慮し、安全計画には十分注意すること。
- ・資材置場等については、基本的に工事利用範囲内とする。但し、一時的にその他の場所が必要となる場合は、監督職員と協議して了解を得る事。
- ・工事は平日主体で行うが、騒音・振動をとまう工事は土休日に行うこと。1階検査部門の脳波室に隣接する室および上部階においては、営業時間内は騒音・振動をとまう工事は行えないものとする。
- ・廊下の居ながら工事については土休日主体で行う。平日はシートで養生すること。
- ・資材搬出入は休日主体で行うこと。平日に行う場合は営業時間外で行うこと。搬出入で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、資材にはブルーシート等で養生を行うこと。
- ・工事作業員は原則、直接外部に面する出入口や窓から工事エリアに出入りすること。外部からの出入口がない工事エリアへの経路で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、工事エリア内で着用する作業服での通行は禁止とする。
- ・改修工事中はEPSから改修対象箇所の周の天井改修も含むものとする。
- ・E棟EPSに切替電源盤を設置し、電源の仮設切回し配線として切替電源盤主幹2次側から改修対象箇所までEEF2.0-3C 50m×10本を見込むこと。
- ・LAN設備の仮設配管としてPF管(16)を20m見込むこと。

凡例

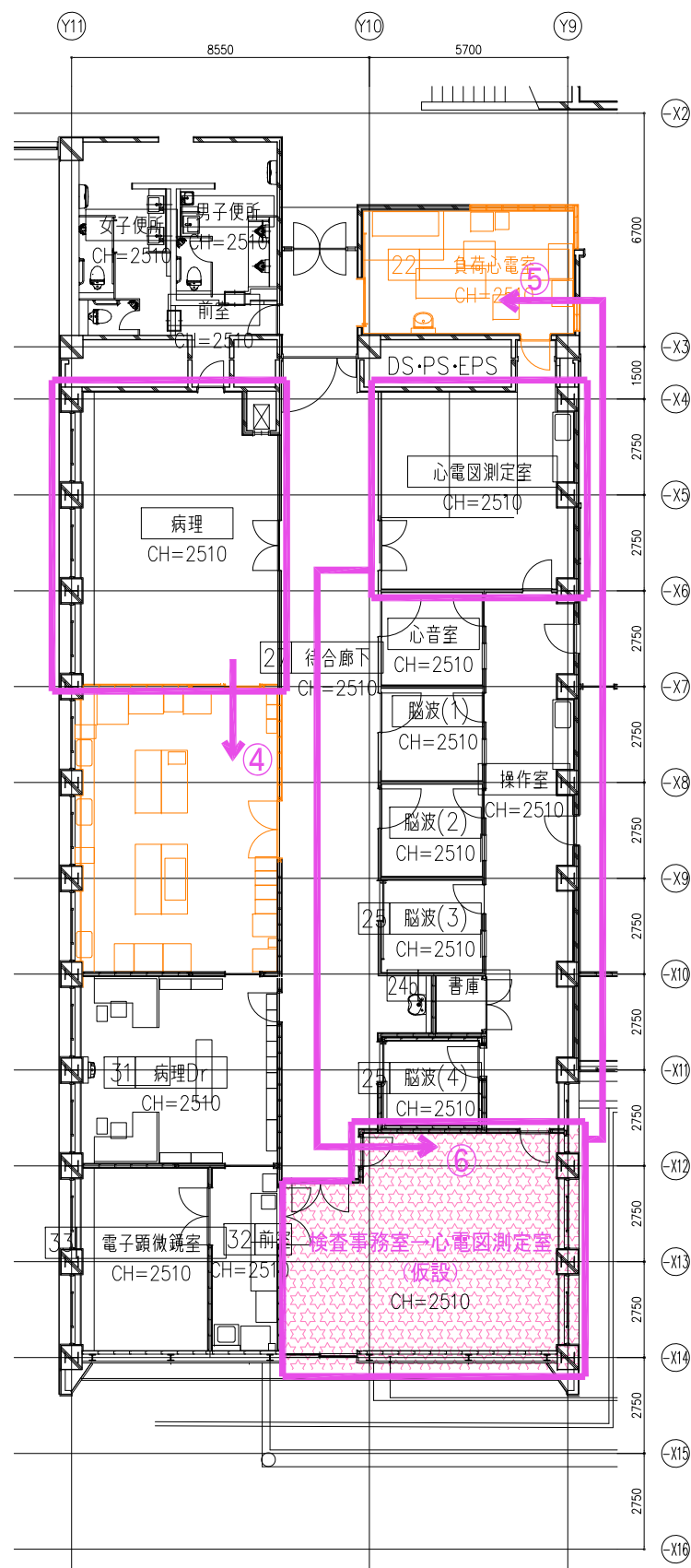
	仮設間仕切：LGS90下地+PB+12.5(両面) ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
	仮設扉：アルミ製片引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
	仮設扉：アルミ製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
	防火区画 仮設間仕切(防火壁)：LGS100下地+PB+21+PB+21(片面) ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
	仮設扉(特定防火設備)：鋼製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置
	仮囲い：スライドパネル H=2510
	工事範囲
	移転範囲
	居ながら工事範囲(土日主体)
	改修工事中範囲
	改修済み範囲
	仮使用範囲
	工事動線
	患者動線
	スタッフ動線





- 1) 病理 Dr 移転後、図示工事範囲のX9通りの壁を撤去し、本体工事を行い仮設病理に改修する。
- 2) 図示工事範囲の検査事務室の本体工事を行う。

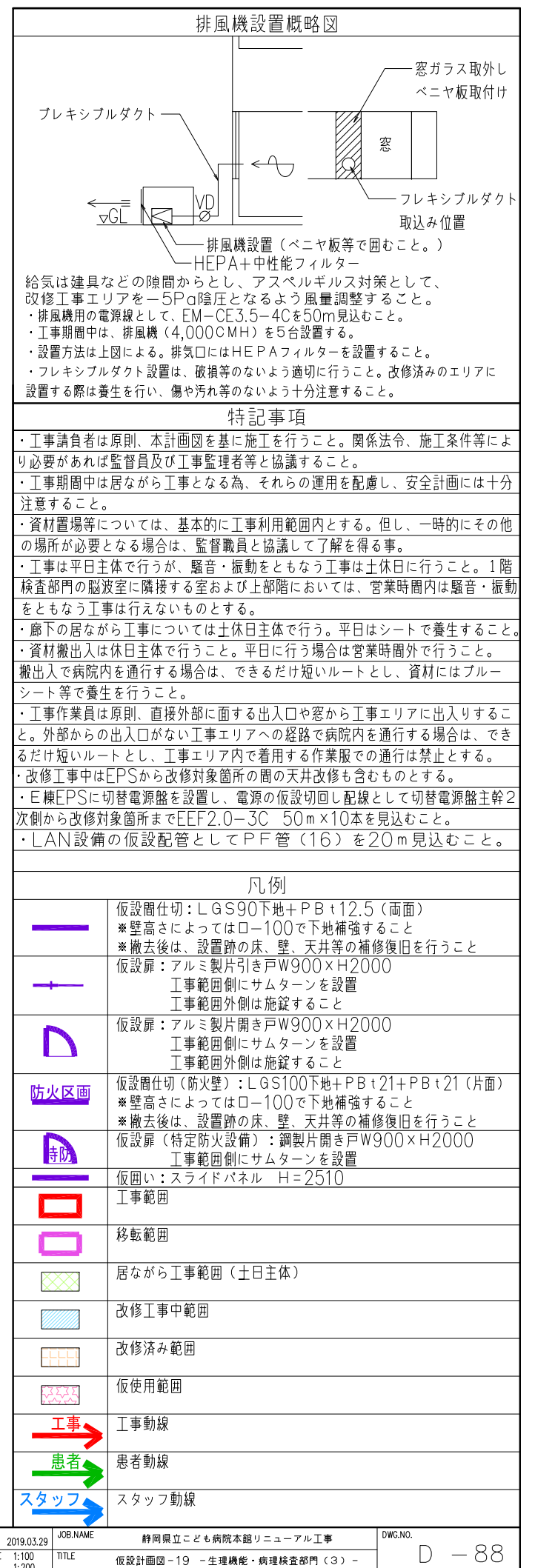
2) 図示工事範囲の検査事務室の本体工事を行う。



- ④ 病理の什器・備品・機器を仮移設（病院工事）する。
- ⑤ 仮設検査事務室から改修後の新負荷心電への什器・備品・機器を移設（病院工事）、新設機器の設置（病院工事）を行い、本体工事との接続工事を行う。【本稼働】
- ⑥ 旧心電図測定室の什器・備品・機器を仮設心電図測定室に仮移設（病院工事）する。

⑤ 仮設検査事務室から改修後の新負荷心電への什器・備品・機器を移設（病院工事）、新設機器の設置（病院工事）を行い、本体工事との接続工事を行う。【本稼働】

⑥ 旧心電図測定室の什器・備品・機器を仮設心電図測定室に仮移設（病院工事）する。










給気は建具などの隙間からとし、アスベルギルス対策として、改修工事エリアを5Pa陰圧となるよう風量調整すること。

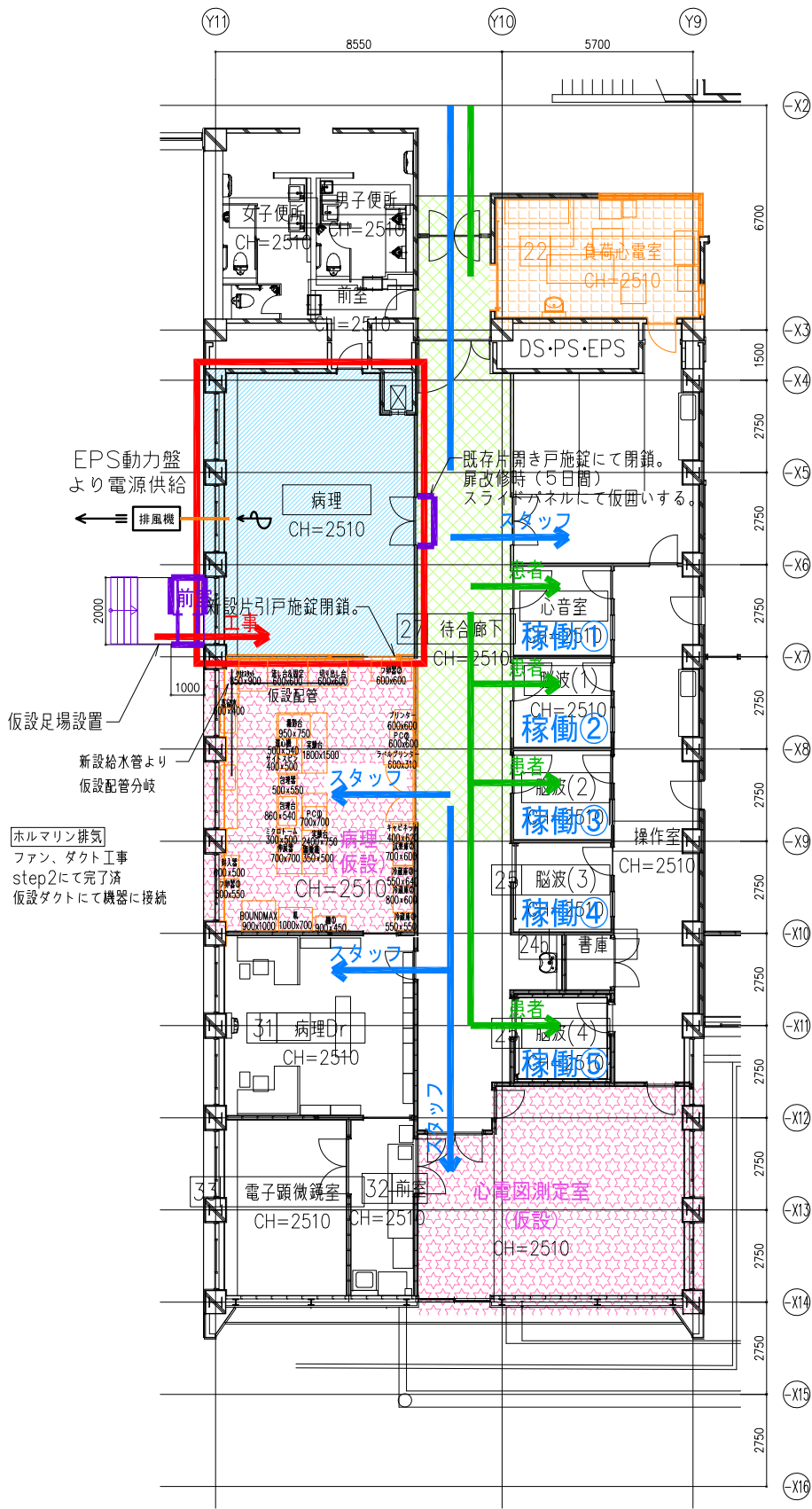
- ・排風機用の電源線として、EM-CE3.5-4Cを50m見込むこと。
- ・工事期間中は、排風機(4,000CFMH)を5台設置する。
- ・設置方法は上図に示す。排気口にはHEPAフィルターを設置すること。
- ・フレキシブルダクト設置は、破損等のないよう適切に行うこと。改修済みのエリアに設置する際は養生を行い、傷や汚れ等のないよう十分注意すること。

特記事項

・工事請負者は原則、本計画図を基に施工を行うこと。関係法令、施工条件等により必要があれば監督員及び工事監理者等と協議すること。
・工事期間中は居ながら工事となる為、それらの運用を配慮し、安全計画には十分に注意すること。
・資材置場等については、基本的に工事利用範囲内とする。但し、一時的にその他の場所が必要となる場合は、監督職員と協議して了解を得る事。
・工事は平日主体で行うが、騒音・振動をともなう工事は土休日に行うこと。1階検査部門の脳波室に隣接する室および上部階においては、営業時間内は騒音・振動をともなう工事は行えないものとする。
・廊下の居ながら工事については土休日主体で行う。平日はシートで養生すること。
・資材搬入は休日主体で行うこと。平日に行う場合は営業時間外で行うこと。
搬入で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、資材にはブルーシート等で養生を行うこと。
・工事作業員は原則、直接外部に面する出入口や窓から工事エリアに出入りすること。外部からの出入口がない工事エリアへの経路で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、工事エリア内で着用する作業服での通行は禁止とする。
・改修工事中はEPSから改修対象箇所の間の天井改修も含むものとする。
・E棟EPSに切替電源盤を設置し、電源の仮設切回し配線として切替電源盤主幹2次側から改修対象箇所まで設置2.0-3C 50mm×10本を見込むこと。
・LAN設備の仮設配管としてP F 管（16）を20m見込むこと。

凡例

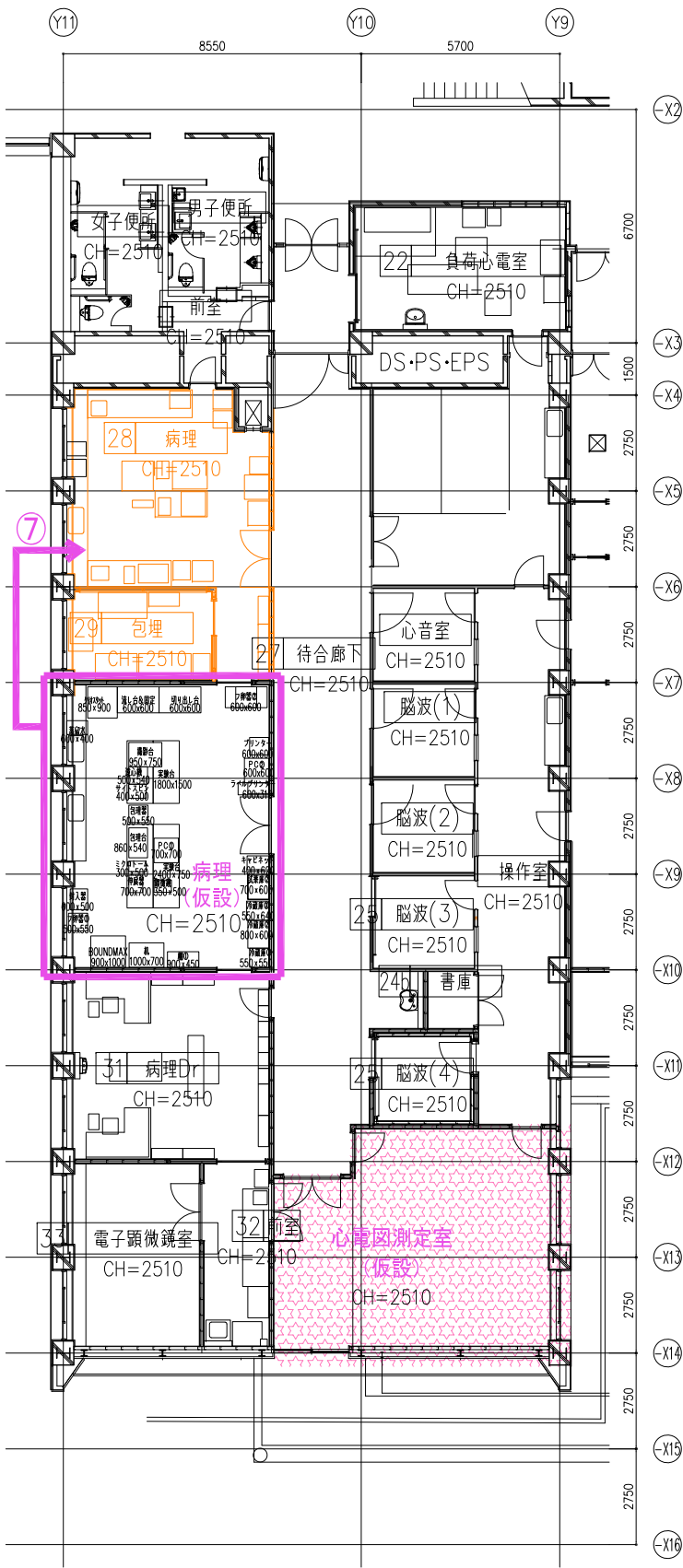
	仮設周仕切：LGS90下地+PB \pm 12.5（両面） ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
	仮設扉：アルミ製片引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
	仮設扉：アルミ製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
	仮設周仕切（防火壁）：LGS100下地+PB \pm 21+PB \pm 21（片面） ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
	仮設扉（特定防火設備）：鋼製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置
	仮囲い：スライドパネル H=2510
	工事範囲
	移転範囲
	居ながら工事範囲（土主体）
	改修事中範囲
	改修済み範囲
	仮使用範囲
	工事動線
	患者動線
	スタッフ動線



step3

・病院備品を示す
(病院側工事にて【移設】又は【新設】)

1) 病理を仮移転後、図示工事範囲の本体工事を行い包理に改修する。



step3完了後

・病院備品を示す
(病院側工事にて【移設】又は【新設】)

⑦ 仮設病理から改修後の新病理への什器・備品・機器の移設
(病院工事)、新設機器の設置(病院工事)を行い、本体工事
との接続工事を行う。【本稼働】

排風機設置概略図

給気は建具などの隙間からとし、アスペルギルス対策として、改修工事エリアを-5Pa陰圧となるよう風量調整すること。

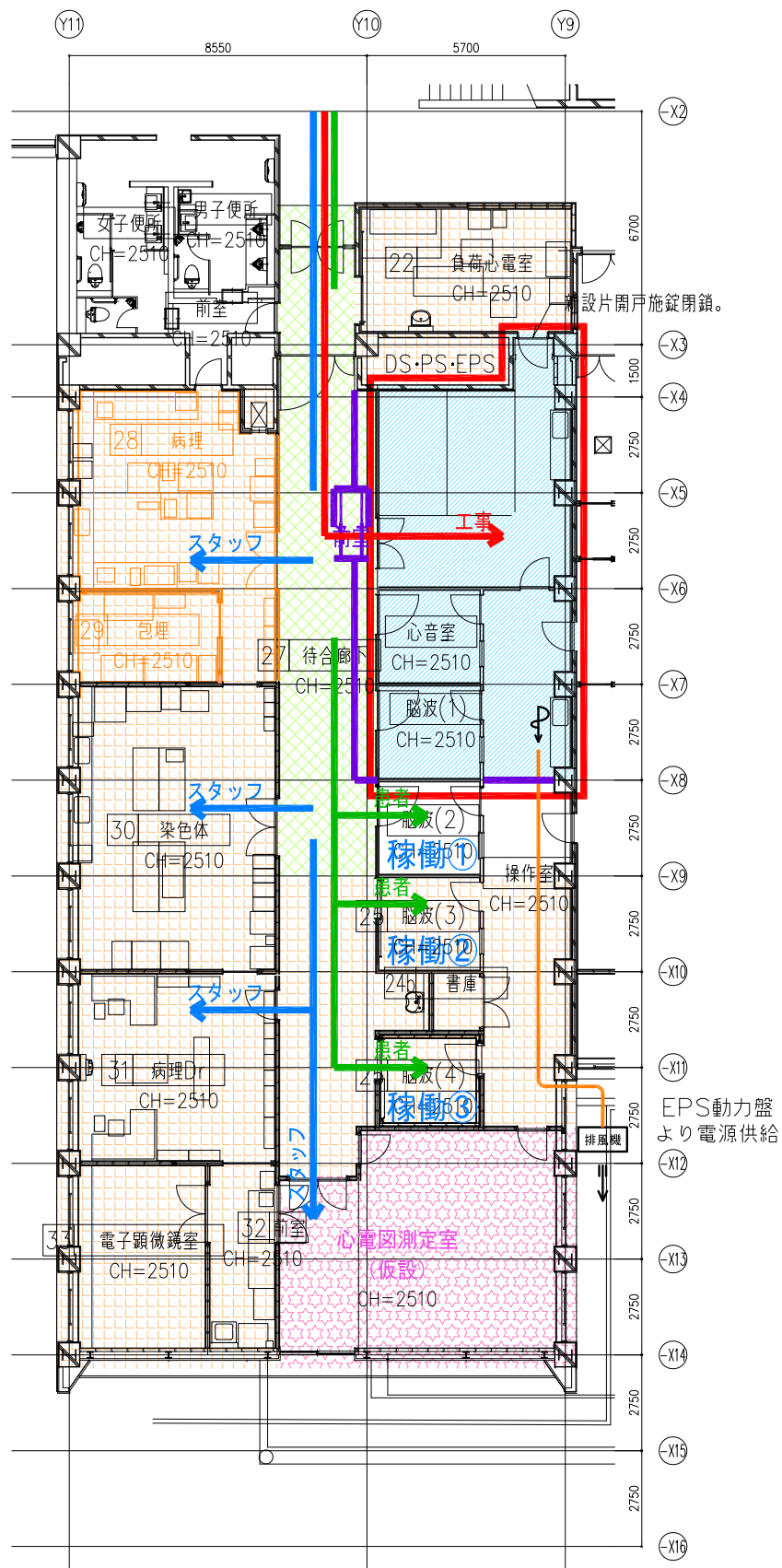
- ・排風機用の電源線として、EM-CE3.5-4Cを50m見込むこと。
- ・工事期間中は、排風機(4,000CMH)を5台設置する。
- ・設置方法は上図による。排気口にはHEPAフィルターを設置すること。
- ・フレキシブルダクト設置は、破損等のないよう適切に行うこと。改修済みのエリアに設置する際は養生を行い、傷や汚れ等のないよう十分注意すること。

特記事項

- ・工事請負者は原則、本計画図を基に施工を行うこと。関係法令、施工条件等により必要があれば監督員及び工事監理者等と協議すること。
- ・工事期間中は居ながら工事となる為、それらの運用を配慮し、安全計画には十分注意すること。
- ・資材置場等については、基本的に工事利用範囲内とする。但し、一時的にその他の場所が必要となる場合は、監督職員と協議して了解を得る事。
- ・工事は平日主体で行うが、騒音・振動をとまう工事は土休日に行うこと。1階検査部門の脳波室に隣接する室および上部階においては、営業時間内は騒音・振動をとまう工事は行えないものとする。
- ・廊下の居ながら工事については土休日主体で行う。平日はシートで養生すること。
- ・資材搬入は休日主体で行うこと。平日に行う場合は営業時間外で行うこと。
- ・搬入で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、資材にはブルーシート等で養生を行うこと。
- ・工事作業員は原則、直接外部に面する出入口や窓から工事エリアに出入りすること。外部からの出入口がない工事エリアへの経路で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、工事エリア内で着用する作業服での通行は禁止とする。
- ・改修工事中はEPSから改修対象箇所の間の天井改修も含むものとする。
- ・E棟EPSに切替電源盤を設置し、電源の仮設切回し配線として切替電源盤主幹2次側から改修対象箇所までEEF2.0-3C 50m×10本を見込むこと。
- ・LAN設備の仮設配管としてPF管(16)を20m見込むこと。

凡例

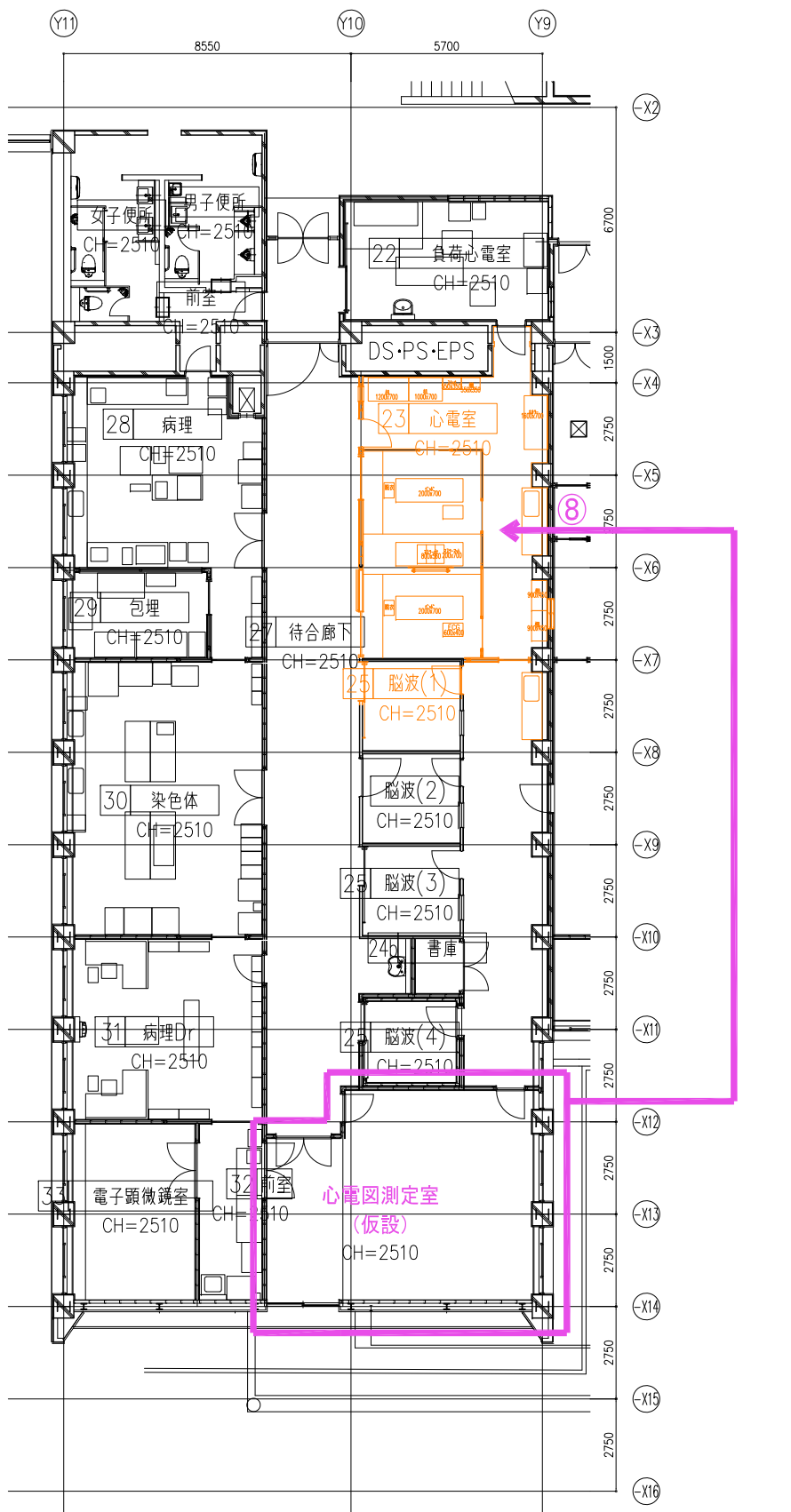
	仮設間仕切：LGS90下地+PB+12.5(両面) ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
	仮設扉：アルミ製片引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
	仮設扉：アルミ製片引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
	防火区画 仮設間仕切(防火壁)：LGS100下地+PB+21+PB+21(片面) ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
	仮設扉(特定防火設備)：鋼製片引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置
	仮囲い：スライドパネル H=2510
	工事範囲
	移転範囲
	居ながら工事範囲(土日主体)
	改修工事中範囲
	改修済み範囲
	仮使用範囲
	工事動線
	患者動線
	スタッフ動線



step4

・病院備品を示す
(病院側工事にて【移設】又は【新設】)

1) 図示工事範囲(心電図測定室、心音室、脳波(1))の本体工事を行う。



step4完了後

・病院備品を示す
(病院側工事にて【移設】又は【新設】)

⑧ 仮設心電図測定室から改修後の新心電室への什器・備品・機器の移設(病院工事)、新設機器の設置(病院工事)を行い、本体工事との接続工事を行う。【本稼働】

排風機設置概略図

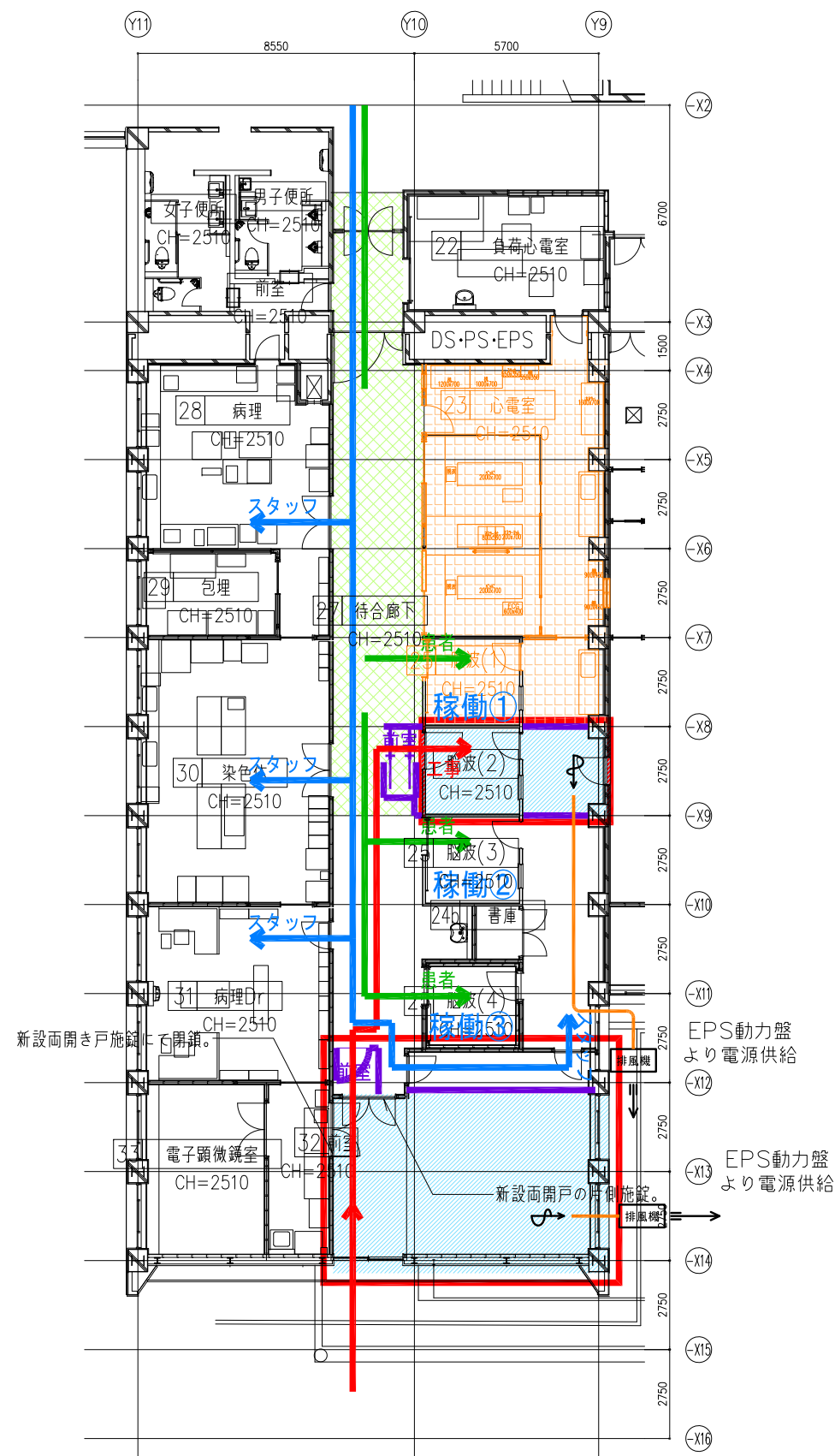
給気は建具などの隙間からとし、アスペルギルス対策として、改修工事エリアを-5Pa陰圧となるよう風量調整すること。
・排風機用の電源線として、EM-CE3.5-4Cを50m見込むこと。
・工事期間中は、排風機(4,000CMH)を5台設置する。
・設置方法は上図による。排気口にはHEPAフィルターを設置すること。
・フレキシブルダクト設置は、破損等のないよう適切に行うこと。改修済みのエリアに設置する際は養生を行い、傷や汚れ等のないよう十分注意すること。

特記事項

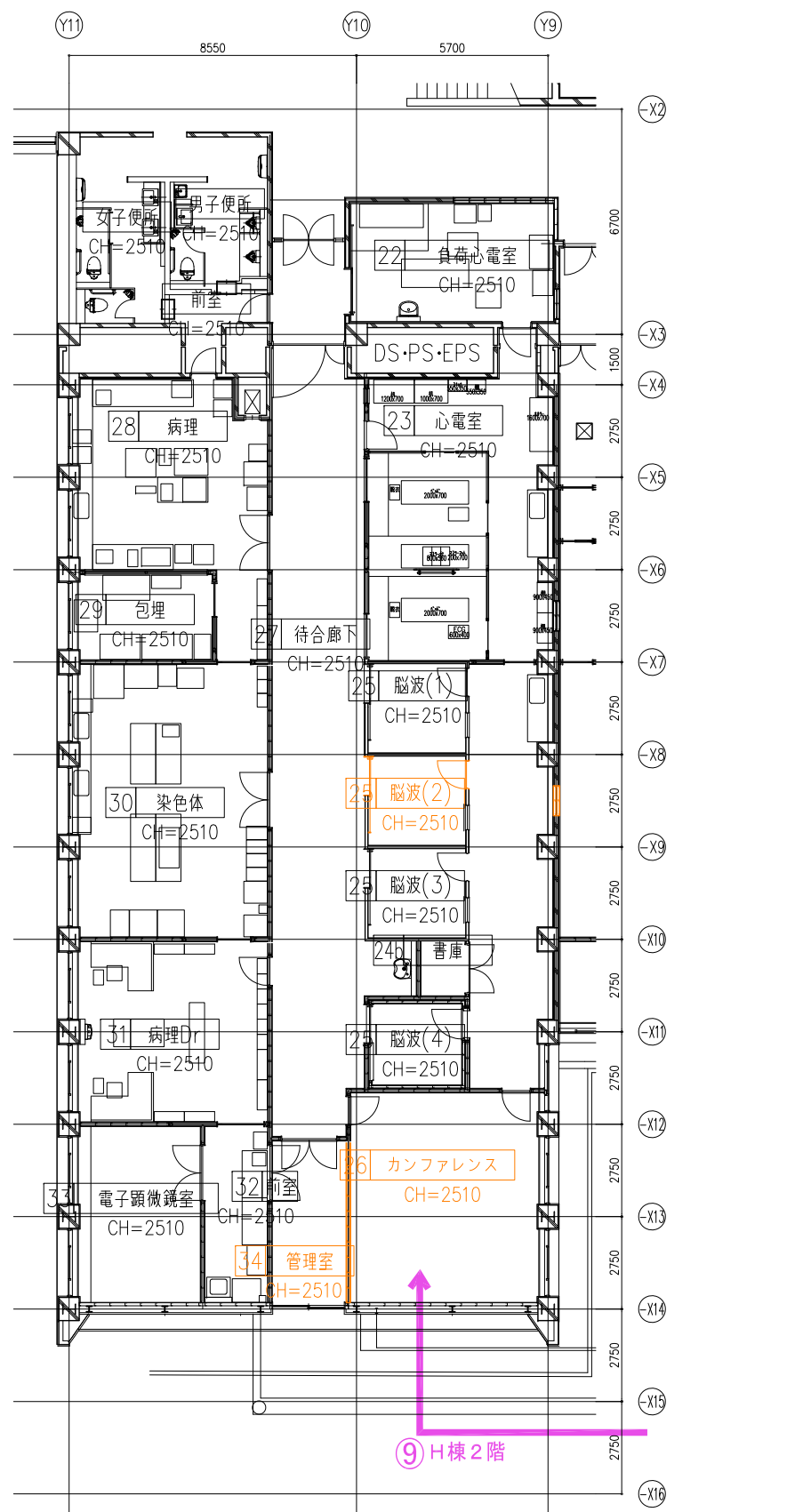
・工事請負者は原則、本計画図を基に施工を行うこと。関係法令、施工条件等により必要があれば監督員及び工事監督者等と協議すること。
・工事期間中は居ながら工事となる為、それらの運用を配慮し、安全計画には十分注意すること。
・資材置場等については、基本的に工事利用範囲内とする。但し、一時的にその他の場所が必要となる場合は、監督職員と協議して了解を得る事。
・工事は平日主体で行うが、騒音・振動をとまう工事は土休日に行うこと。1階検査部門の脳波室に隣接する室および上部階においては、営業時間内は騒音・振動をとまう工事は行えないものとする。
・廊下の居ながら工事については土休日主体で行う。平日はシートで養生すること。
・資材搬出入は休日主体で行うこと。平日に行う場合は営業時間外で行うこと。
搬出入で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、資材にはブルーシート等で養生を行うこと。
・工事作業員は原則、直接外部に面する出入口や窓から工事エリアに出入りすること。外部からの出入口がない工事エリアへの経路で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、工事エリア内で着用する作業服での通行は禁止とする。
・改修工事中はEPSから改修対象箇所の周の天井改修も含むものとする。
・E棟EPSに切替電源盤を設置し、電源の仮設切回し配線として切替電源盤主幹2次側から改修対象箇所までEEF2.0-3C 50m×10本を見込むこと。
・LAN設備の仮設配管としてPF管(16)を20m見込むこと。

凡例

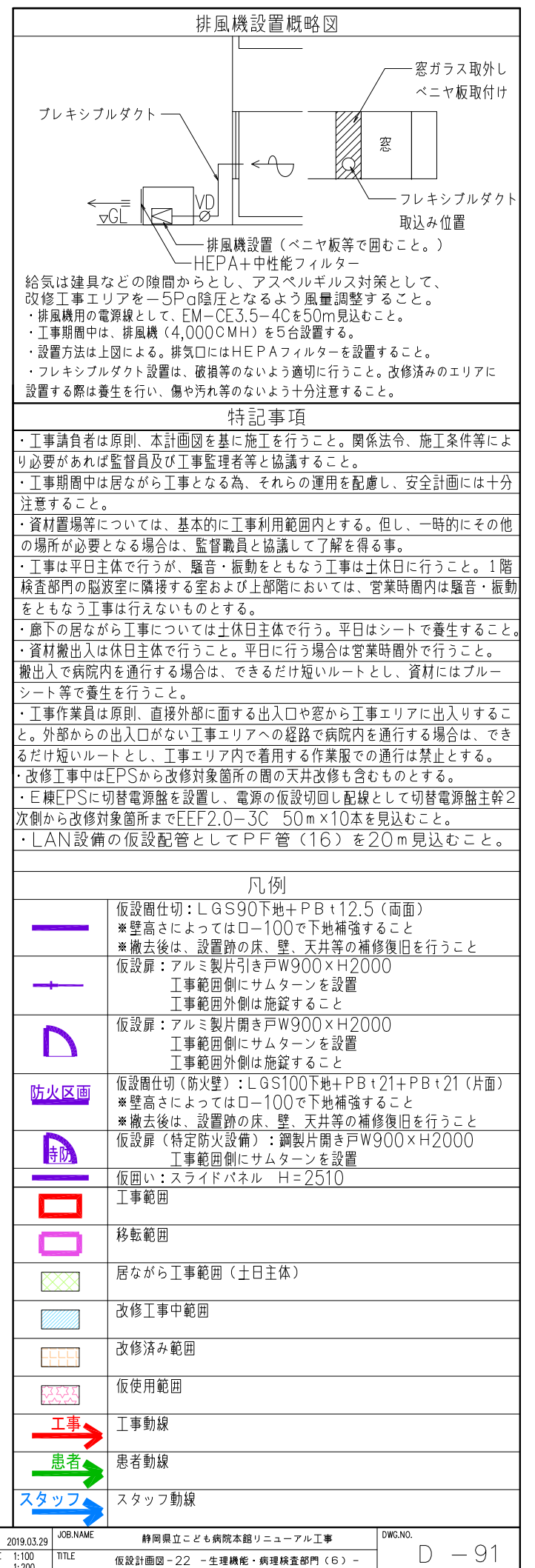
	仮設間仕切：LGS90下地+PB+12.5(両面) ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
	仮設扉：アルミ製片引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
	仮設扉：アルミ製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
	防火区画 仮設間仕切(防火壁)：LGS100下地+PB+21+PB+21(片面) ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと 仮設扉(特定防火設備)：鋼製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置
	仮囲い：スライドパネル H=2510
	工事範囲
	移転範囲
	居ながら工事範囲(土日主体)
	改修工事中範囲
	改修済み範囲
	仮使用範囲
	工事動線
	患者動線
	スタッフ動線



- 1) 図示工事範囲(脳波(2)とその付近の操作廊下)の本体工事を行う。
- 2) 管理室のY10通り沿い壁を作る。









- ⑨ H棟2階から改修後の新カンファレンス、新管理室への什器・備品・機器の移設（病院工事）、新設機器の設置（病院工事）を行い、本体工事との接続工事を行う。【本稼働】

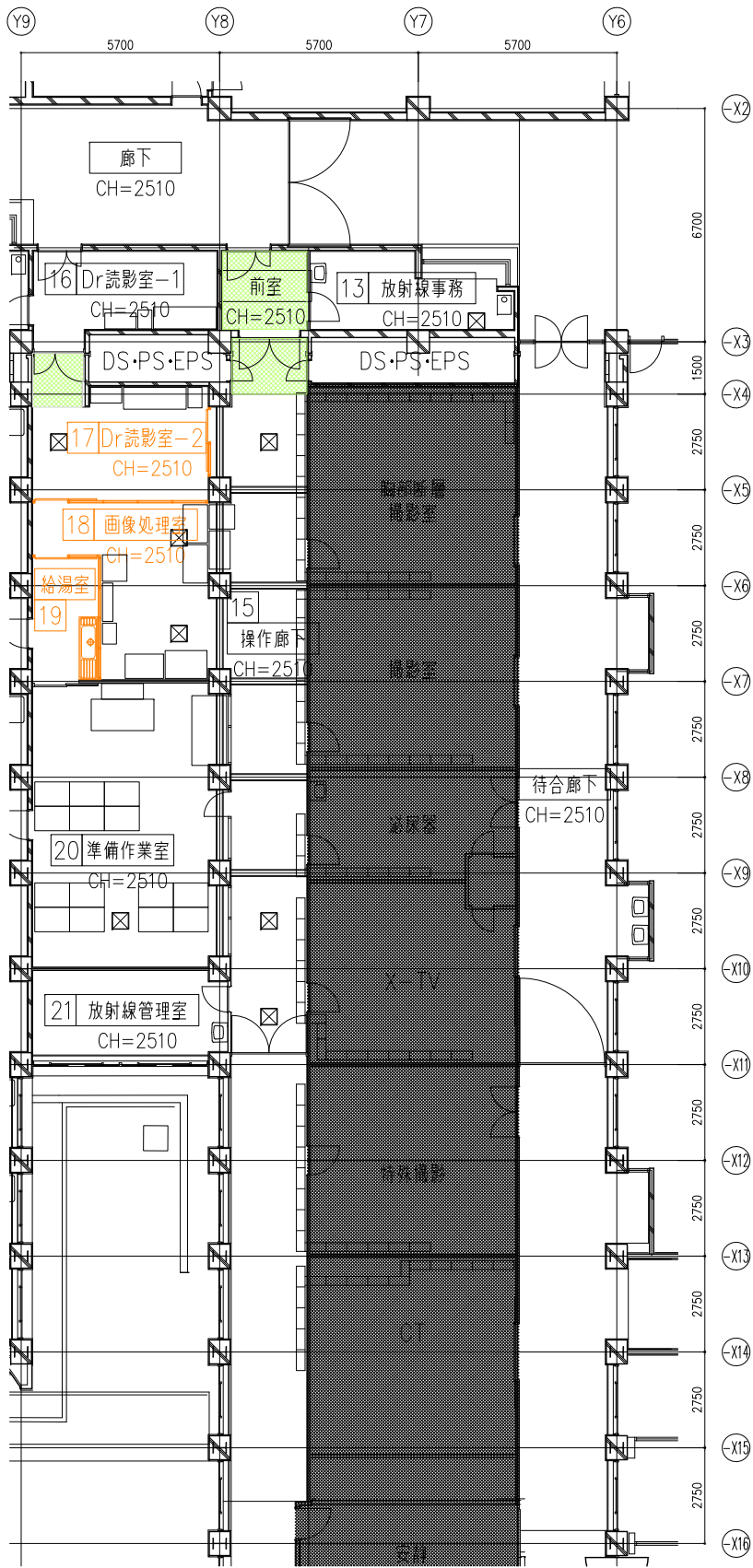


特記事項

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・工事請負者は原則、本計画図を基に施工を行うこと。関係法令、施工条件等により必要があれば監督員及び工事監理者等と協議すること。 ・工事期間中は居ながら工事となる為、それらの運用を配慮し、安全計画には十分に注意すること。 ・資材置場等については、基本的に工事利用範囲内とする。但し、一時的にその他の場所が必要となる場合は、監督職員と協議して了解を得る事。 ・工事は平日主体で行うが、騒音・振動をともなう工事は土休日に行うこと。1階検査部門の脳波室に隣接する室および上部階においては、営業時間内は騒音・振動をともなう工事は行えないものとする。 ・廊下の居ながら工事については土休日主体で行う。平日はシートで養生すること。 ・資材搬入は休日主体で行うこと。平日に行う場合は営業時間外で行うこと。搬入で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、資材にはブルーシート等で養生を行うこと。 ・工事作業員は原則、直接外部に面する出入口や窓から工事エリアに出入りすること。外部からの出入口がない工事エリアへの経路で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、工事エリア内で着用する作業服での通行は禁止とする。 ・改修工事中はEPSから改修対象箇所の周の天井改修も含むものとする。 ・E棟EPSに切替電源盤を設置し、電源の仮設切回し配線として切替電源盤主幹2次側から改修対象箇所までEF2.0-3C 50mm×10本を見込むこと。 ・LAN設備の仮設配管としてP管(16)を20m見込むこと。 |
|---|

凡例

	仮設周仕切：LGS90下地+PB \pm 12.5（両面） ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
	仮設扉：アルミ製片引き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
	仮設扉：アルミ製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置 工事範囲外側は施錠すること
	仮設周仕切（防火壁）：LGS100下地+PB \pm 21+PB \pm 21（片面） ※壁高さによってはロー100で下地補強すること ※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
	仮設扉（特定防火設備）：鋼製片開き戸W900×H2000 工事範囲側にサムターンを設置
	仮囲い：スライドパネル H=2510
	工事範囲
	移転範囲
	居ながら工事範囲（土主体）
	改修事中範囲
	改修済み範囲
	仮使用範囲
	工事動線
	患者動線
	スタッフ動線



step1完了後

・病院備品を示す
(病院側工事にて【移設】又は【新設】)

排風機設置概略図

プレキシブルダクト

窓ガラス取外し
ベニヤ板取付け

窓

フレキシブルダクト
取込み位置

排風機設置 (ベニヤ板等で囲むこと。)
HEPA+中性能フィルター

給気は建具などの隙間からとし、アスペルギルス対策として、
改修工事エリアを-5Pa陰圧となるよう風量調整すること。
・排風機用の電源線として、EM-CE3.5-4Cを50m見込むこと。
・工事期間中は、排風機 (4,000CMH) を5台設置する。
・設置方法は上図による。排気口にはHEPAフィルターを設置すること。
・フレキシブルダクト設置は、破損等のないよう適切に行うこと。改修済みのエリアに
設置する際は養生を行い、傷や汚れ等のないよう十分注意すること。

特記事項

・工事請負者は原則、本計画図を基に施工を行うこと。関係法令、施工条件等により必要があれば監督員及び工事監督者等と協議すること。

・工事期間中は居ながら工事となる為、それらの運用を配慮し、安全計画には十分注意すること。

・資材置場等については、基本的に工事利用範囲内とする。但し、一時的にその他の場所が必要となる場合は、監督職員と協議して了解を得る事。

・工事は平日主体で行うが、騒音・振動をとまぬ工事は土休日に行うこと。1階検査部門の脳波室に隣接する室および上部階においては、営業時間内は騒音・振動をとまぬ工事は行えないものとする。

・廊下の居ながら工事については土休日主体で行う。平日はシートで養生すること。

・資材搬出入は休日主体で行うこと。平日に行う場合は営業時間外で行うこと。搬出入で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、資材にはブルーシート等で養生を行うこと。

・工事作業員は原則、直接外部に面する出入口や窓から工事エリアに出入りすること。外部からの出入口がない工事エリアへの経路で病院内を通行する場合は、できるだけ短いルートとし、工事エリア内で着用する作業服での通行は禁止とする。

凡例

仮設囲仕切：LGS90下地+PBt12.5 (両面)
※壁高さによってはロー100で下地補強すること
※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと

仮設扉：アルミ製片引き戸W900×H2000
工事範囲側にサムターンを設置
工事範囲外側は施錠すること

仮設扉：アルミ製片開き戸W900×H2000
工事範囲側にサムターンを設置
工事範囲外側は施錠すること

防火区画

仮設囲仕切 (防火壁)：LGS100下地+PBt21+PBt21 (片面)
※壁高さによってはロー100で下地補強すること
※撤去後は、設置跡の床、壁、天井等の補修復旧を行うこと
仮設扉 (特定防火設備)：鋼製片開き戸W900×H2000
工事範囲側にサムターンを設置

待防

仮囲い：スライドパネル H=2510

工事範囲

移転範囲

居ながら工事範囲 (土日主体)

改修工事中範囲

改修済み範囲

仮使用範囲

工事

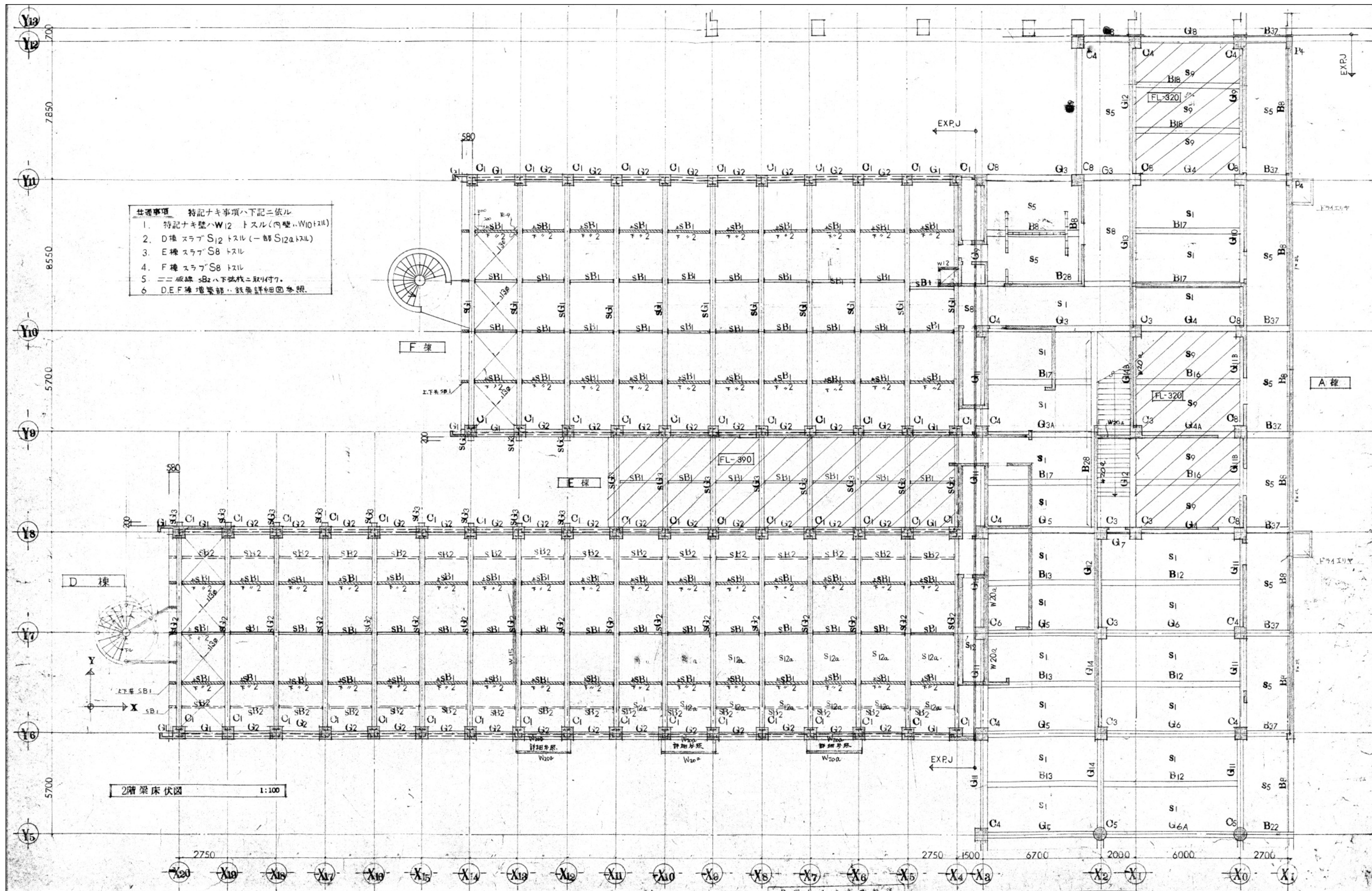
工事動線

患者

患者動線

スタッフ

スタッフ動線



	B1			B2		B3			B4		B5	B6			B7		B8	B9		B10		B11	B12			B13		
	外端	中央	内端	端部	中央	外端	中央	内端	端部	中央	全テ	外端	中央	内端	端部	中央	全テ	内端	先端	内端	先端	全テ	外端	中央	内端	内端	中央	外端
b × D	300 × 500			300 × 500		300 × 500			300 × 500		250 × 500	300 × 600			300 × 600		300 × 600	350 × 900		350 × 900		300 × 500	300 × 600			300 × 600		
上端筋	3 - D19	2 - D19	4 - D19	4 - D19	2 - D19	3 - D19	3 - D19	5 - D19	5 - D19	3 - D19	2 - D19	3 - D22	2 - D22	4 - D22	4 - D22	2 - D22	3 - D22	6 - D22	3 - D22	5 - D25	3 - D25	3 - D19	3 - D22	2 - D22	4 - D22	4 - D22	2 - D22	3 - D22
下端筋	2 - D19	4 - D19	2 - D19	2 - D19	4 - D19	2 - D19	4 - D19	3 - D19	3 - D19	4 - D19	2 - D19	2 - D22	4 - D22	2 - D22	2 - D22	3 - D22	3 - D22	5 - D22	3 - D22	4 - D25	3 - D25	3 - D19	2 - D22	4 - D22	3 - D22	3 - D22	2 - D22	2 - D22
STIRRUP						9φ - 150 ●			9φ - 150 ●			9φ - 150 ●			9φ - 150 ●			9φ - 150 ●		9φ - 150 ●			9φ - 150 ●			9φ - 150 ●		

	B14			B15			B16		B17		B18		B19		B20	B21	B22 (22a)		B23	B24		B25	B26	B27			
	外端	中央	内端	内端	中央	外端	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	内端	先端	全テ	内端	先端	内端	先端	内端	先端	全テ	全テ	端部	中央
b × D	300 × 600			300 × 600			300 × 600		300 × 600		300 × 600		400 × 750		350 × 800		200 × 800	350 × 850		350 × 700		350 × 700		250 × 700	350 × 700	400 × 600	
上端筋	3 - D22	3 - D22	5 - D22	5 - D22	3 - D22	3 - D22	3 - D22	4 - D22	3 - D22	2 - D22	3 - D22	4 - D22	3 - D22	4 - D22	3 - D25	4 - D25	6 - D22	3 - D19	5(6) - D25	3 - D25	4 - D22	3 - D25	4 - D25	3 - D19	4 - D25	4 - D22	3 - D22
下端筋	2 - D22	3 - D22	4 - D22	4 - D22	4 - D22	2 - D22	3 - D22	6 - D22	2 - D22	3 - D22	3 - D22	6 - D22	3 - D25	6 - D25	4 - D22	3 - D19	3 - D19	3 - D25	3 - D25	3 - D22	3 - D22	3 - D25	3 - D19	4 - D25	4 - D22	3 - D22	4 - D22
STIRRUP				13φ - 200 e			13φ - 200 e		13φ - 150 e		13φ - 200 e		13φ - 200 e		13φ - 200 e			13φ - 200 e (13φ - 100 e)		9φ - 150 e		13φ - 200 e		13φ - 200 e		13φ - 200 e	

	B28		B29			B30			B31	B32	B3A			B33	B34	B35	B36	B37	B38	B39
	端部	中央	外端	中央	内端	内端	中央	外端	全テ	全テ	X5端	中央	X4端	全テ	全テ	全テ	全テ	全テ	全テ	全テ
b × D	350 × 850		300 × 600			300 × 600			300 × 700	200 × 700	300 × 500~700			400 × 300	250 × 600	350 × 500	300 × 600	350 × 850	200 × 700	350 × 600
上端筋	4-D22	4-D22	3-D22	3-D22	6-D22	6-D22	3-D22	3-D22	4-D19	2-D19	4-D19	3-D19	5-D19	4-D19	2-D19	3-D19	3-D22	3-D22	3-D19	-
下端筋	4-D22	6-D22	3-D22	5-D22	6-D22	6-D22	3-D22	2-D22	3-D19	2-D19	2-D19	4-D19	3-D19	4-D19	2-D19	3-D19	3-D22	3-D22	2-D19	3-D22
STIRRUP	13φ-200e		13φ-200e			9φ-150e					9φ-150e			9φ-150e		9φ-150e	13φ-150e	9φ-150e		13φ-200e

共通事項
特記ナキ事項ハ下記ニ依ル

1. b × D

2. STIRRUP 9φ-200e

3. 配筋 2-9φ

4. 巾止筋 9φ-600e

5. 打増部断面

